

6 スポーツ・読書

-
- (1) 日常的な運動・スポーツの実施状況
 - (2) 継続的に実施している運動・スポーツ
 - (3) 運動・スポーツを最も多く行っている場所
 - (4) 運動・スポーツを行うためのきっかけ
 - (5) 過去1年間に関わった運動・スポーツを支える活動
 - (6) 運動・スポーツを支える活動をしなかった理由
 - (7) 足立区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識
 - (8) 読書に関わる行動状況
 - (9) 読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由
-

6 スポーツ・読書

(1) 日常的な運動・スポーツの実施状況

問26 あなたは日常的に、どの程度運動・スポーツを行っていますか（○は1つだけ）。

※ ルールにもとづいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや気分転換に行う軽い体操、自然に親しむハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的をもった身体活動の全てを含みます。

■ 「運動・スポーツはしていない」は約4割、「30分以上の運動を週2回以上」は2割

ア 単純集計・経年比較／日常的な運動・スポーツの実施状況

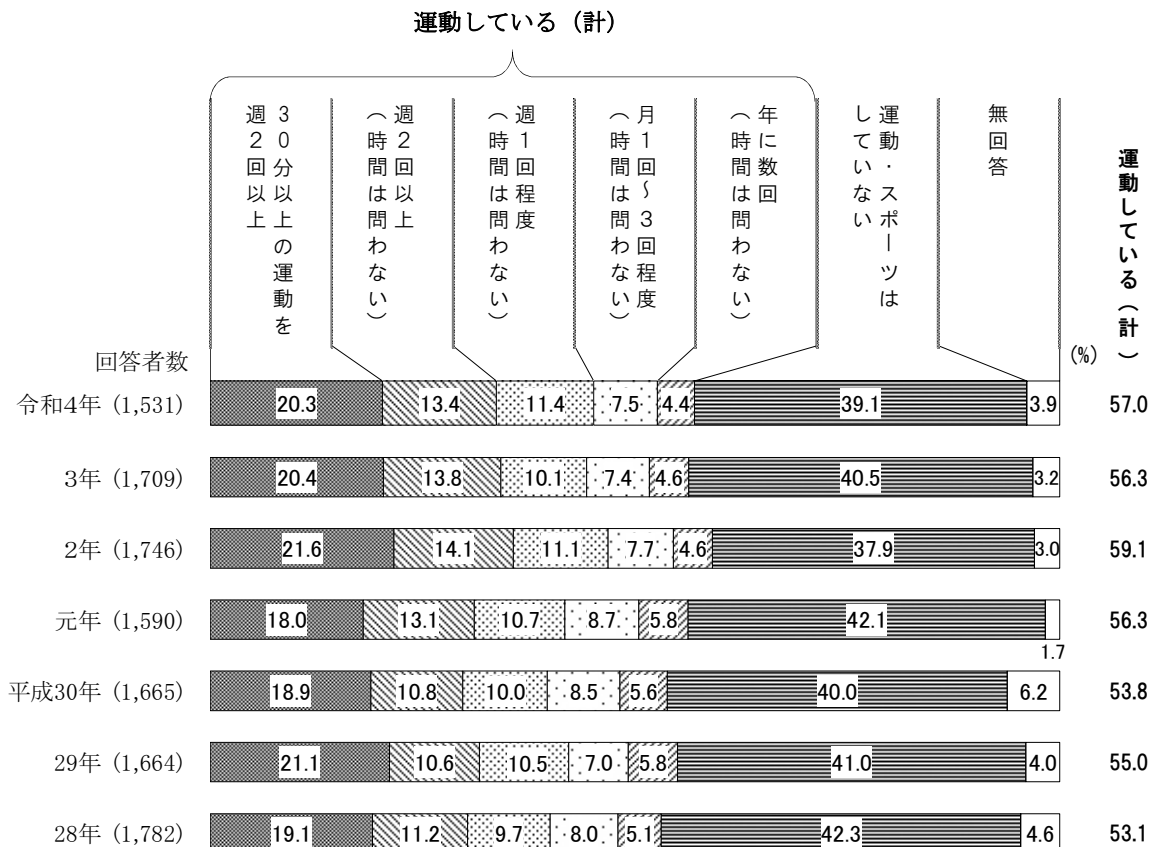
(ア) 運動・スポーツの実践頻度について高い順にみると、以下のとおりとなっている。

- ① 「30分以上の運動を週2回以上」(20.3%)
- ② 「週2回以上（時間は問わない）」(13.4%)
- ③ 「週1回程度（時間は問わない）」(11.4%)
- ④ 「月1回～3回程度（時間は問わない）」(7.5%)
- ⑤ 「年に数回（時間は問わない）」(4.4%)

(イ) 上記5項目を合わせた【運動している】は57.0%となっており、「運動・スポーツはしていない」は39.1%となっている。

(ウ) 経年でみると、前回との比較では特に大きな違いはみられない。

図6-1-1 経年比較／日常的な運動・スポーツの実施状況

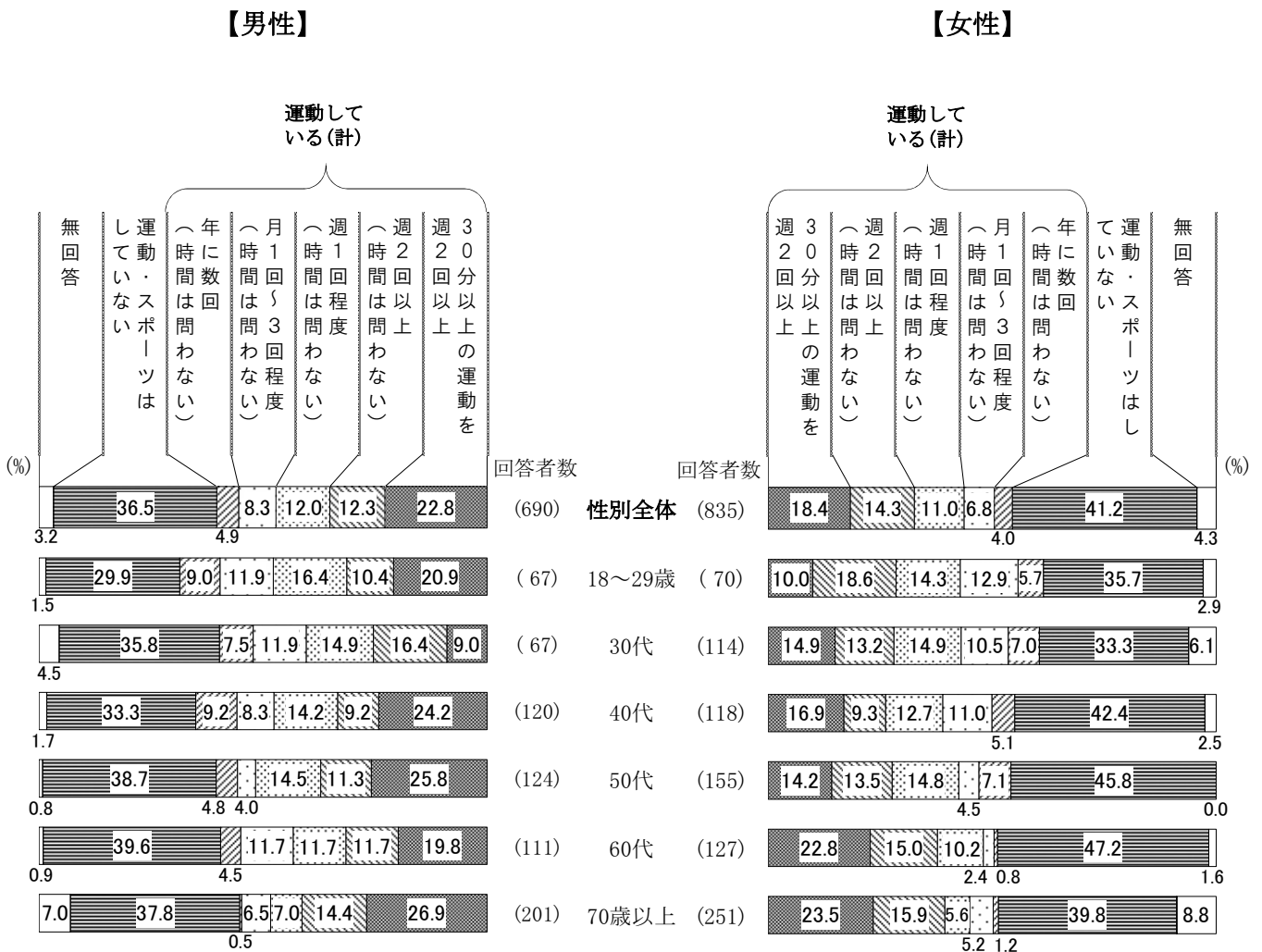


イ クロス集計・性別、性・年代別／日常的な運動・スポーツの実施状況

(ア) 性別で見ると、「30分以上の運動を週2回以上」は男性（22.8%）の方が女性（18.4%）より4.4ポイント高く、【運動している】でも男性（60.3%）の方が女性（54.5%）より5.8ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【運動している】はおおむね男女とも年代が上がるほど割合が低くなっており、男性の18～29歳で68.7%と最も高く、女性の60代と70歳以上で5割強と低くなっている。

図6-1-2 性別、性・年代別／日常的な運動・スポーツの実施状況



(2) 継続的に実施している運動・スポーツ

問26で1～5のいずれかをお答えの方に

問26-1 あなたが最近、継続的にやっている運動・スポーツは何ですか

(〇はあてはまるものすべて)。

■ 「ウォーキング」が4割台半ばで突出し、「筋力トレーニング」「健康体操」が2割強で続く

ア 単純集計・経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ

(ア) 何らかの運動・スポーツを行っている人にその内容を聞いたところ、上位は以下のとおりとなっている。

- ① 「ウォーキング」(45.7%)
- ② 「筋力トレーニング」(21.3%)
- ③ 「健康体操(エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」(21.2%)
- ④ 「ラジオ体操」(11.0%) などとなっている。

(イ) 経年でみると、前回に比べて、「ウォーキング」が5.3ポイント減少、「健康体操(エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど)」が3.7ポイント減少、「ラジオ体操」が2.1ポイント減少と上位5項目中3項目で減少している。

図6-2-1-① 経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ

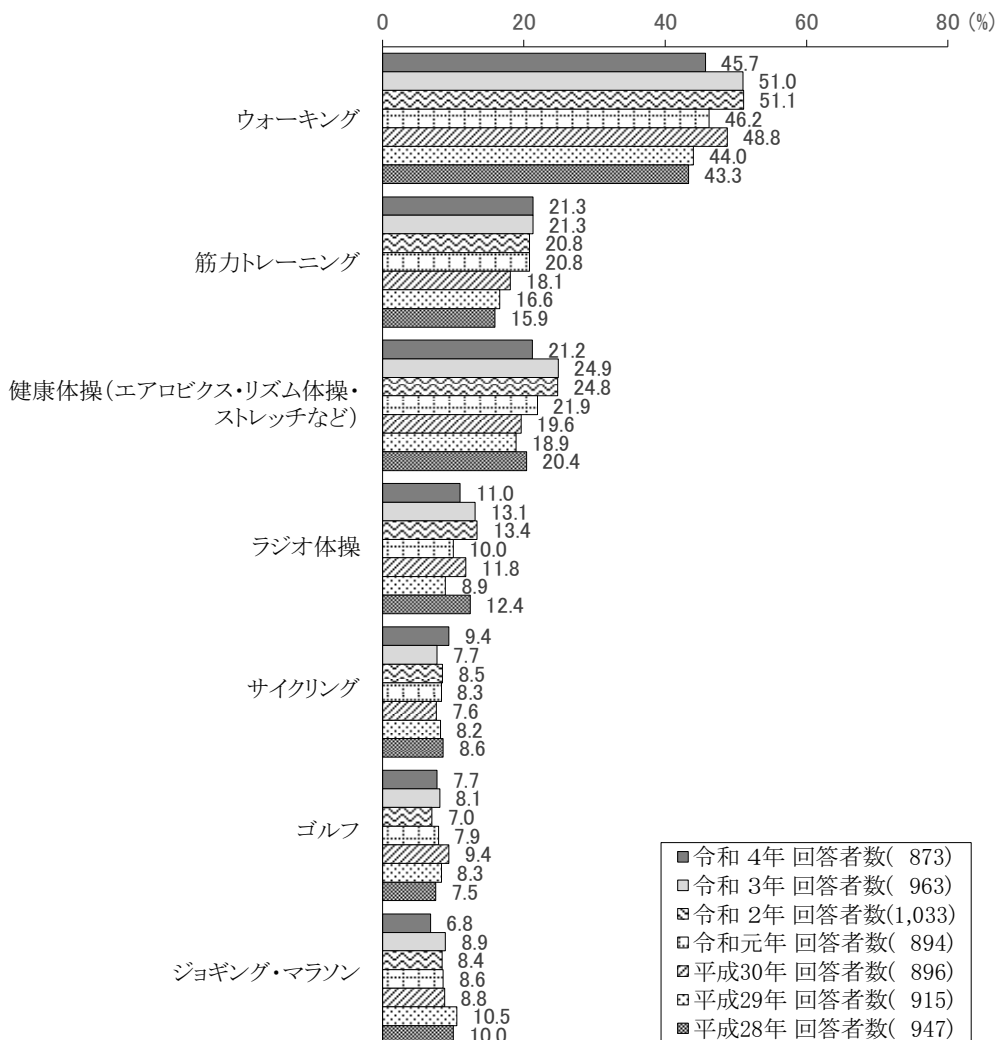


図6-2-1-② 経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ

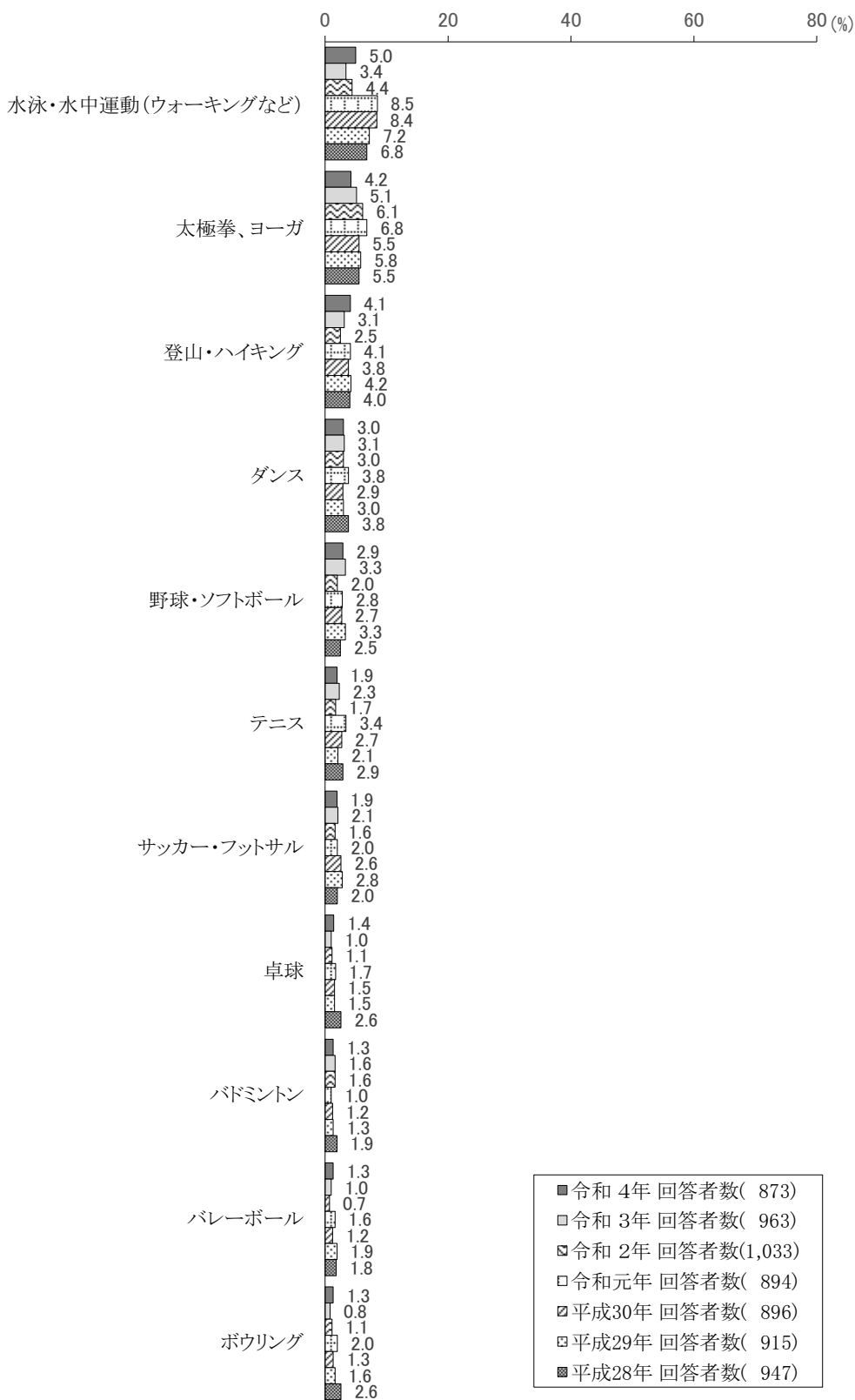
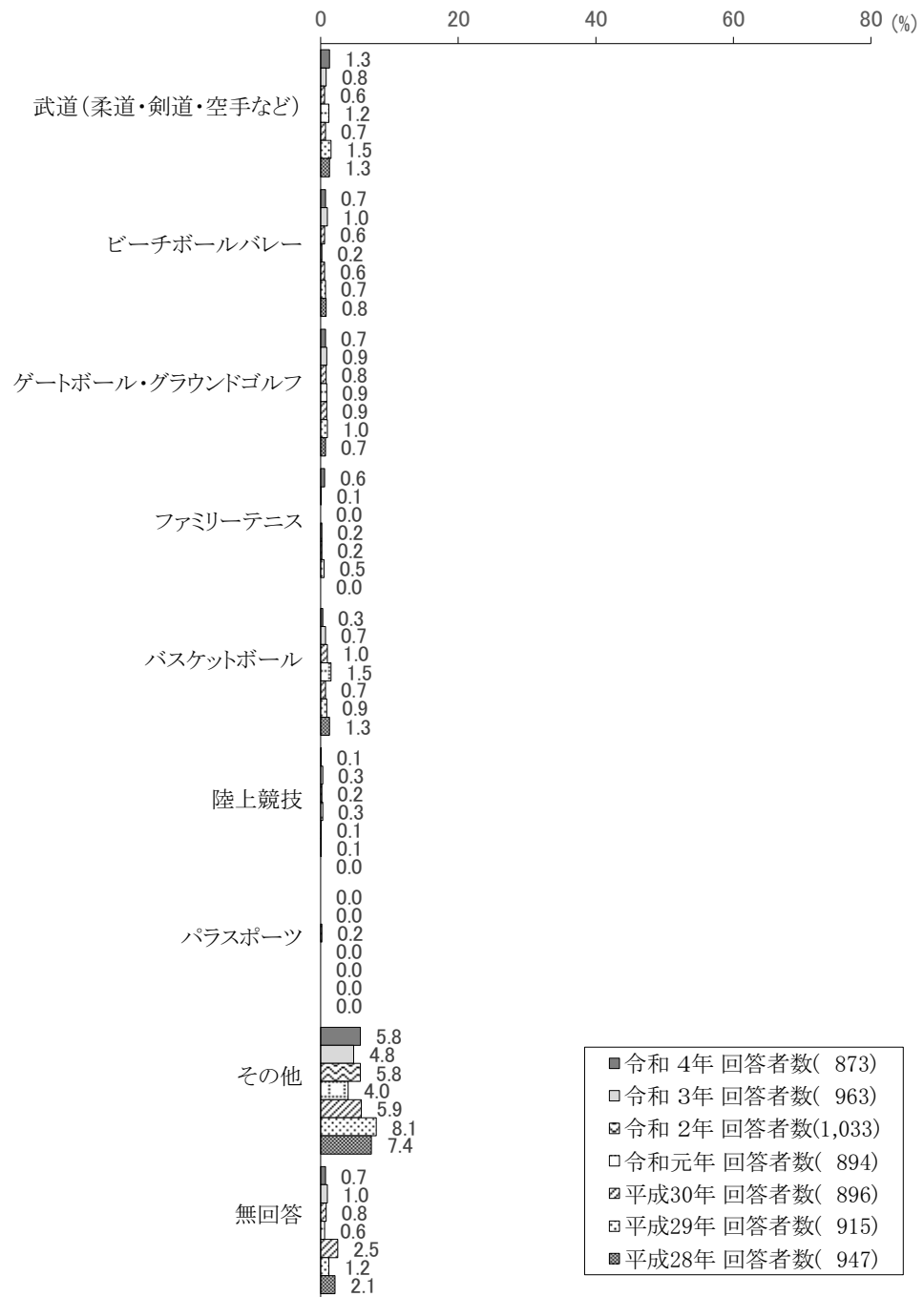


図6-2-1-③ 経年比較／継続的に実施している運動・スポーツ



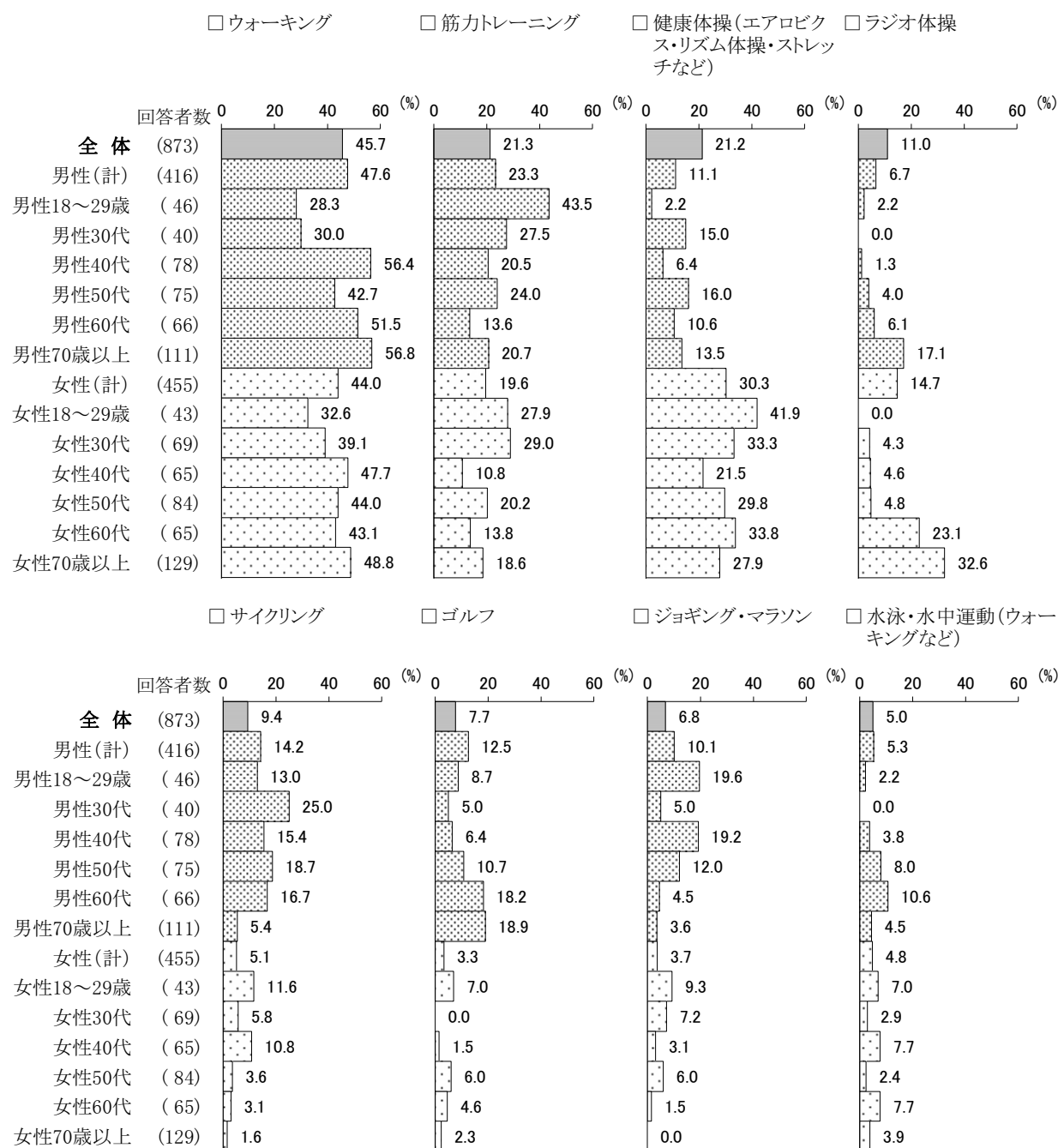
イ クロス集計・性別、性・年代別／継続的に実施している運動・スポーツ（上位8項目）

（ア）性別でみると、上位8項目のうち6項目で男性の方が高く、特に「ゴルフ」（+9.2ポイント）、「サイクリング」（+9.1ポイント）で9ポイント強高くなっている。

（イ）「健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど）」は女性（30.3%）の方が男性（11.1%）より19.2ポイント高く、「ラジオ体操」でも女性の方が8.0ポイント高くなっている。

（ウ）性・年代別でみると、「ウォーキング」は男女とも40代以上で4割台以上と高くなっている。「筋力トレーニング」は男性の18～29歳で43.5%と特に高く、「健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど）」は女性の18～29歳で41.9%と特に高くなっている。また、「ラジオ体操」は男女とも60代以上で高くなっており、女性の70歳以上で32.6%と最も高くなっている。

図6-2-2 性別、性・年代別／継続的に実施している運動・スポーツ／上位8項目



(3) 運動・スポーツを最も多く行っている場所

問26で1～5のいずれかをお答えの方に

問26-2 あなたは、どこで運動・スポーツを行うことが最も多いですか（○は1つだけ）。

■「自宅周辺」が4割半ば近く、次いで「自宅」が2割弱

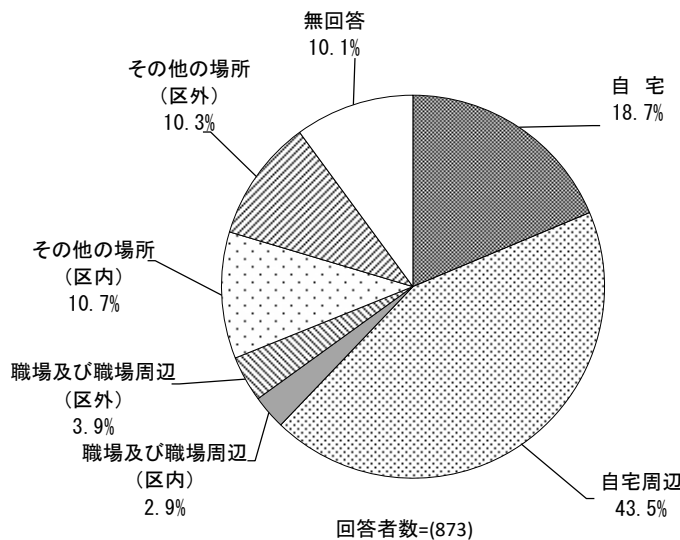
ア 単純集計／運動・スポーツを最も多く行っている場所

(ア) 運動・スポーツの実施場所について、上位は以下のとおりとなっている。

- ①「自宅周辺」(43.5%)
- ②「自宅」(18.7%)
- ③「その他の場所(区内)」(10.7%)
- ④「その他の場所(区外)」(10.3%)

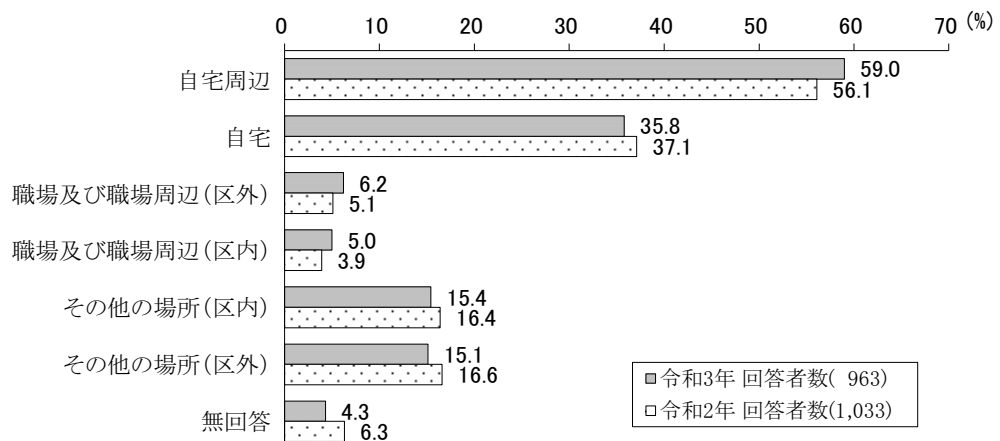
(イ) 前々回(令和2年)と前回(令和3年)の調査では、選択肢が同じで複数回答で質問していたが、今回調査では単一回答で質問しているため、経年比較はできない。

図6-3-1 運動・スポーツを最も多く行っている場所



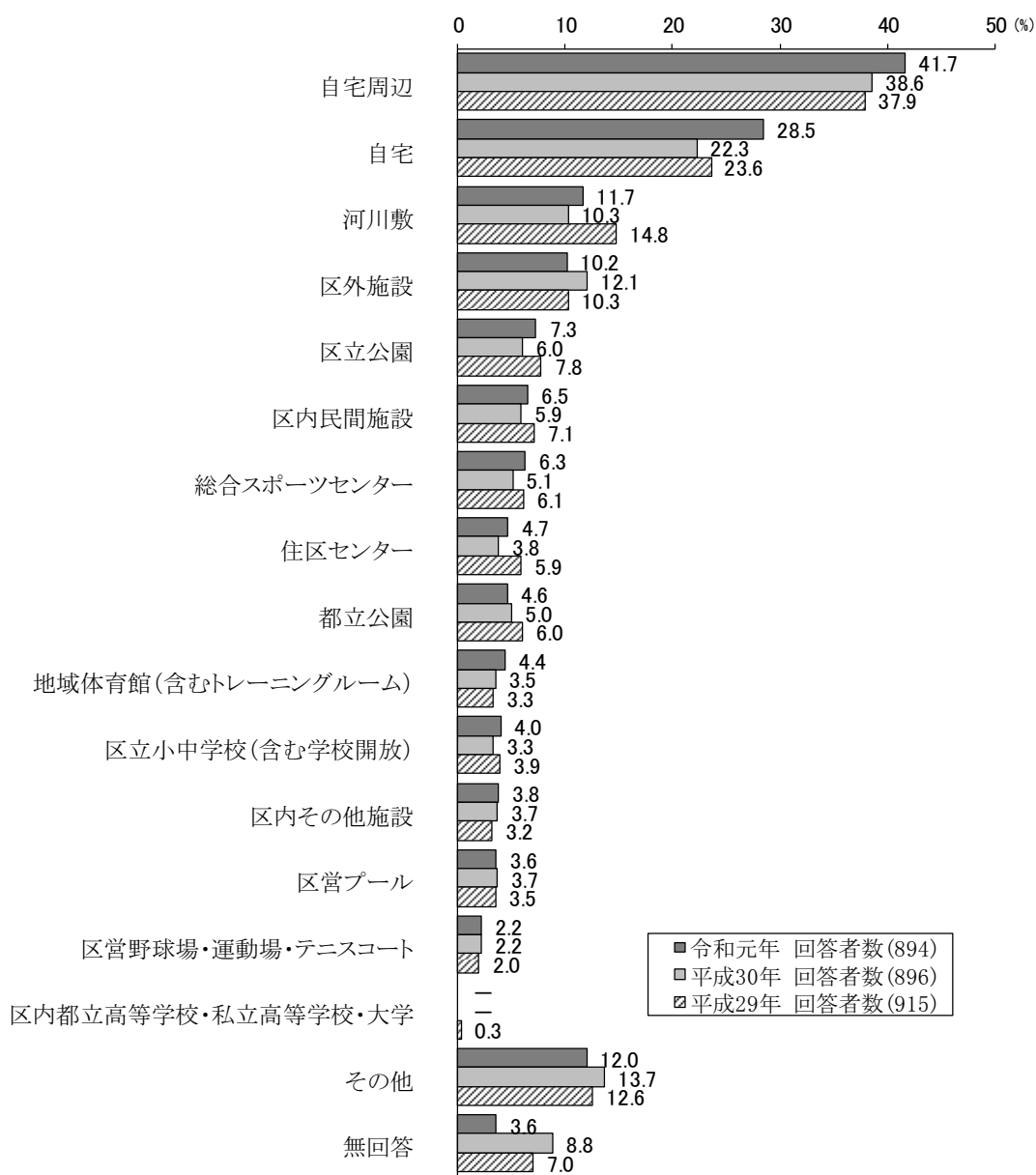
参考／(令和2・3年は複数回答) 運動・スポーツを行っている場所

問 あなたは、運動・スポーツをどこで行っていますか（○はあてはまるものすべて）。



参考／（令和元年までの選択肢・複数回答）運動・スポーツを行っている場所

問 あなたは、運動・スポーツをどこで行っていますか（〇はあてはまるものすべて）。

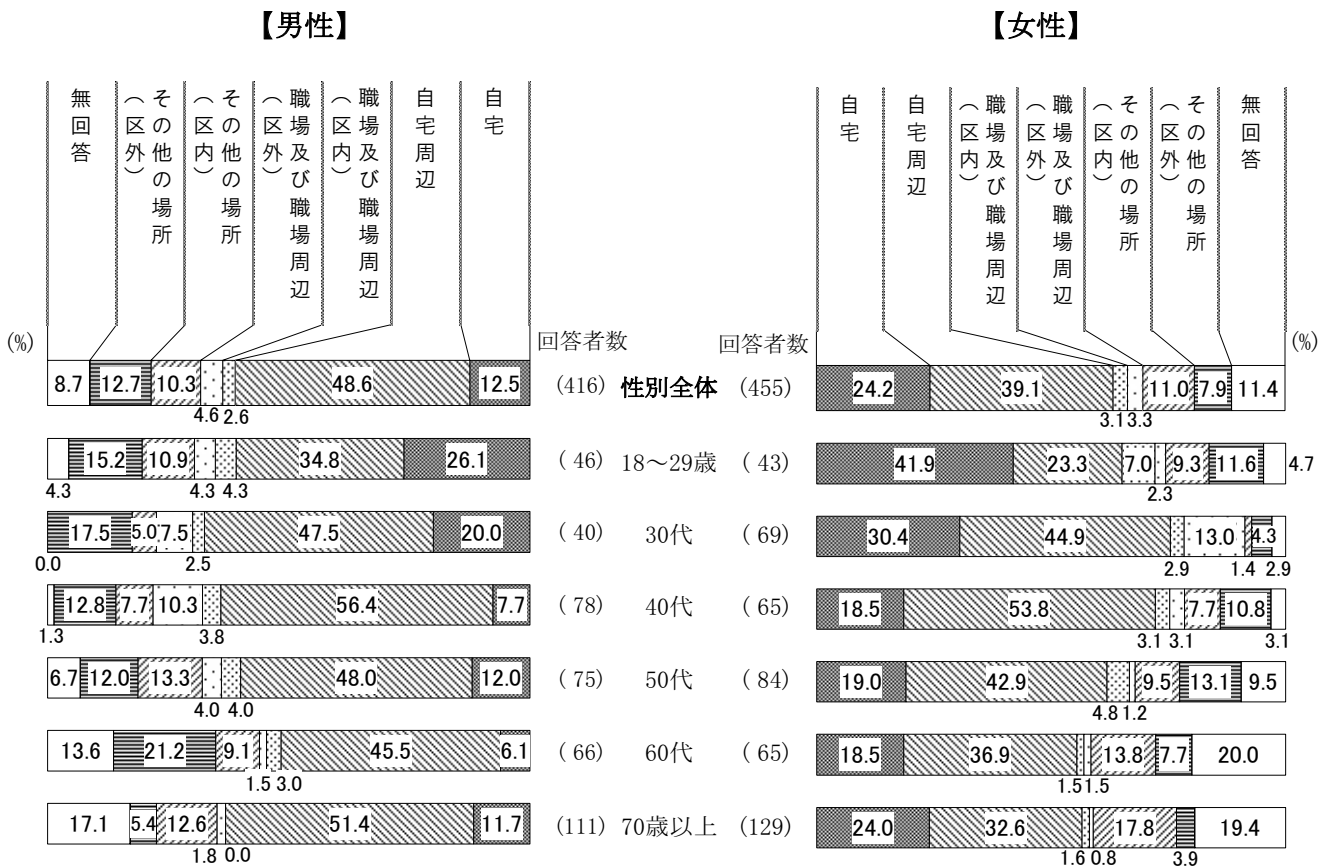


イ クロス集計・性別、性・年代別／運動・スポーツを最も多く行っている場所

(ア) 性別で見ると、「自宅」は女性（24.2%）の方が男性（12.5%）より11.7ポイント高く、「自宅周辺」では男性（48.6%）の方が女性（39.1%）より9.5ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「自宅周辺」は男女とも40代（男性56.4%・女性53.8%）で5割台半ばと高く、男性の70歳以上でも5割強と高くなっている。また、「自宅」は女性の18～29歳で4割強と特に高くなっている。

図6-3-2 性別、性・年代別／運動・スポーツを最も多く行っている場所



(4) 運動・スポーツを行うためのきっかけ

問26で「6 運動・スポーツはしていない」とお答えの方に

問26-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツを行いたいと思いますか
(〇はあてはまるものすべて)。

■「身近な場所で運動・スポーツができる」が3割台半ばでトップ

ア 単純集計・経年比較／運動・スポーツを行うためのきっかけ

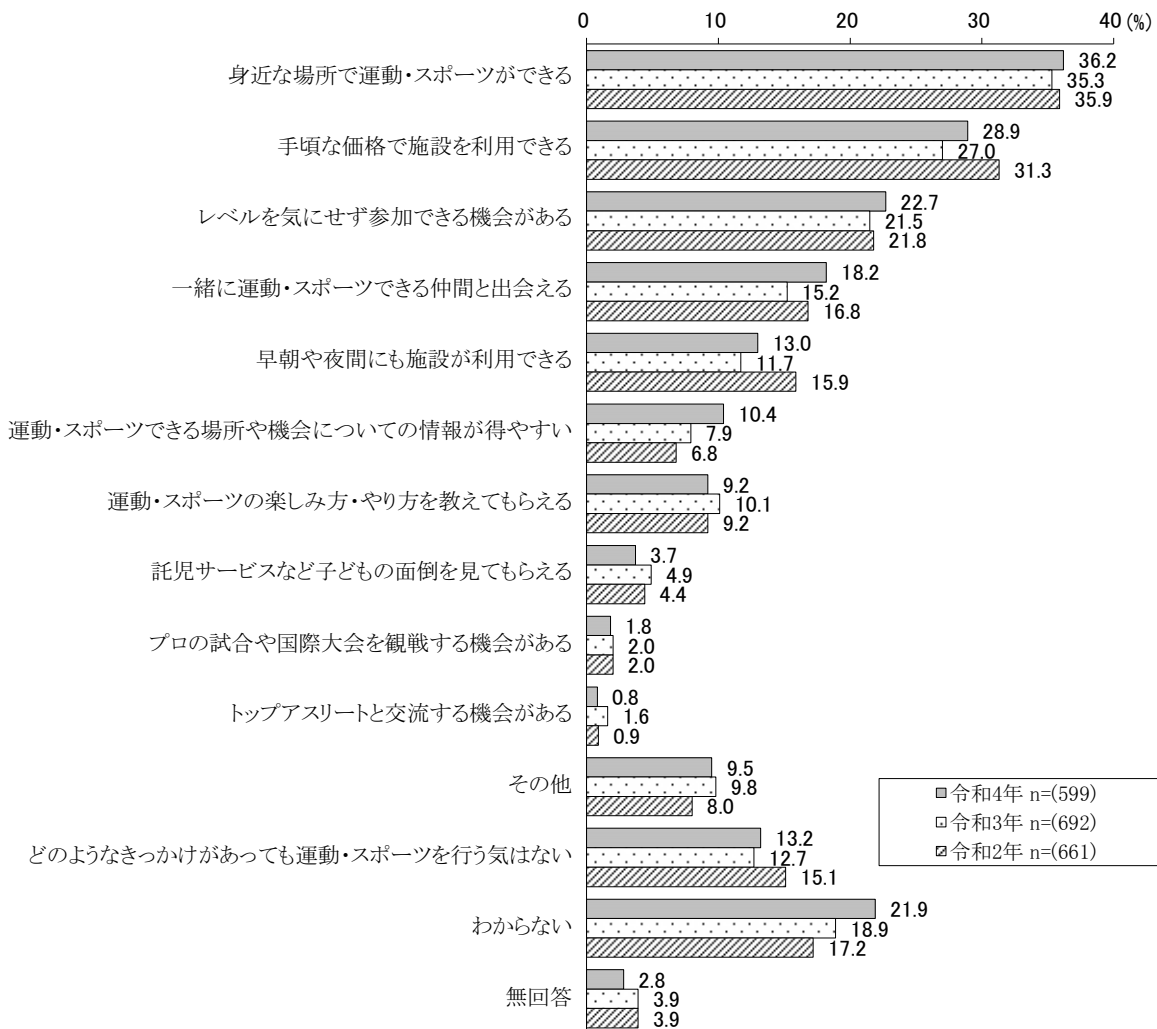
(ア) 日常的に「運動・スポーツはしていない」と回答した人に、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツを行いたいと思うか聞いた結果、上位は以下のとおりとなっている。

- ①「身近な場所で運動・スポーツができる」(36.2%)
- ②「手頃な価格で施設を利用できる」(28.9%)
- ③「レベルを気にせず参加できる機会がある」(22.7%)

(イ)「どのようなきっかけがあっても運動・スポーツを行う気はない」は13.2%となっている。

(ウ) 前回の令和3年調査との比較で見ると、多くの項目で増加しており、「一緒に運動・スポーツできる仲間と出会える」で3.0ポイント増加している。また「わからない」でも3.0ポイント増加している。

図6-4-1 経年比較／運動・スポーツを行うためのきっかけ

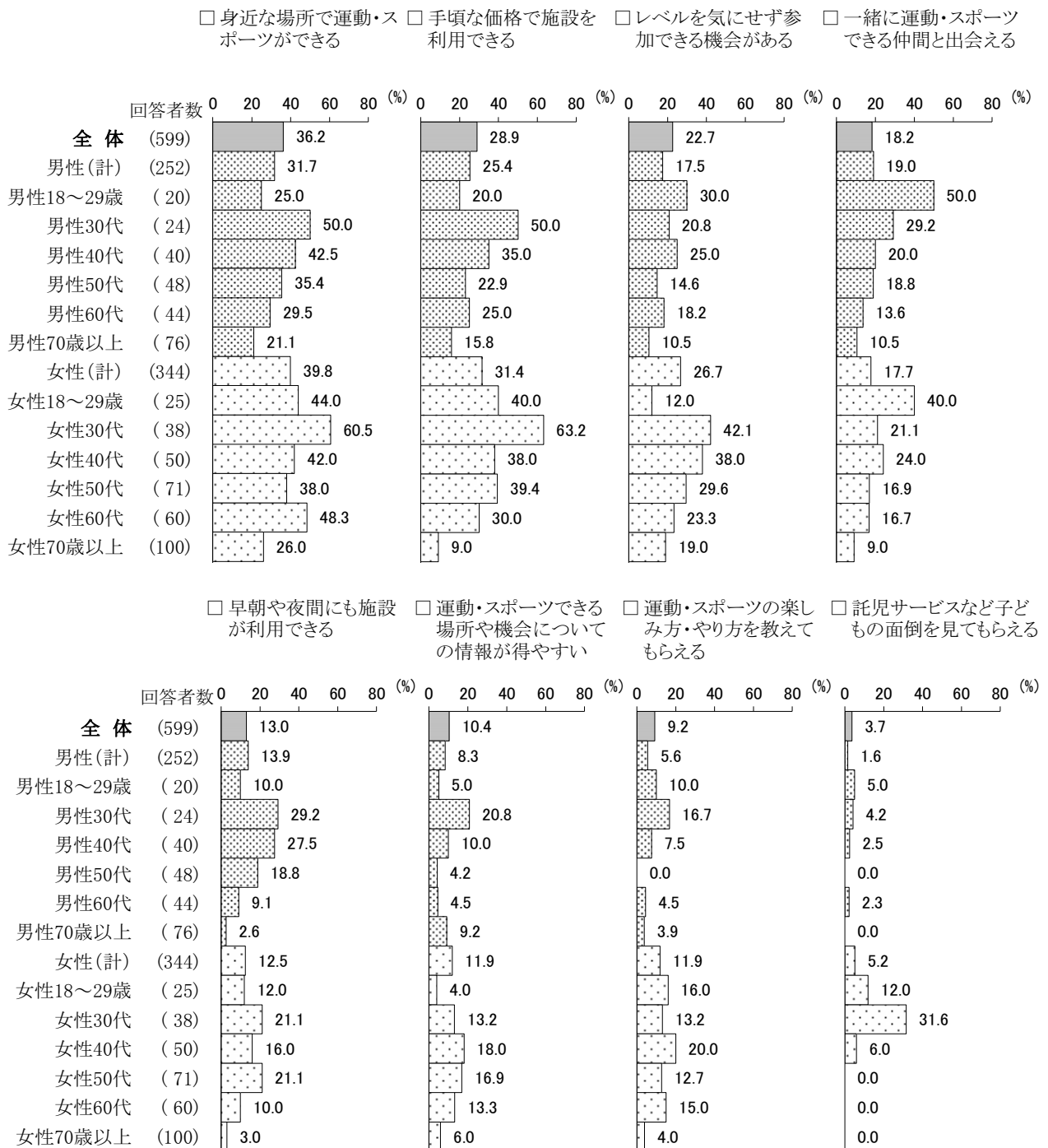


イ クロス集計・性別、性・年代別／運動・スポーツを行うためのきっかけ（上位8項目）

(ア) 性別でみると、上位8項目のうち、6項目で女性の方が高くなっており、特に「レベルを気にせず参加できる機会がある」で9.2ポイント、「身近な場所で運動・スポーツができる」で8.1ポイント、「手頃な価格で施設を利用できる」で6.0ポイントそれぞれ女性が高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、男性の18～29歳、30代と女性の18～29歳でサンプル数が30未満と少ないことを考慮する必要があるが、「身近な場所で運動・スポーツができる」と「手頃な価格で施設を利用できる」の上位2項目は男女とも30代（男性5割・女性6割台）で高くなっている。

図6-4-2 性別、性・年代別／運動・スポーツを行うためのきっかけ／上位8項目



(5) 過去1年間に関わった運動・スポーツを支える活動

問27 次の活動のうち、過去1年間にあなたが関わった運動・スポーツを支える活動はありますか（〇はあてはまるものすべて）。

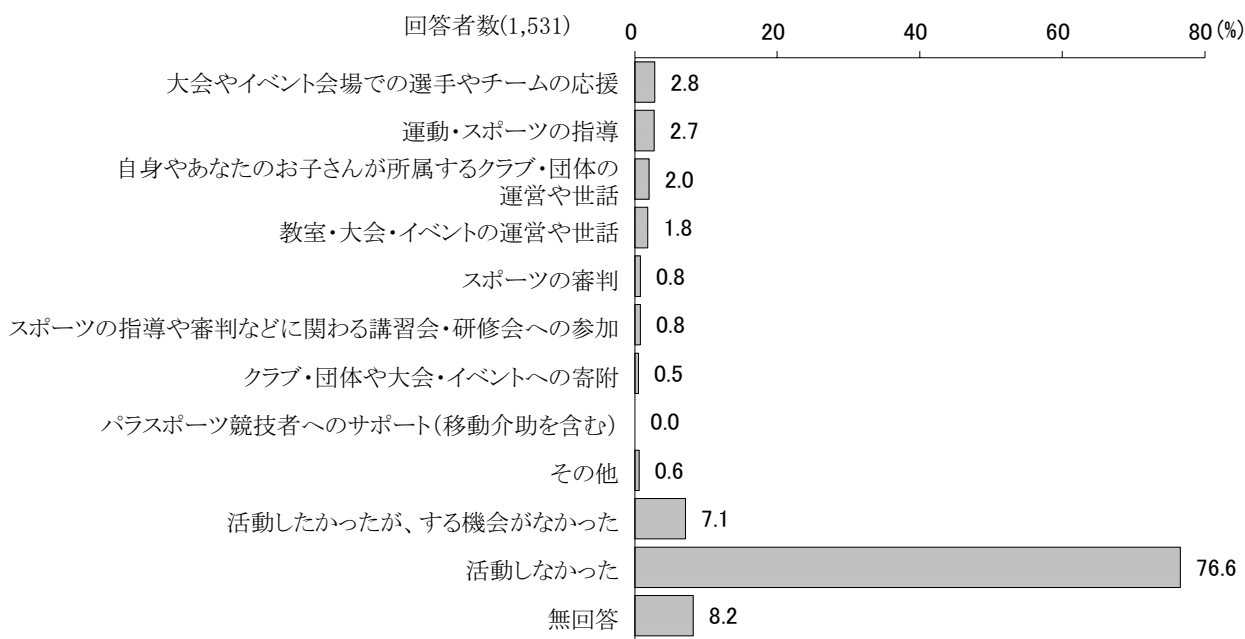
■ 「活動しなかった」が76.6%、「活動したかったが、する機会がなかった」が7.1%

ア 単純集計／過去1年間に関わった運動・スポーツを支える活動

(ア) 過去1年間に関わった運動・スポーツを支える活動については、「活動しなかった」(76.6%)が7割台半ばを占め、「活動したかったが、する機会がなかった」が7.1%、【何らかの支える活動をした】は8.1%となっている。

(イ) 具体的な活動としては、「大会やイベント会場での選手やチームの応援」(2.8%)、「運動・スポーツの指導」(2.7%)、「自身やあなたのお子さんが所属するクラブ・団体の運営や世話」(2.0%) などであった。

図6-5-1 過去1年間に関わった運動・スポーツを支える活動



(6) 運動・スポーツを支える活動をしなかった理由

問27で「10 活動したかったが～」または「11 活動しなかった」とお答えの方に

問27-1 あなたが運動・スポーツを支える活動をしなかった理由は何ですか

(○はあてはまるものすべて)。

■「新型コロナウイルスの影響」が3割、「年をとったから」と「面倒くさいから」が2割近く

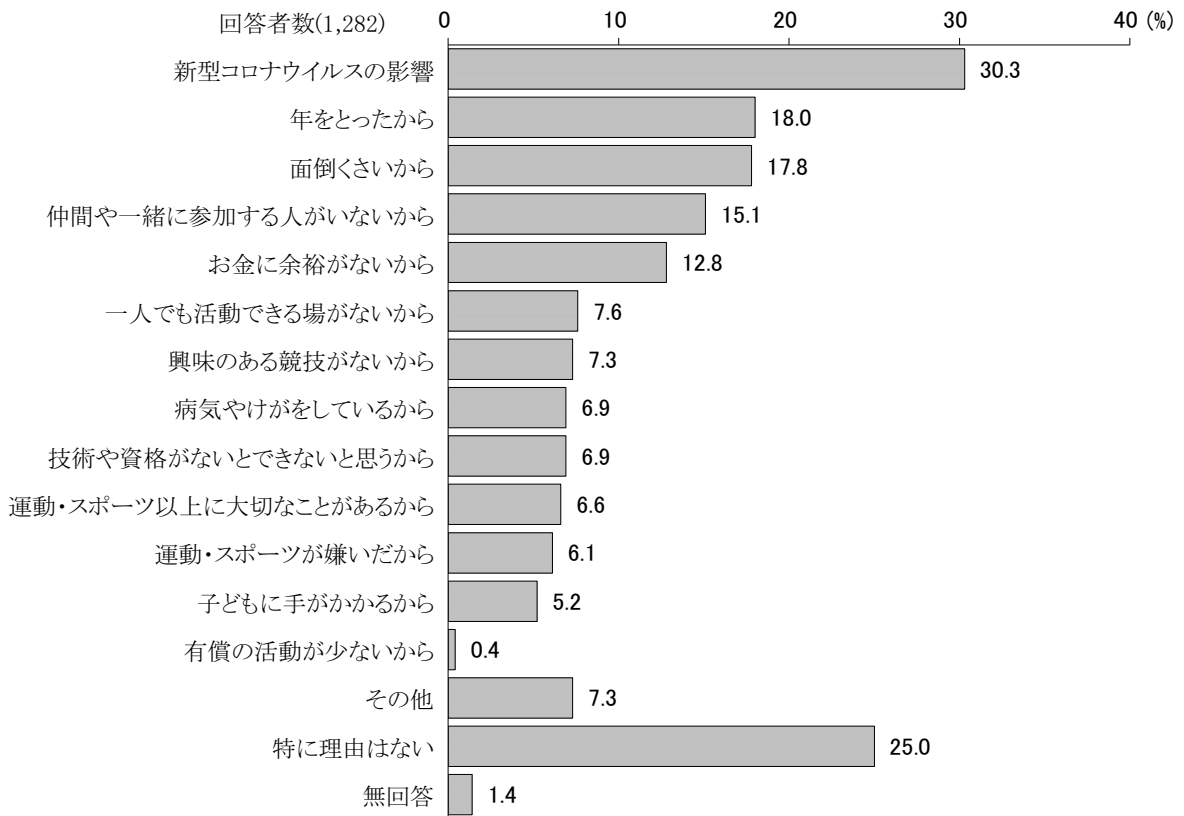
ア 単純集計／運動・スポーツを支える活動をしなかった理由

(ア) 過去1年間に運動・スポーツを支える活動をしなかった理由の上位としては、以下のとおりとなっている。

- ①「新型コロナウイルスの影響」(30.3%)
- ②「年をとったから」(18.0%)
- ③「面倒くさいから」(17.8%)
- ④「仲間や一緒に参加する人がいないから」(15.1%)
- ⑤「お金に余裕がないから」(12.8%)

(イ) 活動をしなかったことについて「特に理由はない」が25.0%となっている。

図6-6-1 運動・スポーツを支える活動をしなかった理由



(7) 足立区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識

問28 足立区の温水プールは65歳以上、その他のスポーツ施設は70歳以上の区民（高齢者）は無料で使用できます。この高齢者免除制度について、あなたの考えに最も近いものはどれですか（○は1つだけ）。

■「現行のまま継続するべき」が4割強と主流

ア 単純集計・経年比較／区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識

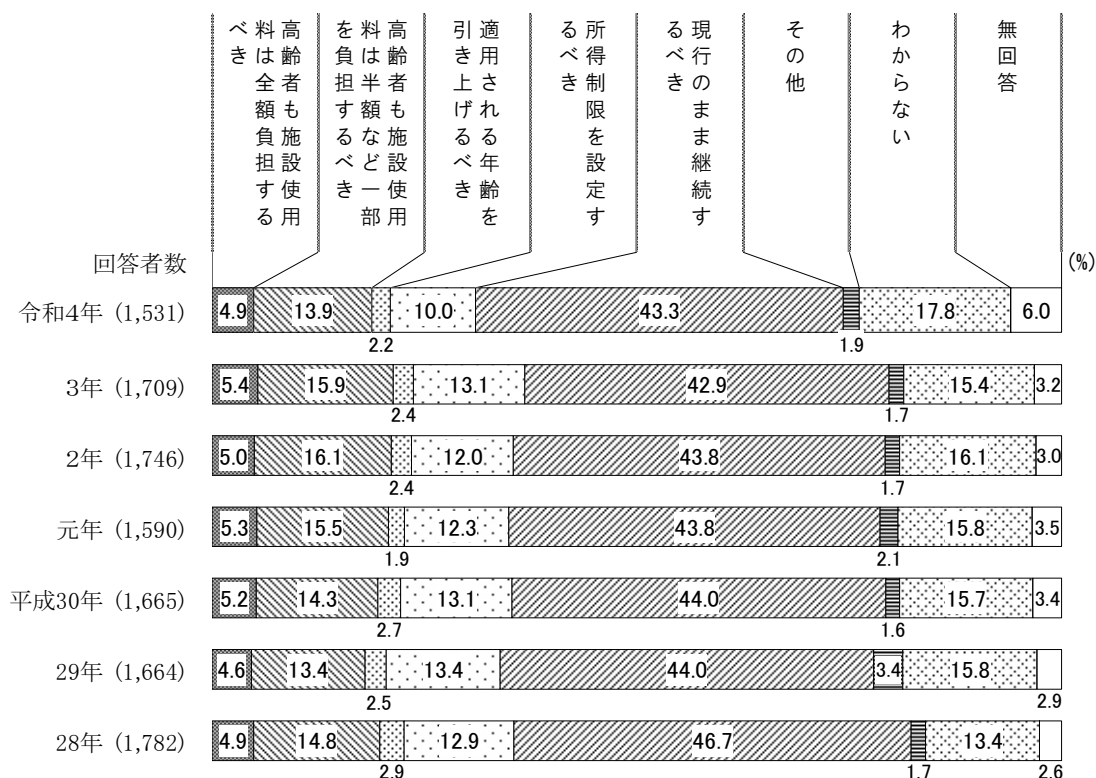
(ア) 足立区のスポーツ施設における高齢者免除制度についての意見について高い順にみると、以下のとおりとなっている。

- ①「現行のまま継続するべき」(43.3%)
- ②「高齢者も施設使用料は半額など一部を負担するべき」(13.9%)
- ③「所得制限を設定するべき」(10.0%)
- ④「高齢者も施設使用料は全額負担するべき」(4.9%)

(イ) 高齢者免除制度について「わからない」が17.8%となっている。

(ウ) 前回の令和3年調査と比べると、「所得制限を設定するべき」が3.1ポイント、「高齢者も施設使用料は半額など一部を負担するべき」が2.0ポイントそれぞれ減少し、「わからない」が2.4ポイント増加している。

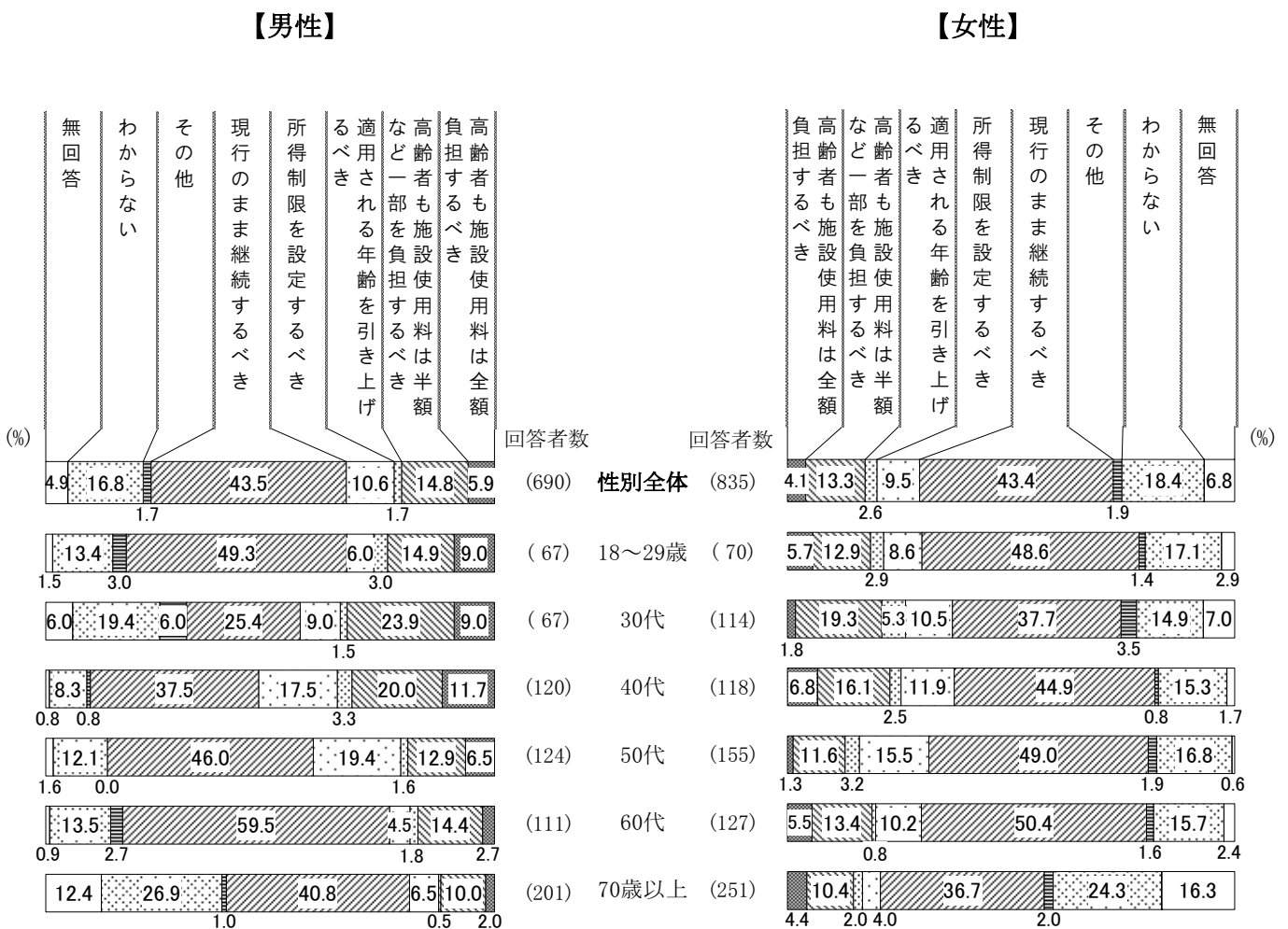
図6-7-1 経年比較／区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識



イ クロス集計・性別、性・年代別／区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識

- (ア) 性別で見ると、それぞれの回答割合に特に大きな違いはみられない。
- (イ) 性・年代別で見ると、「現行のまま継続すべき」は、男女とも60代（男性59.5%・女性50.4%）で5割台と高くなっている。
- (ウ) 「高齢者も施設使用料は半額など一部を負担すべき」は男性の30代と40代で2割台、「所得制限を設定すべき」は男性の40代と50代で1割台後半と他の性・年代層に比べて高くなっている。
- (エ) 「わからない」は男女とも70歳以上で2割台半ばと高くなっている。

図6-7-2 性別、性・年代別／区のスポーツ施設における高齢者免除制度に関する意識



(8) 読書に関わる行動状況

問29 あなたは、最近1か月間において、次のことをしたことはありますか。あなたの行動にあてはまるものを選んでください（○はあてはまるものすべて）。

※ ここでいう「本」「漫画（アニメ）」「雑誌」には、スマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含まれます。いずれも最後まで読み切っていないかまいません。

※ 「新聞」には、電子版、オンライン上の新聞記事を読むことも含まれます。

※ ただし、学校の課題図書、授業で読んだ本や教科書は含まれません。

■ 「新聞を読む」が4ポイント減少し、代わって「本を読む」が最上位に

ア 単純集計・経年比較／読書に関わる行動状況

(ア) 最近1か月間の読書に関わる行動について、【読書に関わる行動あり】は8割強を占めた。

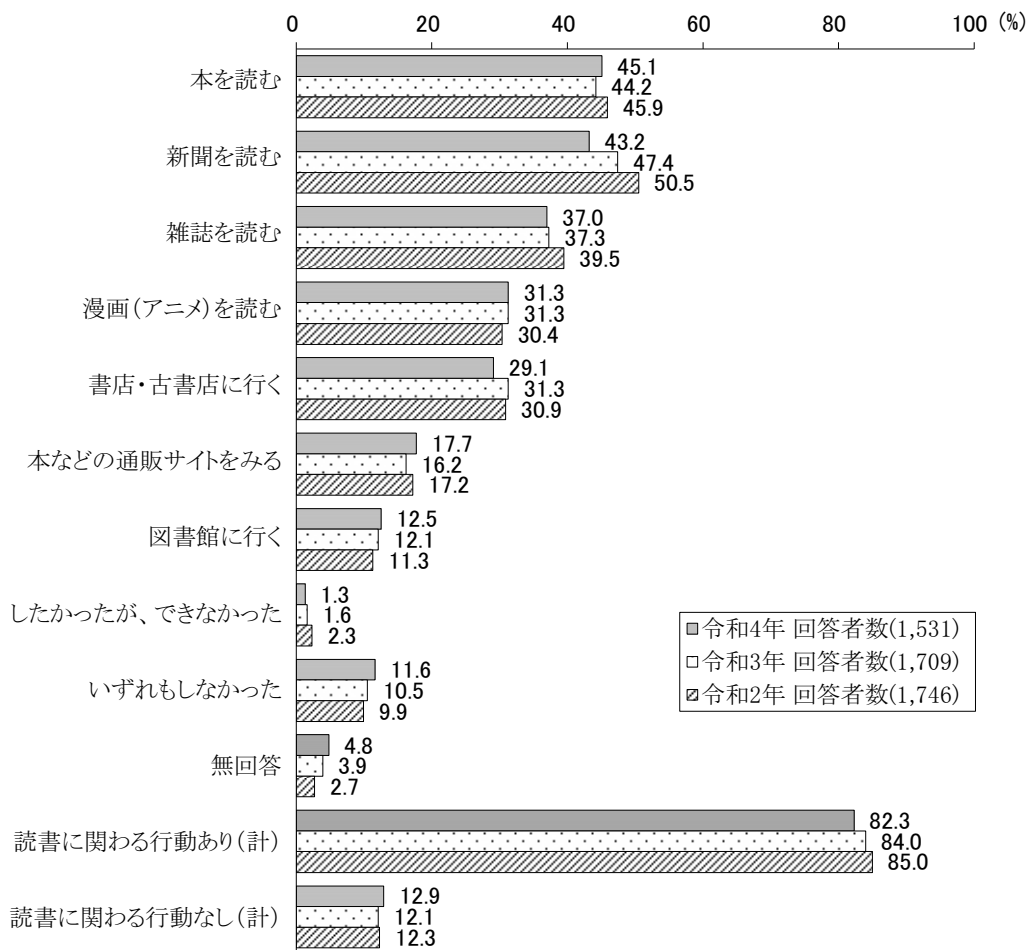
(イ) 読書に関わる行動の内容の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「本を読む」(45.1%)
- ② 「新聞を読む」(43.2%)
- ③ 「雑誌を読む」(37.0%)

(ウ) 読書に関わる行動を「したかったが、できなかった」(1.3%)と「いずれもしなかった」(11.6%)を合わせた【読書に関わる行動なし】は12.9%となっている。

(エ) 前回の令和3年調査と比較すると、「新聞を読む」が4.2ポイント減少し、「本を読む」と順位が入れ替わったが、他の項目では特に大きな違いはみられない。

図6-8-1 経年比較／読書に関わる行動状況



イ クロス集計・性別、性・年代別／読書に関わる行動状況（上位6項目+なし2項目）

(ア) 性別でみると男性の方が女性よりも高い項目

a 「新聞を読む」(+8.8ポイント)

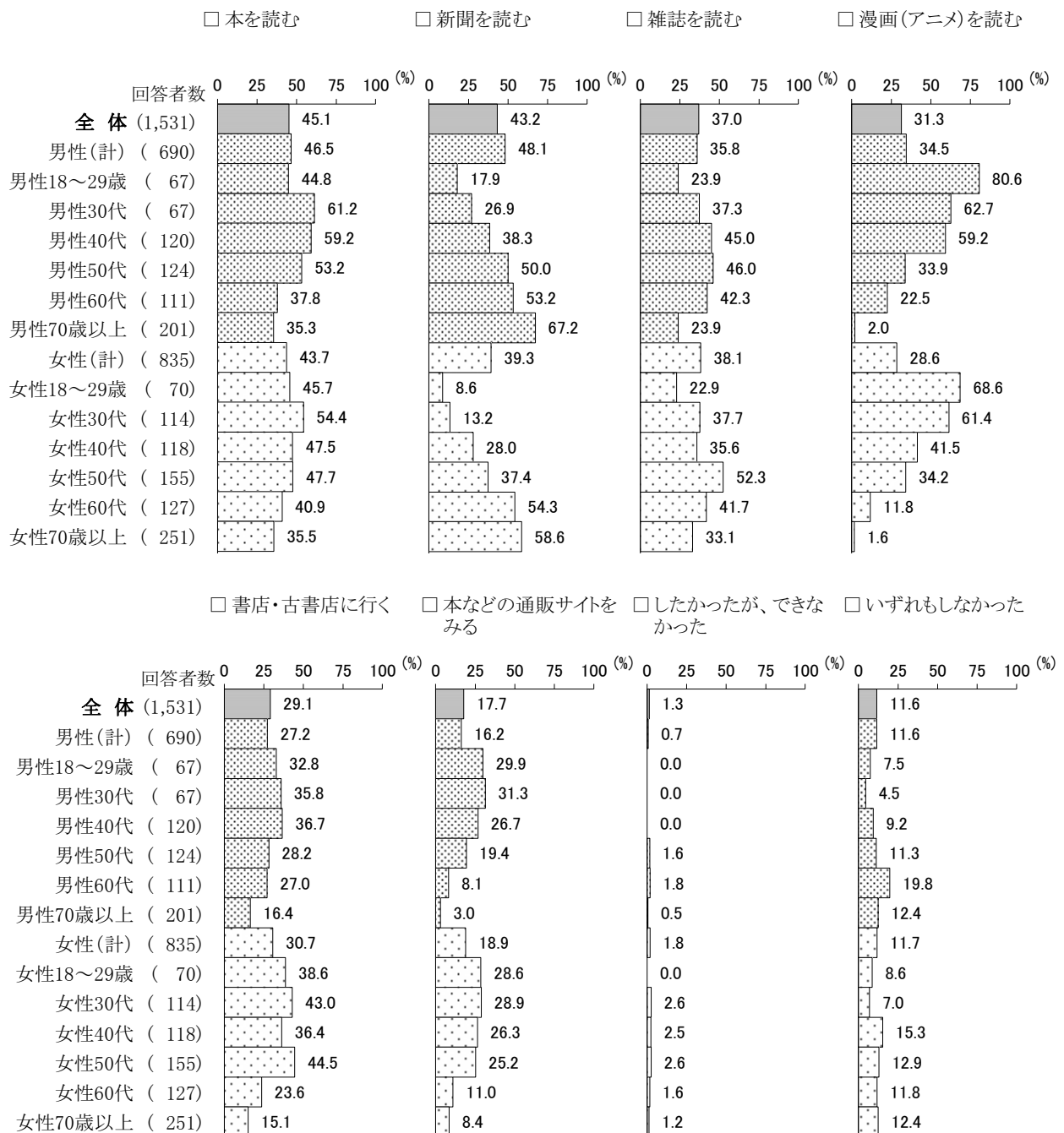
b 「漫画(アニメ)を読む」(+5.9ポイント)

(イ) 性別でみると女性の方が男性よりも高い項目

a 「書店・古書店に行く」(+3.5ポイント)

(ウ) 性・年代別にみると、「本を読む」は男女とも30代を頂点におおむね年代が下がるほど割合が低くなっており、一方、「新聞を読む」は男女ともおおむね年代が上がるほど割合が高くなっている。また、「漫画(アニメ)を読む」は年代が若いほど割合が高くなる傾向が顕著で、男女とも70歳以上で2%以下と低く、男性の18~29歳で80.6%と特に高くなっている。

図6-8-2 性別、性・年代別／読書に関わる行動状況／上位6項目+なし2項目



(9) 読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由

問29で「8 1～7のことをしたかったが、できなかった」または「9 1～7のことはいずれもしなかった」をお答えの方に

問29-1 あなたが「できなかった」または「しなかった」理由は何ですか

(○はあてはまるものすべて)。

■「加齢に伴い目が悪く読みづらくなったから」が2割台半ばで最も高く、「忙しいから」が2割強で次点

ア 単純集計・経年比較／読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由

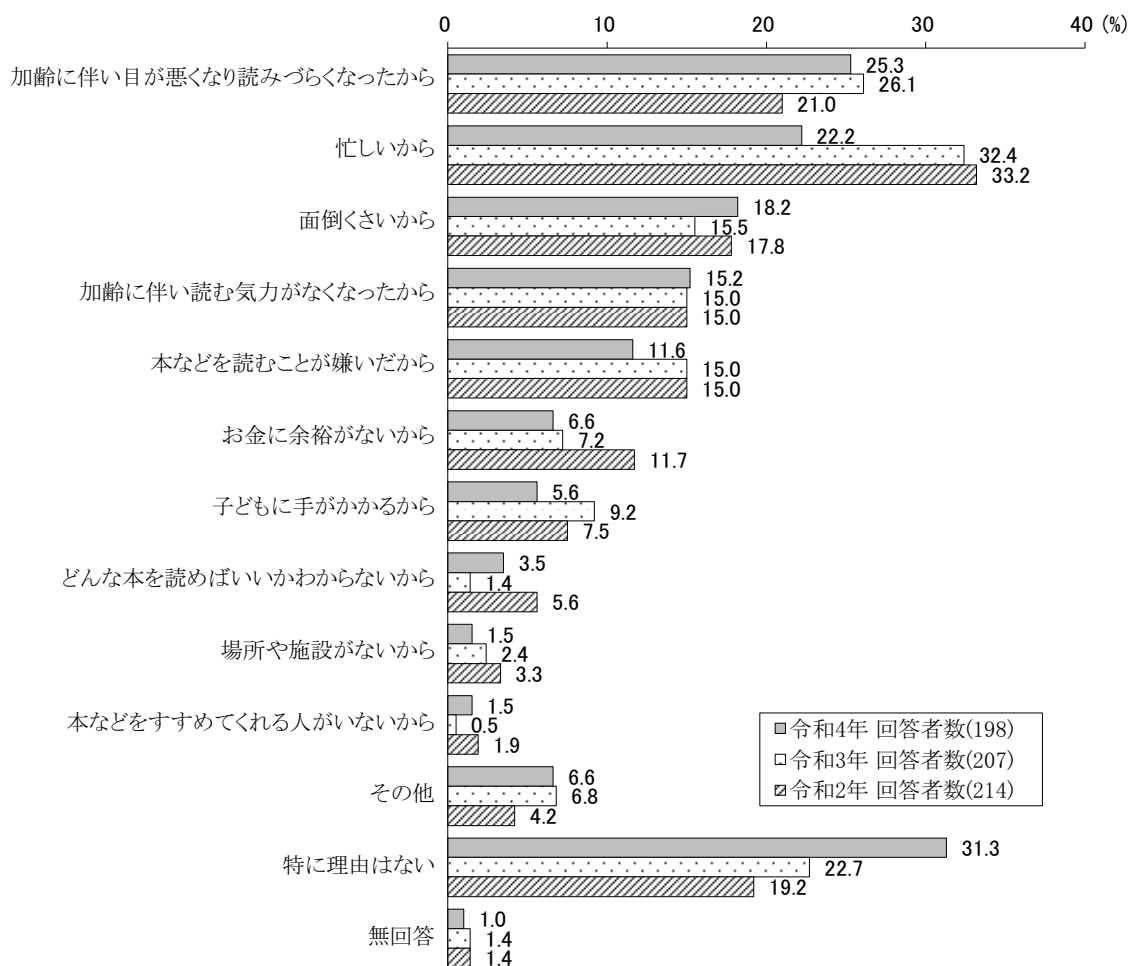
(ア) 最近1か月間に読書に関わる行動が「できなかった」または「しなかった」理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ①「加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから」(25.3%)
- ②「忙しいから」(22.2%)
- ③「面倒くさいから」(18.2%)

(イ) 読書に関わる行動をできなかった(しなかった)ことに「特に理由はない」は31.3%となっている。

(ウ) 前回の令和3年調査との比較でみると、減少は「忙しいから」の10.2ポイントが最も大きく、「子どもに手がかかるから」で3.6ポイント、「本などを読むことが嫌いだから」で3.4ポイントそれぞれ減少している。一方、「特に理由はない」が8.6ポイント増加している。

図6-9-1 経年比較／読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由



イ クロス集計・性別、性・年代別／読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由

(上位8項目)

(ア) 性別で見ると女性の方が男性よりも高い項目

a 「加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから」(+19.5ポイント)

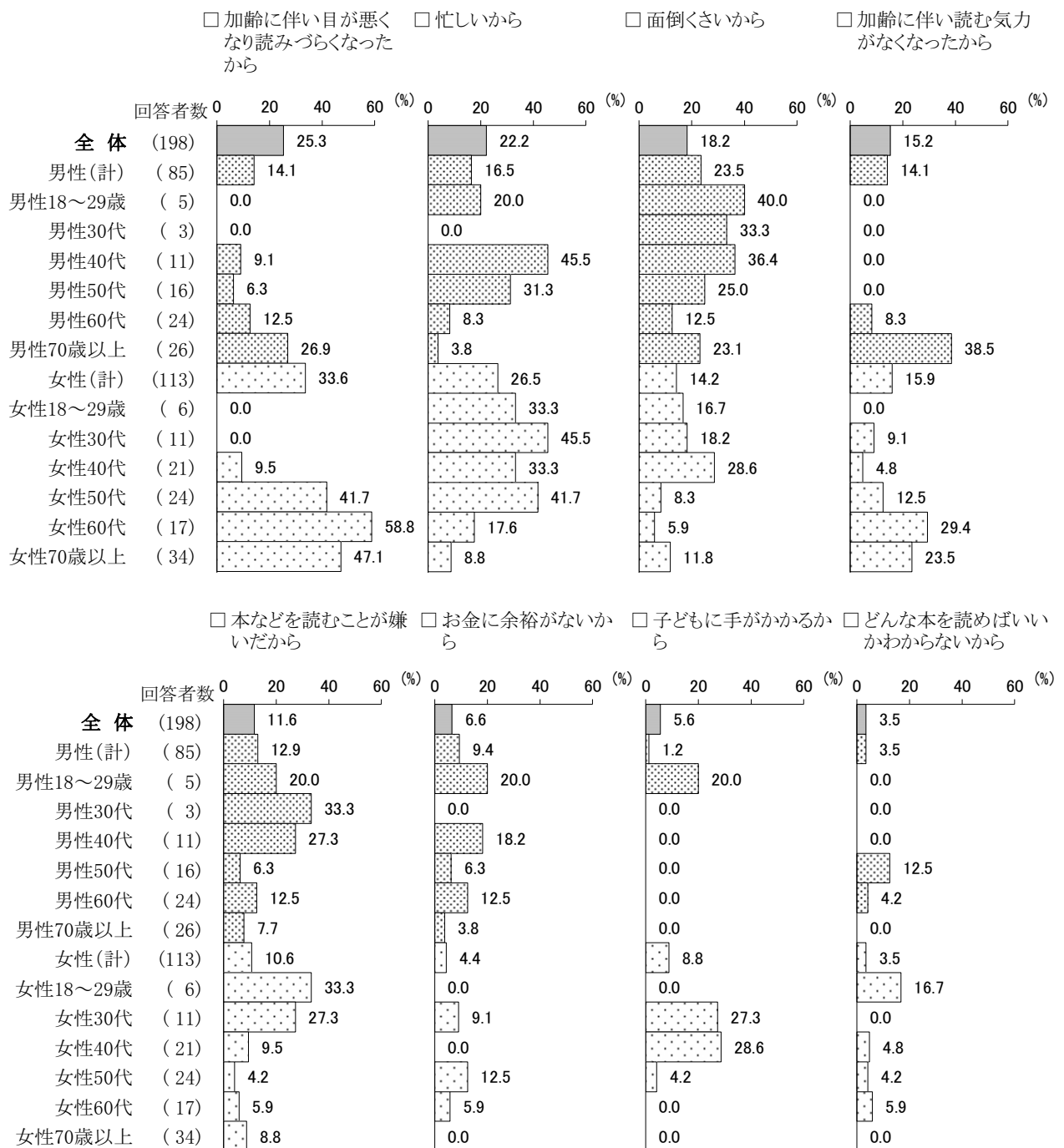
b 「忙しいから」(+10.0ポイント)

(イ) 性別で見ると男性の方が女性よりも高い項目

a 「面倒くさいから」(+9.3ポイント)

(ウ) 性・年代別にみると、いくつかの項目で目立った違いがみられるものの、大半の性・年代層でサンプル数が少ないことから、あくまで参考値としての掲載にとどめ、コメントは割愛する。

図6-9-2 性別、性・年代別／読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由／上位8項目



7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
 - (3) 『花のビュー坊プレート』の認知状況
 - (4) 治安が改善していることの認知
 - (5) 居住地域の治安状況
 - (6) 区内の治安が良いと感じる点
 - (7) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (9) 駐車時の鍵かけ状況
-

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

問30 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

■【知っている】が4割超、「知らない（初めて聞いた）」が5割台半ば

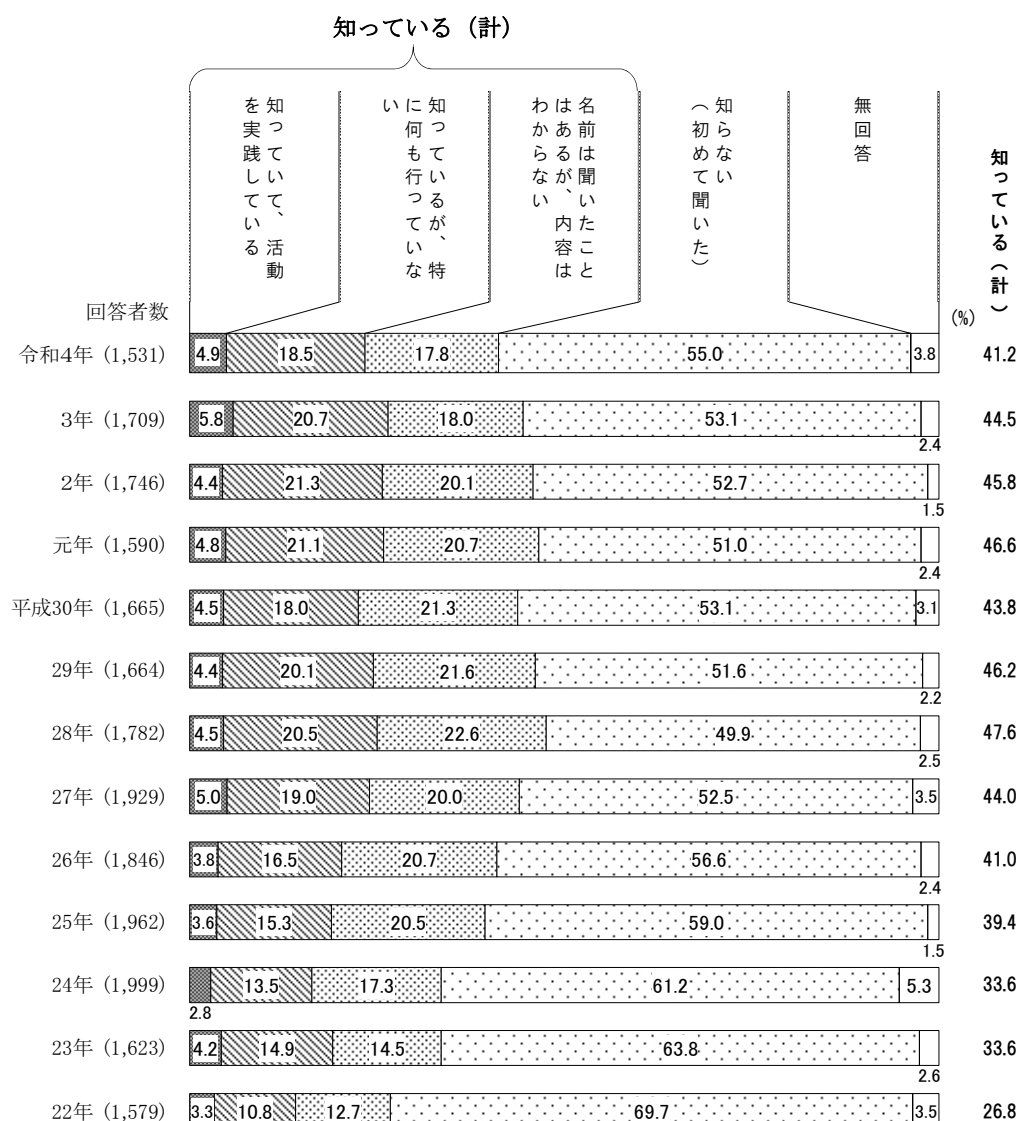
ア 単純集計・経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.9%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」（18.5%）と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（17.8%）を合わせた【知っている】は41.2%となっている。

(イ) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知らない（初めて聞いた）」は5割台半ばとなっている。

(ウ) 前回の令和3年調査との比較では、【知っている】が3.3ポイント減少した。

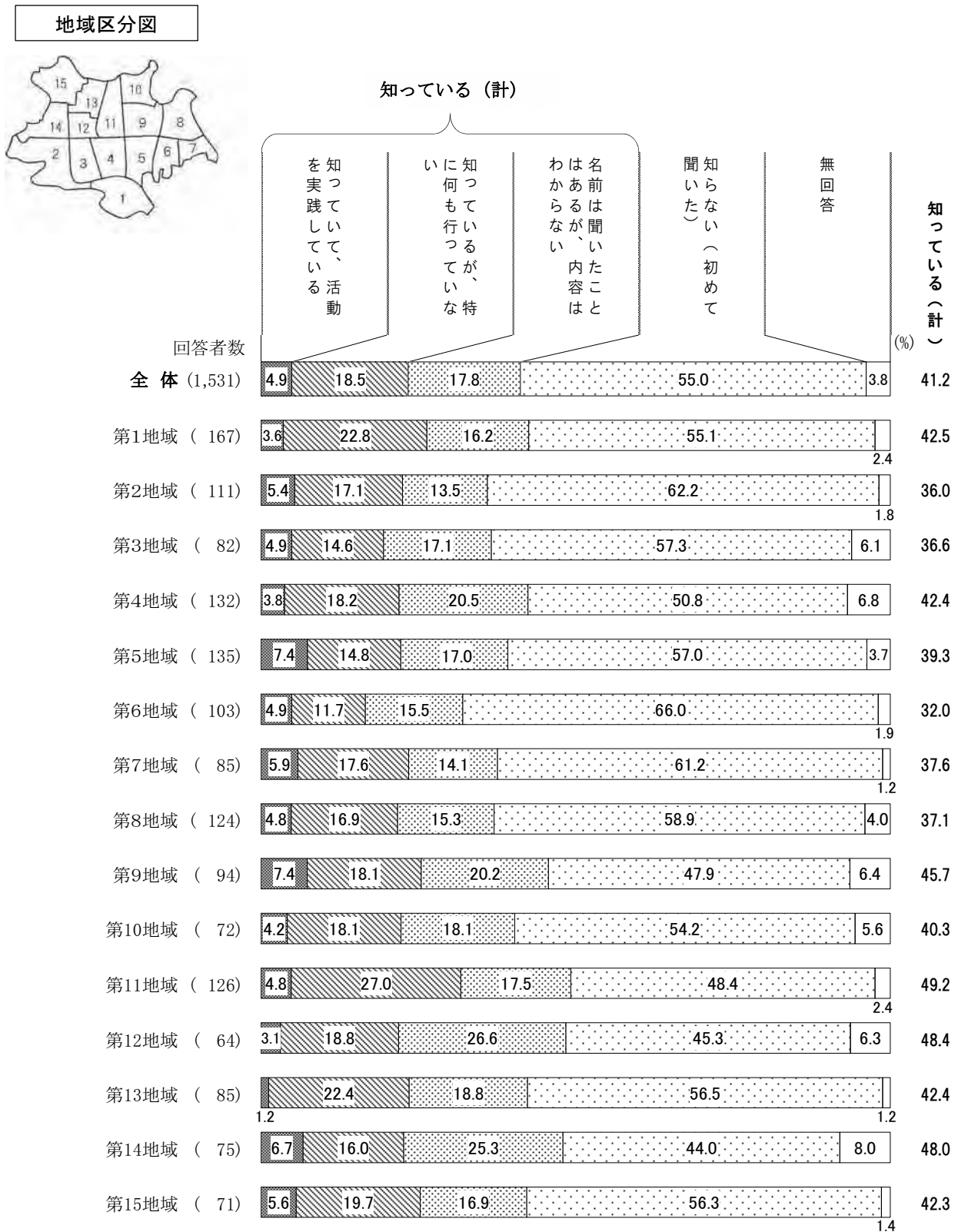
図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



イ クロス集計・地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

地域別でみると、【知っている】は、第11地域で49.2%と最も高く、次いで、第12地域(48.4%)、第14地域(48.0%)などとなっている。一方、第6地域で32.0%と最も低くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

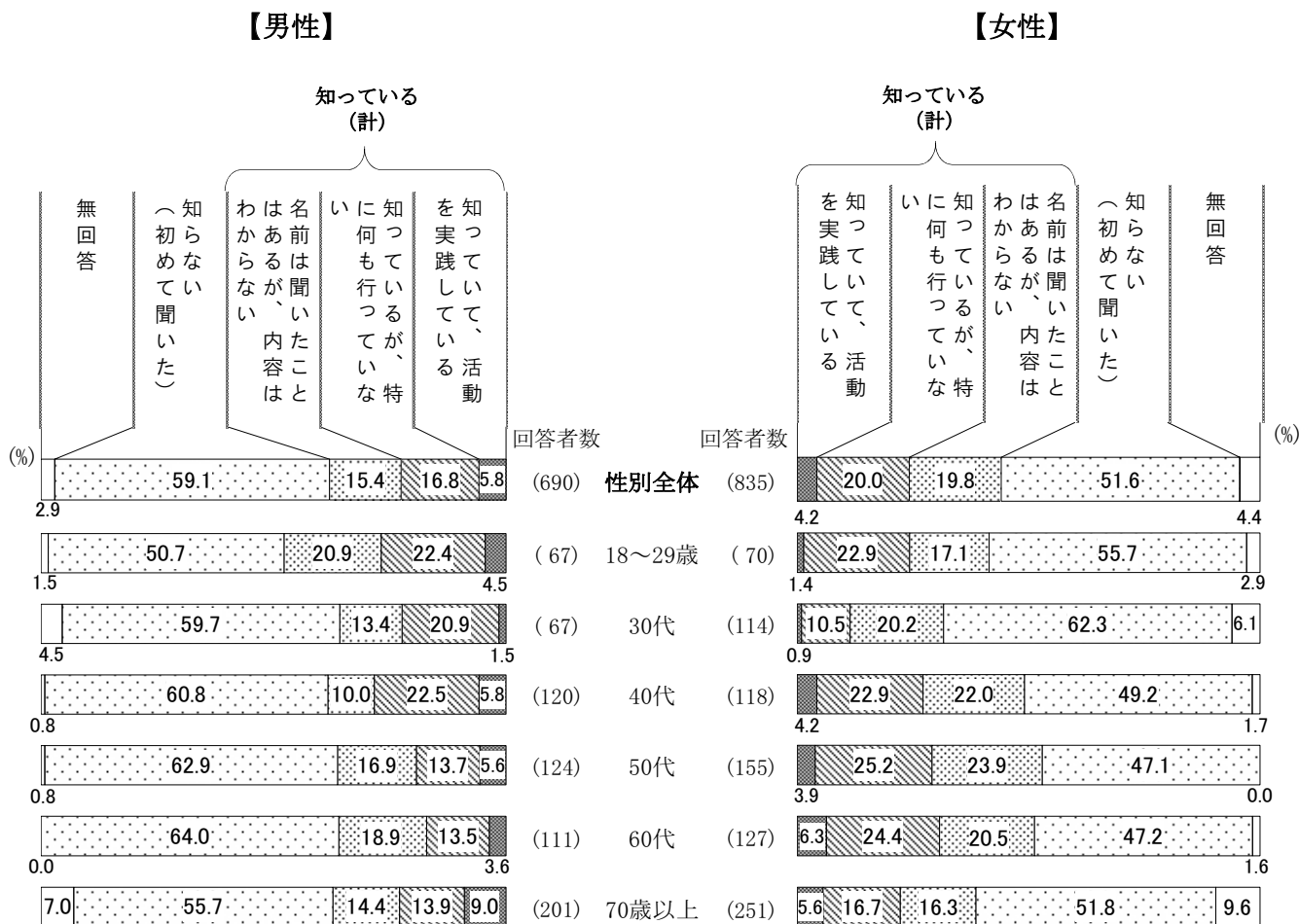


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 性別でみると、【知っている】は女性（44.0%）の方が男性（38.0%）より6.0ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【知っている】は女性の50代で52.9%と最も高く、次いで、女性の60代が51.2%で続いている。また、女性の30代が31.6%で最も低くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

問31 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

■「参加していない(今後も参加しない)」が6割台半ば、取り組みは「まちの清掃活動」が13.1%で最多

ア 単純集計・経年比較

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聞いたところ、上位は以下のとおりとなった。

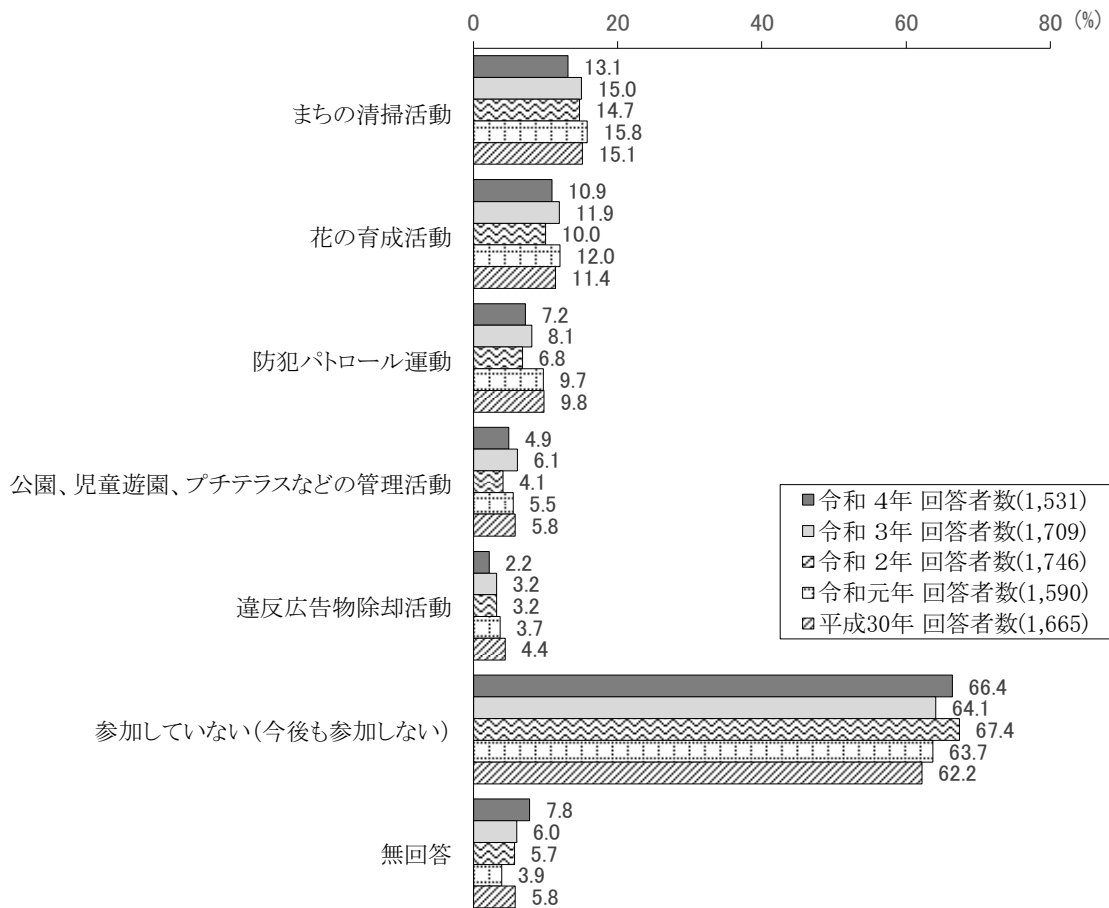
- ① 「まちの清掃活動」(13.1%)
- ② 「花の育成活動」(10.9%)
- ③ 「防犯パトロール運動」(7.2%)

(イ) 取り組みに「参加していない(今後も参加しない)」は66.4%となっている。

(ウ) 前回の令和3年調査との比較では、特に大きな違いはみられない。

図7-2-1 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



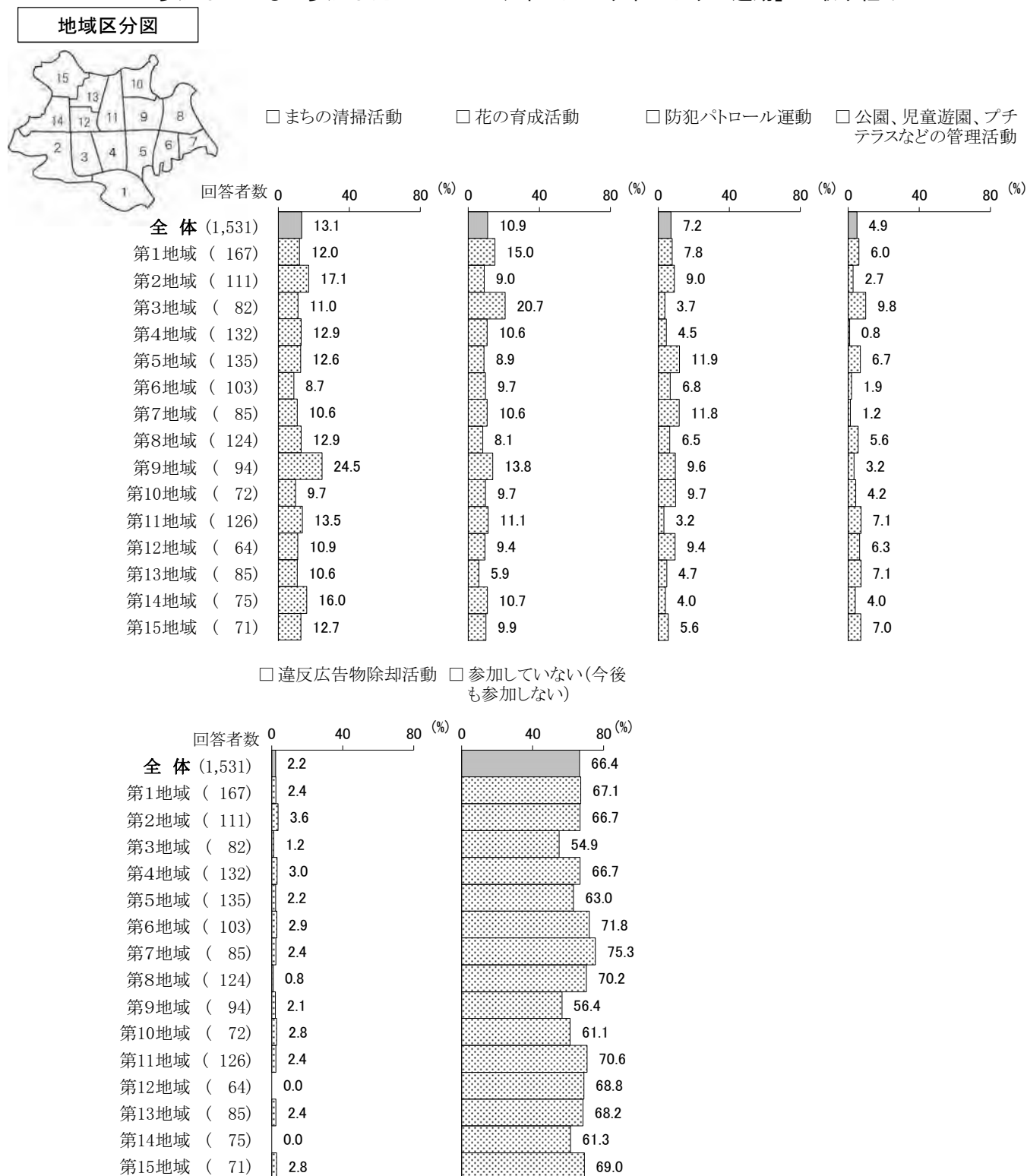
イ クロス集計・地域別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

地域別でみると、「まちの清掃活動」は第9地域で24.5%と最も高く、「花の育成活動」は第3地域で20.7%と最も高くなっている。また、「参加していない（今後も参加しない）」は、第7地域で75.3%と最も高く、一方、第3地域で54.9%と最も低くなっている。

図7-2-2 地域別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



ウ クロス集計・性別、性・年代別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

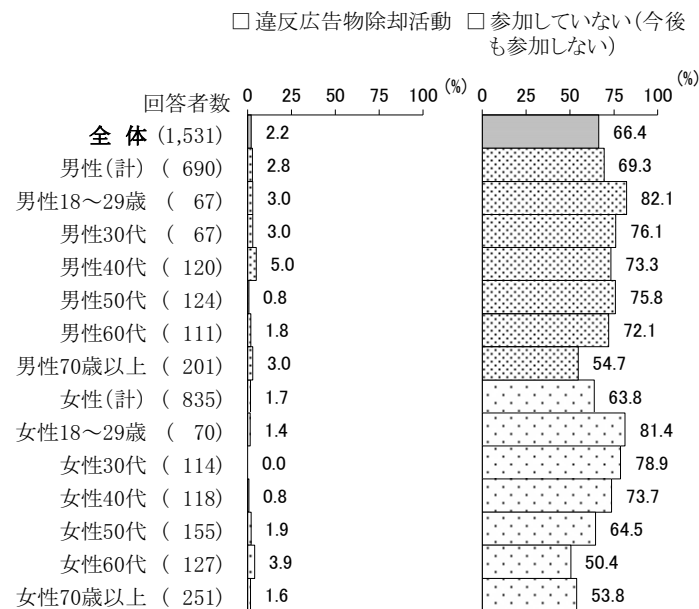
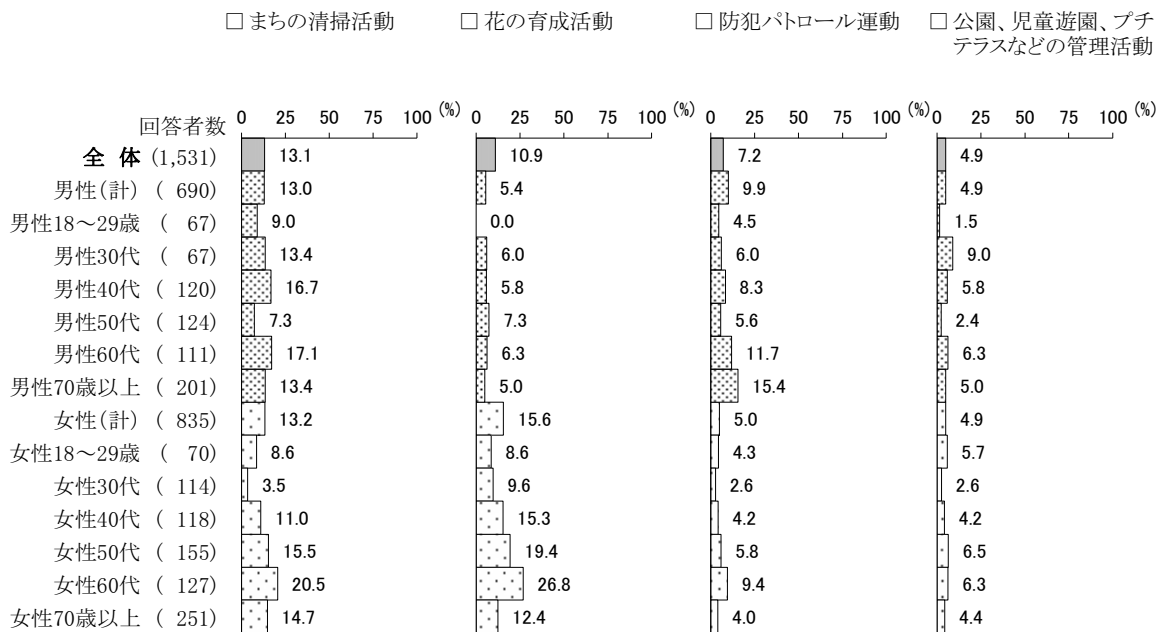
(ア) 性別で見ると、「花の育成活動」は女性(15.6%)の方が男性(5.4%)より10.2ポイント高く、逆に「防犯パトロール運動」は男性(9.9%)の方が女性(5.0%)より4.9ポイント高くなっている。

(イ)「参加していない(今後も参加しない)」を性別で見ると、男性(69.3%)の方が女性(63.8%)より5.5ポイント高くなっている。

(ウ) 性・年代別で見ると、「まちの清掃活動」と「花の育成活動」はともに女性の60代(20.5%・26.8%)で最も高く、「防犯パトロール運動」は男性の70歳以上で15.4%と最も高くなっている。一方、「参加していない(今後も参加しない)」は、男女ともにおおむね年代が下がるほど割合が高くなっており、男女ともに18～29歳(男性82.1%・女性81.4%)で8割強と最も高くなっている。

図7-2-3 性別、性・年代別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

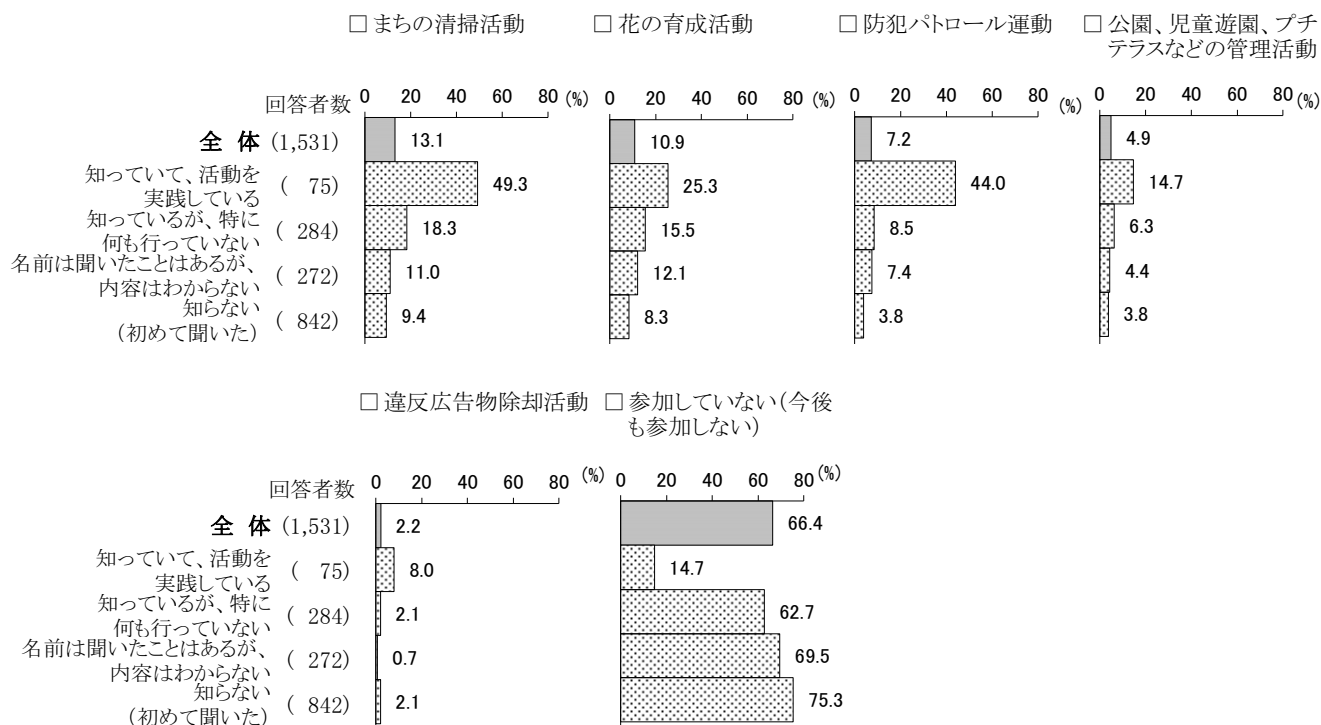


エ クロス集計・「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、認知・実践レベルが高くなるほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向が高くなっており、その傾向は〈知っている、活動を実践している〉層でとくに顕著で、「防犯パトロール運動」(44.0%)で36.8ポイント、「まちの清掃活動」(49.3%)で36.2ポイント、「花の育成活動」(25.3%)で14.4ポイント、「それぞれ全体に比べて高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



(3) 『花のビュー坊プレート』の認知状況

問32 あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』を見たことがありますか（○は1つだけ）。

※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』をさして、事業をアピールしています。

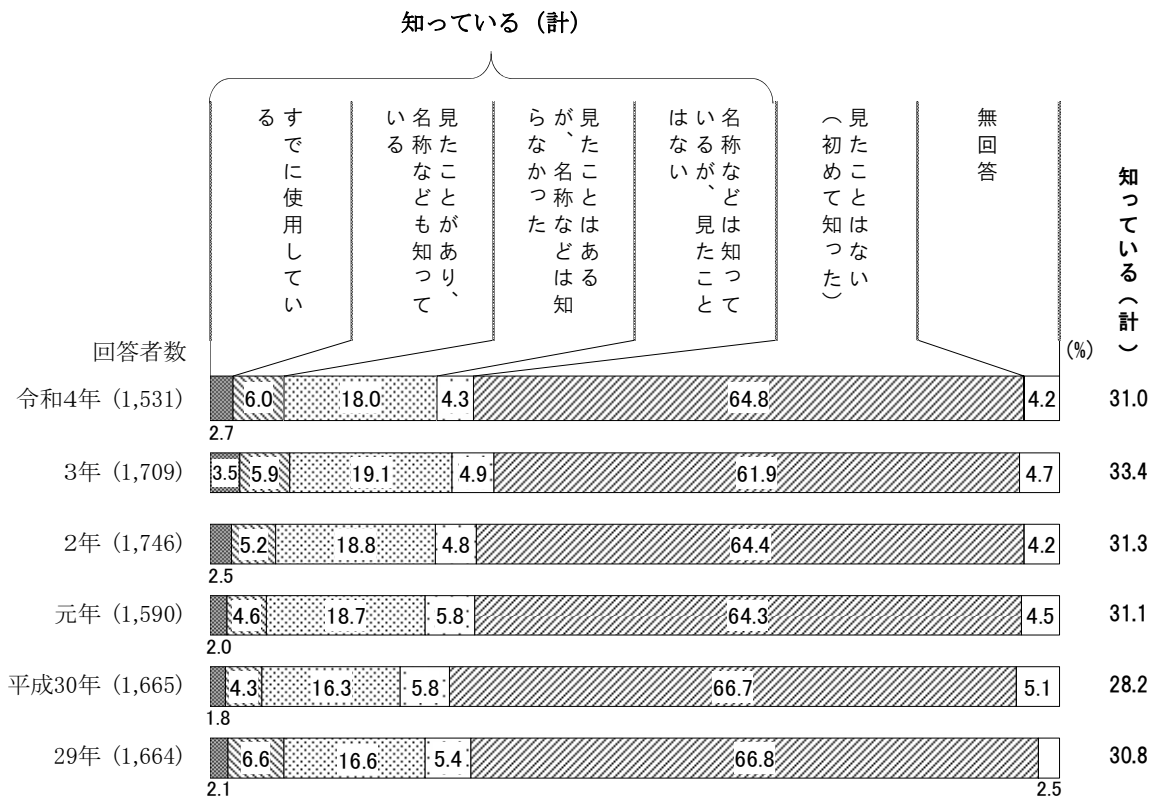
■ 「見たことはない（初めて知った）」が6割台半ばと変わらず最高

ア 単純集計・経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況

(ア) 『花のビュー坊プレート』を「すでに使用している」は2.7%で、これに「見たことがあります、名称なども知っている」(6.0%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(18.0%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(4.3%)を合わせた【知っている】は31.0%となっている。一方、「見たことはない（初めて知った）」は64.8%となっている。

(イ) 経年でみると、【知っている】は前回調査(33.4%)から2.4ポイントの微減となっている。

図7-3-1 経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況

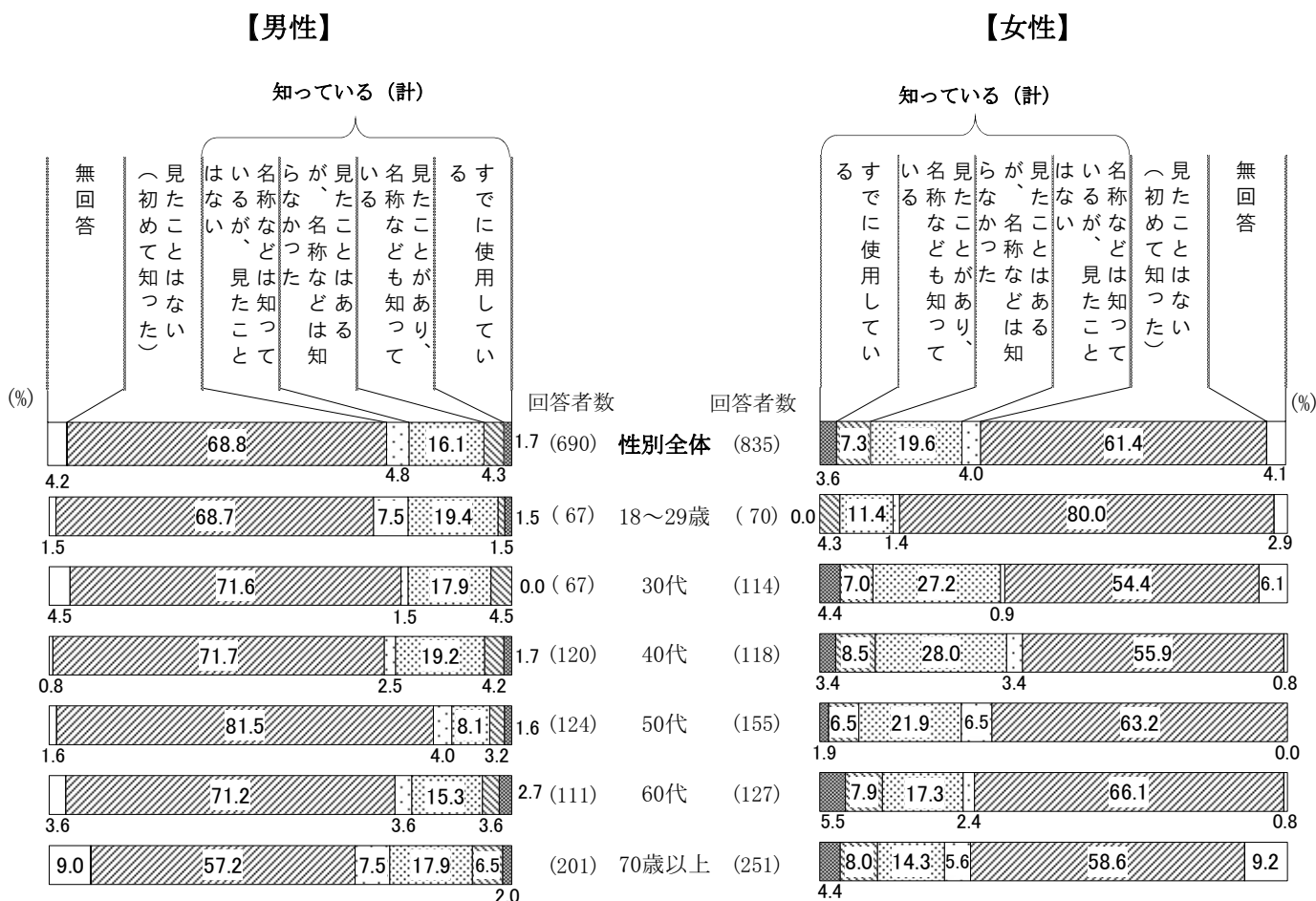


イ クロス集計・性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況

(ア) 『花のビュー坊プレート』の認知状況を性別で見ると、【知っている】は女性（34.5%）の方が男性（27.0%）より7.5ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は、女性の40代で43.2%と最も高く、次いで、女性の30代で39.5%となっている。一方、男性の50代で16.9%と最も低くなっている。

図7-3-2 性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況



(4) 治安が改善していることの認知

問33 あなたは、現在の足立区内の刑法犯認知件数(※)が、ピークであった平成13年と比較して1万件以上、減少していることを知っていますか(○は1つだけ)。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

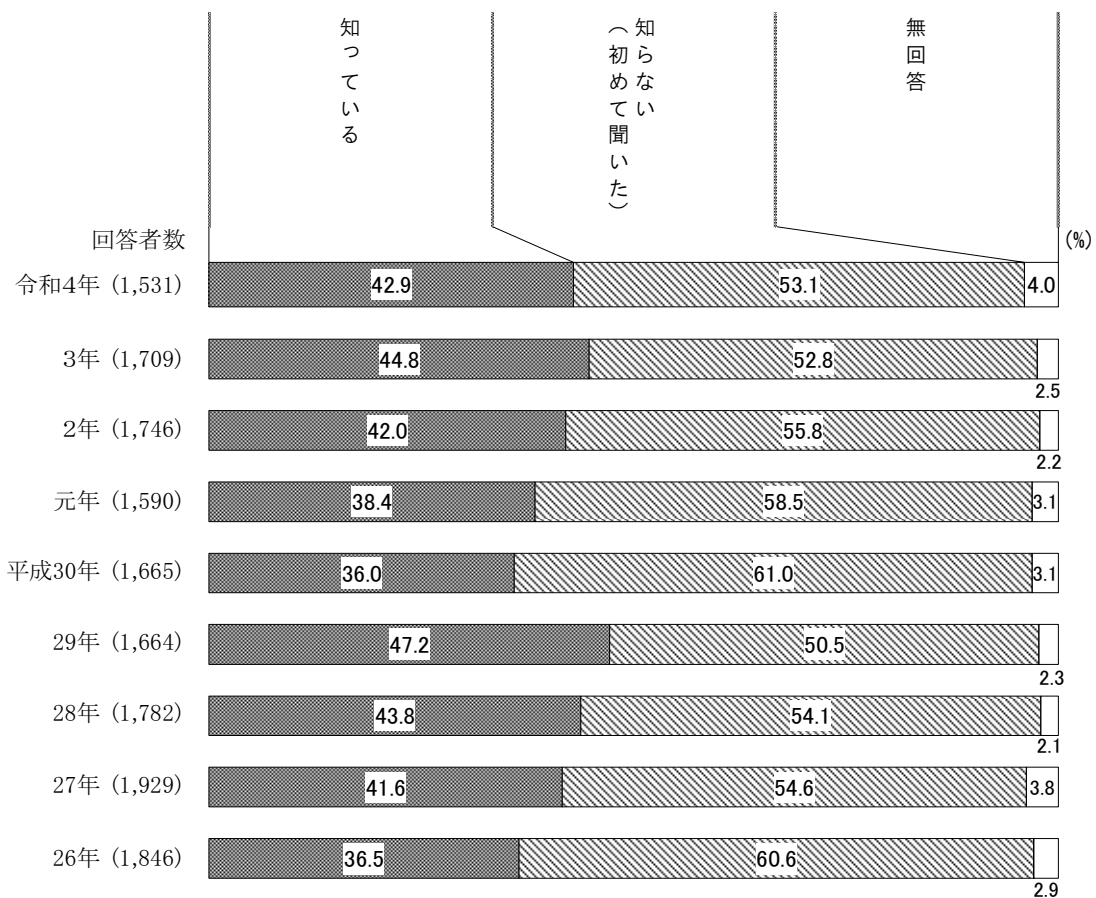
■ 「知っている」が4割強で、「知らない(初めて聞いた)」が5割台半ば近く

ア 単純集計・経年比較/治安が改善していることの認知

(ア) 足立区内の刑法犯認知件数がピークであった平成13年と比較して1万件以上減少していることについて、「知っている」は42.9%で、「知らない(初めて聞いた)」は53.1%となっている。

(イ) 経年でみると、「知っている」は設問文が大きく変わった平成30年以降は増加を続けていたが、今回調査で微減となった。

図7-4-1 経年比較/治安が改善していることの認知



※ 平成29年度までの設問文は、「あなたは、平成○年の足立区内の刑法犯認知件数(※)が減少し、治安が改善していることを知っていますか。

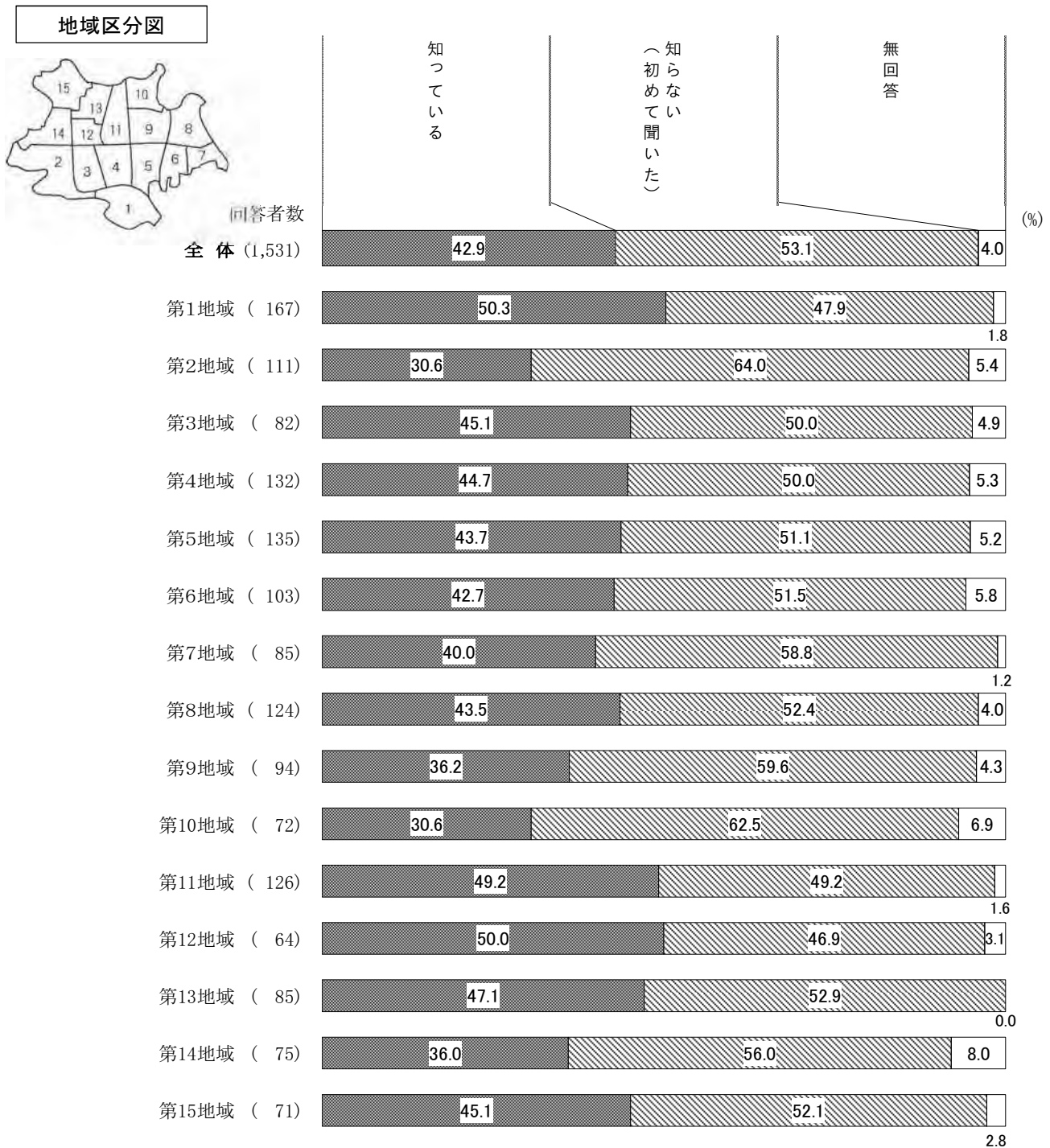
(※)は質問文に続き「警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。」の説明文あり。

※ 平成30年度と令和元年度の設問文は、「あなたは、足立区内の刑法犯認知件数(※)がピーク時から1万件以上、減少していることをご存知ですか。」で聴取。なお、(※)の説明文は今年度と同じで変更なし。

イ クロス集計・地域別／治安が改善していることの認知

地域別でみると、「知っている」は第1地域で50.3%と最も高く、次いで第12地域(50.0%)が5割で続いた。一方、「知らない(初めて聞いた)」は第2地域(64.0%)と第10地域(62.5%)の2地域で6割台と高くなっている。

図7-4-2 地域別／治安が改善していることの認知

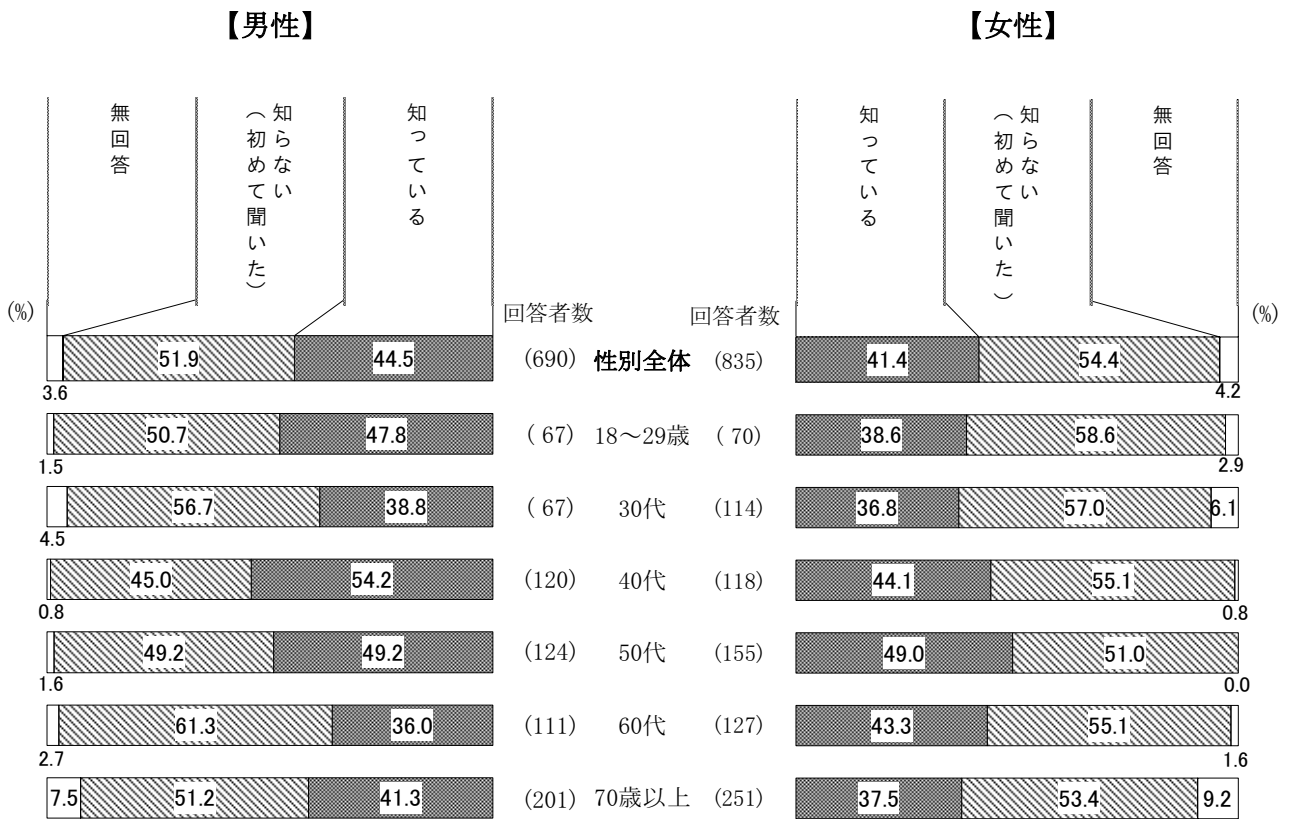


ウ クロス集計・性別、性・年代別／治安が改善していることの認知

(ア) 性別で見ると、「知っている」は、男性（44.5%）の方が女性（41.4%）より3.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「知っている」は、男性の40代が54.2%で最も高く、次いで男性の50代（49.2%）と女性の50代（49.0%）が約5割で続いている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は男性の60代で6割強と最も高くなっている。

図7-4-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



（5）居住地域の治安状況

問34 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか
（○は1つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

■ 【良い】は6割台半ばで最高値を更新し、【悪い】は平成23年調査開始以降で初めて2割を下回る

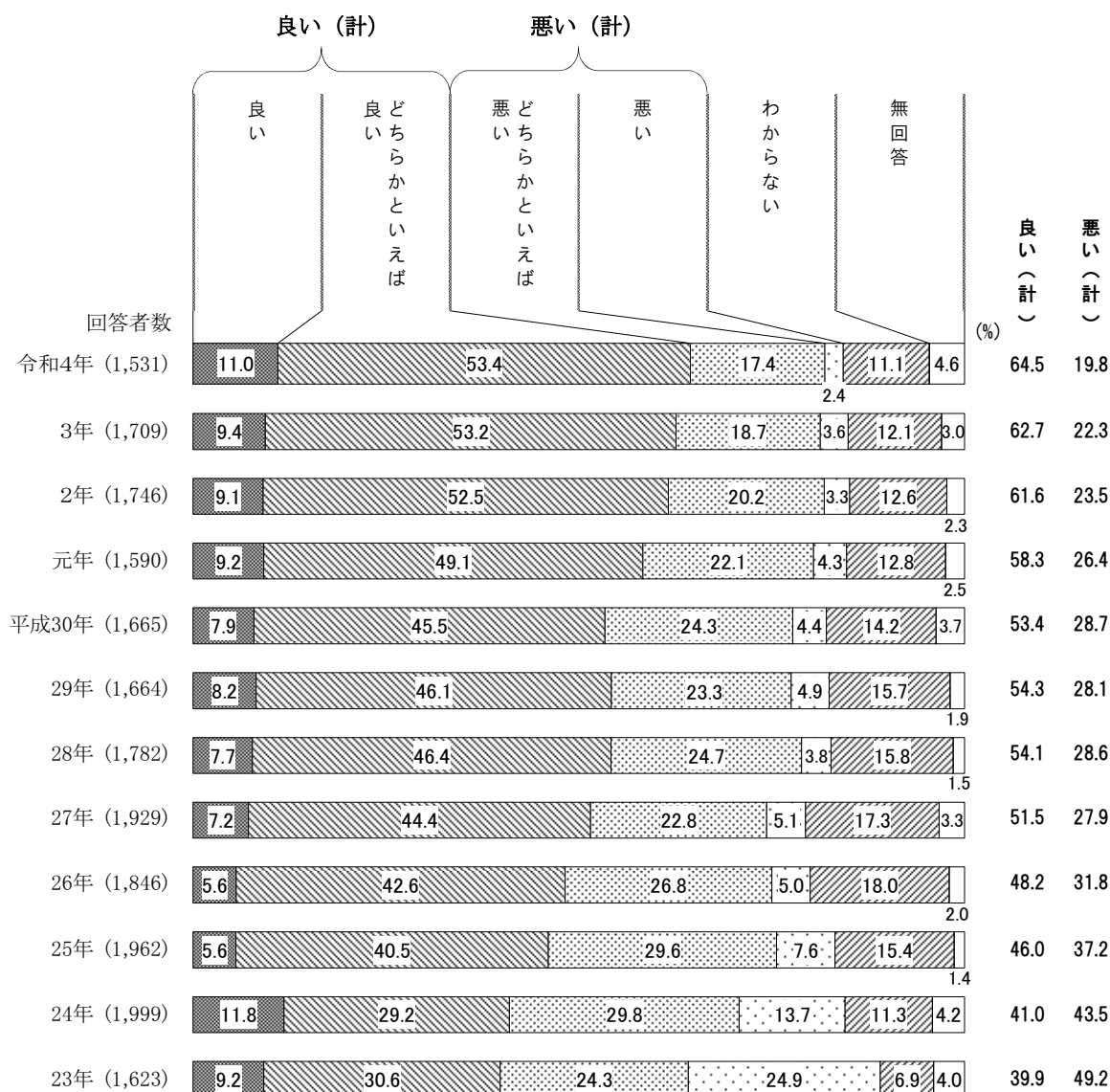
ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安状況

（ア）住んでいる地域の治安について、「良い」が11.0%で、これに「どちらかといえば良い」（53.4%）を合わせた【良い】は6割台半ばとなっている。

（イ）住んでいる地域の治安について、「どちらかといえば悪い」（17.4%）と「悪い」（2.4%）を合わせた【悪い】は2割弱となっている。

（ウ）経年で見ると、【良い】は、前回の令和3年調査の比較では大きな違いはないものの、平成23年調査以降漸増を続けている。一方、【悪い】（19.8%）は平成23年調査以降初めて2割を下回った。

図7-5-1 経年比較／居住地域の治安状況



イ クロス集計・地域別／居住地域の治安状況

地域別でみると、【良い】は第1地域で76.6%と最も高く、次いで第7地域（74.1%）が続いている。一方、【悪い】は第13地域で32.9%と最も高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安状況

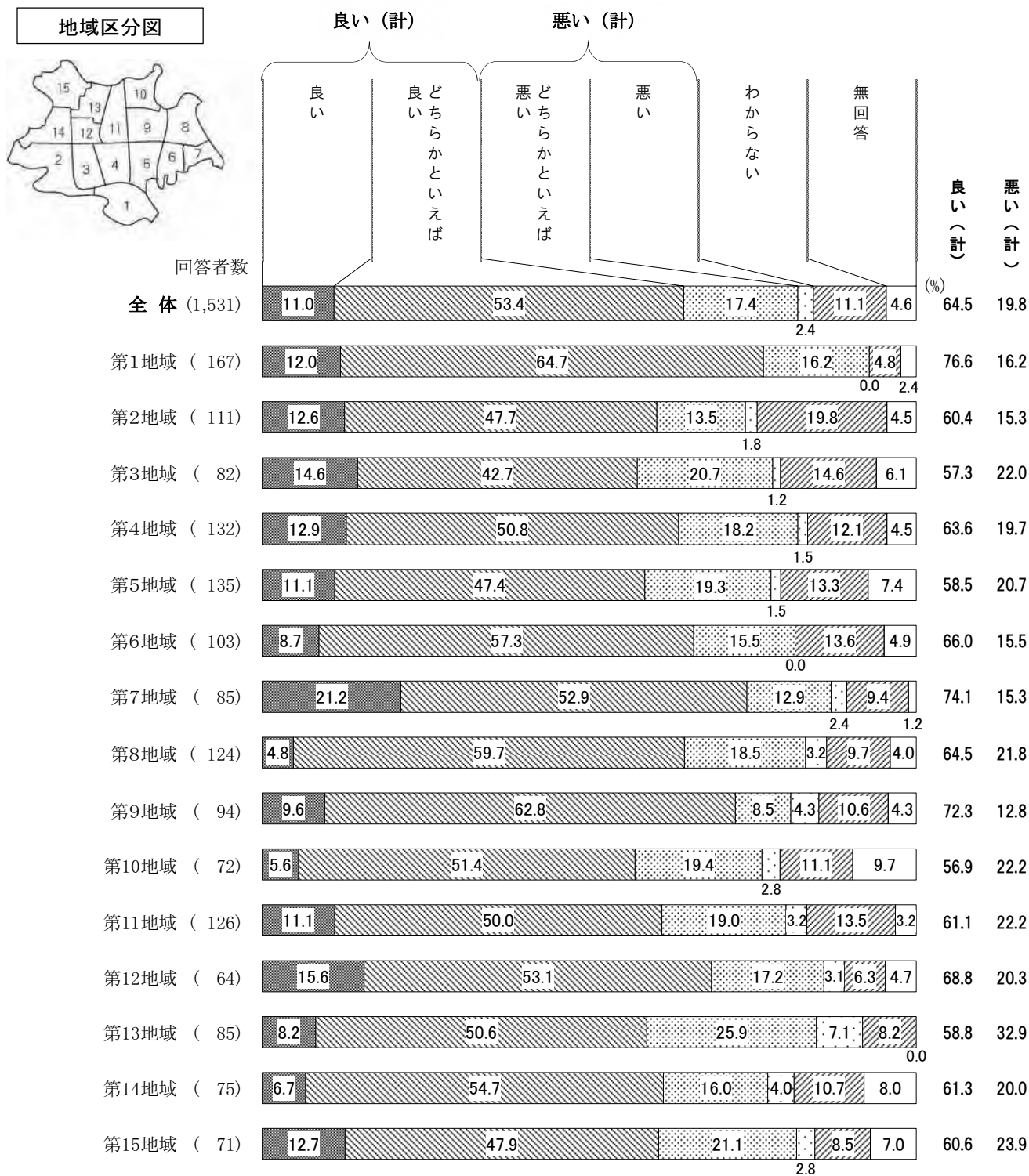
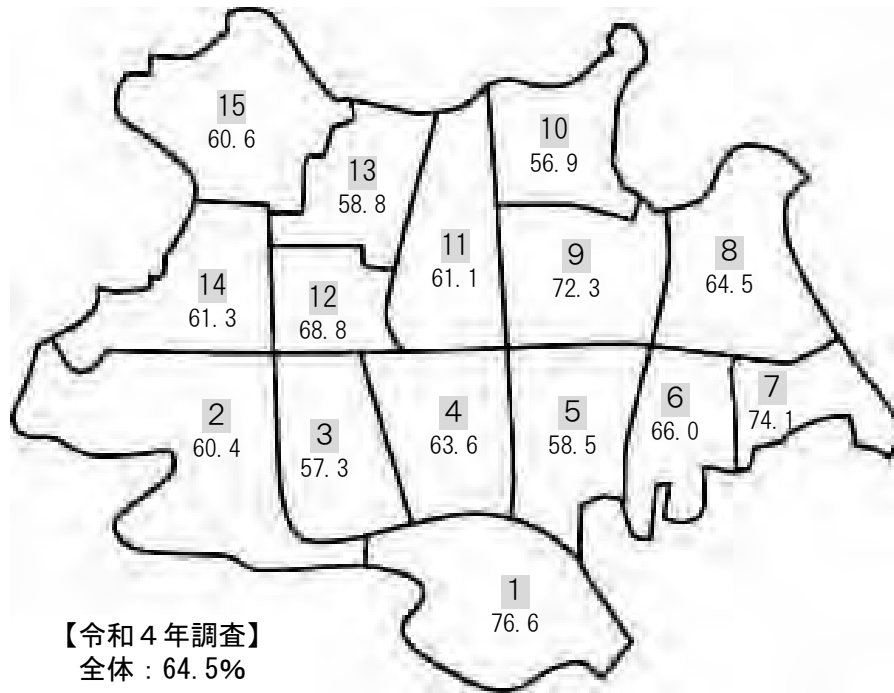
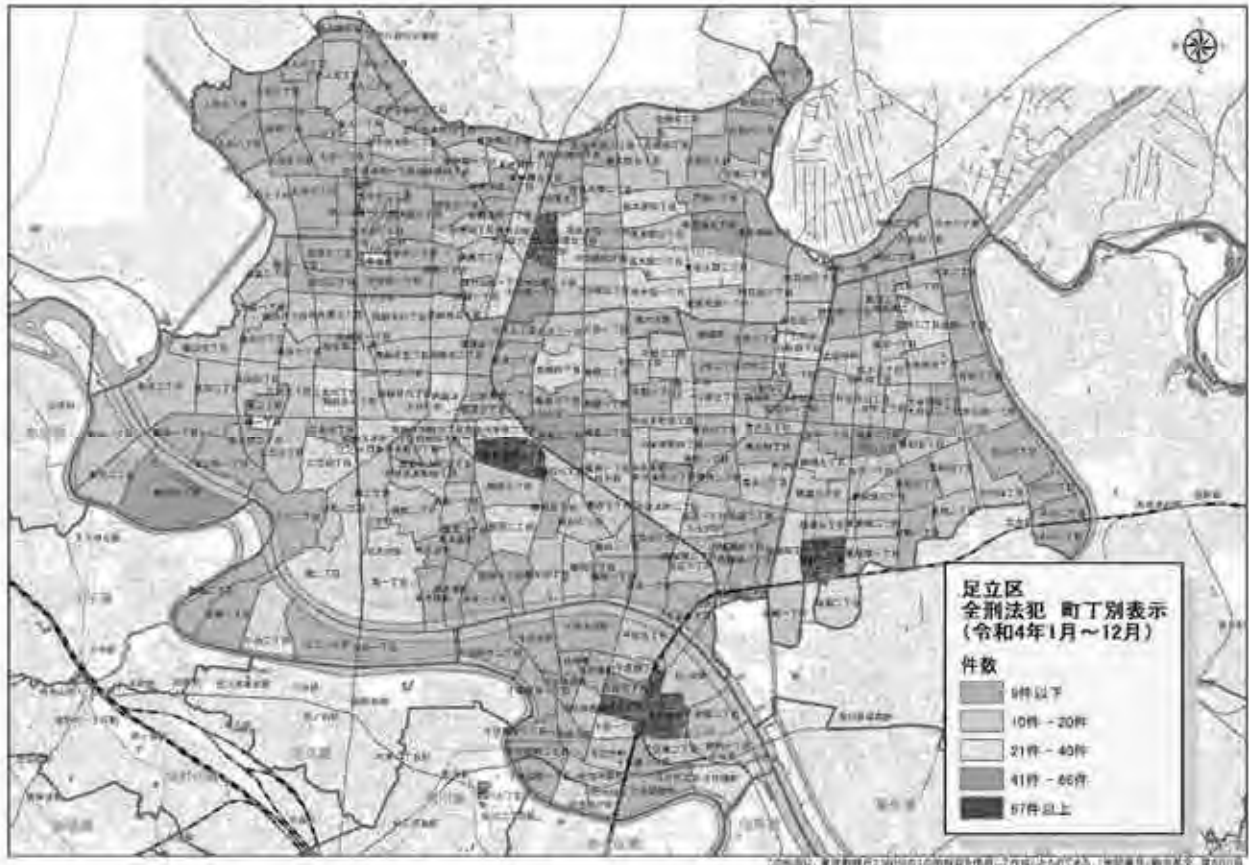


図7-5-3 地域区分図／居住地域の治安状況
 （上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合％）



【参考資料】区内全刑法犯認知件数（令和4年1月～12月）

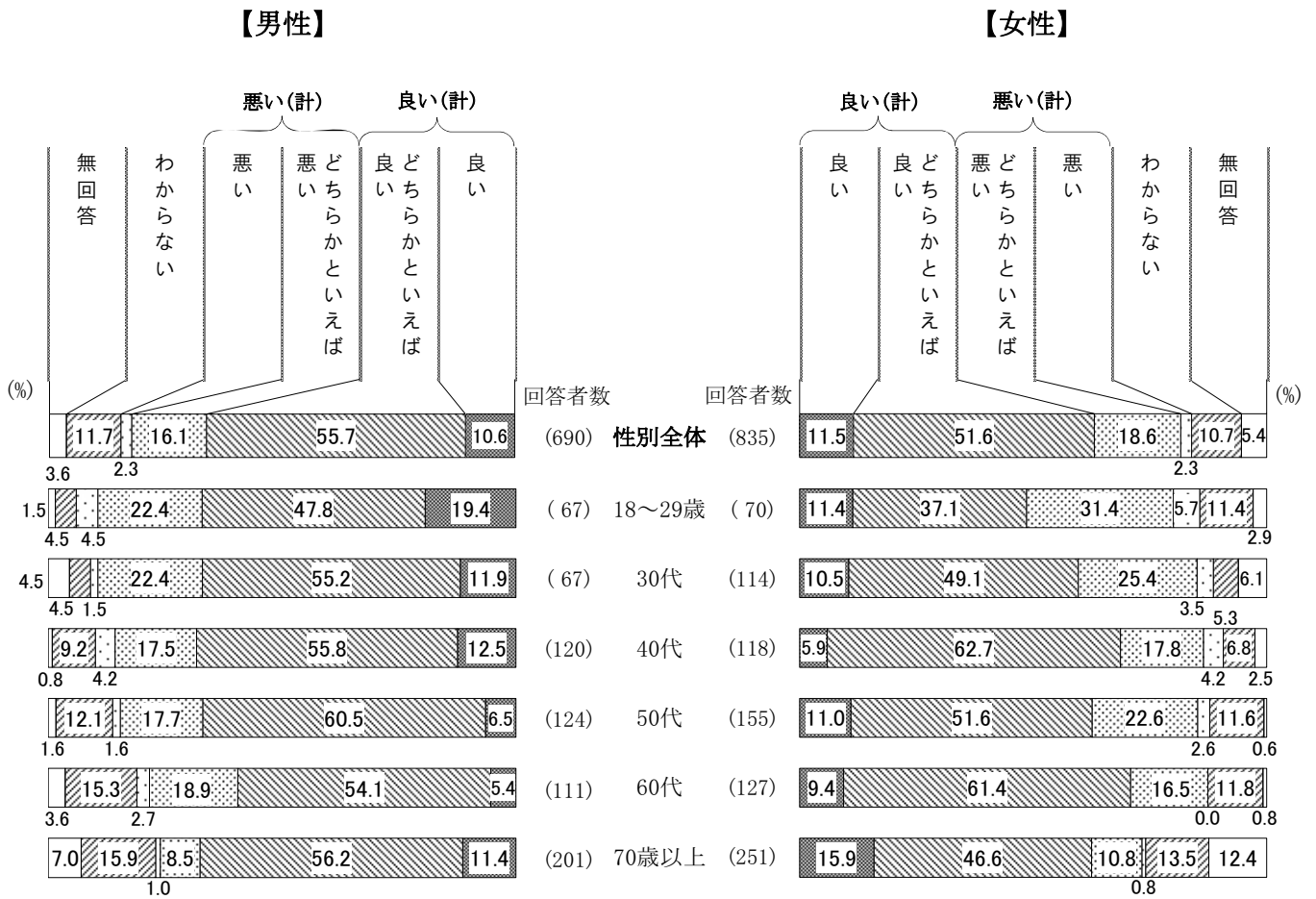


ウ クロス集計・性別、性・年代別／居住地域の治安状況

(ア) 性別で見ると、【良い】は男性（66.2%）の方が女性（63.1%）より3.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【良い】は、女性の60代で70.9%と最も高くなっている。一方、【悪い】は女性の18～29歳で37.1%と最も高くなっている。

図7-5-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



(6) 区内の治安が良いと感じる点

問34で「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とお答えの方に

問34-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。

■ “身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから” が4割台半ばと最も高いものの漸減傾向

ア 単純集計・経年比較／区内の治安が良いと感じる点

(ア) 居住地域の治安を【良い】と評価した人に聴いた理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」(46.6%)
- ② 「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(32.6%)
- ③ 「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」(24.8%)

(イ) 経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は前回調査(45.9%)から微増したものの、平成25年調査から漸減傾向が続いており、「テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生ニュースが少ないから」は令和2年調査から減少が続いている。一方、「安全・安心パトロールカー(青パト車)など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は令和元年調査(14.3%)から増加を続け9.0ポイントの増加となっている。

図7-6-1-① 経年比較／区内の治安が良いと感じる点

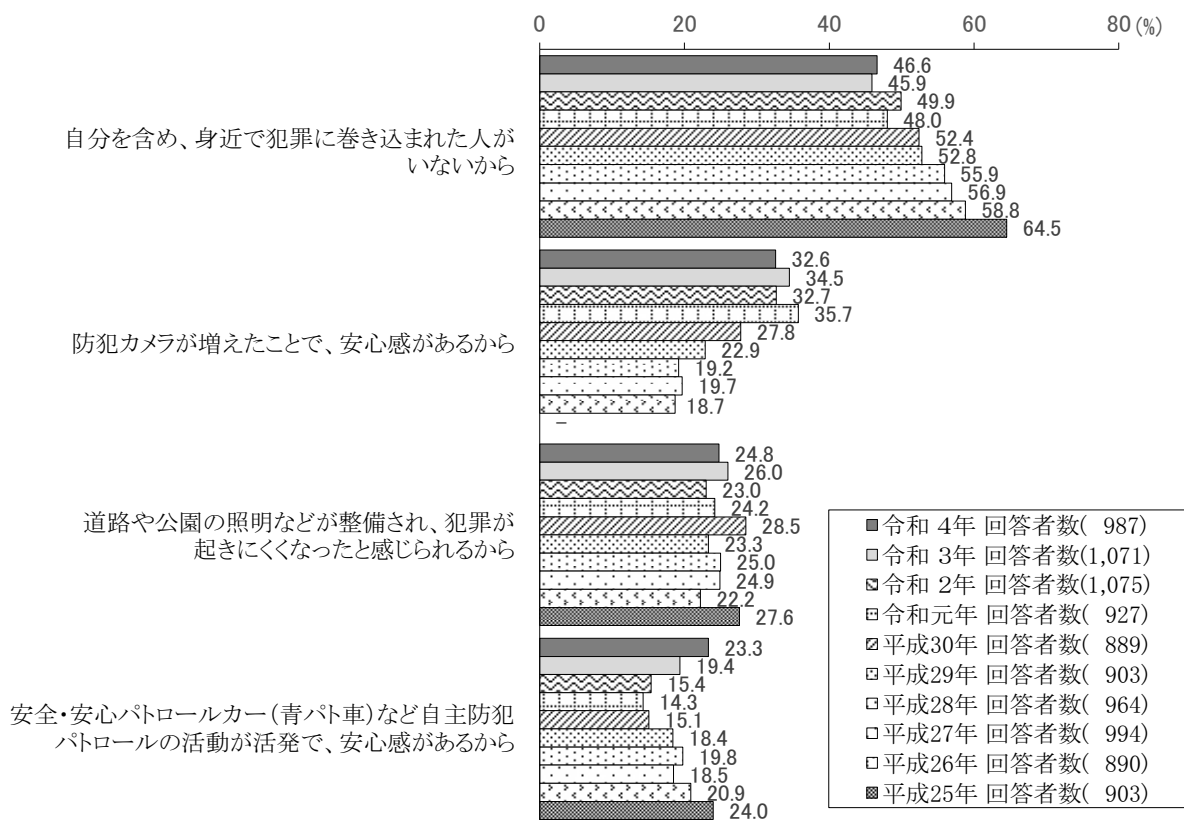
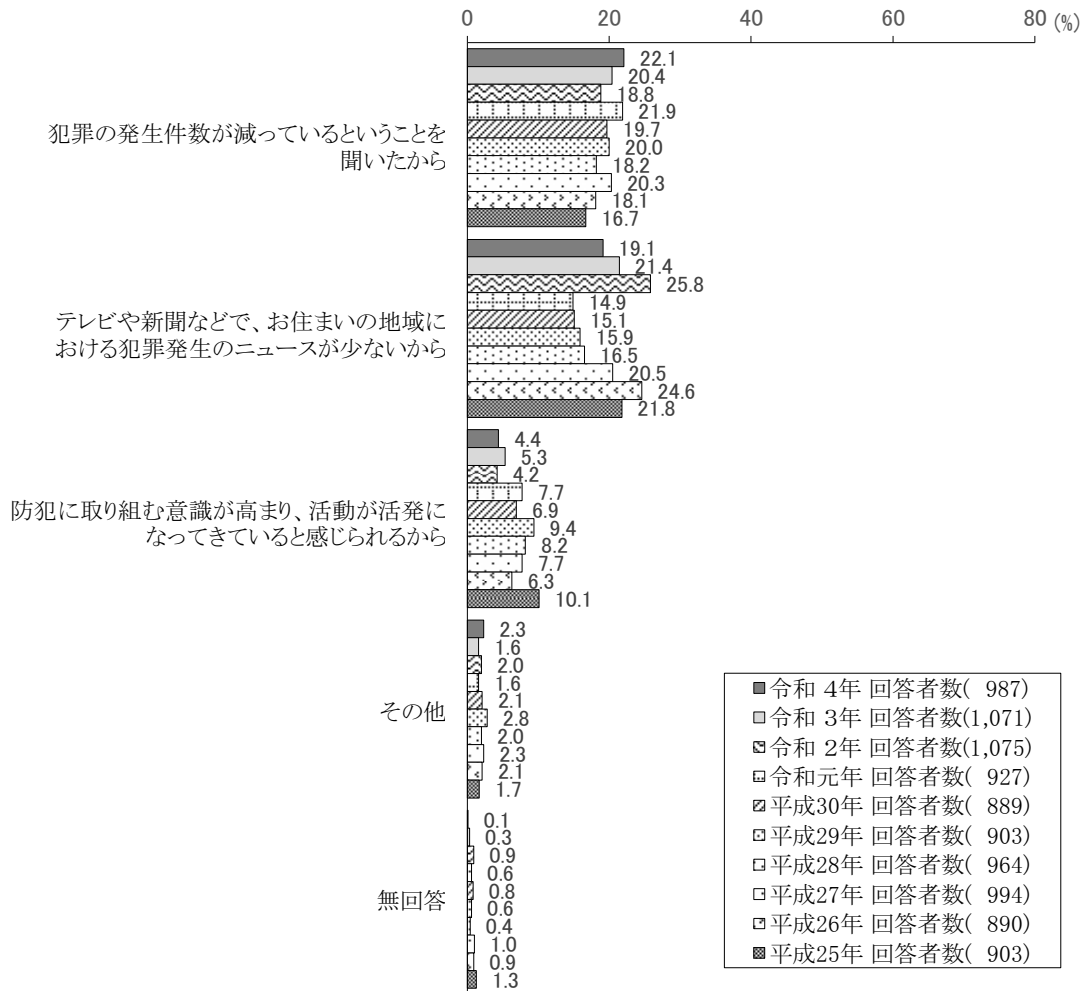


図7-6-1-② 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



- ※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。
- ※「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は、令和元年度までは「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」。
- ※「防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから」は、令和元年度までは「犯罪に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」、平成25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。
- ※「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は、令和3年度までは「青パト車など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」。

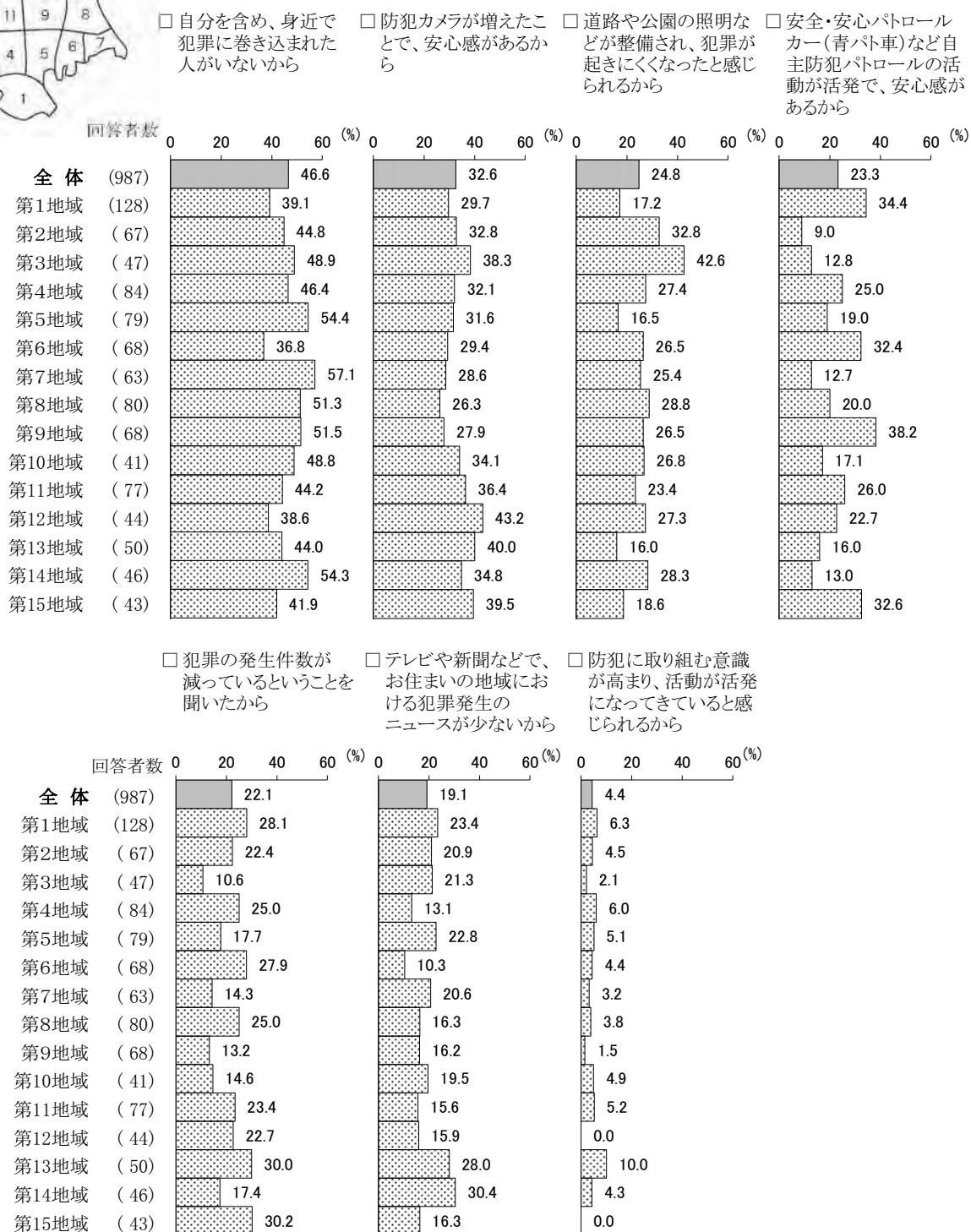
イ クロス集計・地域別／区内の治安が良いと感じる点

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第7地域で57.1%と最も高くなっている。また、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第12地域（43.2%）で、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は第3地域（42.6%）で、「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は第9地域（38.2%）でそれぞれ最も高くなっている。

地域区分図



図7-6-2 地域別／区内の治安が良いと感じる点



(7) 区内の治安が悪いと感じる点

問34で「3 どちらかといえば悪い」または「4 悪い」とお答えの方に
 問34-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（○は2つまで）。

■ “生活に身近な犯罪が多発していると聞いた” が4割台半ば近くで1位

ア 単純集計・経年比較／区内の治安が悪いと感じる点

(ア) 居住地域の治安が【悪い】と評価した人に聴いた理由の上位は以下のとおりとなっている。

- ① 「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」 (43.6%)
 - ② 「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」 (30.0%)
 - ③ 「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」 (27.1%)
- (イ) 経年でみると、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」は前回調査から3.5ポイント増加している。一方、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は前回調査から5.4ポイント減少し、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」も前回調査から3.5ポイント減少している。

図7-7-1-① 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点

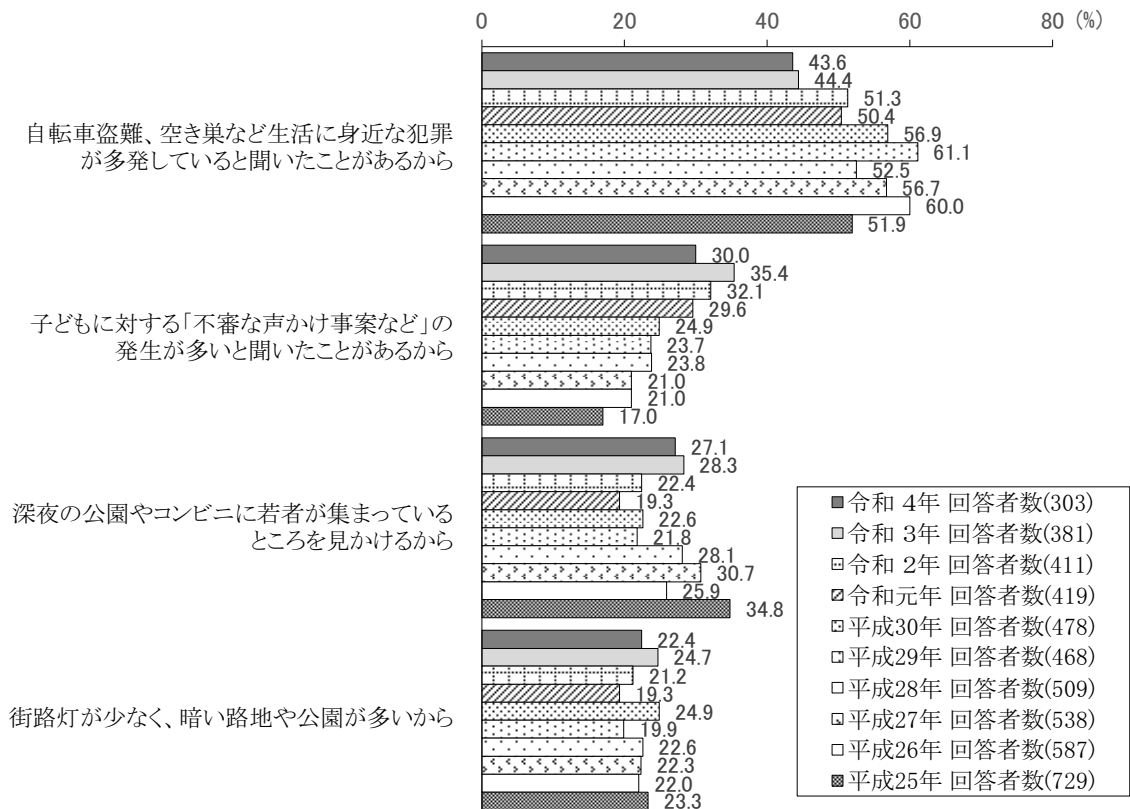
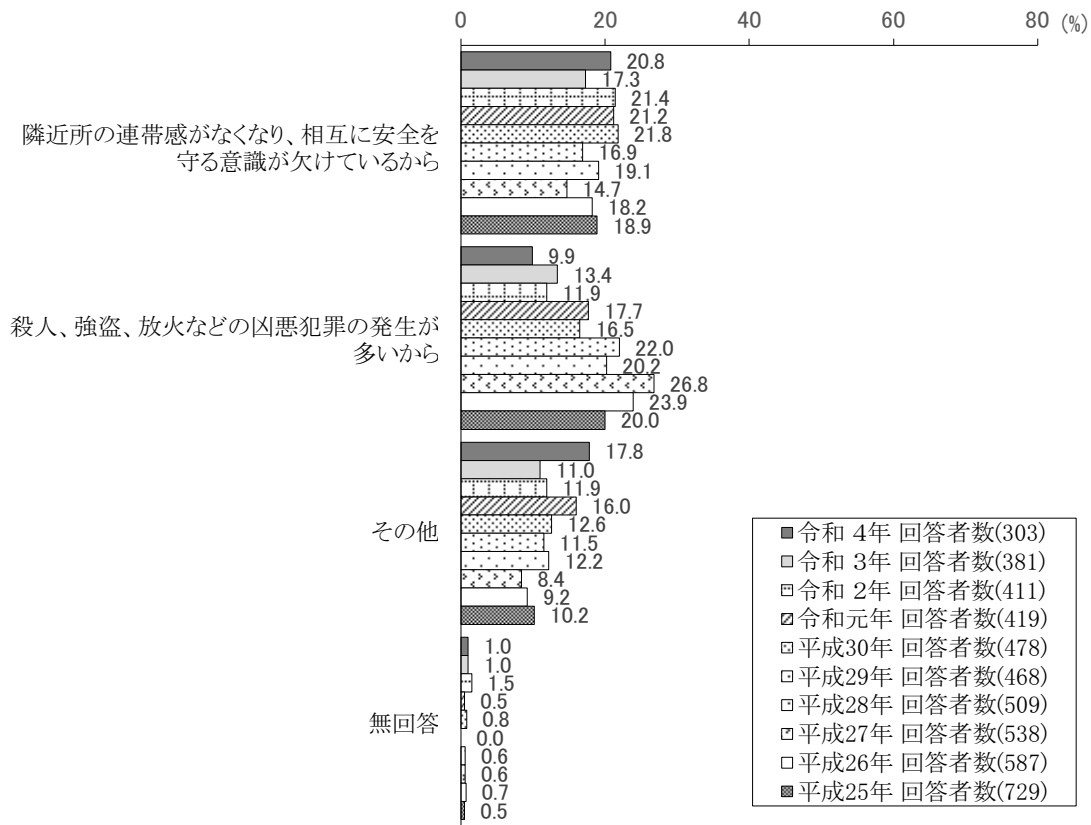


図7-7-1-② 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、平成25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。

※「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、平成25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

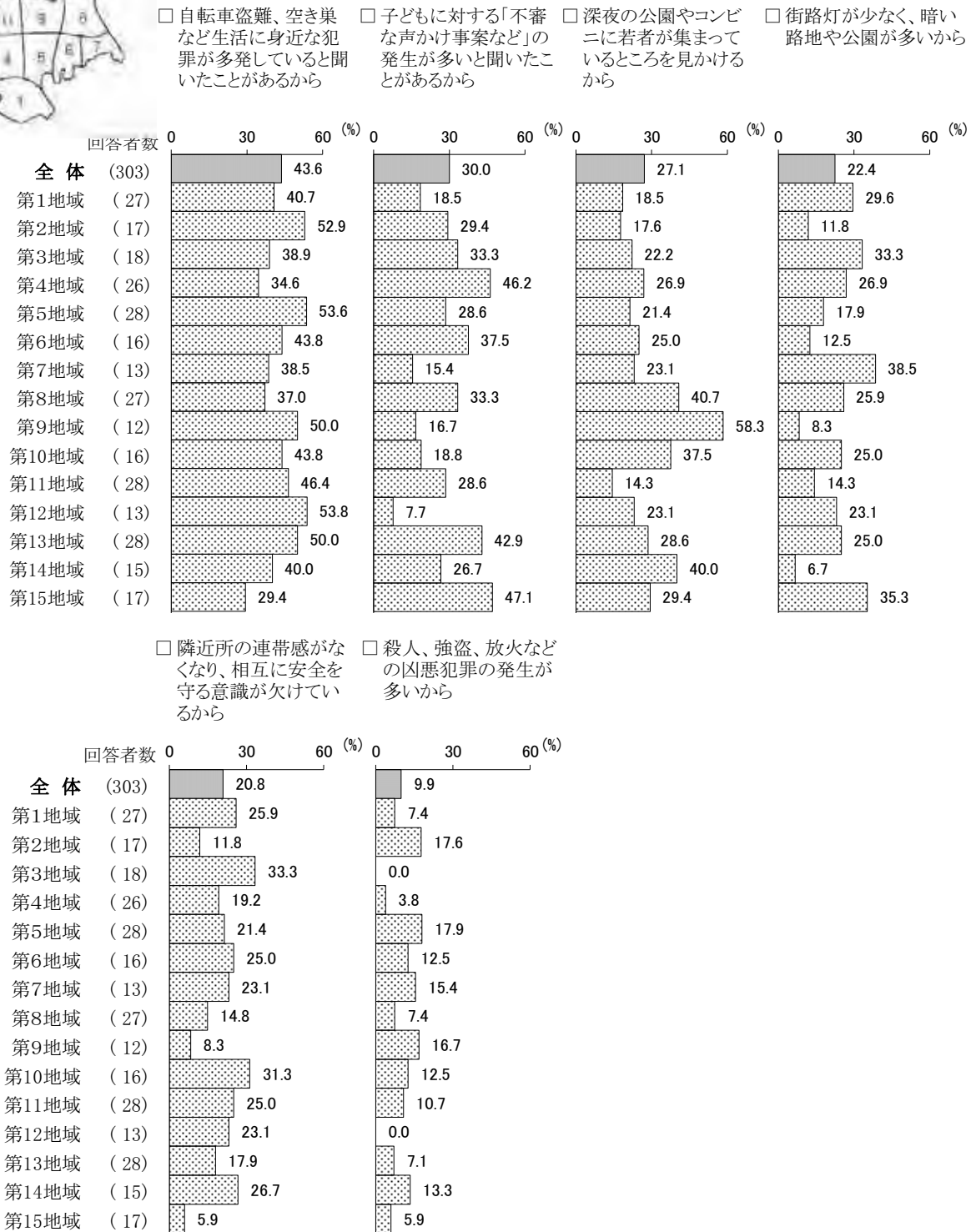
イ クロス集計・地域別／区内の治安が悪いと感じる点

地域別でみると、多くの地域で回答者数が少ないことから、参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は第5地域、第12地域で高くなっている。「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は第4地域、第15地域で高くなっている。また、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は第9地域で高くなっている。

地域区分図



図7-7-2 地域別／区内の治安が悪いと感じる点



ウ クロス集計・性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点

(ア) 性別でみると男性の方が女性よりも高い項目

a 「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」

(+12.8ポイント)

b 「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」

(+7.0ポイント)

(イ) 性別でみると女性の方が男性よりも高い項目

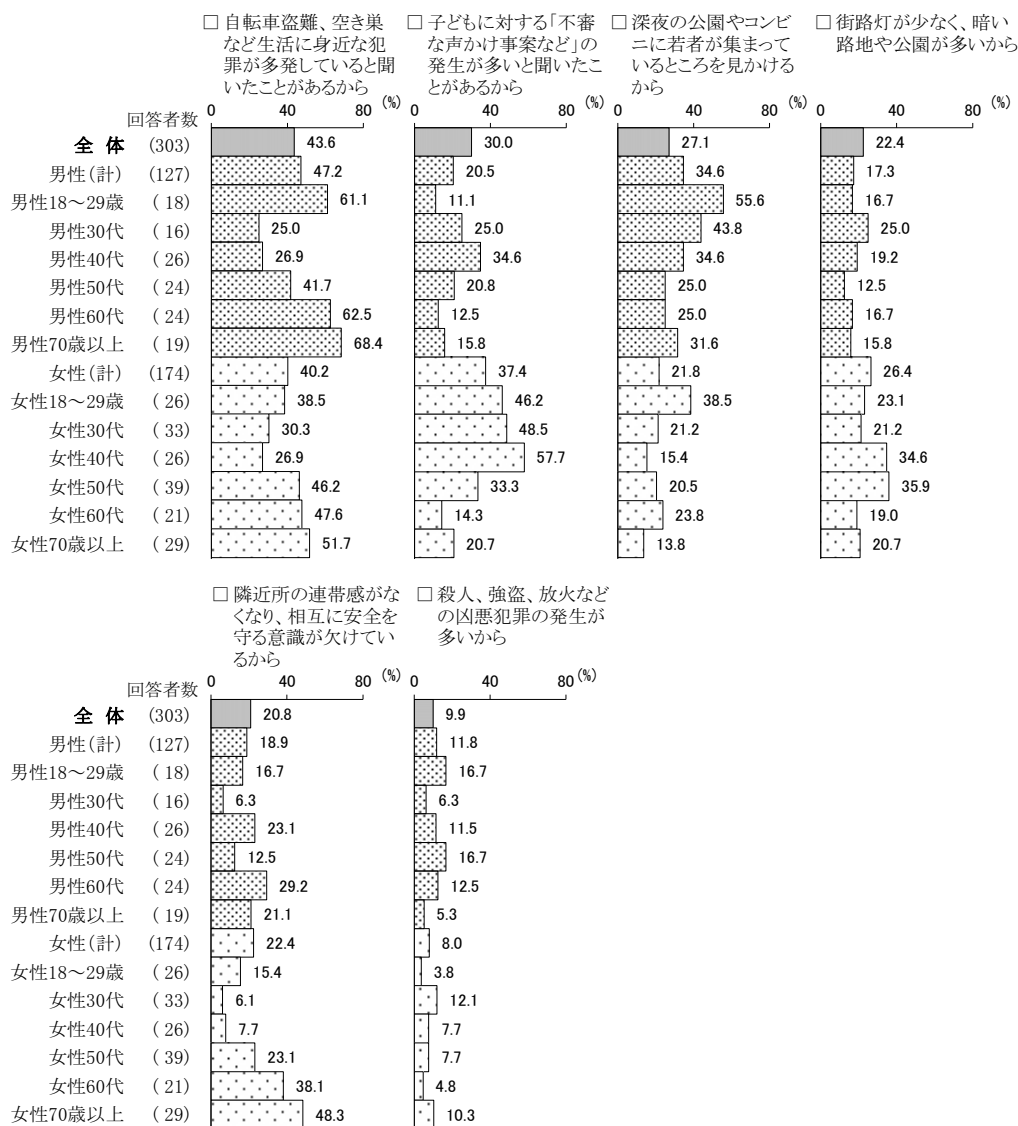
a 「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」

(+16.9ポイント)

b 「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」(+9.1ポイント)

(ウ) 性・年代別でみると、多くの性・年代層で回答者数が少ないことから参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は男性の60代、男性の70歳以上で高くなっている。「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は女性の40代が高く、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は男性の18～29歳で高くなっている。

図7-7-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点



(8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

問35 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか
(○は2つまで)。

■「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が5割強

ア 単純集計・経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

(ア) 治安対策として足立区に力を入れてほしいことの上位は、以下のとおりとなっている。

- ①「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」(51.9%)
- ②「安全に配慮した道路、公園の整備」(39.2%)
- ③「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」(38.4%)

(イ) 経年でみると、「安全に配慮した道路、公園の整備」は前回調査(42.7%)から3.5ポイント減少しているが、他の項目では特に大きな変動はみられない。

図7-8-1-① 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

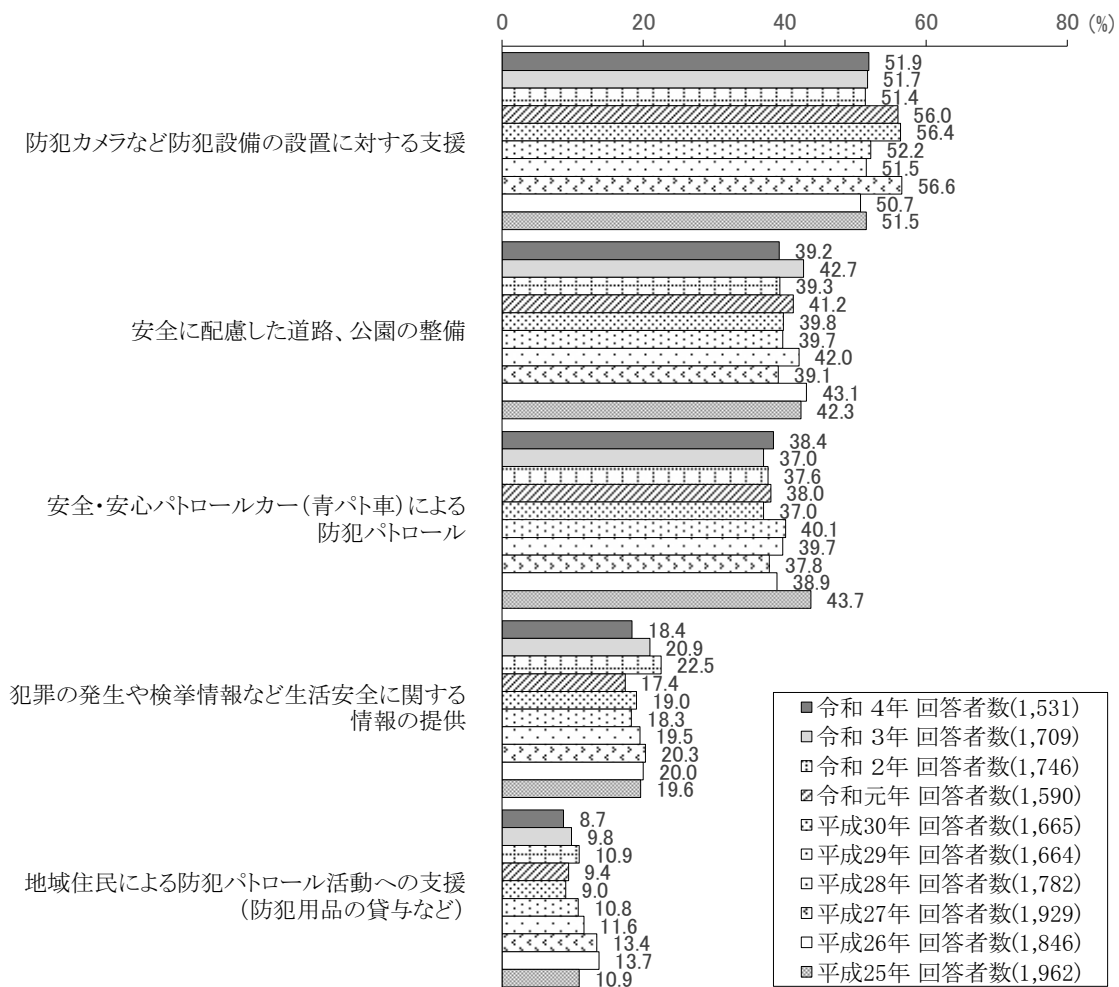
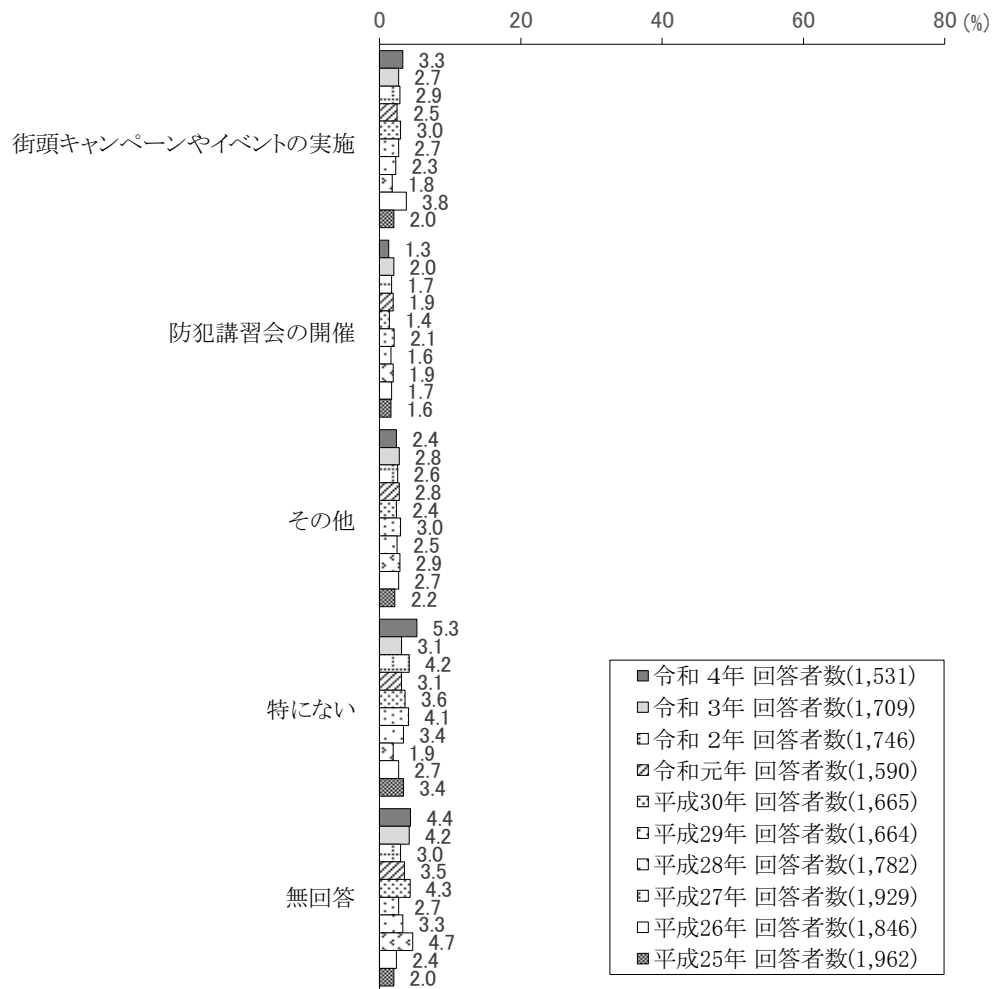


図7-8-1-② 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

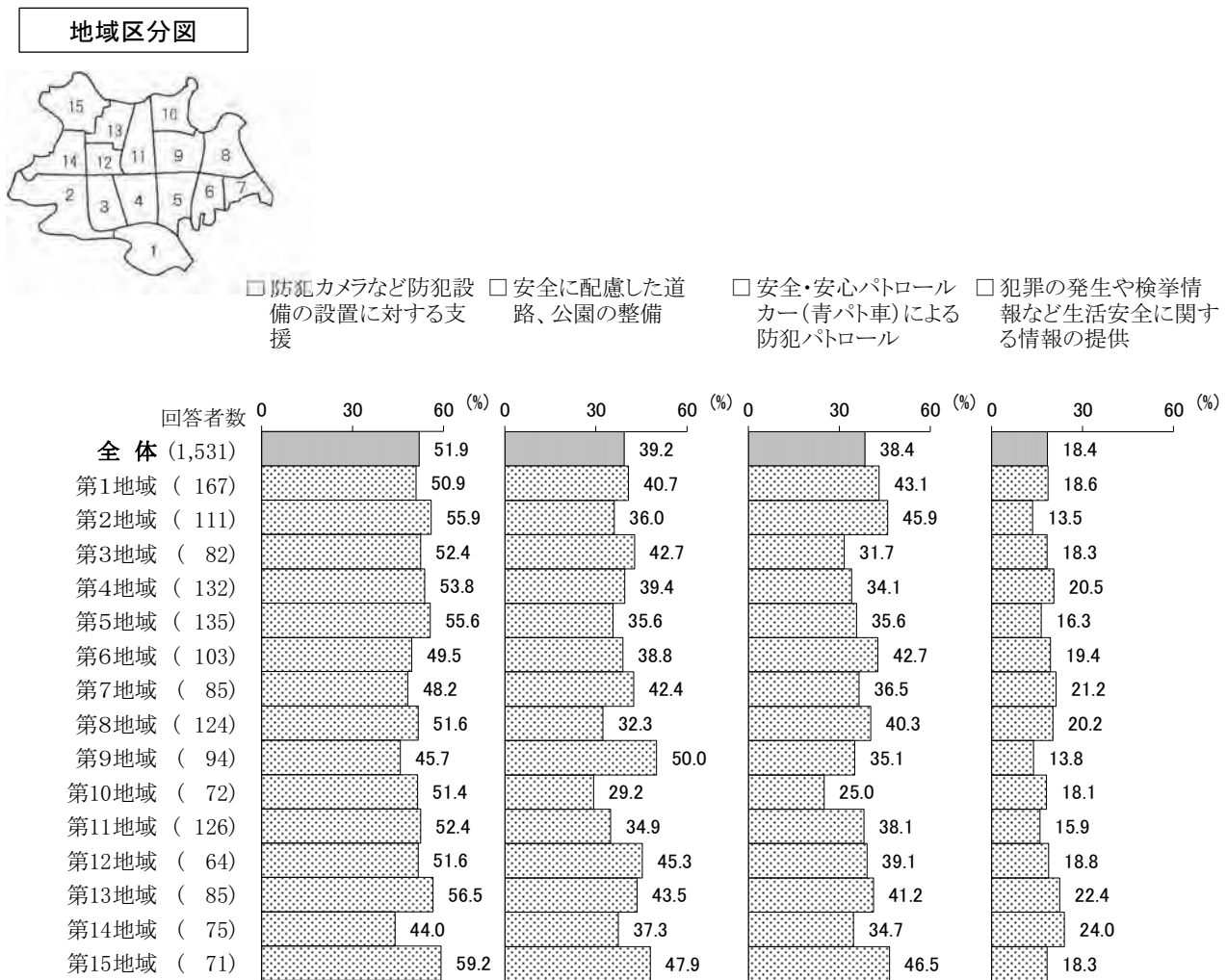


※「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

イ クロス集計・地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと（上位4項目）

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第15地域で59.2%と最も高く、第14地域（44.0%）で最も低くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は第9地域で50.0%と最も高く、第10地域（29.2%）で最も低くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は第15地域で46.5%と最も高く、第10地域（25.0%）で最も低くなっている。

図7-8-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



ウ クロス集計・性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと（上位4項目）

(ア) 性別で見ると女性の方が男性よりも高い項目

a 「安全に配慮した道路、公園の整備」(+4.5ポイント)

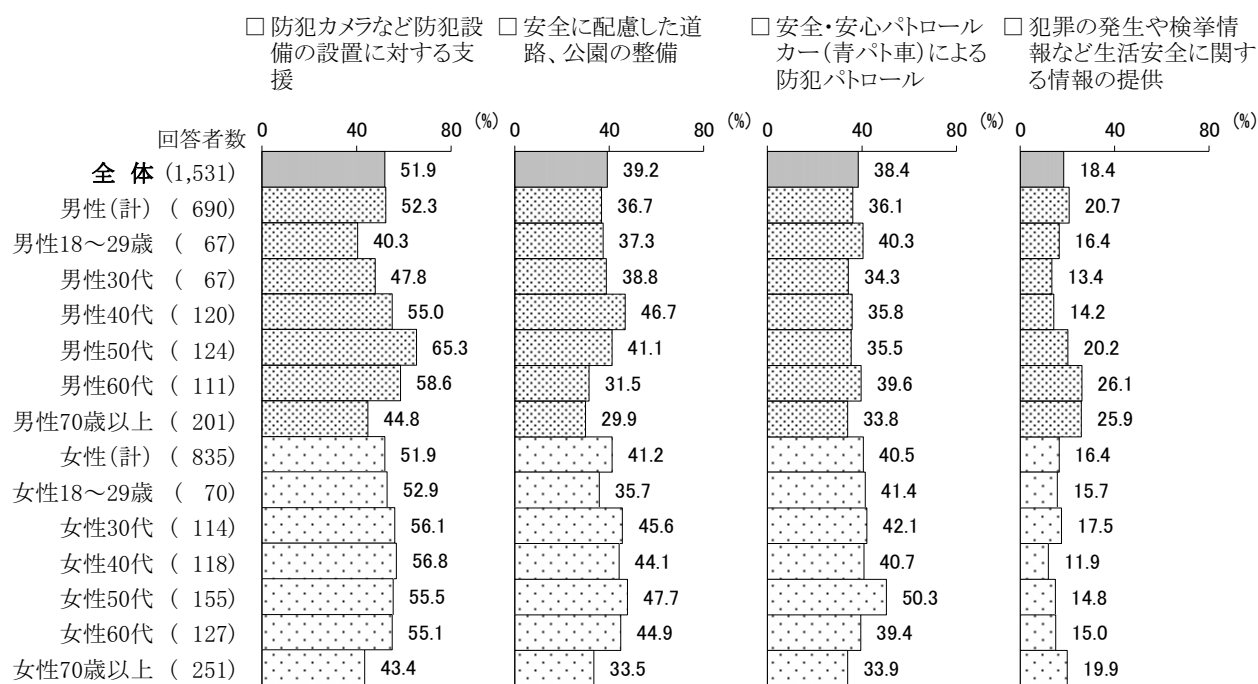
b 「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」(+4.4ポイント)

(イ) 性別で見ると男性の方が女性よりも高い項目

a 「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」(+4.3ポイント)

(ウ) 性・年代別で見ると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は男性の50代で65.3%と最も高くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は女性の50代で47.7%と最も高く、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」でも女性の50代で50.3%と最も高くなっている。

図7-8-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



(9) 駐車時の鍵かけ状況

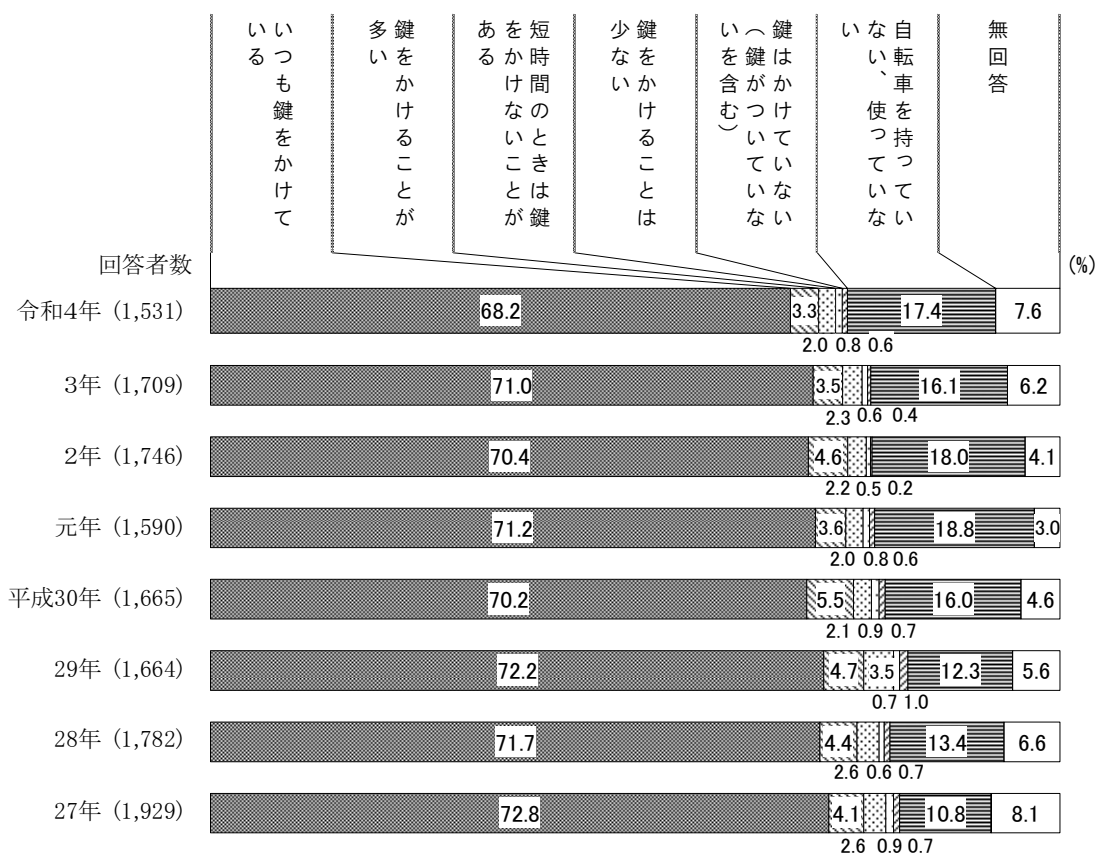
問36 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか
(○はそれぞれ1つずつ)。

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先が7割弱、敷地内が6割弱と傾向は変わらず

ア 単純集計・経年比較／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

- (ア) 外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況は、「いつも鍵をかけている」が68.2%で、「鍵をかけることが多い」が3.3%となっている。
- (イ) 外出先で自転車を駐車するとき、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は0.6%で、「鍵をかけることは少ない」は0.8%となっている。
- (ウ) 経年で見ると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年7割から7割強で推移していたが、今回初めて7割をわずかに下回った。

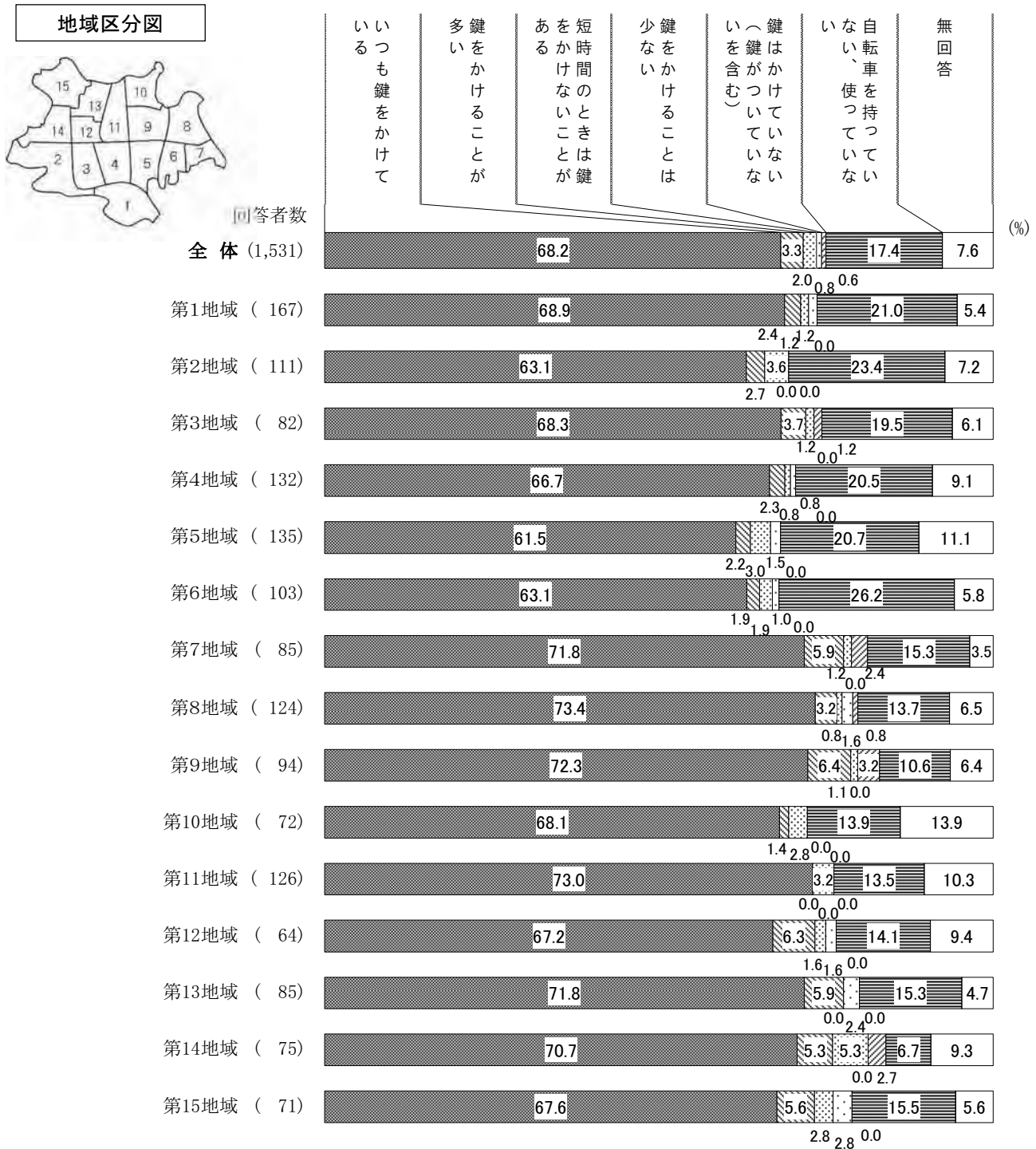
図7-9-1-① 経年比較／駐車時の鍵かけ状況（外出先）



ウ クロス集計・地域別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は第8地域が73.4%と最も高く、次いで、第11地域（73.0%）、第9地域（72.3%）などとなっており、第5地域が61.5%で最も低くなっている。なお、「自転車を持っていない、使っていない」は第6地域で26.2%と高くなっている。

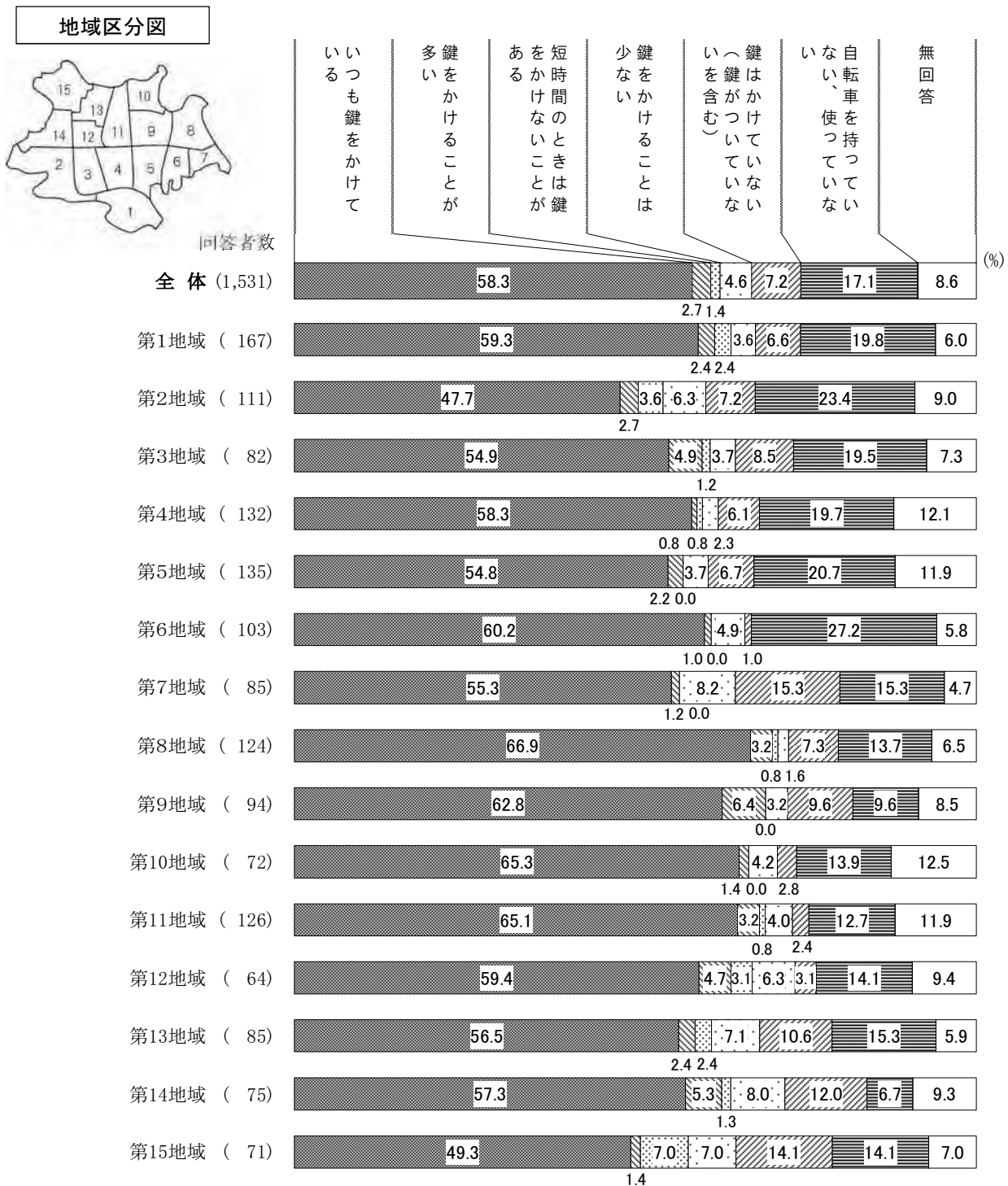
図7-9-2-① 地域別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）



エ クロス集計・地域別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は第8地域で66.9%と最も高く、次いで、第10地域（65.3%）と第11地域（65.1%）が僅差で続いている。第2地域（47.7%）と第15地域（49.3%）が4割台と低くなっている。なお、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は、第7地域で15.3%と最も高く、次いで、第15地域（14.1%）となっている。

図7-9-2-② 地域別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

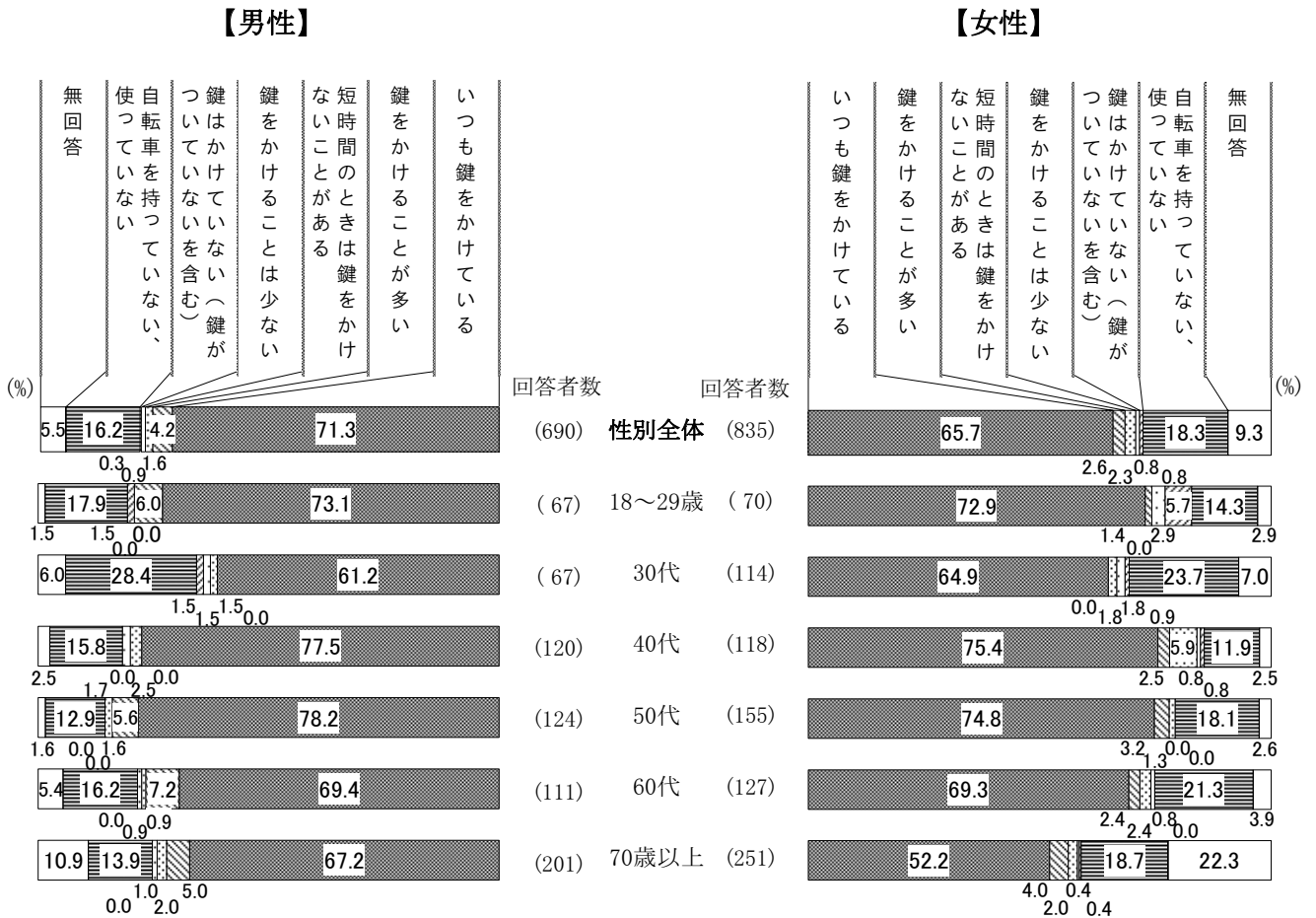


オ クロス集計・性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

(ア) 外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況を性別で見ると、「いつも鍵をかけている」は男性（71.3%）の方が女性（65.7%）より5.6ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「いつも鍵をかけている」は、男性の50代で78.2%と最も高く、女性の70歳以上で52.2%と最も低くなっている。

図7-9-3-① 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

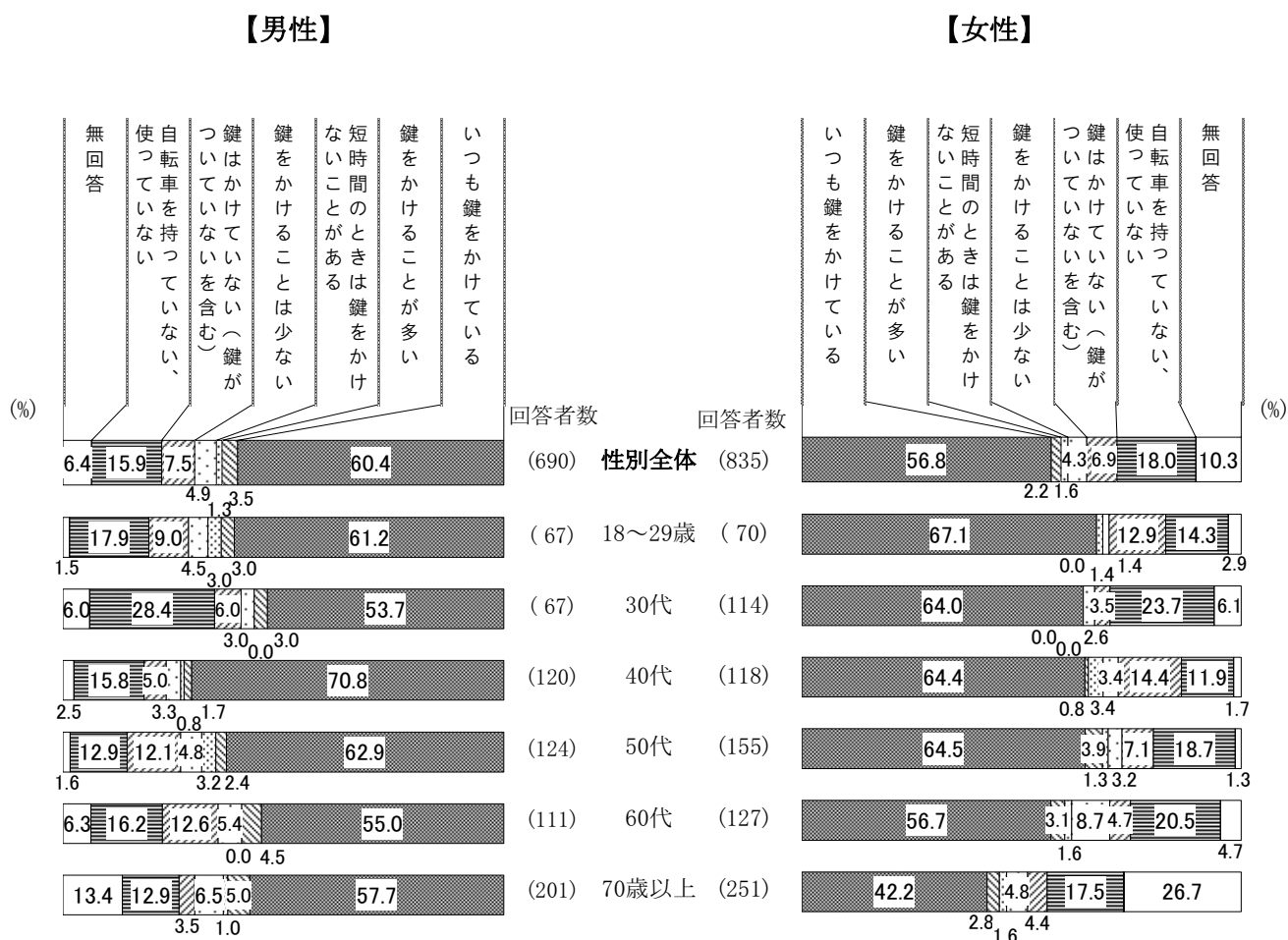


カ クロス集計・性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

(ア) 自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況を性別で見ると、「いつも鍵をかけている」は男性（60.4%）の方が女性（56.8%）より3.6ポイント高く、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は性別で特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、「いつも鍵をかけている」は、男性の40代で70.8%と最も高く、女性の70歳以上で42.2%と最も低くなっている。一方、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は、女性の40代が14.4%で最も高く、男性の70歳以上と女性の30代がともに3.5%で最も低くなっている。

図7-9-3-② 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）



8 環境・地域活動

-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 環境への影響を考えた日頃からの行動の有無
 - (3) この1年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したいと思う活動
-

8 環境・地域活動

(1) 環境のために心がけていること

問37 あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

■「ごみと資源の分別」が8割台半ばで、「不要なレジ袋を断る」が7割台半ば超え

ア 単純集計・経年比較／環境のために心がけていること

(ア) 環境のために心がけていることの上位をみると、以下のとおりとなっている。

- ① 「ごみと資源の分別を実行している」(84.7%)
- ② 「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(77.1%)
- ③ 「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(56.3%)
- ④ 「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(54.5%)
- ⑤ 「外食時に食べられる分だけ注文する」(51.0%)

(イ) 経年でみると、上位4項目は前年と順位が変わらないが、今回調査で新設された「外食時に食べられる分だけ注文する」が第5位となっている。前回調査と比較可能な項目での増減をみてみると、「ごみと資源の分別を実行している」(前回調査87.7%)が3.0ポイント、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(前回調査79.3%)が2.2ポイントそれぞれ減少し、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(前回調査48.2%)が6.3ポイント増加している。

図8-1-1-① 経年比較／環境のために心がけていること

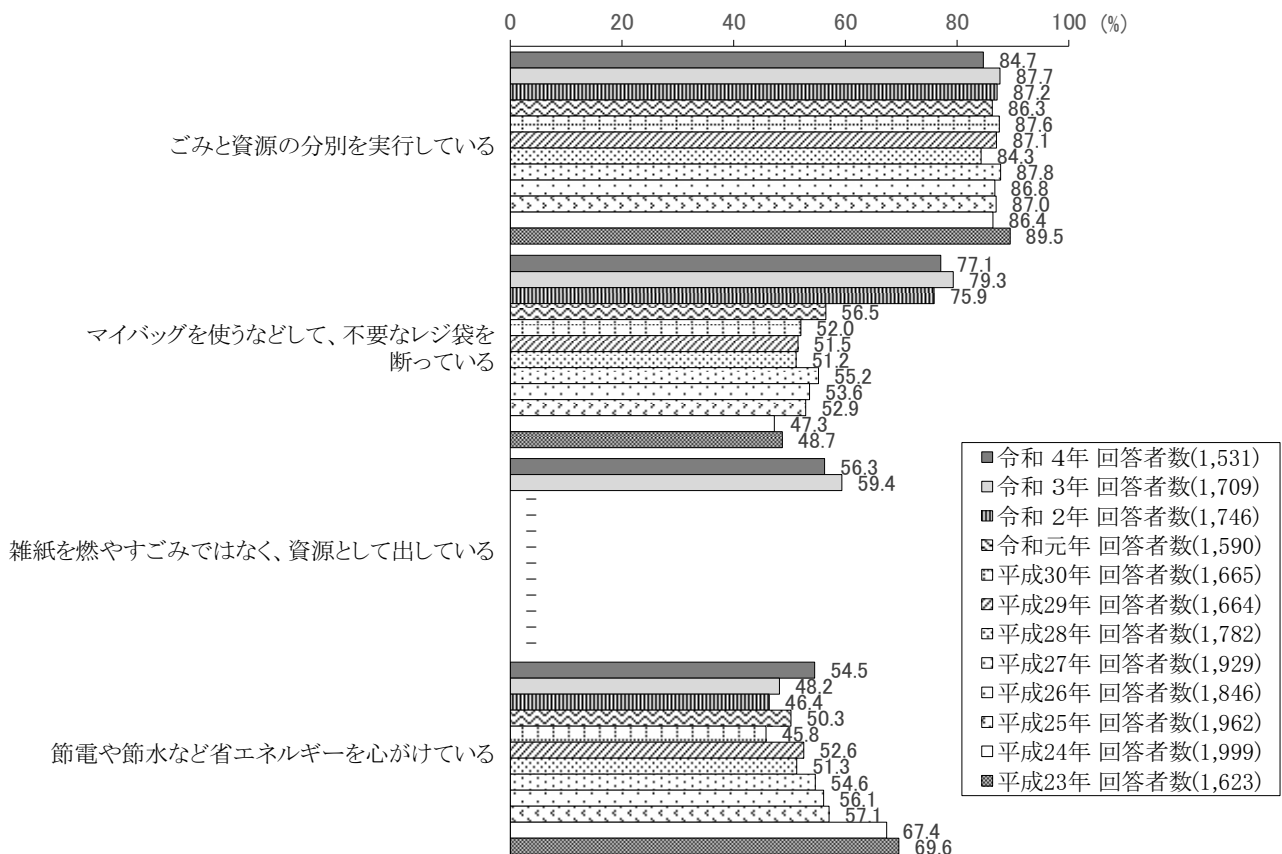


図8-1-1-② 経年比較／環境のために心がけていること

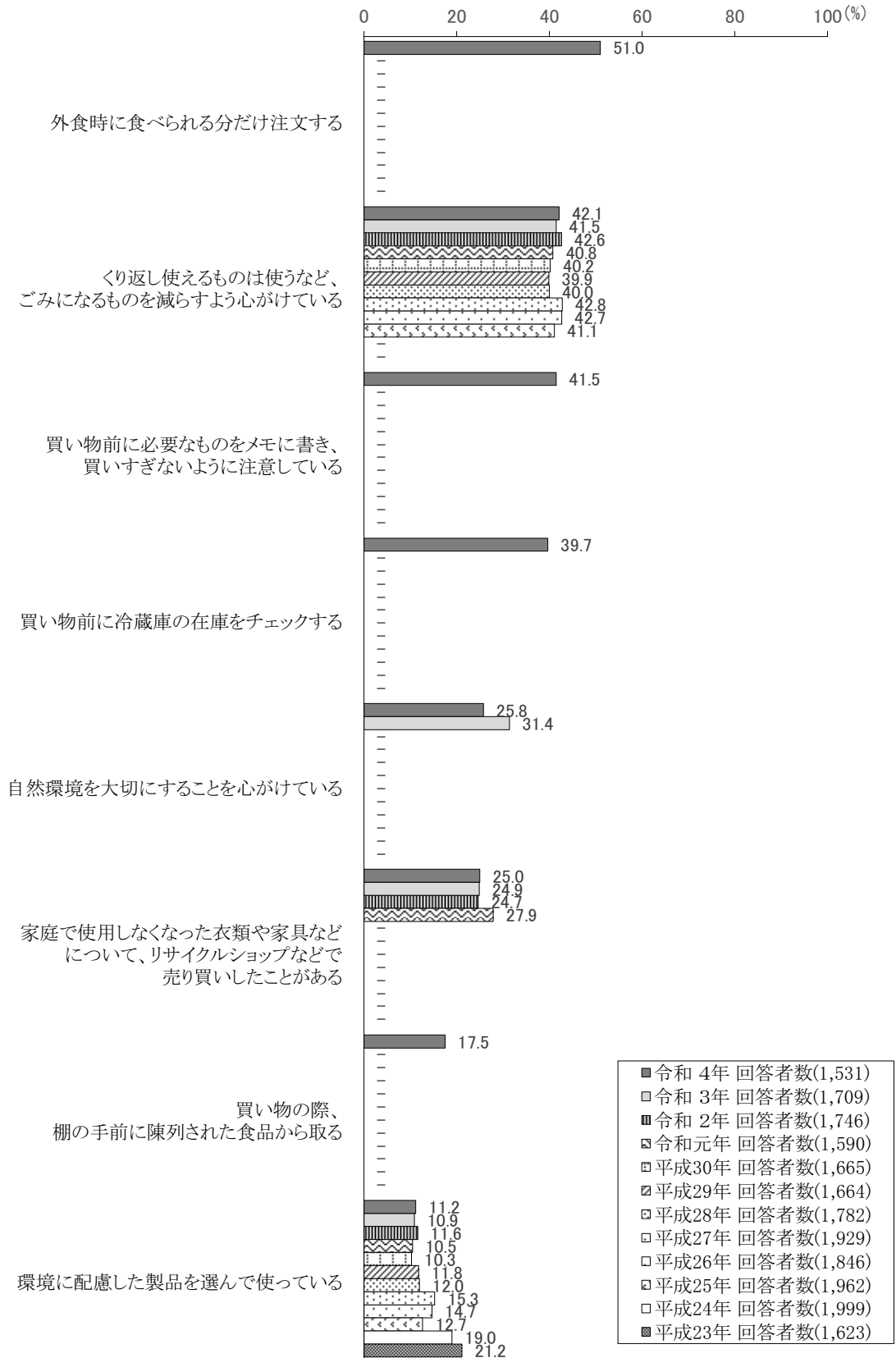
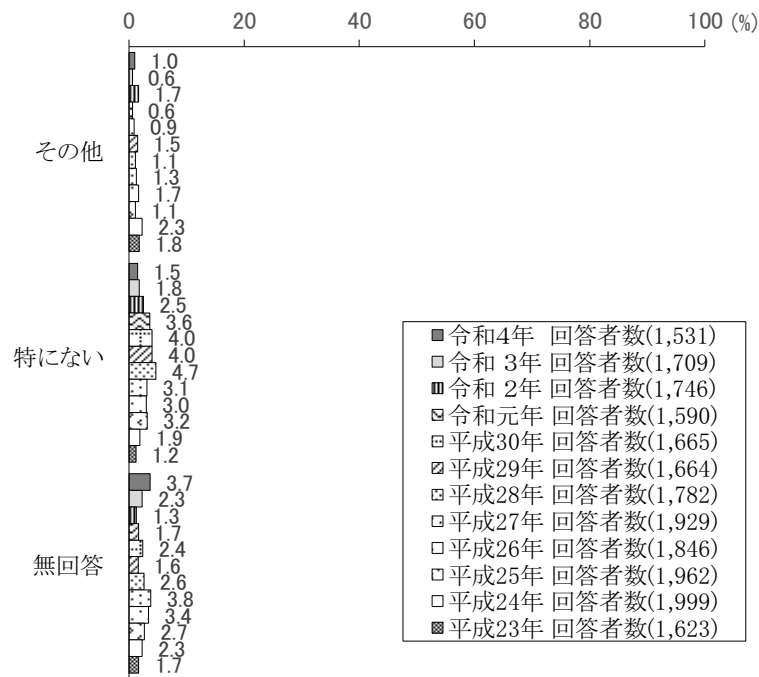
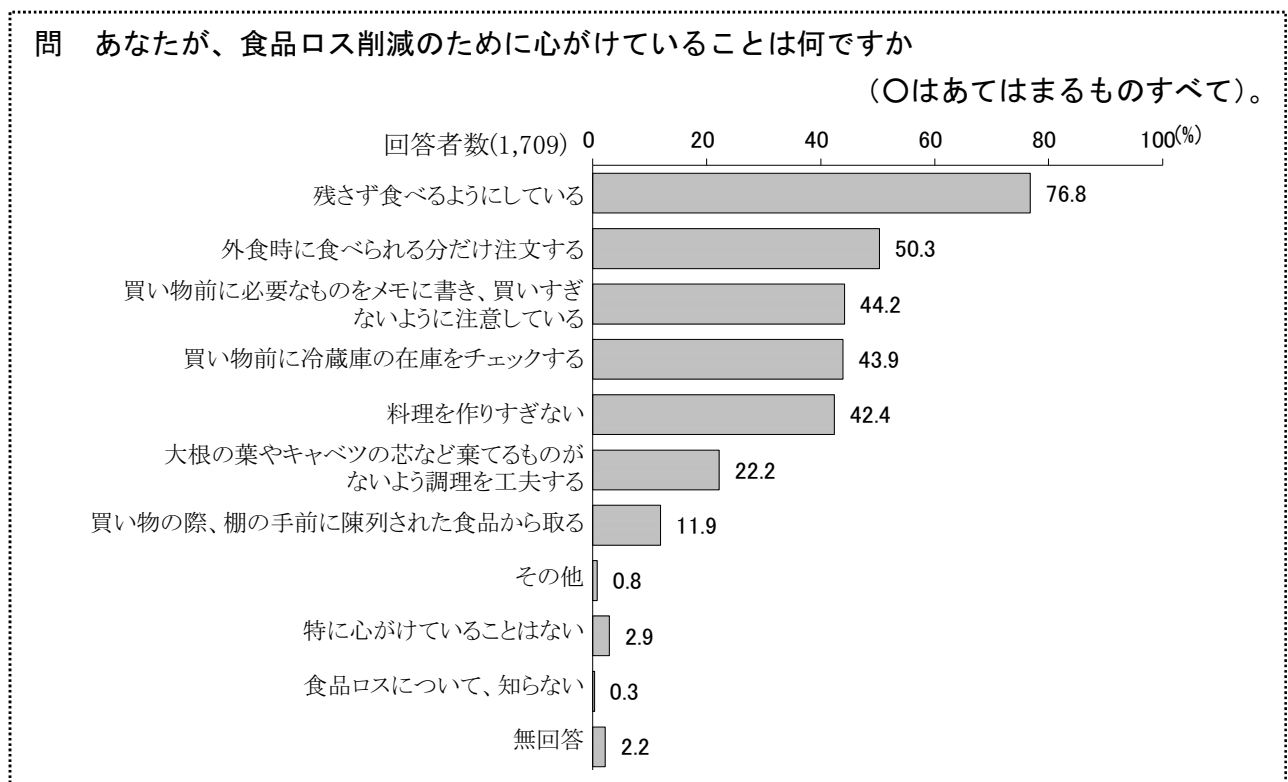


図8-1-1-③ 経年比較／環境のために心がけていること



- ※「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」は、平成25年度新設。
- ※「家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで売り買いしたことがある」は令和元年度新設。
- ※「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」と「自然環境を大切にすることを心がけている」は令和3年調査新設。
- ※「外食時に食べられる分だけ注文する」、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」、「買い物の際、棚の手前に陳列された食品から取る」の4項目は令和3年度まで「食品ロス削減のために心がけていること」についての設問で聴いていたが、今回の令和4年調査で本設問に統合。

参考／（令和3年度）食品ロス削減のために心がけていること

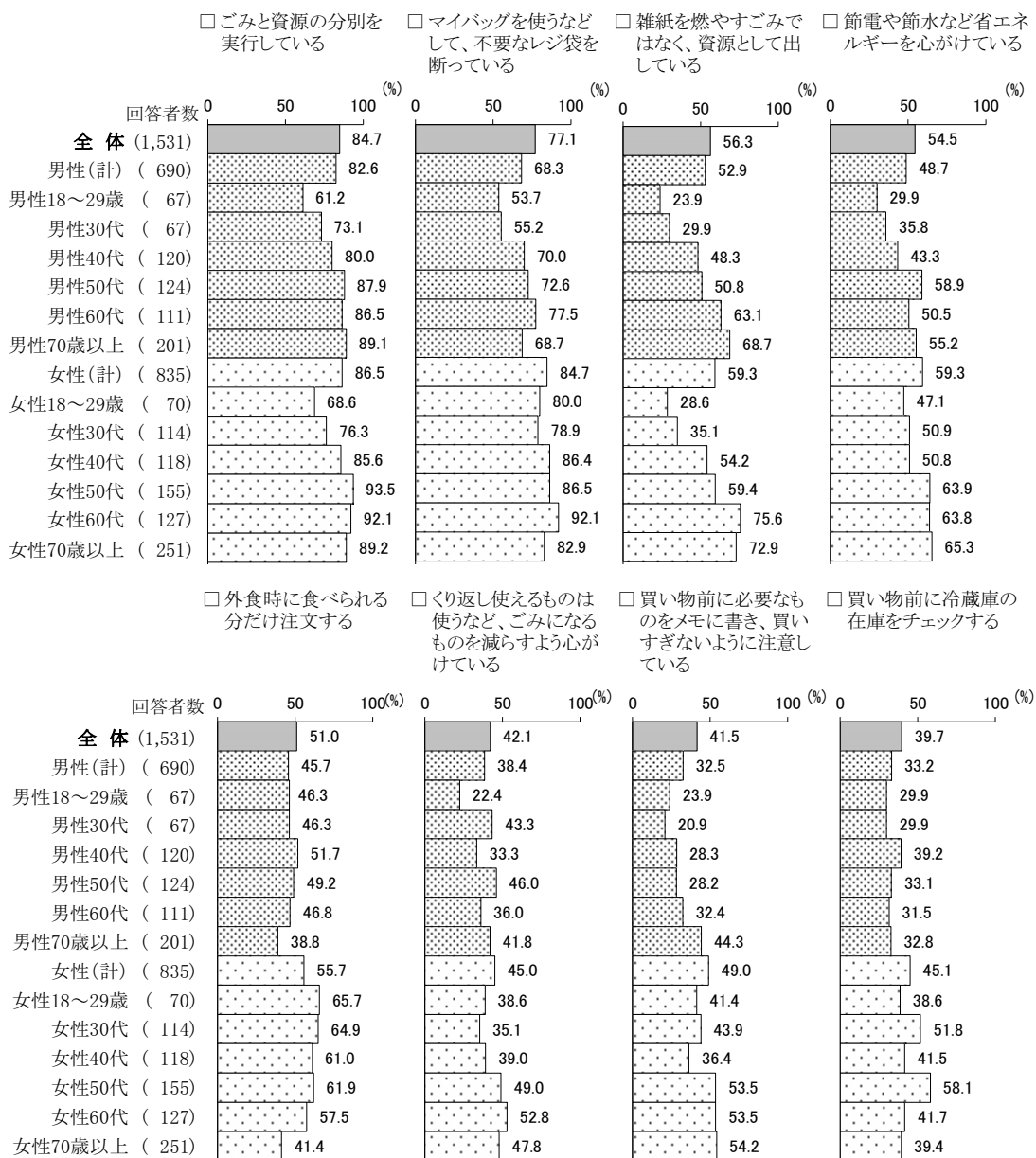


イ クロス集計・性別、性・年代別／環境のために心がけていること（上位8項目）

(ア) 性別で見ると、すべての項目で女性の方が男性より高くなっており、特に差が大きい項目は、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（女性49.0%・男性32.5%）で16.5ポイント、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（女性84.7%・男性68.3%）で16.4ポイントとなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、上位4項目については男女ともおおむね50代以上で割合が高く、30代以下で割合が低くなっている。特にその傾向が顕著なのが、「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」は男性の30代以下が2割台で60代以上が6割台、女性の30代以下が3割弱から3割台半ばで、60代以上が7割台となっている。「ごみと資源の分別を実行している」は、女性の50代が9割台半ばで最も高く、男性の18～29歳が6割強で最も低くなっている。また、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は、女性の60代が9割強で最も高く、男性の18～29歳が5割台半ばで最も低くなっている。逆に、「外食時に食べられる分だけ注文する」では、女性の30代以下が6割台半ばで高く、男性の70歳以上と女性の70歳以上が4割前後で低くなっている。

図8-1-2 性別、性・年代別／環境のために心がけていること／上位8項目



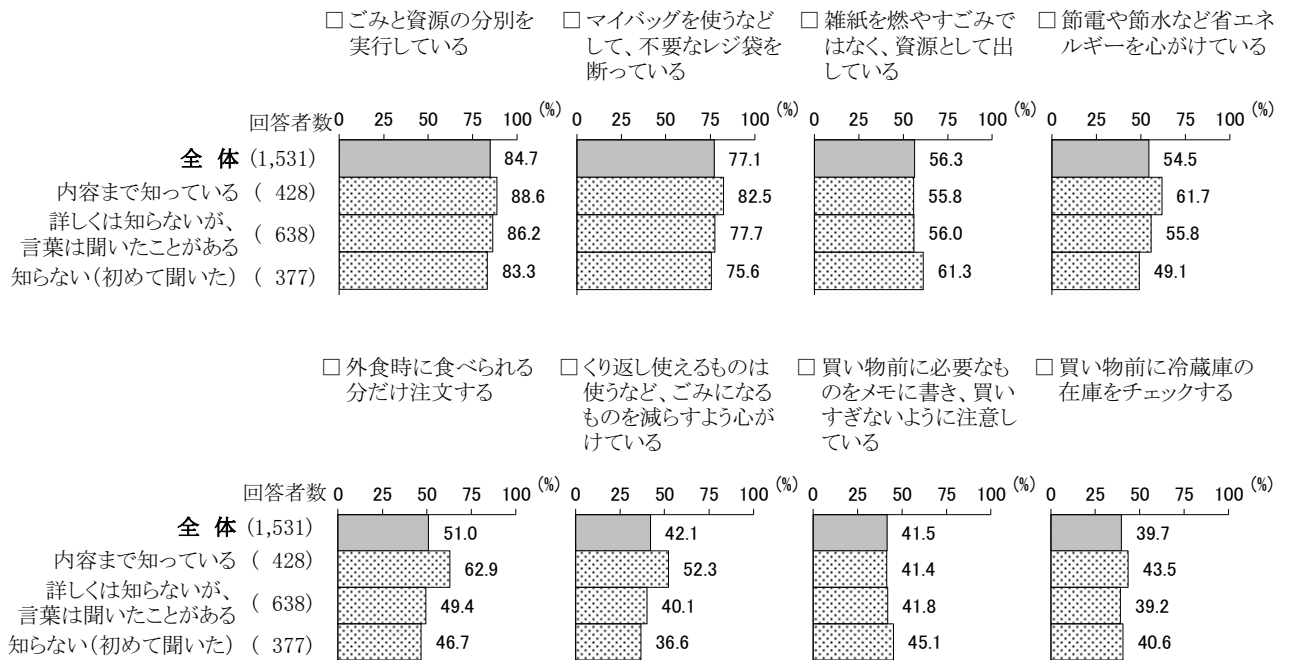
ウ クロス集計・SDGs認知度別／環境のために心がけていること（上位8項目）

(ア)「環境のために心がけていること」の上位8項目中5項目でSDGsの認知度合いが高いほど割合が高い比例関係にあり、SDGsについて「内容まで知っている」－「知らない(初めて聞いた)」のポイントが大きい順に並べると以下のとおりとなっている。

- ①「外食時に食べられる分だけ注文する」(16.2ポイント)
- ②「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」(15.7ポイント)
- ③「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(12.6ポイント)
- ④「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(6.9ポイント)
- ⑤「ごみと資源の分別を実行している」(5.3ポイント)となっている。

(イ)「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」、「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」の3項目については、認知度合いとの相関関係はみられない。

図8-1-3 SDGs認知度別／環境のために心がけていること／上位8項目



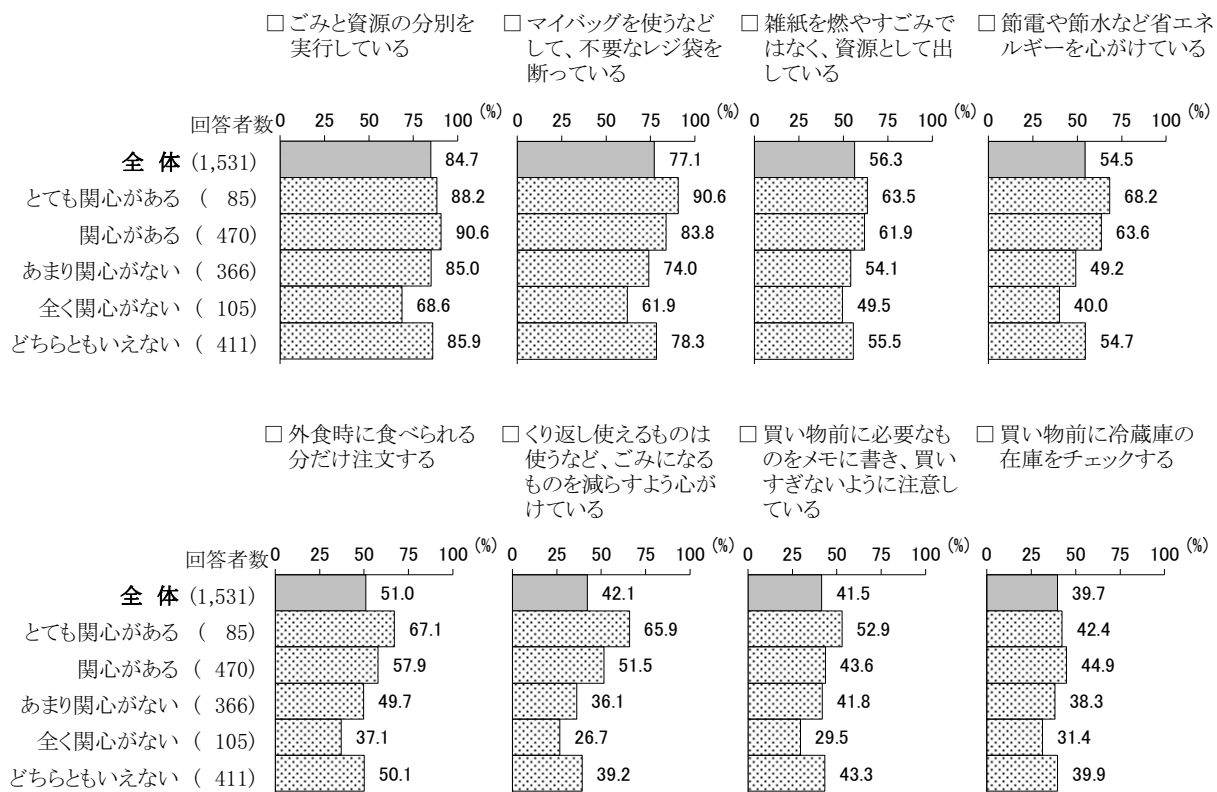
エ クロス集計・SDGs 関心度別／環境のために心がけていること（上位8項目）

（ア）「環境のために心がけていること」の上位8項目中6項目でSDGsの関心度合いが高いほど割合が高い比例関係にあり、「とても関心がある」－「全く関心がない」のポイントが大きい順に並べると、以下のとおりとなっている。

- ①「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」（39.2ポイント）
- ②「外食時に食べられる分だけ注文する」（30.0ポイント）
- ③「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」（28.7ポイント）
- ④「節電や節水など省エネルギーを心がけている」（28.2ポイント）
- ⑤「買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している」（23.4ポイント）
- ⑥「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」（14.0ポイント）

（イ）「ごみと資源の分別を実行している」、「買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする」の2項目についてもおおむね比例関係の傾向があるものの、2項目とも「とても関心がある」が「関心がある」より割合がわずかに低くなっている。

図8-1-4 SDGs 関心度別／環境のために心がけていること／上位8項目



(2) 環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

問38 あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動(※)していますか
(○は1つだけ)。

※ 問37(1から8)で示された内容のことです。

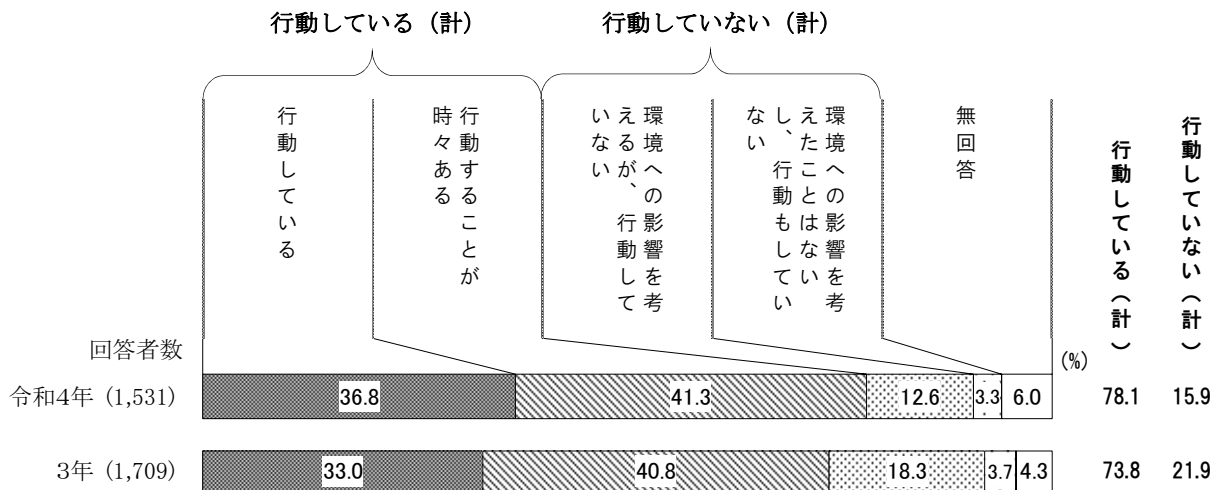
■ 【行動している】が7割台半ばを超えて、前回調査から4.3ポイント増加

ア 単純集計・前回調査比較／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

(ア) 環境への影響を考えた日頃からの行動状況は、「行動することが時々ある」が41.3%で最も高く、次いで、「行動している」で36.8%となり、これらを合わせた【行動している】は7割台半ばを超えている。一方、「環境への影響を考えるが、行動していない」(12.6%)と「環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない」(3.3%)を合わせた【行動していない】は1割台半ばとなっている。

(イ) 本設問を開始した前回調査と比較すると、【行動している】(前回調査73.8%)が4.3ポイント増加し、【行動していない】(前回調査21.9%)が6.0ポイント減少している。

図8-2-1 前回調査比較／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

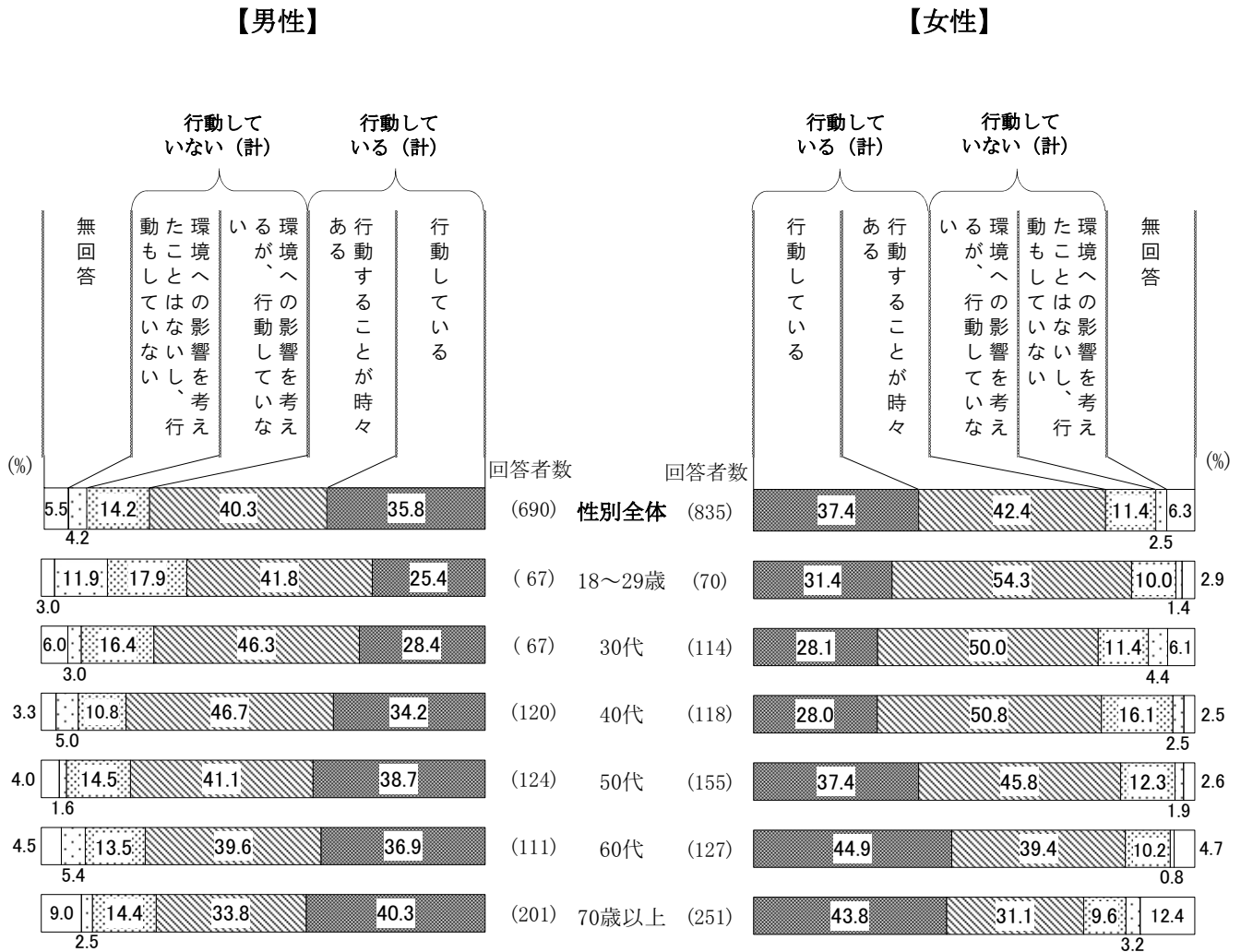


イ クロス集計・性別、性・年代別／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無

(ア) 性別でみると、【行動している】は女性（79.8%）の方が男性（76.1%）より3.7ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【行動している】は女性の18～29歳で85.7%と最も高く、次いで、女性の60代が84.3%で続いている。一方、男性の18～29歳で67.2%と最も低くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／環境への影響を考えた日頃からの行動の有無



(3) この1年間に参加した活動と引き続き、または今後参加したいと思う活動

問39 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（〇はいずれも、あてはまるものすべて）。

■ 活動実績は、コロナ禍の影響が続き「特に参加していない・特にない」が5割強で変わらず

ア 単純集計・経年比較／この1年間に参加した活動

(ア) この1年間の参加状況は、「特に参加していない・特にない」が51.0%となっている。

(イ) 参加した活動を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

①「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」(18.0%)

②「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(15.1%)

(ウ) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベント中止・自粛の影響が続いており、「特に参加していない・特にない」が前回調査同様5割超となっている。

(エ) 前回調査と比較して、自宅での活動が可能な「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」が微増している。

(オ) イベント等のオンラインでの開催や施設での開催に係る制限の緩和も影響してか、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(前年調査9.9%)が5.2ポイント増加している。

図8-3-1-① 経年比較／この1年間に参加した活動

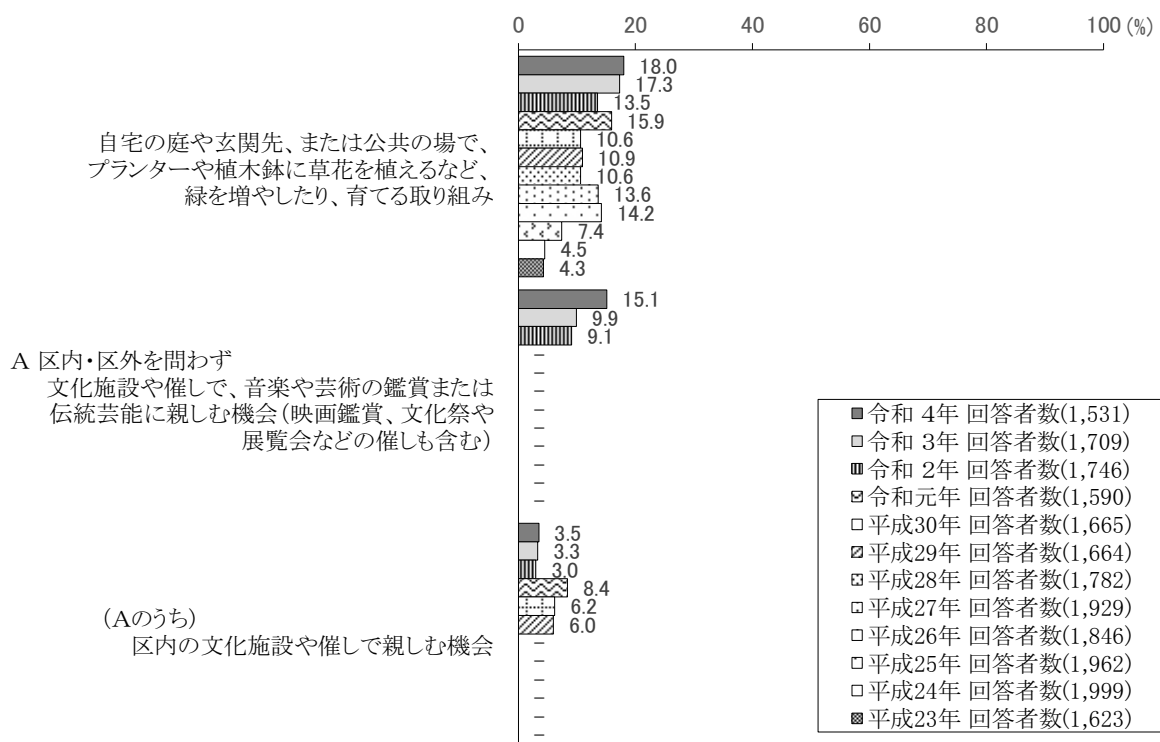
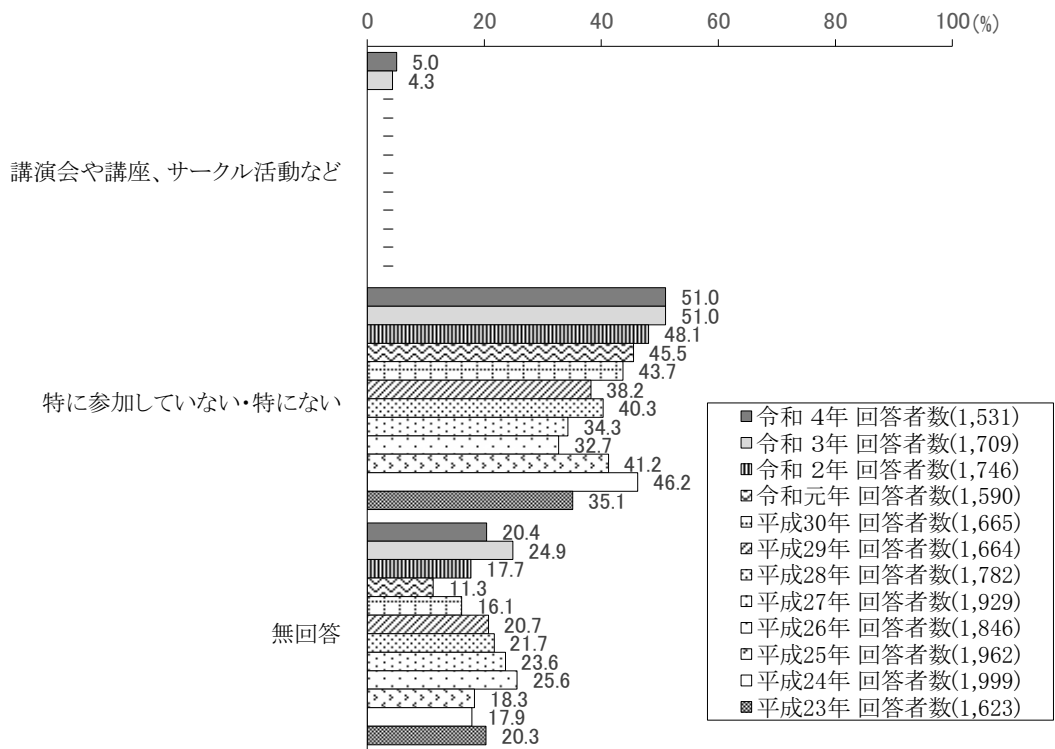


図8-3-1-② 経年比較／この1年間に参加した活動



※「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。

※「A区内・区外を問わず文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は、平成29年度からの新設項目。平成29～30年度は「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」だったが、令和元年度は、従来の選択肢の後に「(映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」を加えた。さらに令和2～3年度は、選択肢冒頭の「区内の」を割愛し、副選択肢として「区内の文化施設や催しで親しむ機会」を設けた。さらに、今回の令和4年度で、選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えて副選択肢との関係を分かりやすくした。

※「講演会や講座、サークル活動など」は、前回の令和3年度の新設。

イ 単純集計・経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動

(ア) 引き続き、または今後参加したいと思う活動は、「特に参加していない・特にない」が37.8%で最も高くなっている。

(イ) 引き続き、または今後参加したいと思う活動を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

① 「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(29.7%)

※ うち「区内の文化施設や催しで親しむ機会」(14.9%)が約半数を占めている。

② 「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」(21.8%)

③ 「講演会や講座、サークル活動など」(15.0%)

(ウ) イベント等のオンラインでの開催や施設での開催に係る制限の緩和もあって、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」(前年調査24.8%)が4.9ポイント増加しており、他の項目も軒並み微増している。

図8-3-2-① 経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動

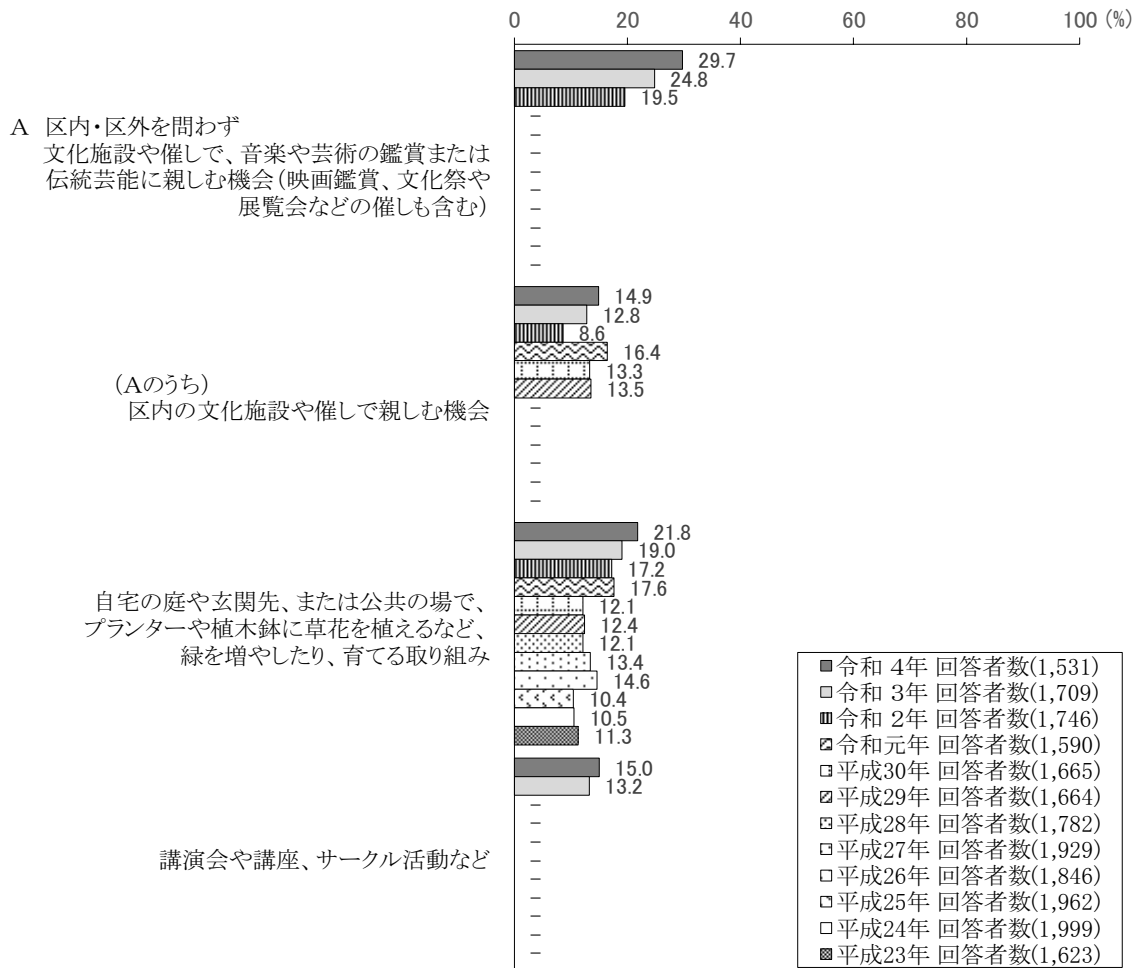
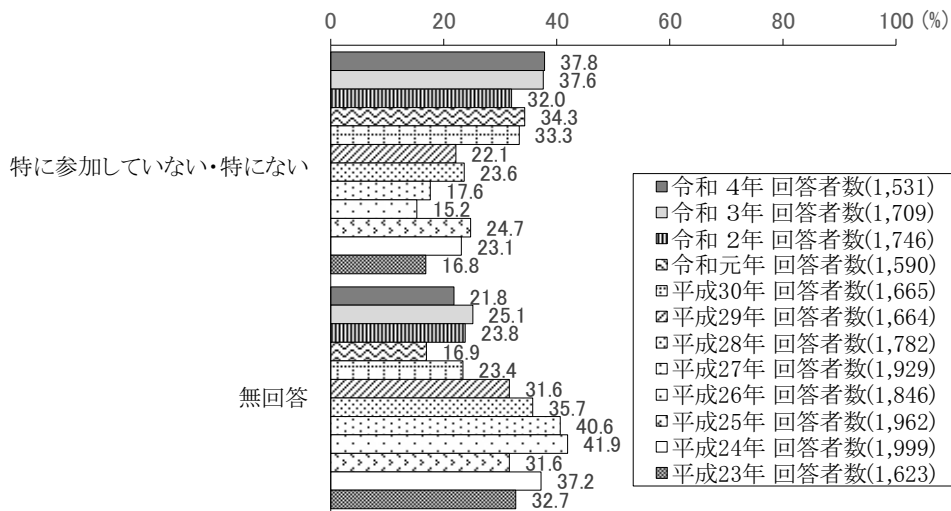


図8-3-2-② 経年比較／引き続き、または今後参加したいと思う活動



※「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は、平成26年度から平成30年度まで「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」で、平成25年度以前は「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。

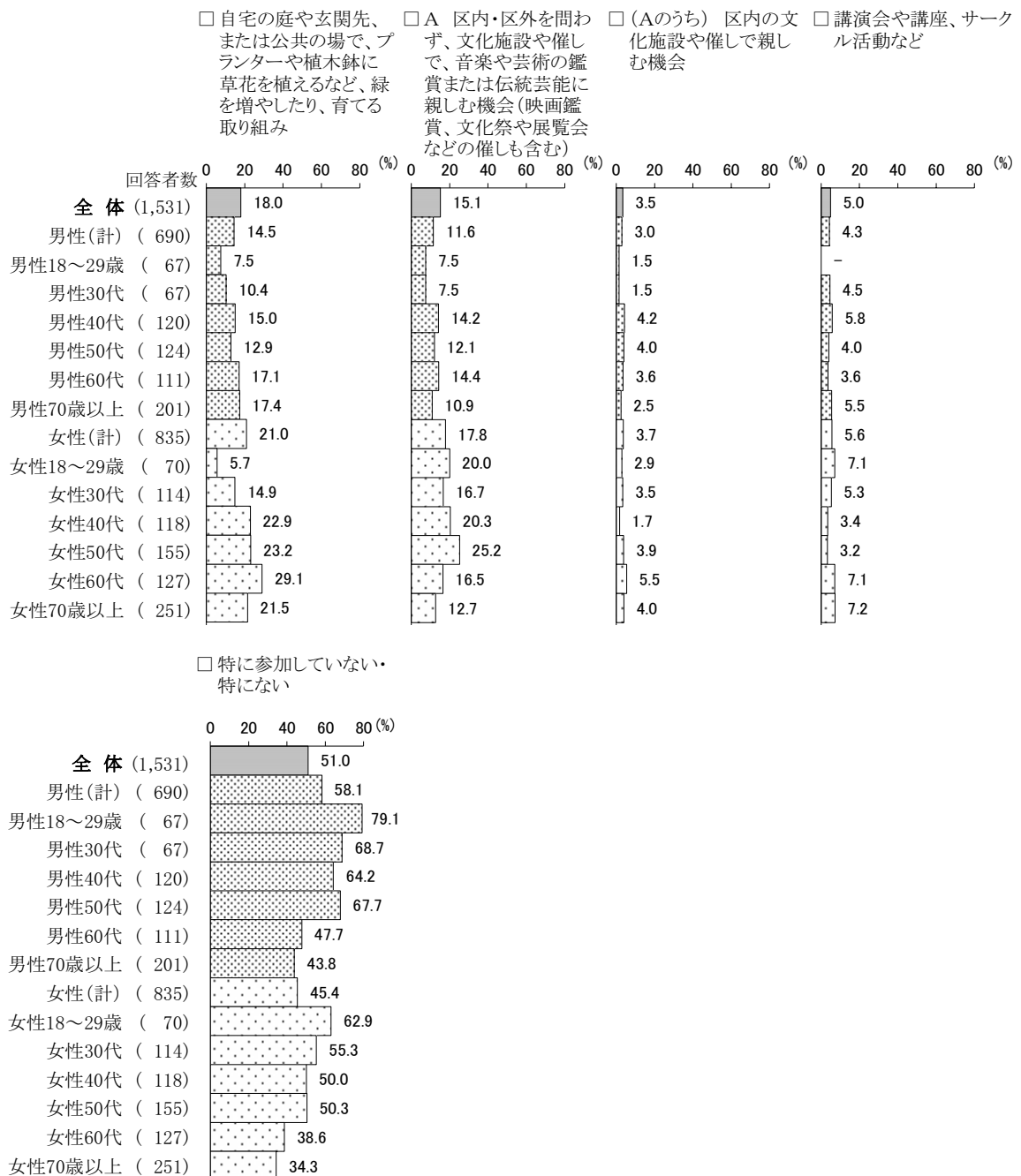
※「A区内・区外を問わず文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は、平成29年度からの新設項目。平成29～30年度は「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」だったが、令和元年度は、従来の選択肢の後に「(映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む)」を加えた。さらに令和2～3年度は、選択肢冒頭の「区内の」を割愛し、副選択肢として「区内の文化施設や催しで親しむ機会」を設けた。さらに、今回の令和4年度で、選択肢の冒頭に「区内・区外を問わず、」を加えて副選択肢との関係を分かりやすくした。

※「講演会や講座、サークル活動など」は、前回の令和3年度の新設。

ウ クロス集計・性別、性・年代別／この1年間に参加した活動

- (ア) 性別で見ると、「特に参加していない・特にない」は男性（58.1%）の方が女性（45.4%）より12.7ポイント高くなっている。
- (イ) 〈参加した活動〉について性別で見ると、全て女性の方が高くなっており、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性（21.0%）の方が男性（14.5%）より6.5ポイント高くなっている。
- (ウ) 性・年代別で見ると、「特に参加していない・特にない」は男女ともおおむね年代が下がるほど割合が高くなっており、男性の18～29歳で79.1%と最も高くなっている。「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は女性の60代が約3割で最も高く、女性の18～29歳で5.7%と最も低くなっている。

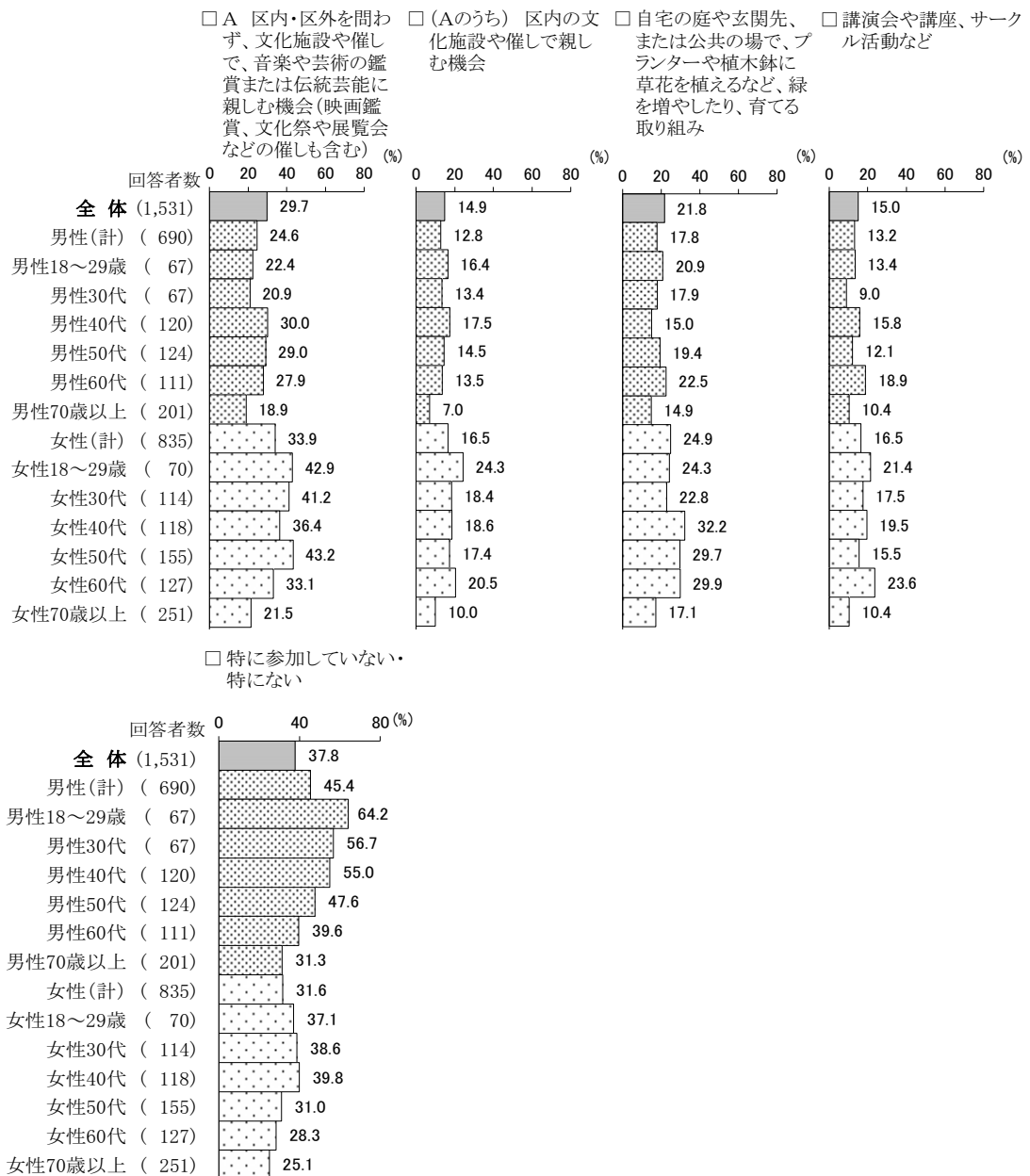
図8-3-3 性別、性・年代別／この1年間に参加した活動



エ クロス集計・性別、性・年代別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

- (ア) 性別で見ると、「特に参加していない・特にない」は男性（45.4%）の方が女性（31.6%）より13.8ポイント高くなっている。
- (イ) 〈引き続き、または今後参加したいと思う活動〉について性別で見ると、すべての項目で女性の方が男性より高く、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性（33.9%）の方が男性（24.6%）より9.3ポイント高くなっている。
- (ウ) 性・年代別で見ると、「特に参加していない・特にない」は男性では年代が下がるほど割合が高くなり、男性の18～29歳で6割台半ばと最も高く、女性では40代が約4割で最も高くなっている。
- (エ) 活動について性・年代別で見ると、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は女性の50代で4割台半ば近くと最も高く、男性の70歳以上で2割弱と最も低くなっている。

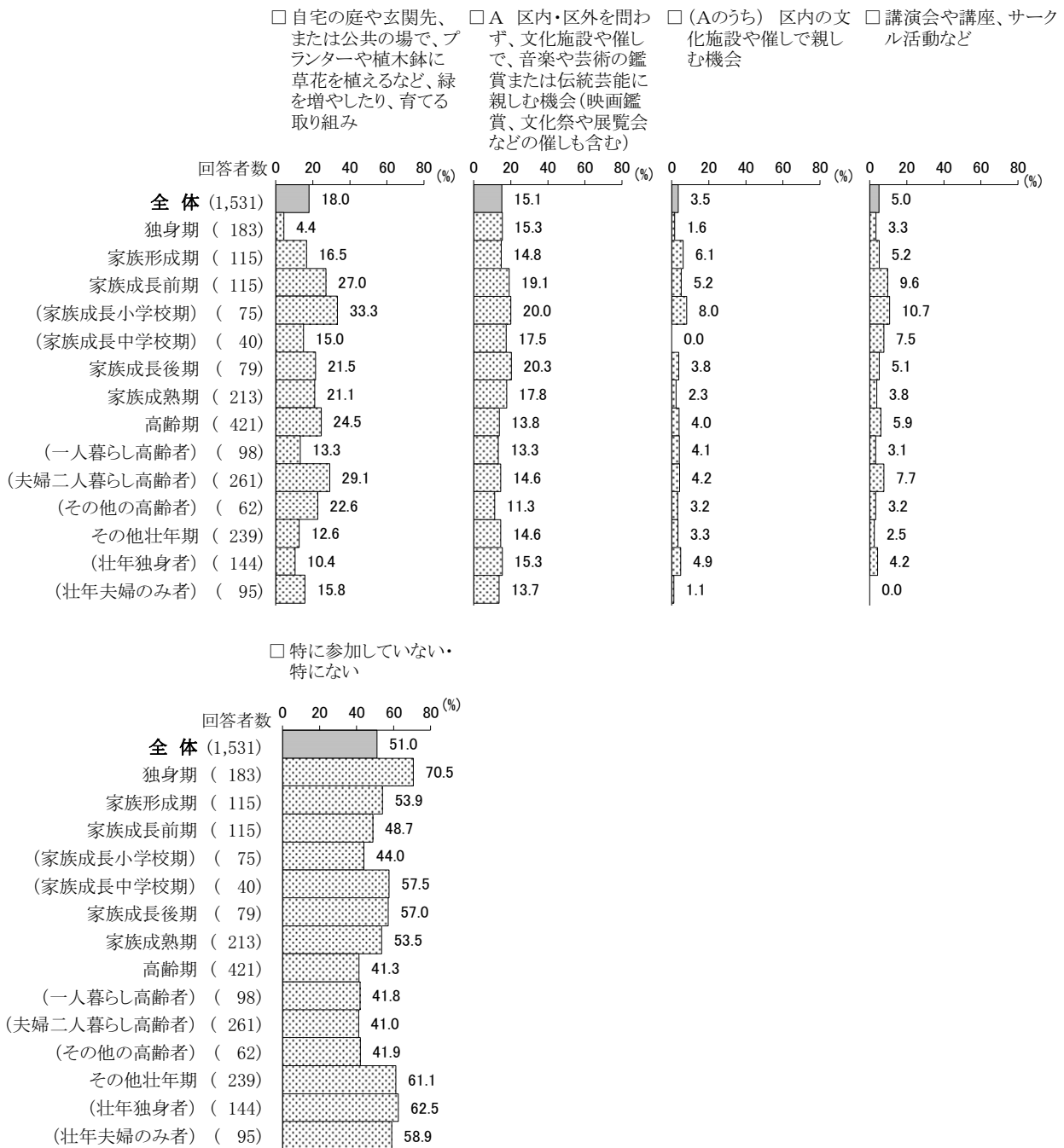
図8-3-4 性別、性・年代別／引き続き、または今後参加したいと思う活動



オ クロス集計・ライフステージ別／この1年間に参加した活動

ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈独身期〉が70.5%で最も高く、〈高齢期〉が41.3%で最も低くなっている。『参加した活動』では、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈家族成長前期〉が27.0%で最も高く、〈独身期〉が4.4%で最も低くなっている。また、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成長後期〉が20.3%で最も高く、〈高齢期〉が13.8%で最も低くなっている。

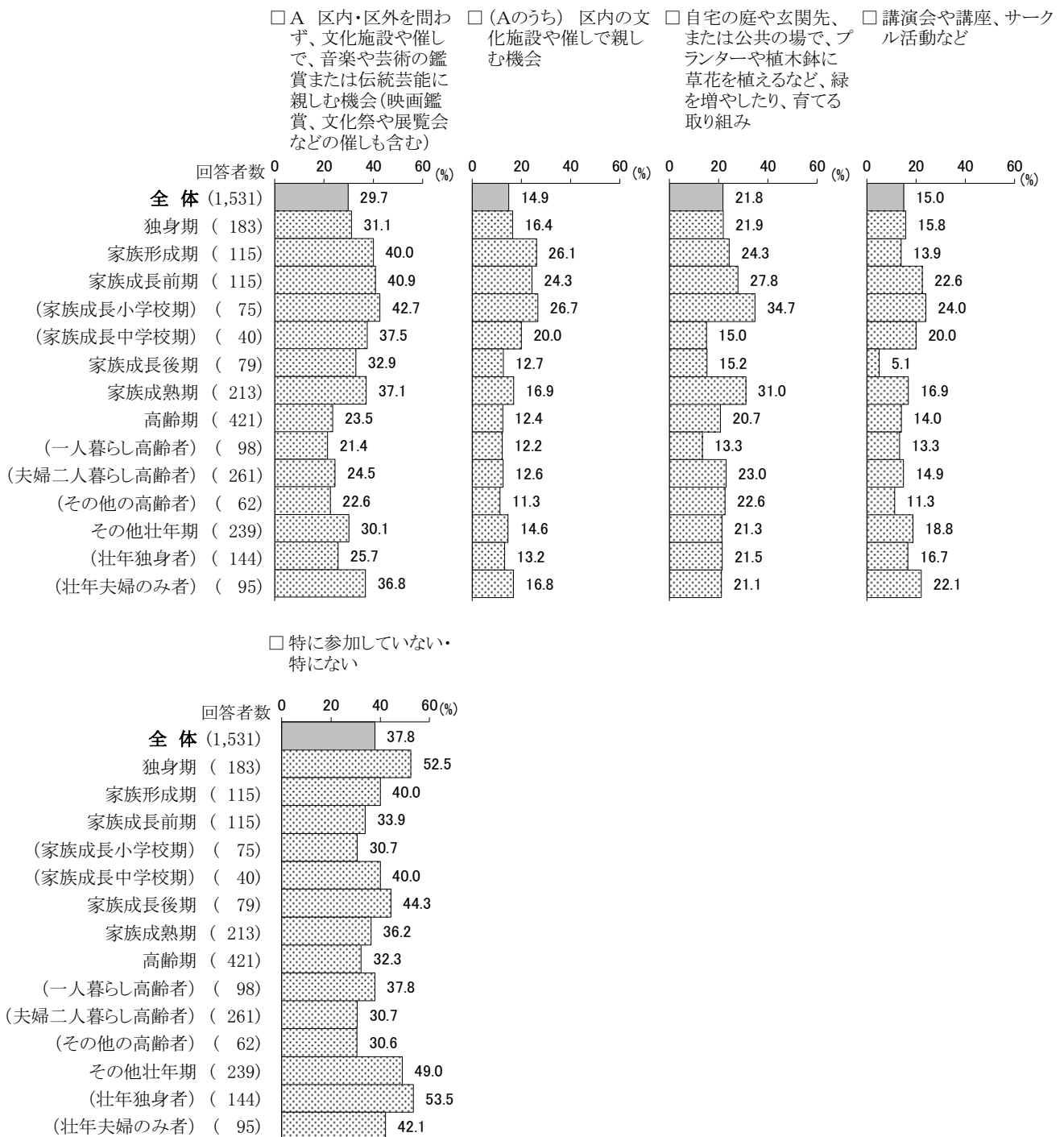
図8-3-5 ライフステージ別／この1年間に参加した活動



カ クロス集計・ライフステージ別／引き続き、または今後参加したいと思う活動

ライフステージ別にみると、「特に参加していない・特にない」は〈独身期〉が52.5%で最も高く、〈高齢期〉が32.3%で最も低くなっている。『引き続き、または参加したいと思う活動』では、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」は〈家族成長前期〉が40.9%で最も高く、〈高齢期〉が23.5%で最も低くなっている。また、「自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み」は〈家族成熟期〉が31.0%で最も高く、〈家族成長後期〉が15.2%で最も低くなっている。

図8-3-6 ライフステージ別／引き続き、または今後参加したいと思う活動



9 「孤立ゼロプロジェクト」など

-
- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
 - (2) 「地域包括支援センター」の認知状況
 - (3) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
 - (4) 協力意向がある活動内容
 - (5) 「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況
 - (6) 「たんぱく質を多く含む食品」の摂食状況
 - (7) 仕事と仕事以外の生活の調和
 - (8) 「成年後見制度」「身体的暴力以外のDV」「LGBT」の認知状況
-

9 「孤立ゼロプロジェクト」など

(1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

問40 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか
（○は1つだけ）。

※「孤立ゼロプロジェクト」とは、地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

■【知っている】は2割台半ばで、「知らない（初めて聞いた）」が約7割

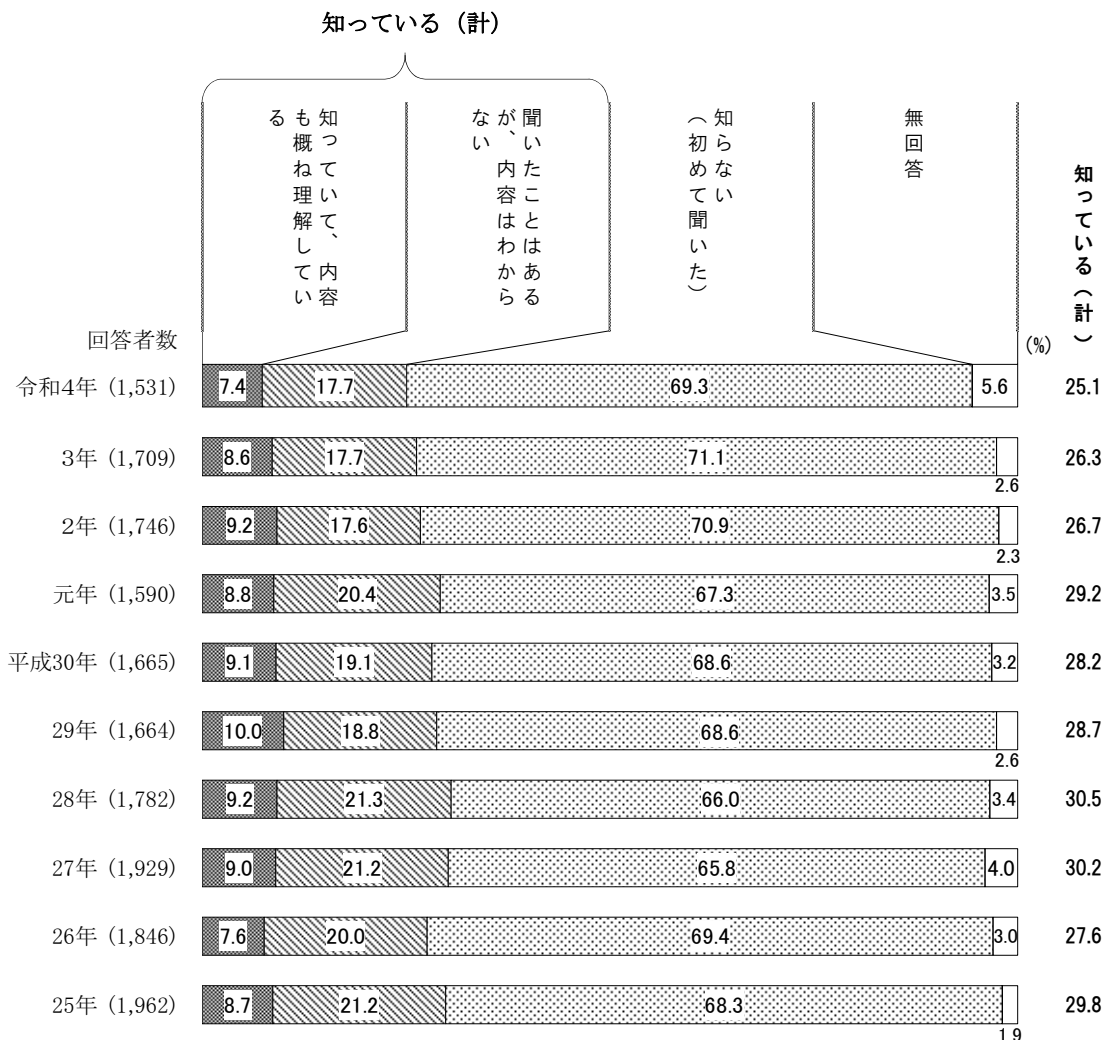
ア 単純集計・経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

(ア) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況は、「知っていて、内容も概ね理解している」が7.4%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の17.7%を合わせた【知っている】は25.1%となっている。

(イ) 「孤立ゼロプロジェクト」を「知らない（初めて聞いた）」は69.3%を占めている。

(ウ) 経年で見ると、認知状況の回答割合に大きな変動はみられないものの、【知っている】は令和元年調査以降微減傾向となっている。

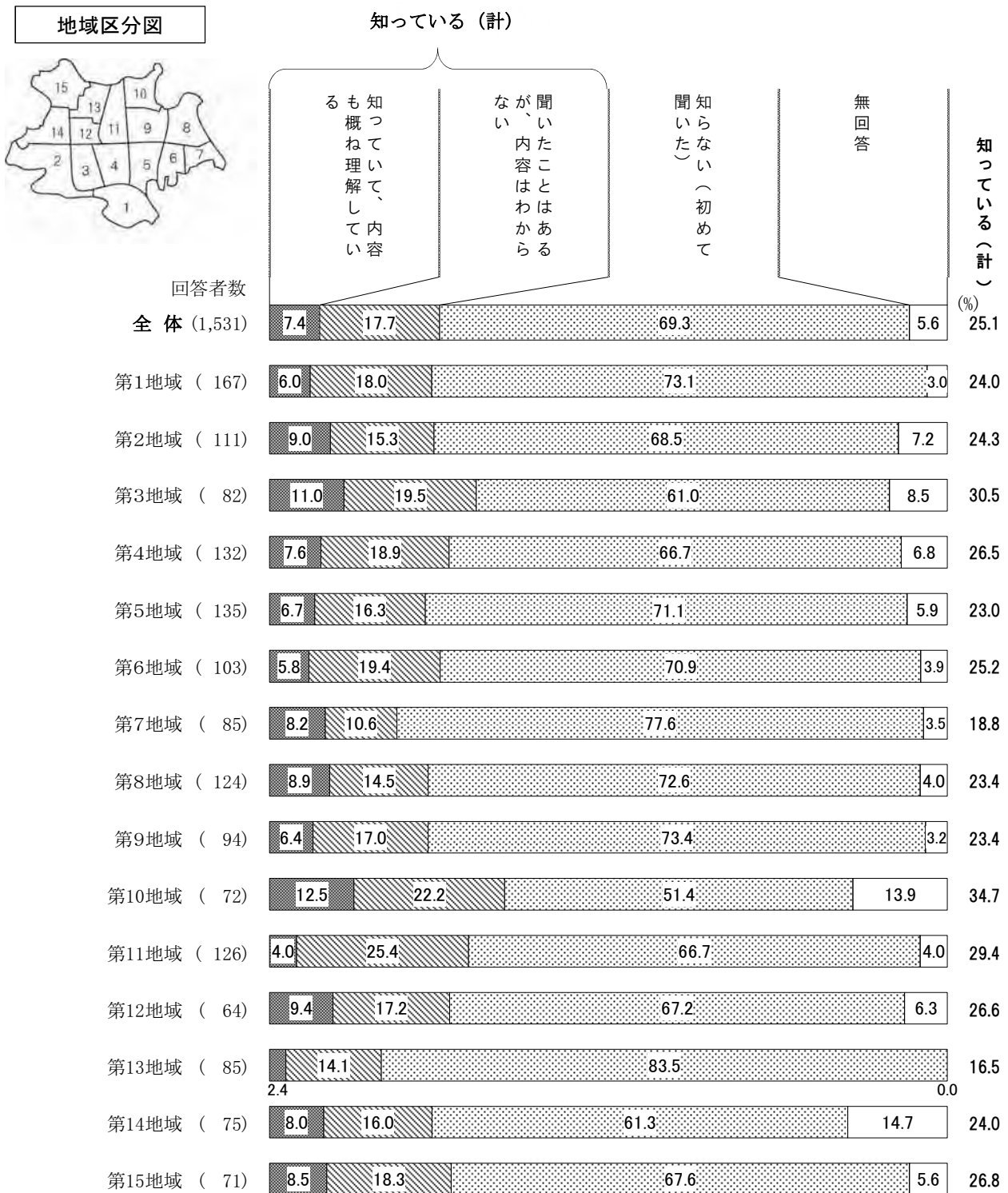
図9-1-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



イ クロス集計・地域別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

地域別でみると、【知っている】は第10地域が34.7%で最も高く、次いで第3地域と第11地域が3割前後で続いている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は第13地域が83.5%で最も高くなっている。

図9-1-2 地域別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

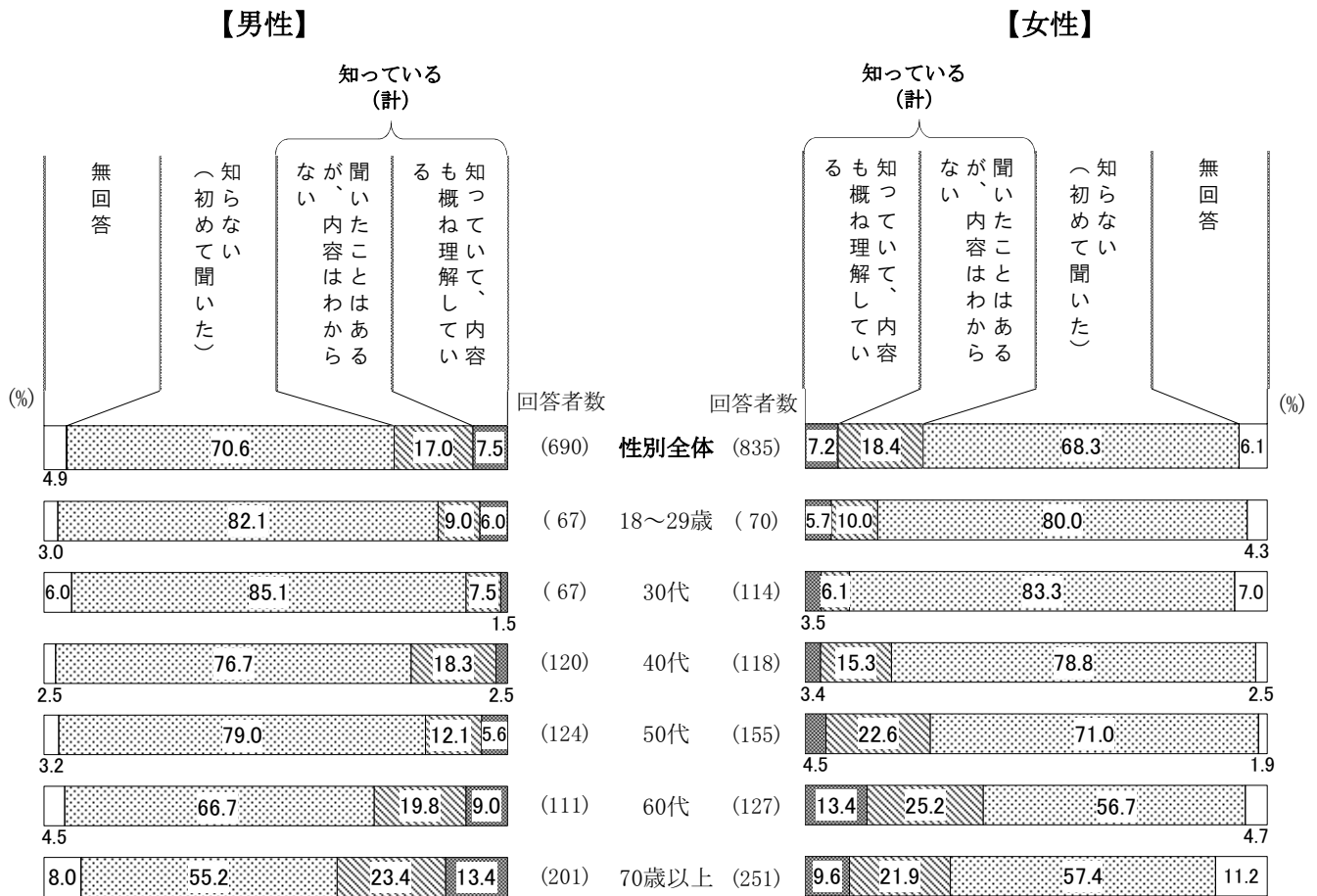


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

(ア) 性別で見ると、認知状況に特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は女性の60代が38.6%と最も高く、次いで男性の70歳以上が36.8%となっている。一方、男女とも30代で1割弱と低くなっている。

図9-1-3 性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



（2）「地域包括支援センター」の認知状況

問41 あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は1つだけ）。

※「地域包括支援センター」は、足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の健康や介護に関する様々なご相談に応じています。

■【知っている】は漸増が続き、初めて6割台

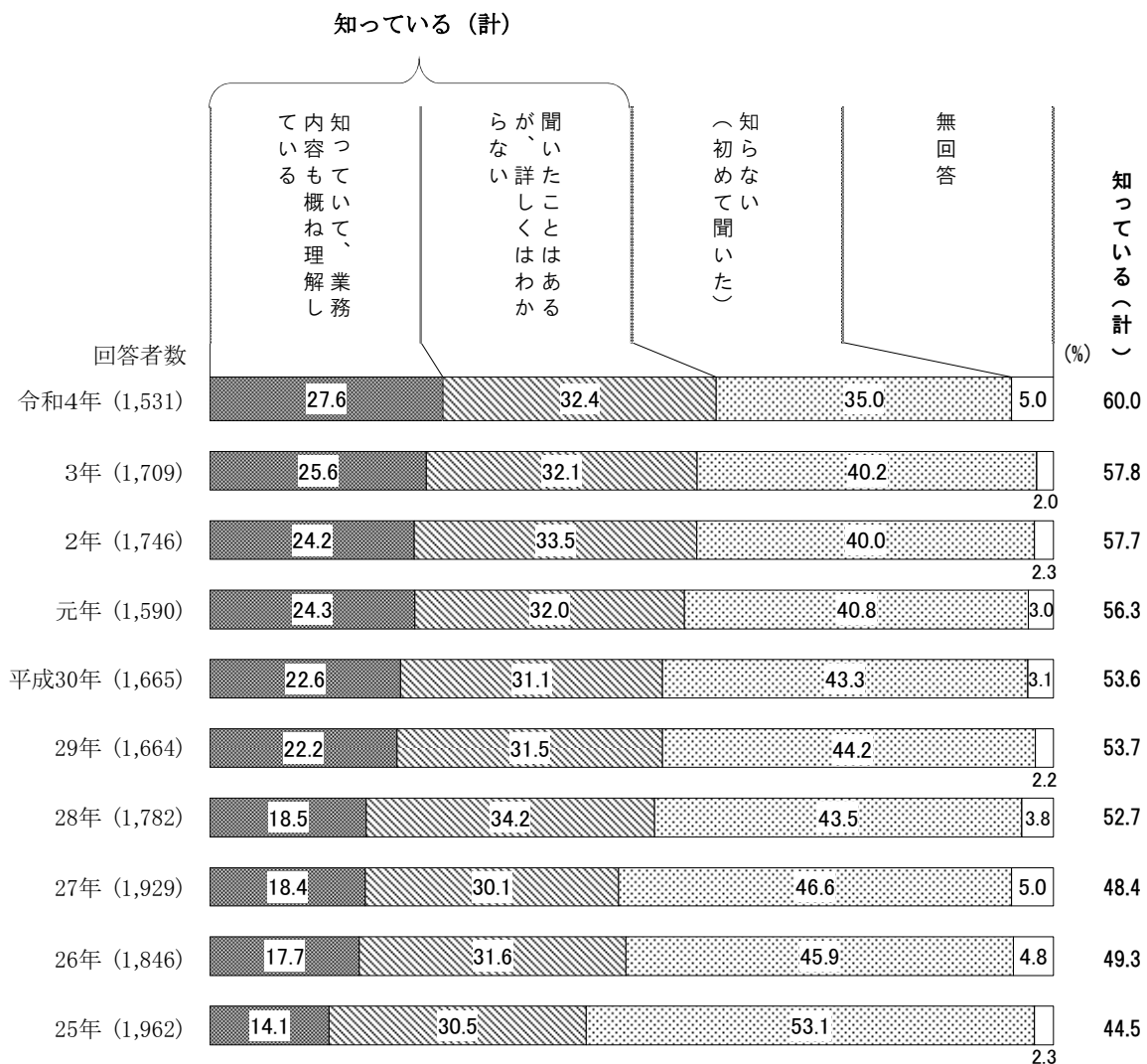
ア 単純集計・経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況

（ア）「地域包括支援センター」について、「知っていて、業務内容も概ね理解している」が27.6%で、これに「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」（32.4%）を合わせた【知っている】は60.0%となっている。

（イ）「地域包括支援センター」を「知らない（初めて聞いた）」は35.0%であった。

（ウ）経年でみると、【知っている】は漸増を続け、本設問の開始以降初めて6割台となり、一方、「知らない（初めて聞いた）」（前回調査40.2%）は前回調査から5.2ポイントの減少となった。

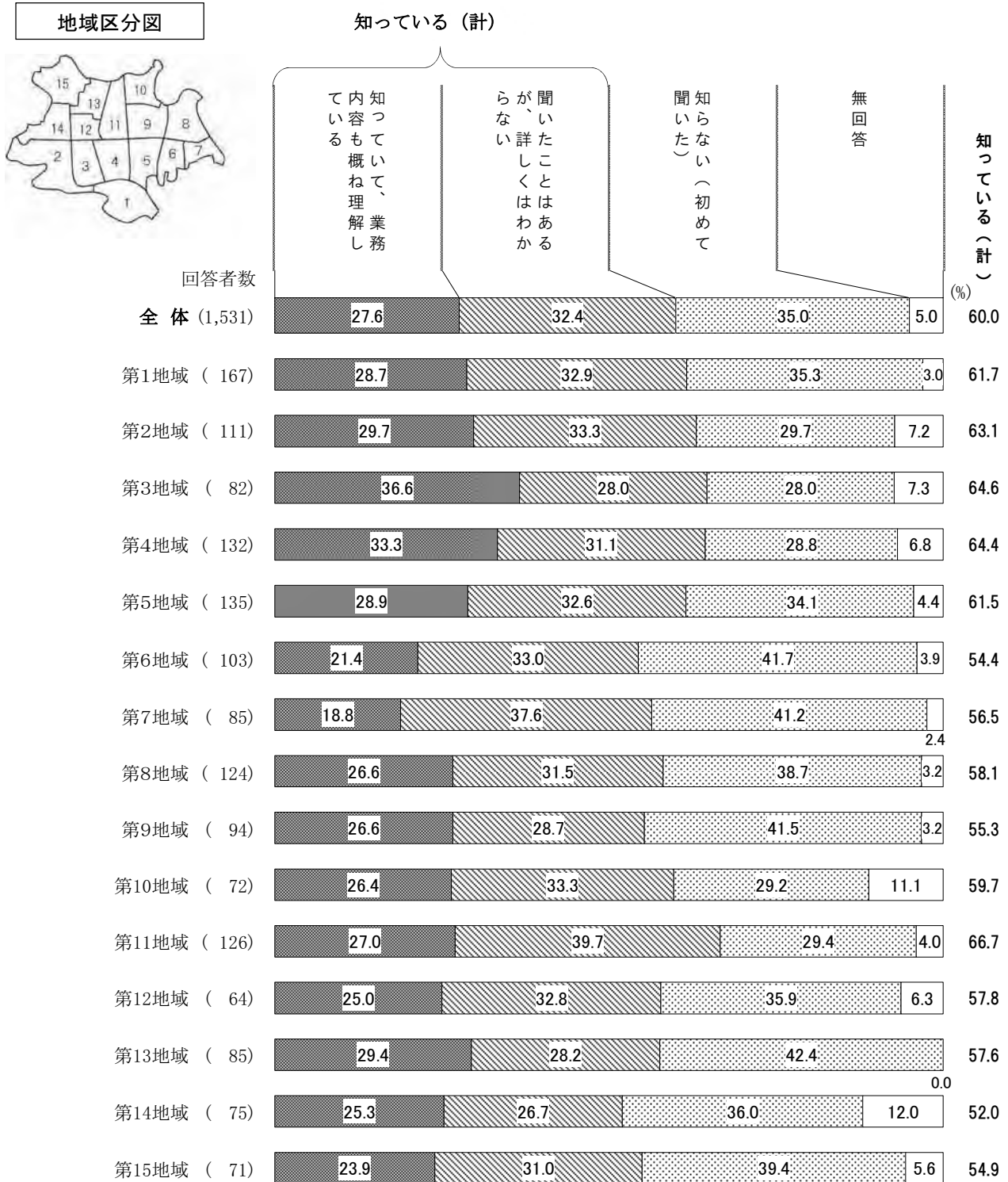
図9-2-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況



イ クロス集計・地域別／「地域包括支援センター」の認知状況

地域別でみると、【知っている】は、第11地域で66.7%と最も高く、次いで、第3地域(64.6%)と第4地域(64.4%)が僅差で続いている。一方、「知らない(初めて聞いた)」は、第13地域で42.4%と最も高く、次いで、第6地域(41.7%)、第9地域(41.5%)、第7地域(41.2%)などとなっている。

図9-2-2 地域別／「地域包括支援センター」の認知状況

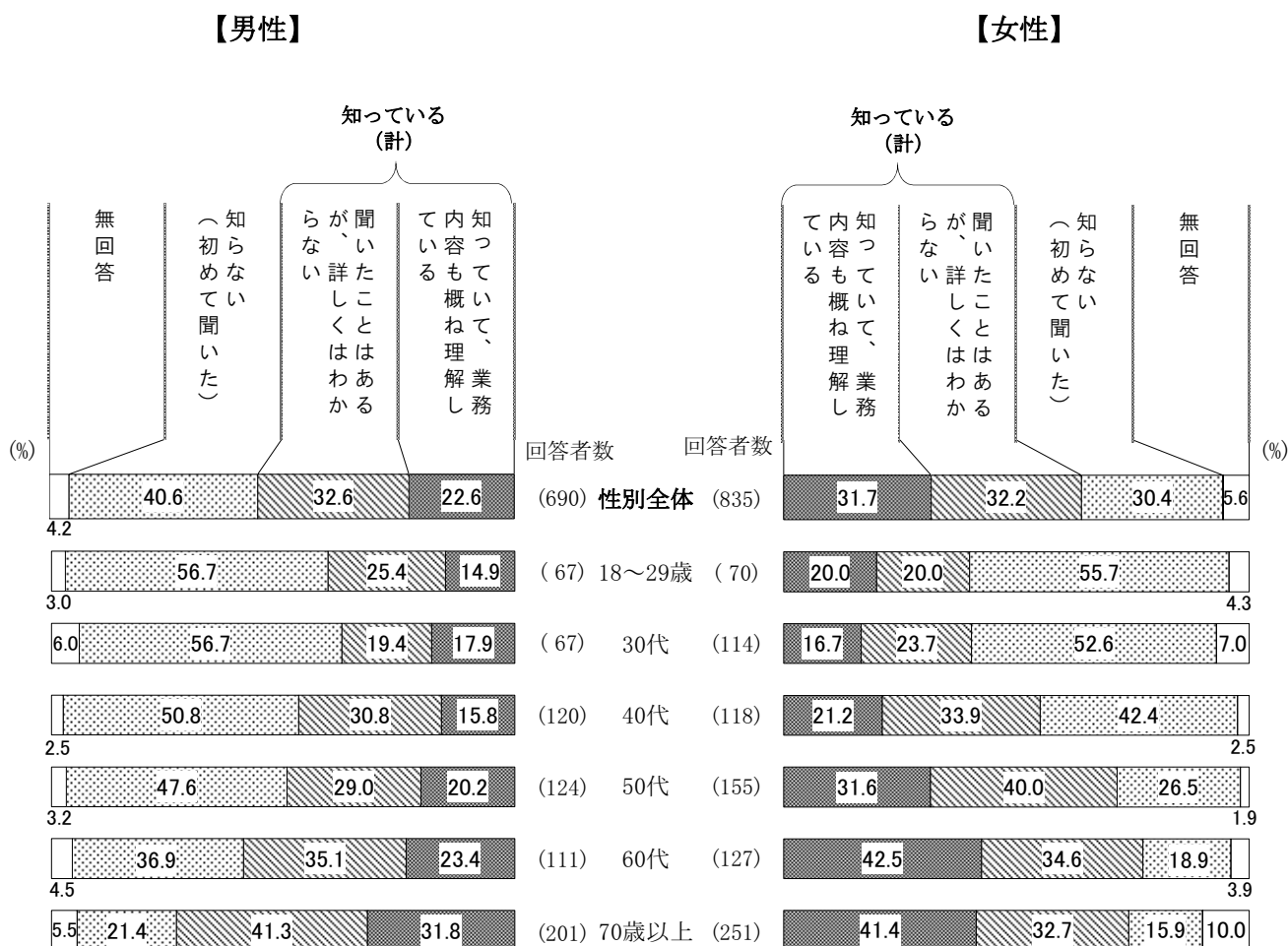


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況

(ア) 性別で見ると、【知っている】は女性（64.0%）の方が男性（55.2%）より8.8ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は、男女ともにおおむね年代が下がるほど割合も下がっており、女性の60代が77.2%で最も高く、男性の30代が37.3%で最も低くなっている。

図9-2-3 性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況



（3）高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

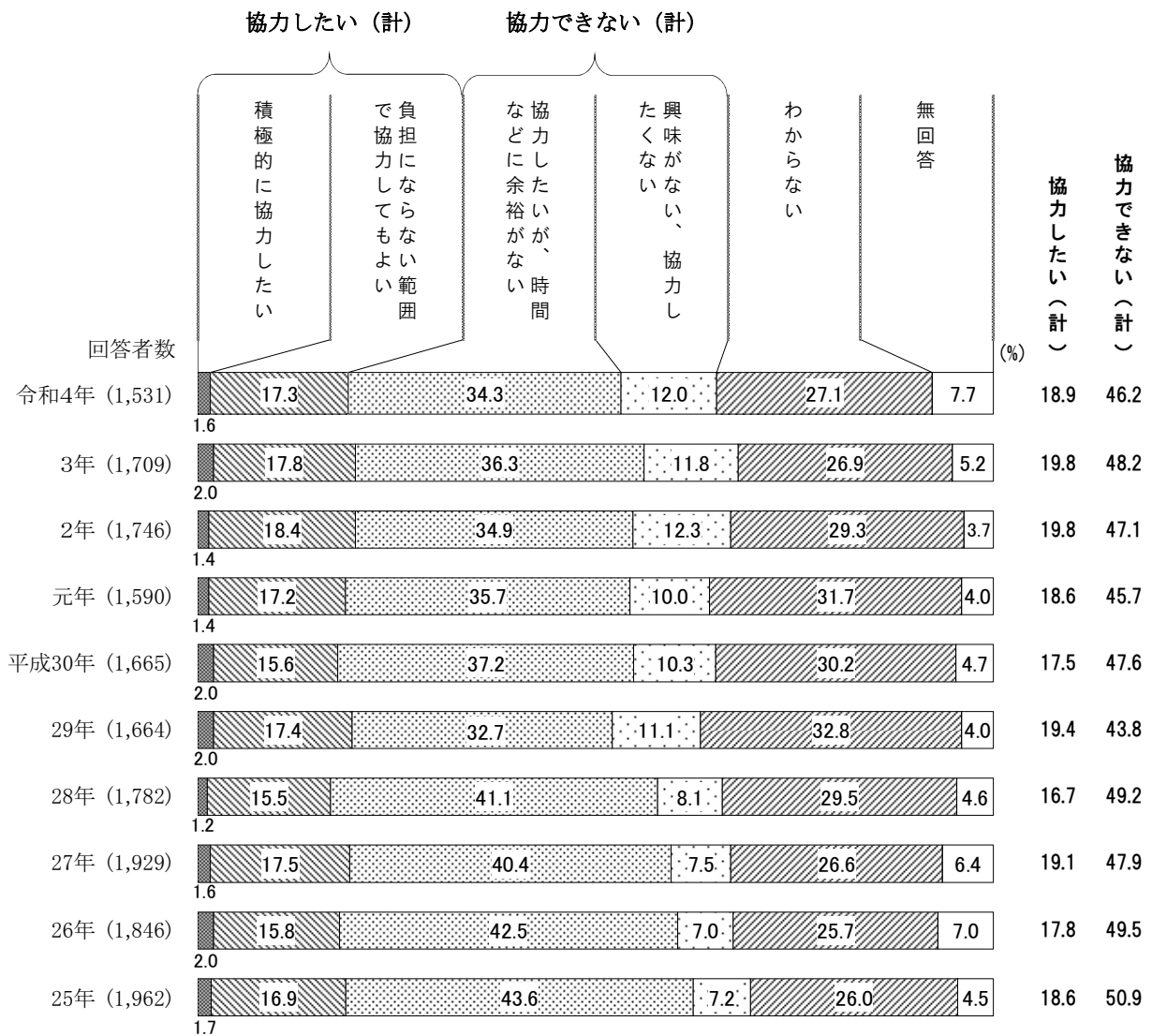
問42 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は1つだけ）。

■【協力したい】は2割弱で、前回から微減

ア 単純集計・経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

- （ア）高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は1.6%で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」（17.3%）を合わせた【協力したい】は18.9%となっている。
- （イ）活動に「協力したいが、時間などに余裕がない」は34.3%で最も高く、これに「興味がない、協力したくない」（12.0%）を合わせた【協力できない】は46.2%となっている。
- （ウ）経年でみると、前回調査から特に大きな違いはみられない。

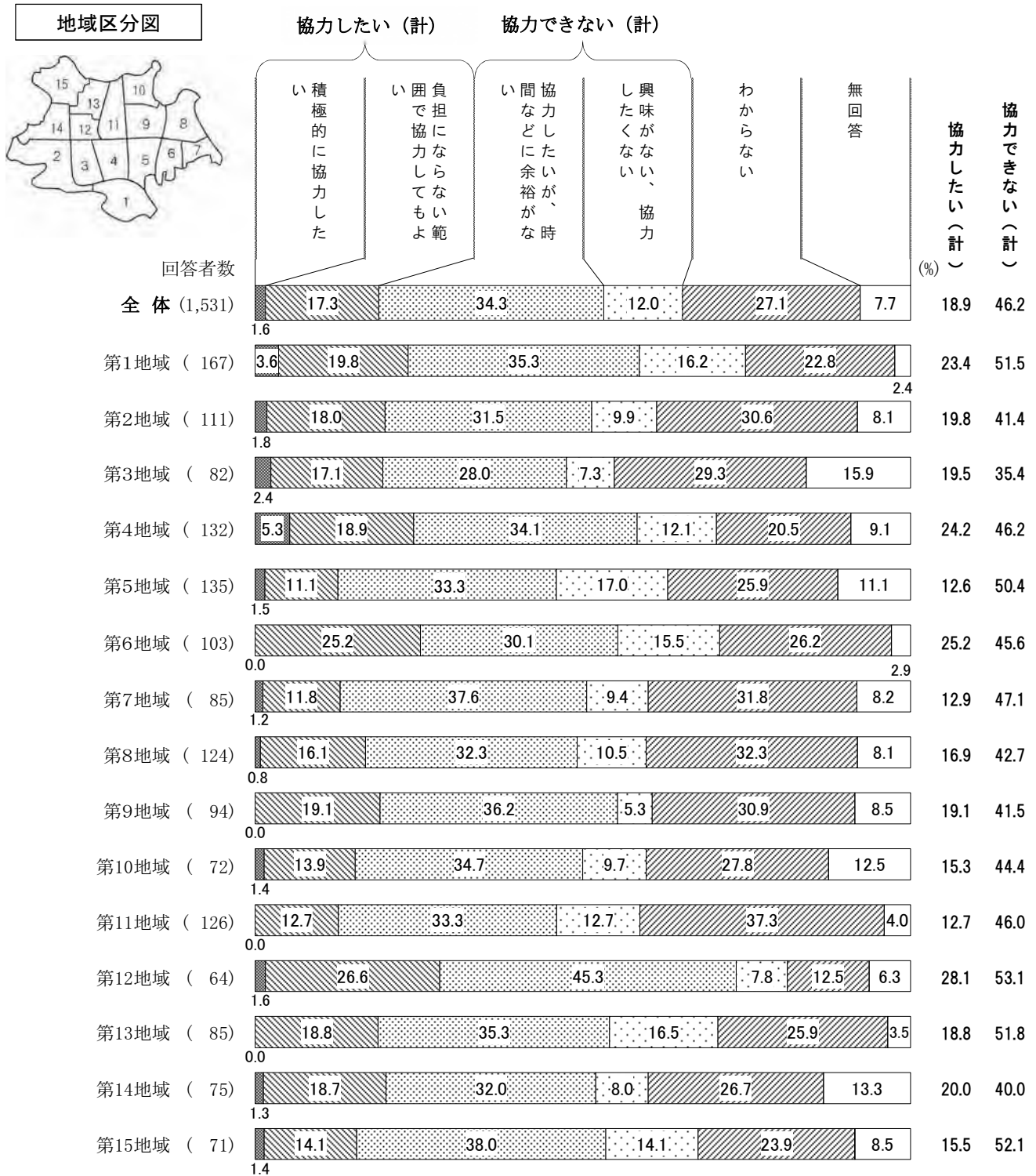
図9-3-1 経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



イ クロス集計・地域別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

地域別でみると、【協力したい】は第12地域が28.1%で最も高く、次いで、第6地域と第4地域が2割台半ばで続いている。一方、【協力できない】は第12地域が53.1%と最も高く、次いで、第15地域と第13地域、第1地域が5割強で続いている。

図9-3-2 地域別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

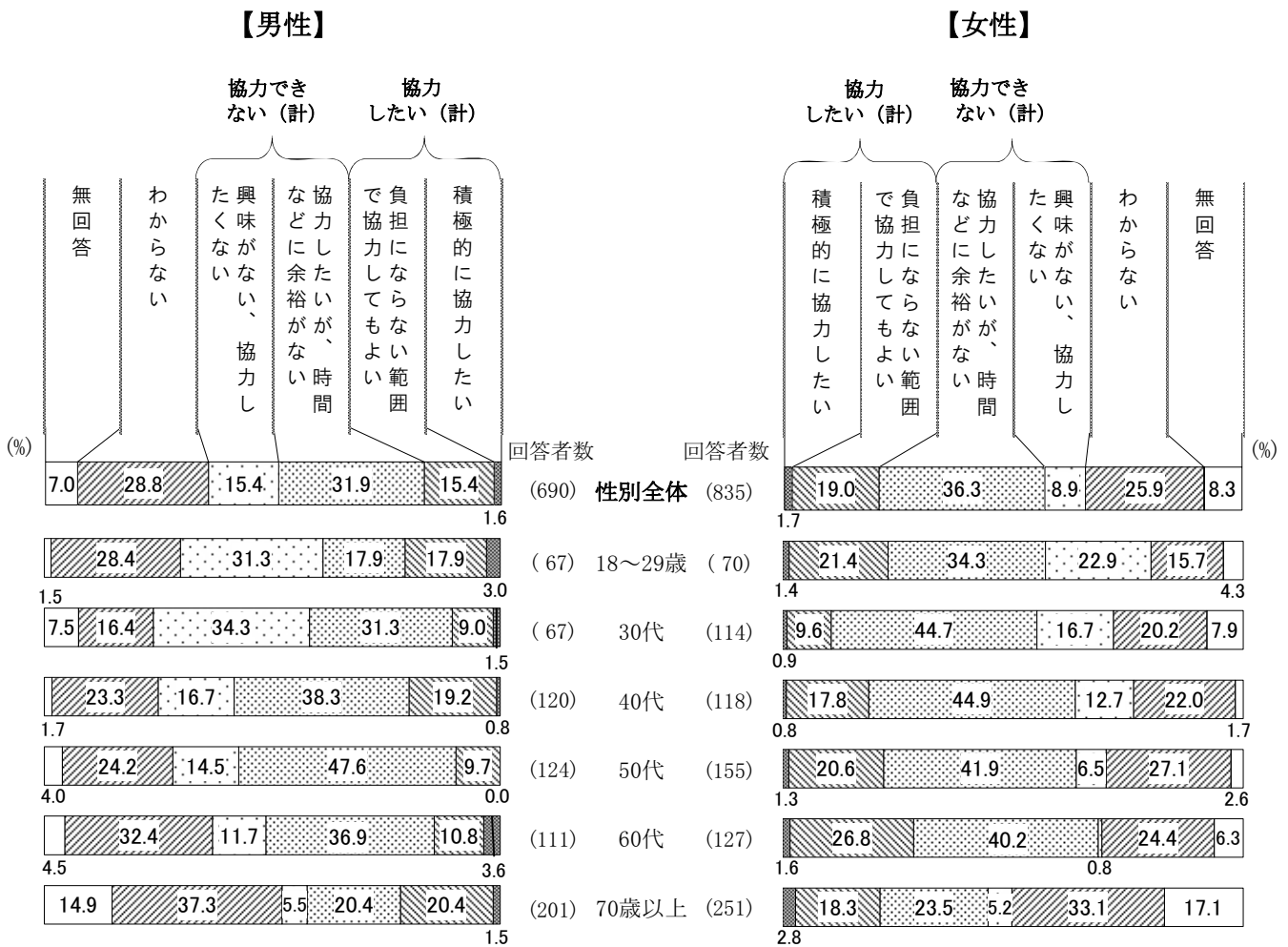


ウ クロス集計・性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

(ア) 性別でみると、【協力したい】は女性（20.7%）の方が男性（17.0%）より3.7ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【協力したい】は年代の高低での傾向はみられないが、女性の60代が28.3%で最も高く、次いで女性の18～29歳が22.9%となっている。一方、【協力できない】は、男性の30代が65.7%で最も高く、次いで男性の50代（62.1%）と女性の30代（61.4%）が6割強で続いている。

図9-3-3 性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



（4）協力意向がある活動内容

問42で「1 積極的に協力～」または「2 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に
 問42-1 どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

■ “ちょっとした気づかいの活動”が5割強、“調査する活動”が4割

ア 単純集計・経年比較／協力意向がある活動内容

（ア）【協力したい】という人に、その活動内容を聞いたところ、高い順にみると以下のとおりとなっている。

- ① 「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」（51.0%）
- ② 『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動（40.0%）
- ③ 「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」（30.3%）
- ④ 「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」（11.7%）

（イ）経年でみると、上位項目の順位に変動はみられないものの、「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」は前回調査より6.6ポイント減少し、『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」は前回調査より3.0ポイント増加している。

図9-4-1-① 経年比較／協力意向がある活動内容

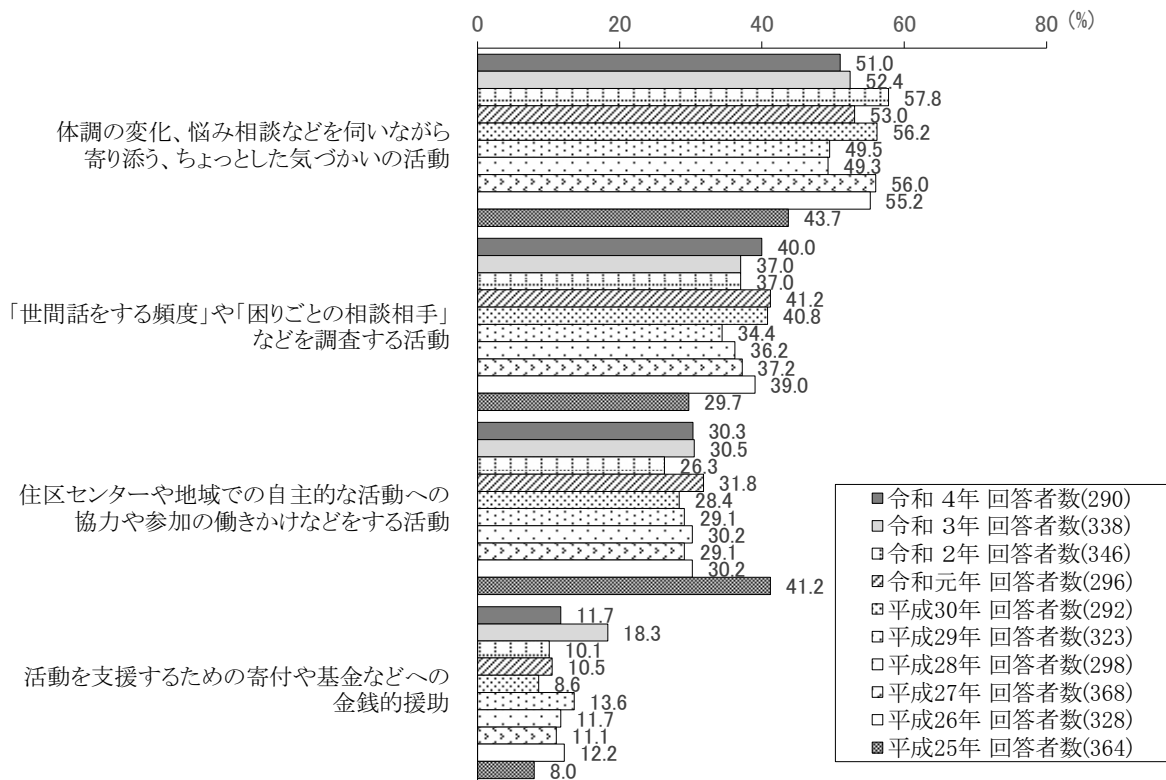
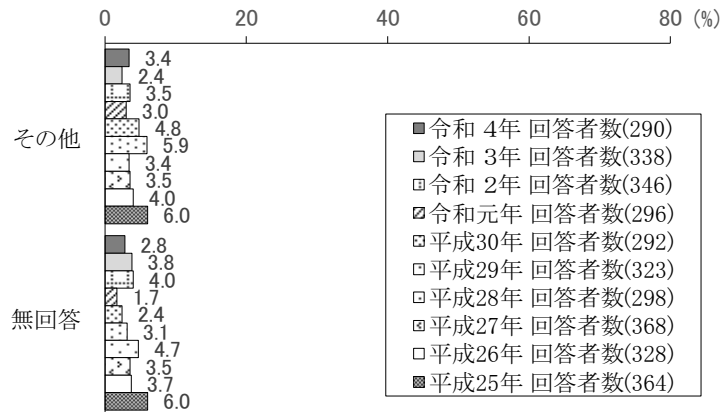


図9-4-1-② 経年比較／協力意向がある活動内容



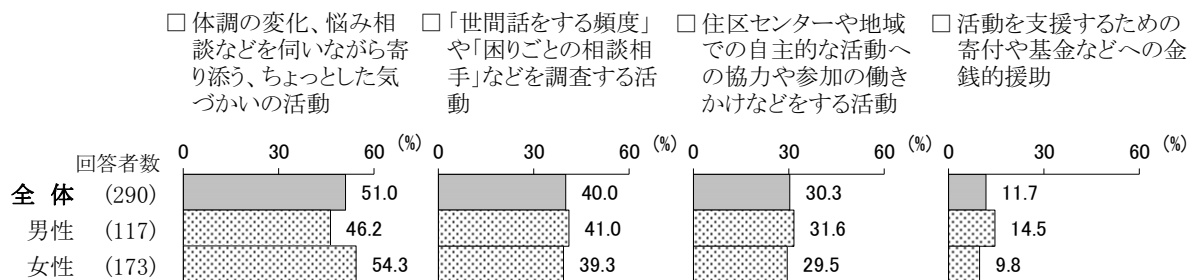
平成25年調査の選択肢について

- 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動＝平成25年調査：寄り添い支援活動
- 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動＝平成25年調査：調査活動
- 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動＝平成25年調査：居場所づくりや活動の場での協力
- 活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助＝平成25年調査：財政的協力

イ クロス集計・性別／協力意向がある活動内容

性別でみると、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は女性（54.3%）の方が男性（46.2%）より8.1ポイント高く、「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」では、男性（14.5%）の方が女性（9.8%）より4.7ポイント高くなっている。

図9-4-2 性別／協力意向がある活動内容



（5）「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

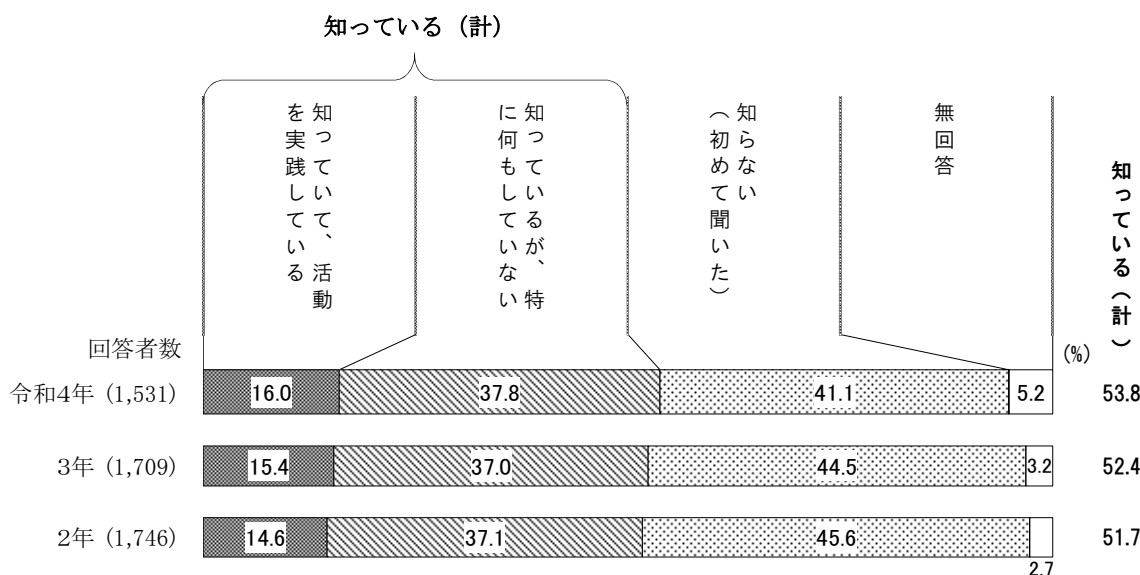
問43 あなたは、高齢期におこりやすい、筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか（○は1つだけ）。

■【知っている】は5割半ば近くで、漸増が続く

ア 単純集計・経年比較／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

- （ア）「フレイル」にならないために「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」が大切なことの認知とその実践状況は、「知っていて、活動を実践している」は16.0%となっており、これに「知っているが、特に何もしていない」（37.8%）を合わせた【知っている】は53.8%となっている。
- （イ）「フレイル」にならないための活動について「知らない（初めて聞いた）」は41.1%となっている。
- （ウ）経年でみると、「知らない（初めて聞いた）」（前回調査44.5%）は前回から3.4ポイントの減少となっている。

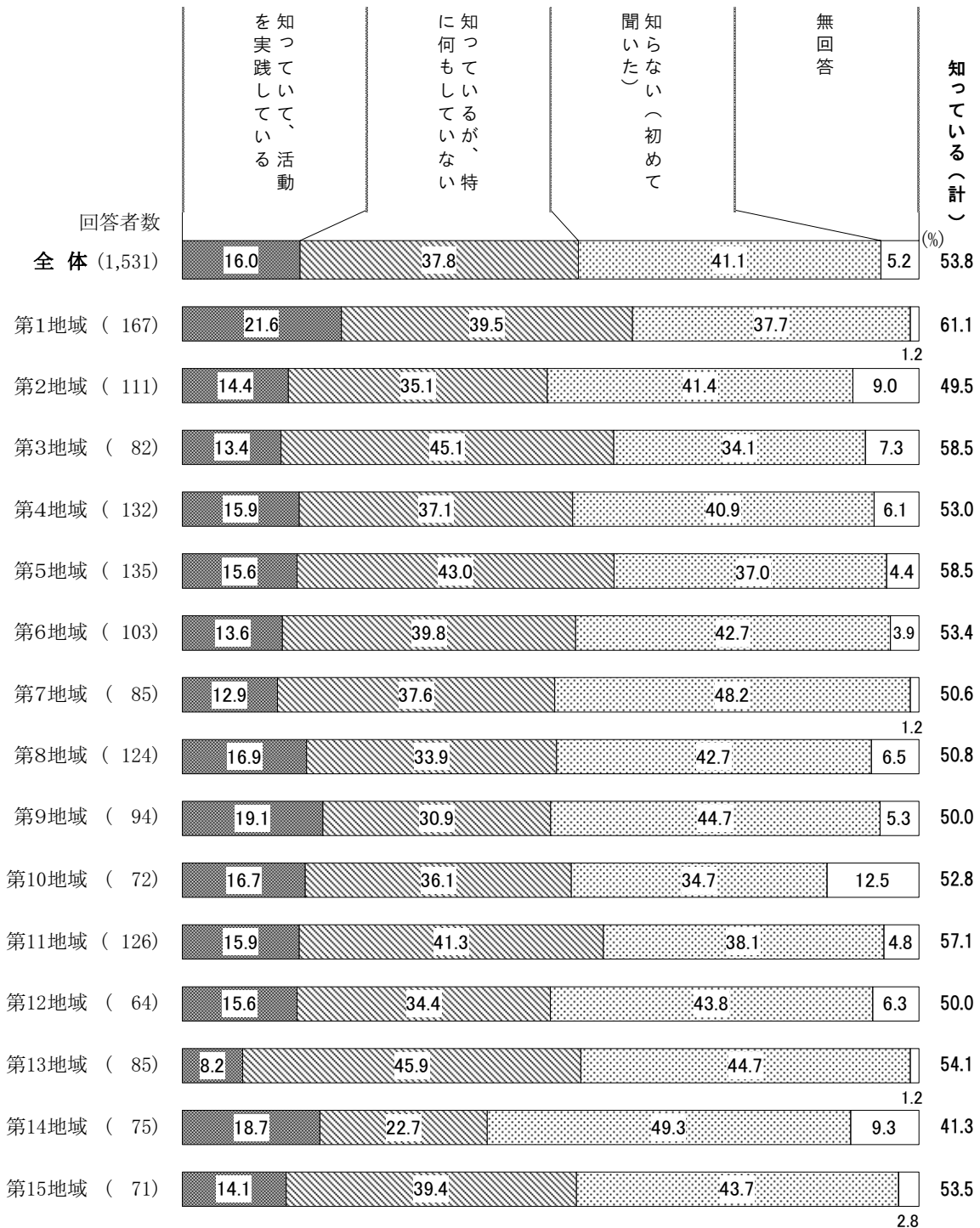
図9-5-1 経年比較／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況



イ クロス集計・地域別／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

地域別でみると、「知っていて、活動を実践している」は第1地域が21.6%で最も高く、これに第9地域（19.1%）、第14地域（18.7%）が続いている。【知っている】でみると、第1地域が61.1%で最も高く、次いで第3地域と第5地域がともに58.5%で続いている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は第14地域が49.3%で最も高くなっている。

図9-5-2 地域別／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

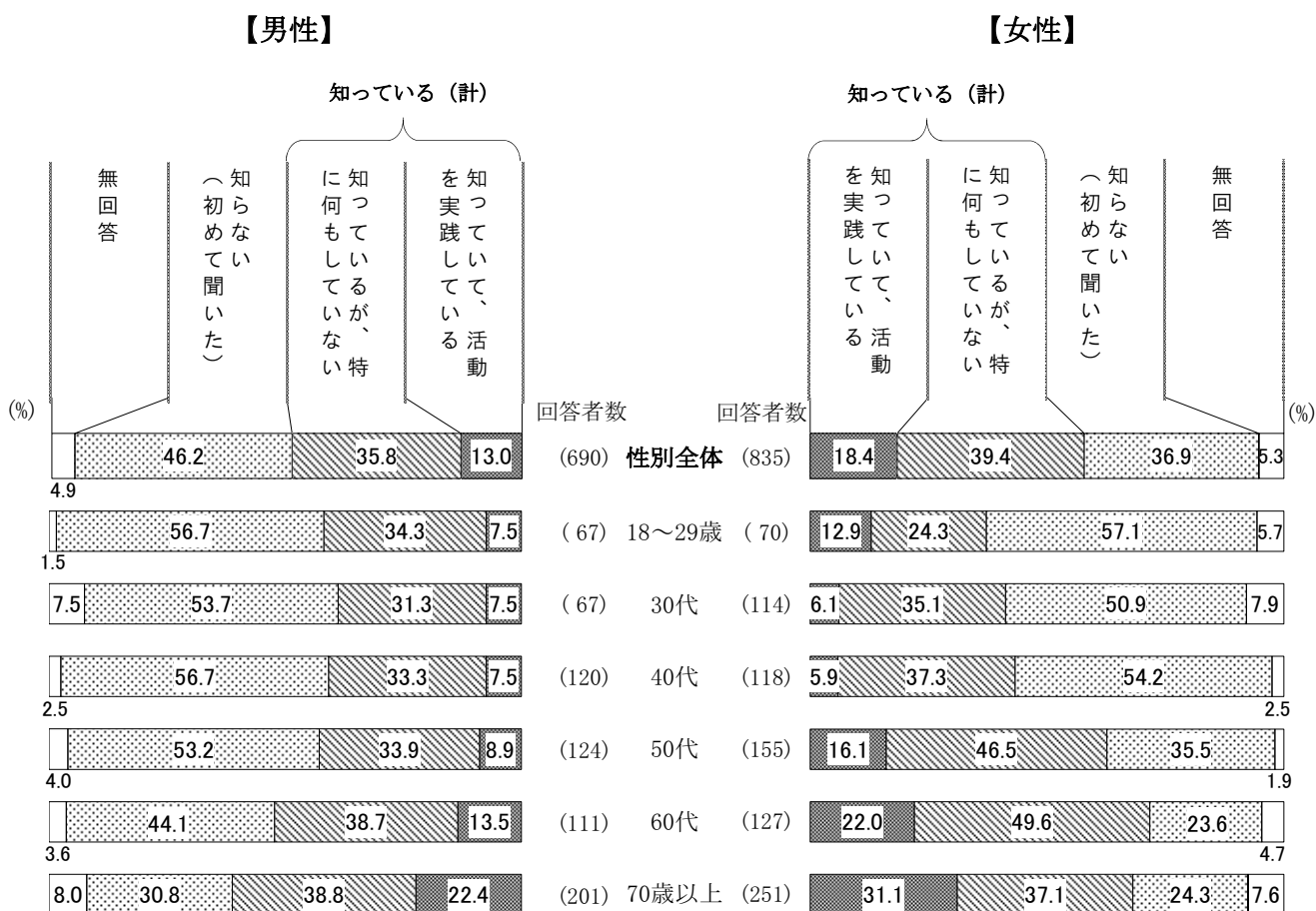


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況

(ア) 性別でみると、【知っている】は女性（57.8%）の方が男性（48.8%）より9.0ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【知っている】は、女性の60代が71.7%で最も高く、次いで女性の70歳以上が68.1%で続いている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は女性の18～29歳が57.1%で最も高く、僅差で男性の18～29歳と男性の40代（ともに56.7%）となっている。

図9-5-3 性別、性・年代別／「フレイル」にならないための活動の認知と実践状況



(6) 「たんぱく質を多く含む食品」の摂食状況

問44 あなたは、たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどれくらいの頻度で食べていますか（○は1つだけ）。

※「フレイル」になる要因の一つとして、たんぱく質の不足があげられます。

■「毎食（1日3回）食べている」が2割、「1日2回位食べている」が3割弱

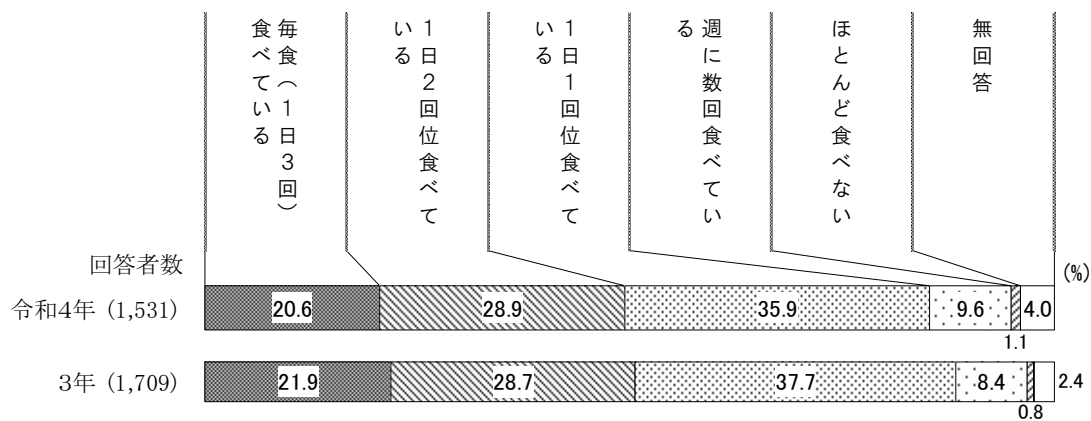
ア 単純集計・前回調査比較／「たんぱく質を多く含む食品」の摂取状況

(ア)「たんぱく質を多く含む食品」の摂食頻度は、高い順にみると以下のとおりとなっている。

- ①「1日1回位食べている」(35.9%)
- ②「1日2回位食べている」(28.9%)
- ③「毎食（1日3回）食べている」(20.6%)
- ④「週に数回食べている」(9.6%)
- ⑤「ほとんど食べない」(1.1%)

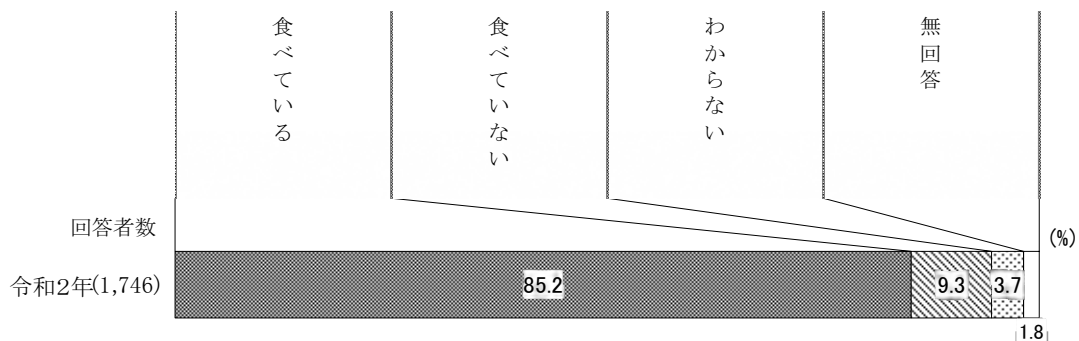
(イ) 前回の令和3年調査との比較では、回答割合に特に大きな違いはみられない。

図9-6-1 前回調査比較／「たんぱく質を多く含む食品」の摂取状況



参考／（令和2年調査）「たんぱく質を多く含む食品」の毎食の摂食状況

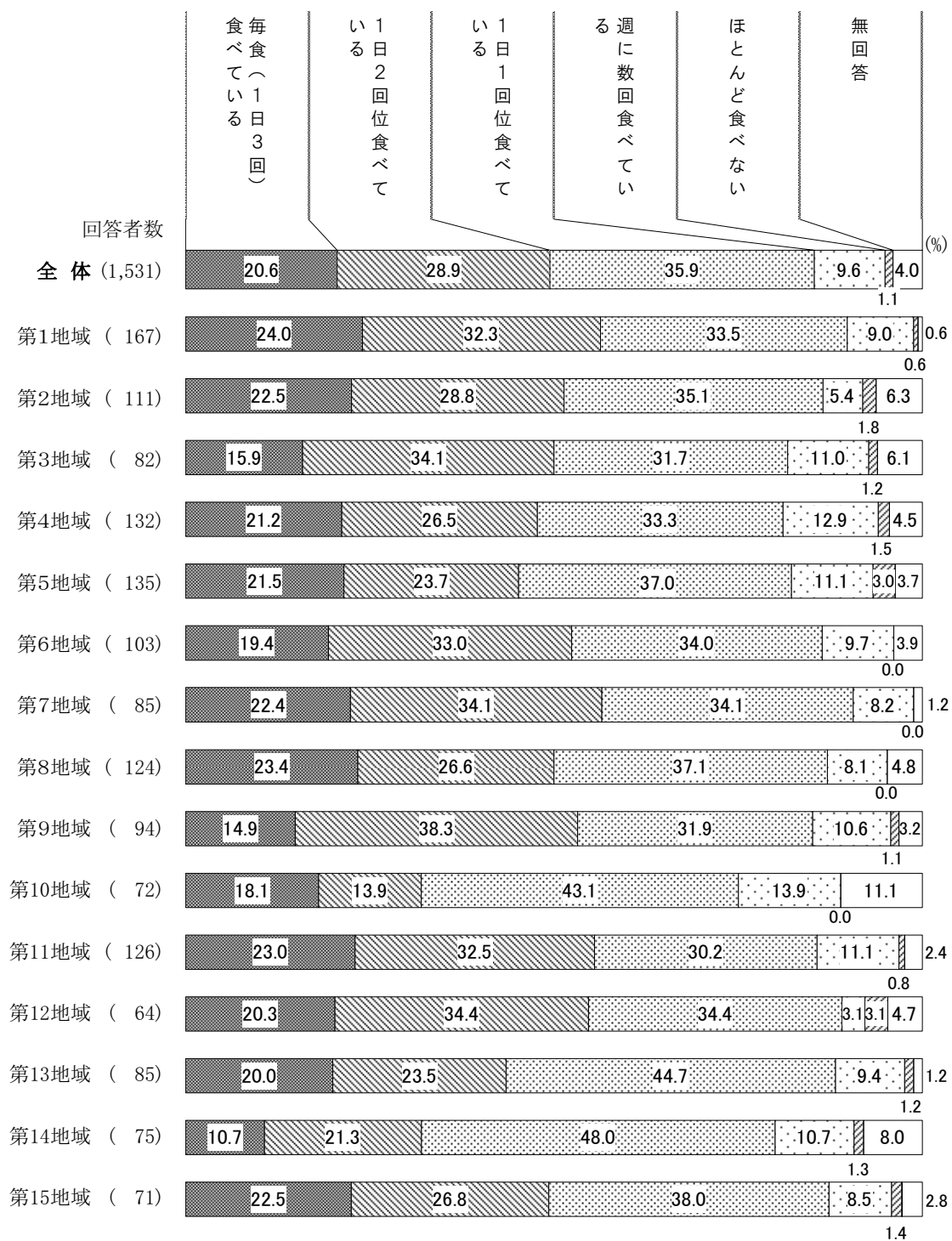
問 あなたは毎食、たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品）を1種類以上食べていますか（○は1つだけ）。



イ クロス集計・地域別／「たんぱく質を多く含む食品」の摂取状況

地域別でみると、「毎食（1日3回）食べている」は第1地域が24.0%で最も高く、僅差で第8地域（23.4%）、第11地域（23.0%）が続いている。逆に、第14地域が10.7%で他の地域に比べて特に低くなっている。

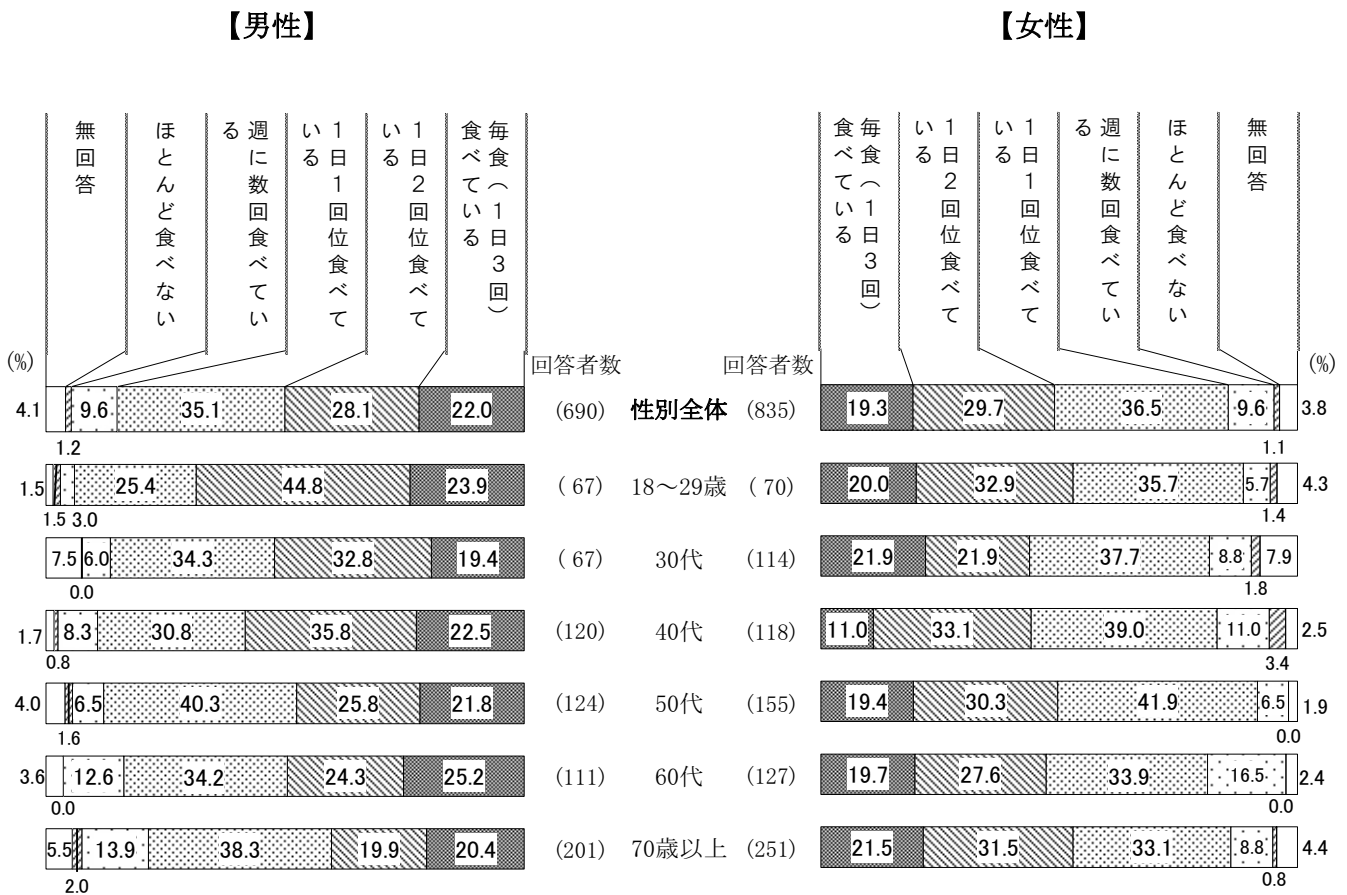
図9-6-2 地域別／「たんぱく質を多く含む食品」の摂取状況



ウ クロス集計・性別、性・年代別／「たんぱく質を多く含む食品」の摂取状況

- (ア) 性別で見ると、「毎食（1日3回）食べている」は男性（22.0%）の方が女性（19.3%）より僅かに高いものの、特に大きな違いはみられない。
- (イ) 性・年代別で見ると、「毎食（1日3回）食べている」は、男性の60代が25.2%で最も高く、次いで、男性の18～29歳（23.9%）となっている。逆に、女性の40代が11.0%で他の性・年代層に比べて特に低くなっている。

図9-6-3 性別、性・年代別／「たんぱく質を多く含む食品」の摂取状況



（7）仕事と仕事以外の生活の調和

問45 あなたは、仕事と仕事以外の生活の調和が取れていると思いますか（○は1つだけ）。

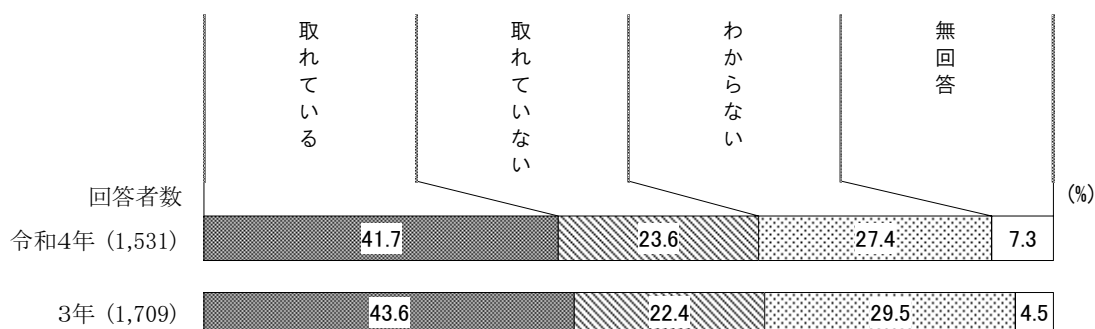
■「取れている」が4割強で、「取れていない」が2割台半ば近く

ア 単純集計・前回調査比較／仕事と仕事以外の生活の調和

（ア）仕事と仕事以外の生活の調和について、「取れている」が41.7%で、「取れていない」(23.6%)を上回っている。一方、「わからない」は27.4%であった。

（イ）本設問が新設された前回の令和3年調査との比較では、回答割合に大きな違いはみられない。

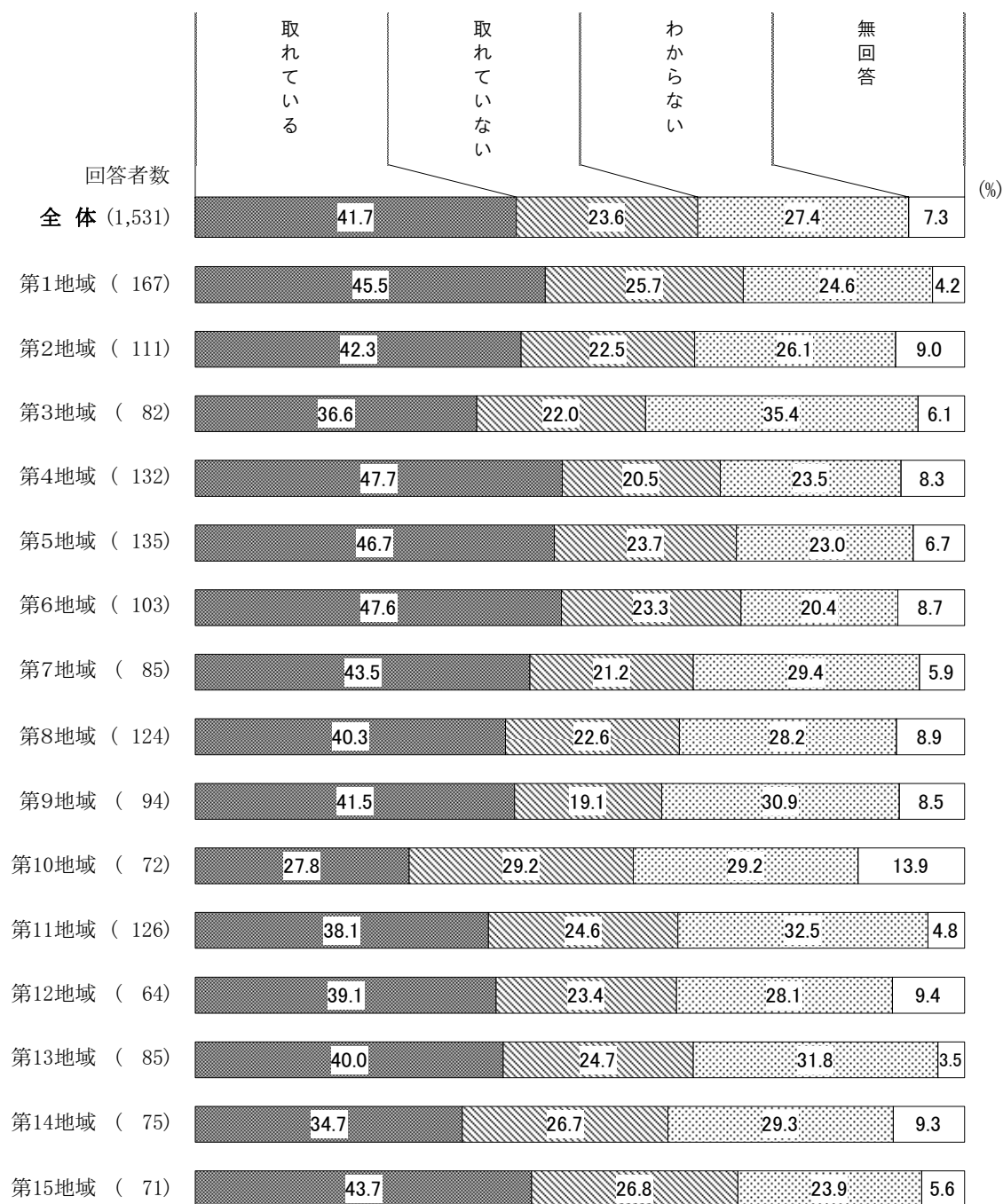
図9-7-1 前回調査比較／仕事と仕事以外の生活の調和



イ クロス集計・地域別／仕事と仕事以外の生活の調和

地域別でみると、「取れている」は第4地域が47.7%で最も高く、次いで、第6地域(47.6%)と第5地域(46.7%)が僅差で続いている。一方、「取れていない」は第10地域が29.2%で最も高くなっている。

図9-7-2 地域別／仕事と仕事以外の生活の調和

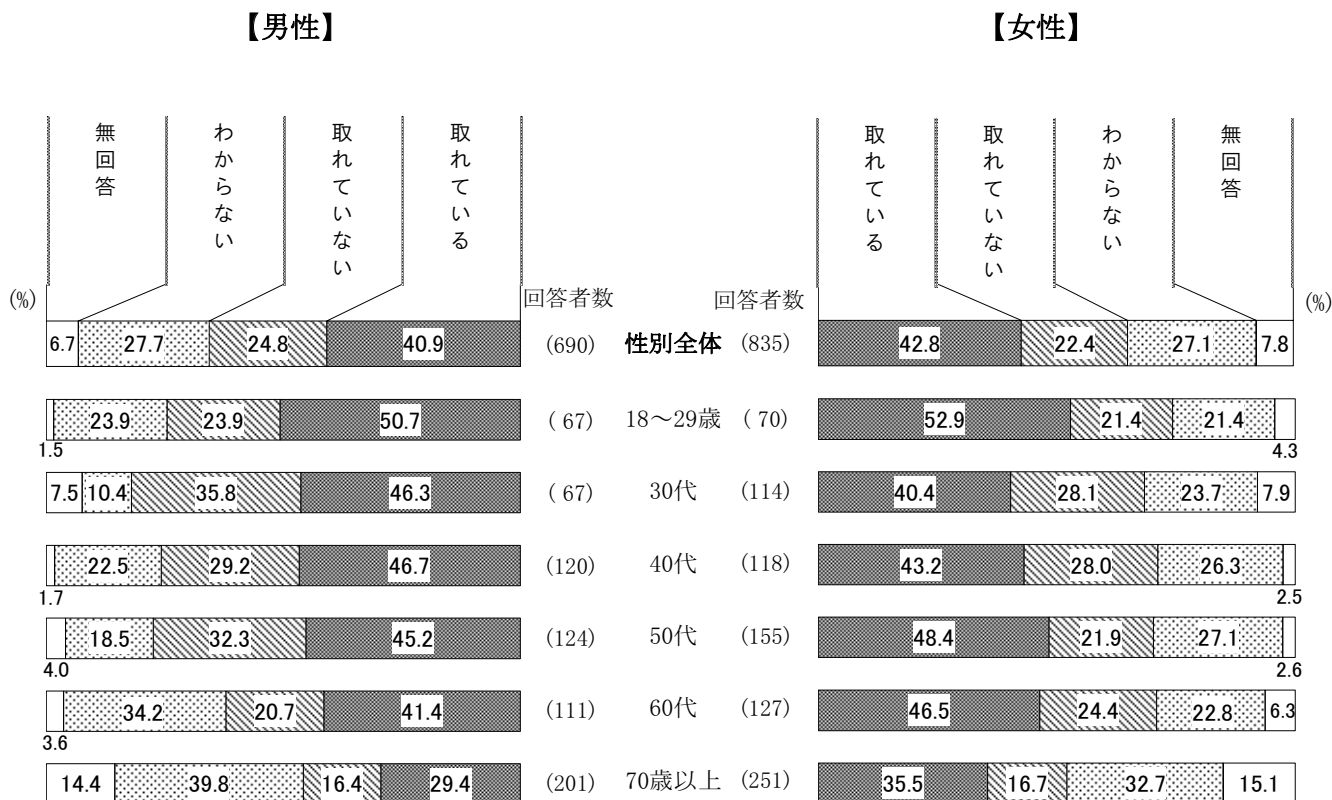


ウ クロス集計・性別、性・年代別／仕事と仕事以外の生活の調和

(ア) 性別で見ると、割合に特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、「取れている」は女性の18～29歳が52.9%で最も高く、次いで、男性の18～29歳が50.7%が続いている。一方、「取れていない」は、男性の30代が35.8%で最も高く、次いで、男性の50代が32.3%が続いている。

図9-7-3 性別、性・年代別／仕事と仕事以外の生活の調和



（8）「成年後見制度」「身体的暴力以外のDV」「LGBT」の認知状況

問46 あなたは、下記のア～ウについて知っていますか（○はそれぞれ1つずつ）。

■【知っている】は「身体的暴力以外のDV」が8割強、「LGBT」が6割台半ば超

ア 単純集計・前回調査比較／「成年後見制度」「身体的暴力以外のDV」「LGBT」の認知状況

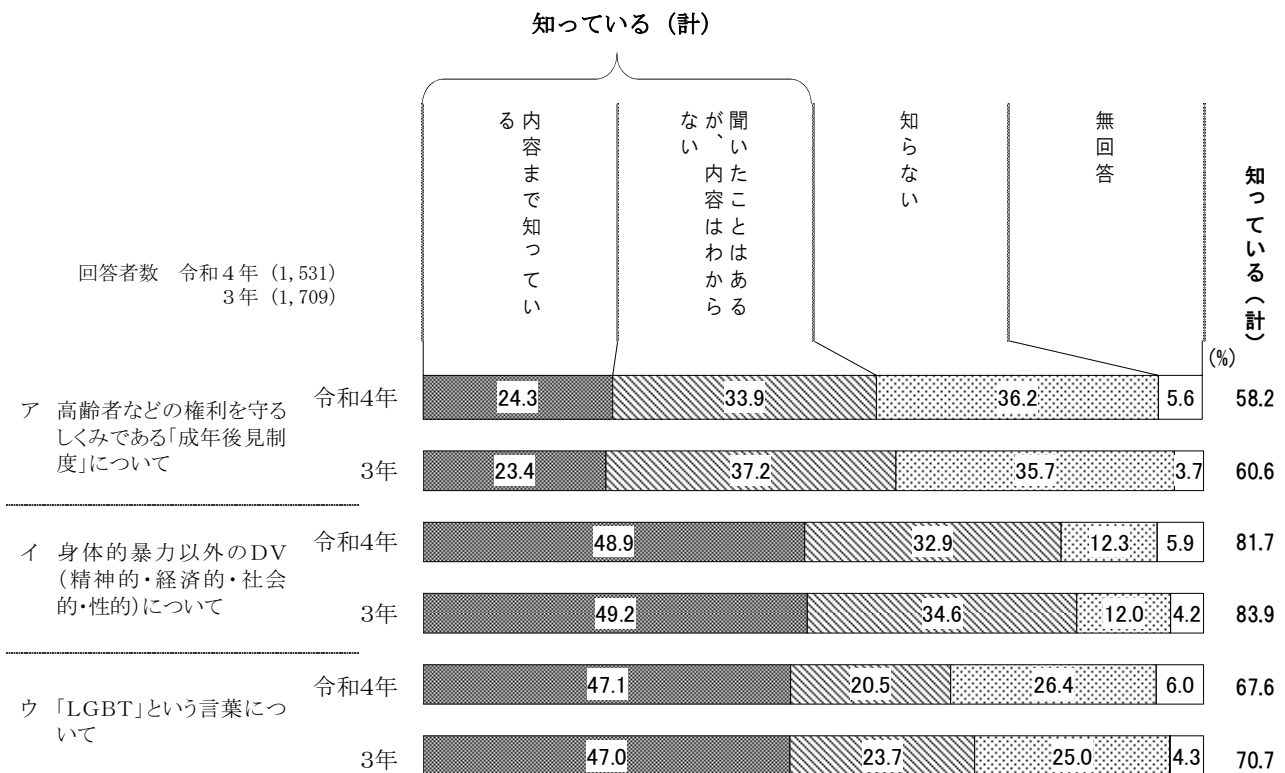
（ア）〈成年後見制度〉は、「内容まで知っている」が24.3%で、「聞いたことはあるが、内容はわからない」（33.9%）を合わせた【知っている】は6割弱となっている。一方、「知らない」は36.2%となっている。

（イ）〈身体的暴力以外のDV〉は、「内容まで知っている」が48.9%で最も高く、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」（32.9%）を合わせた【知っている】は8割強となっている。一方、「知らない」は12.3%となっている。

（ウ）〈LGBT〉は、「内容まで知っている」が47.1%と最も高く、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」（20.5%）を合わせた【知っている】は6割台半ば超えとなっている。一方、「知らない」は26.4%となっている。

（エ）本設問が新設された前回の令和3年調査との比較では、〈成年後見制度〉と〈身体的暴力以外のDV〉については、回答割合に特に大きな違いはみられないが、〈LGBT〉は【知っている】が前回調査に比べて3.1ポイント減少している。

図9-8-1 前回調査比較／「成年後見制度」「身体的暴力以外のDV」「LGBT」の認知状況



イ クロス集計・性別、性・年代別

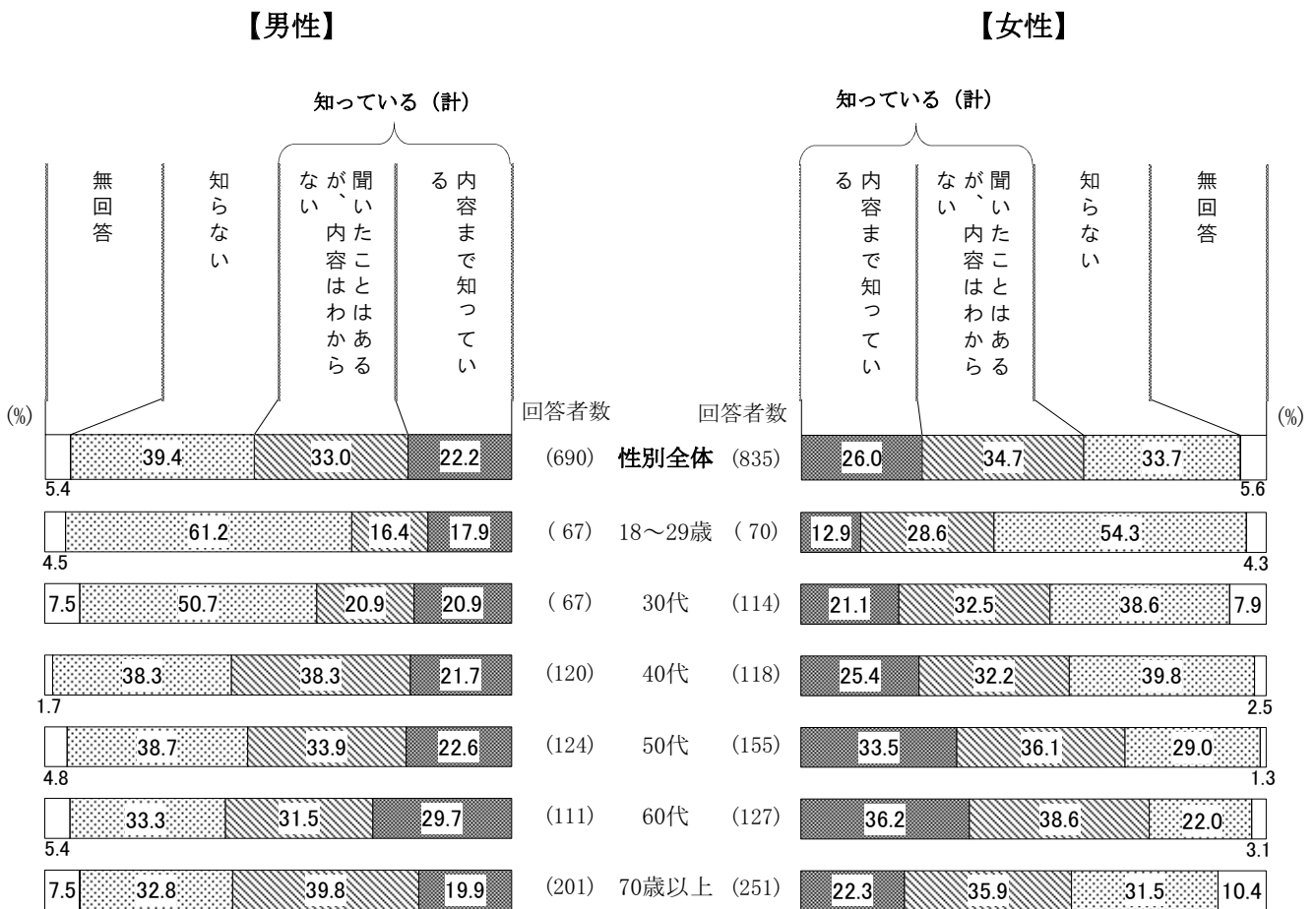
／高齢者などの権利を守るしくみである「成年後見制度」について

(ア) 〈成年後見制度〉の認知状況を性別で見ると、【知っている】は女性（60.7%）の方が男性（55.2%）より5.5ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は女性の60代が74.8%で最も高く、次いで、女性の50代が69.7%で続いている。一方、「知らない」は男性の18～29歳が61.2%で最も高く、次いで、女性の18～29歳（54.3%）となっている。

図9-8-2-① 性別、性・年代別

／高齢者などの権利を守るしくみである「成年後見制度」について



ウ クロス集計・性別、性・年代別

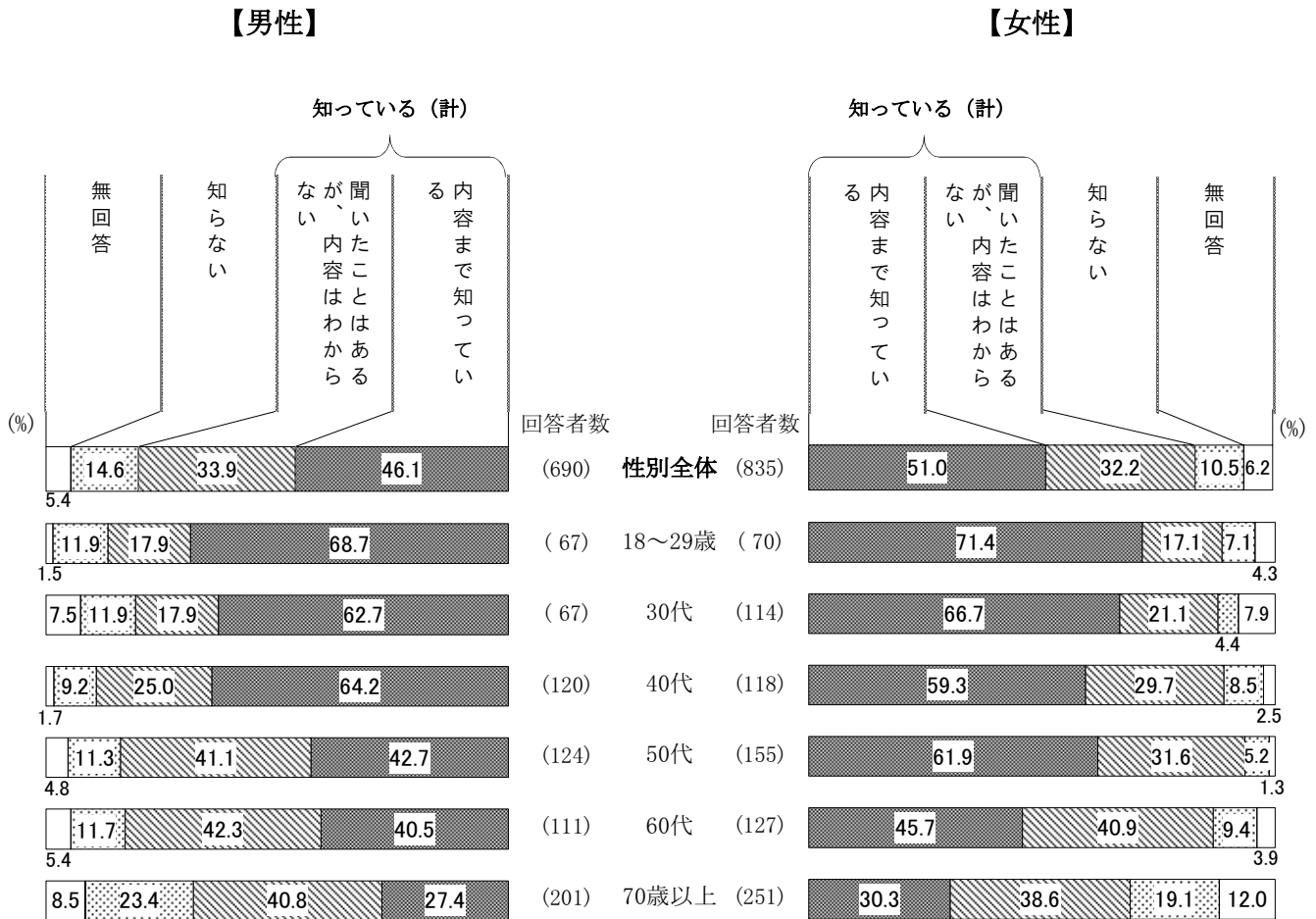
／身体的暴力以外のDV（精神的・経済的・社会的・性的）について

(ア) 〈身体的暴力以外のDV〉の認知状況を性別で見ると、【知っている】は女性（83.2%）の方が男性（80.0%）より3.2ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は女性の50代が93.5%で最も高く、次いで男性の40代が89.2%で続いている。一方、「知らない」は男性の70歳以上が23.4%で最も高く、次いで女性の70歳以上（19.1%）となっている。

図9-8-2-② 性別、性・年代別

／身体的暴力以外のDV（精神的・経済的・社会的・性的）について

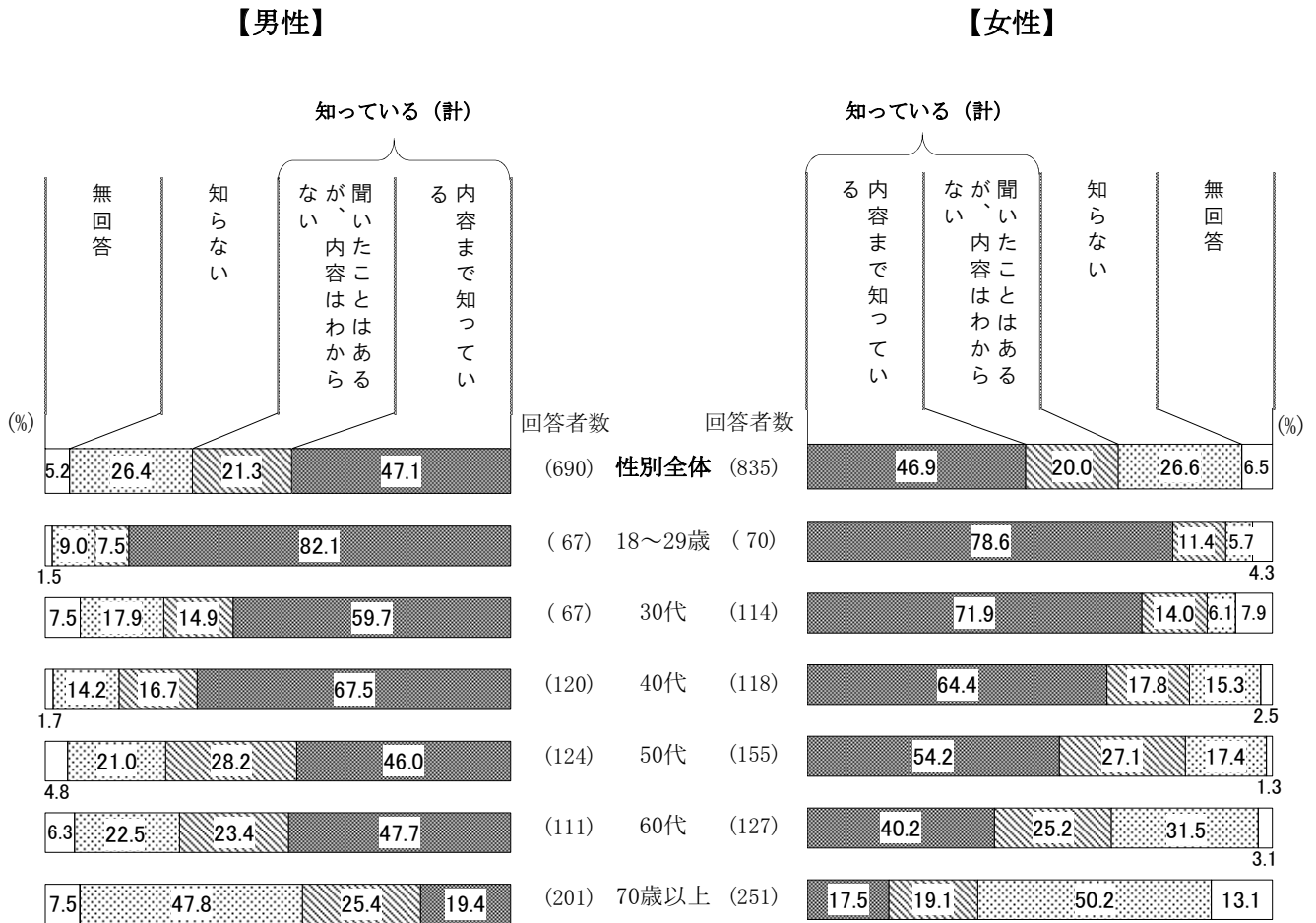


エ クロス集計・性別、性・年代別／「LGBT」という言葉について

(ア) 〈LGBT〉の認知状況を性別で見ると、特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は女性の18～29歳が90.0%で最も高く、次いで、男性の18～29歳が89.6%で続いている。一方、「知らない」は、女性の70歳以上が50.2%で最も高く、次いで男性の70歳以上（47.8%）となっている。

図9-8-2-③ 性別、性・年代別／「LGBT」という言葉について



10 「協働・協創」・「SDGs」

-
- (1) 「協創」の認知
 - (2) 協働・協創の実践
 - (3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価
 - (4) SDGsの認知状況
 - (5) SDGsの関心状況
-

10 協働・協創

（1）「協創」の認知

問47 「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・NPO・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。
あなたは、この「協創」を知っていますか（○は1つだけ）。

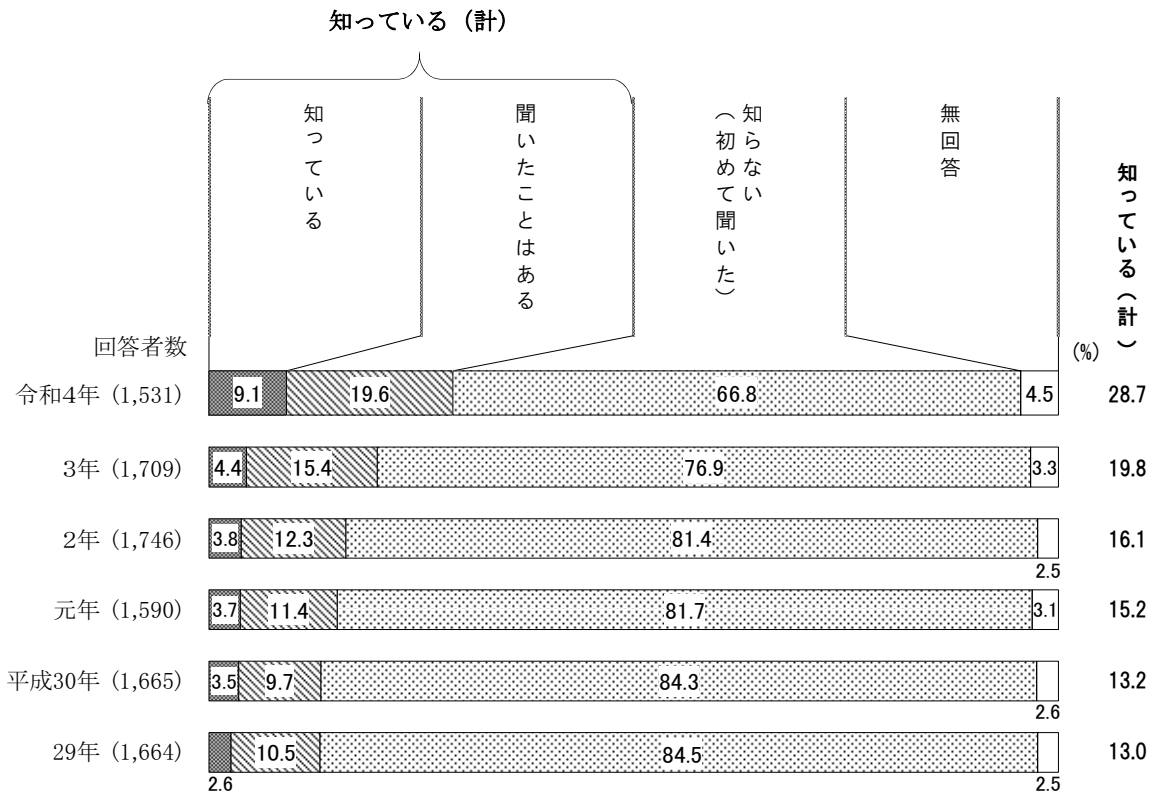
■【知っている】は、平成29年から漸増傾向だったが、今回大幅に増加し3割弱に

ア 単純集計・経年比較／「協創」の認知

（ア）「協創」について「知っている」が9.1%で、これに「聞いたことはある」（19.6%）を合わせた【知っている】は28.7%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は66.8%を占めている。

（イ）経年でみると、【知っている】は平成29年の13.0%から漸増傾向にあったが、今回調査では、前回調査（19.8%）から8.9ポイントと大幅に増加した。

図10-1-1 経年比較／「協創」の認知

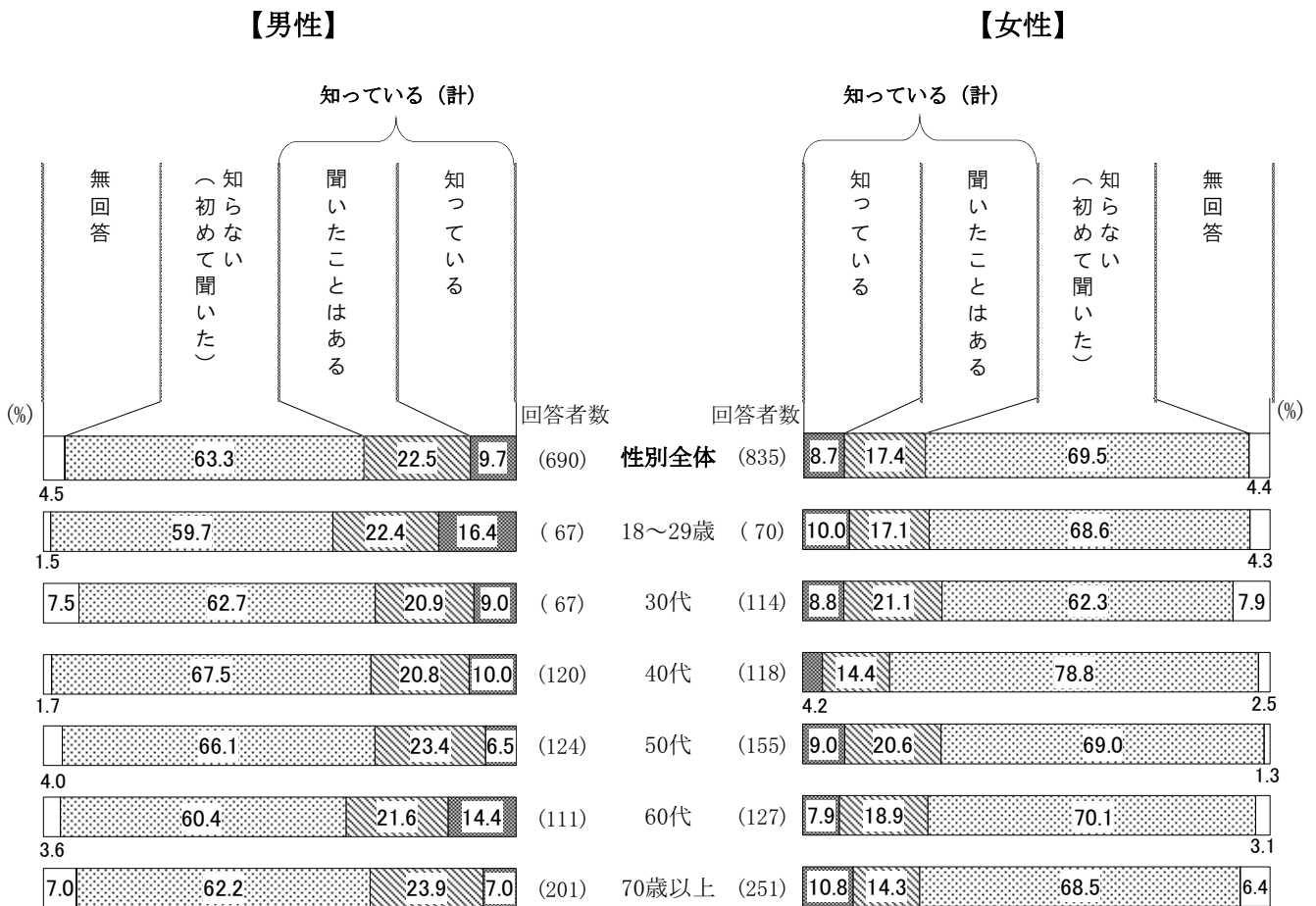


イ クロス集計・性別、性・年代別／「協創」の認知

(ア) 性別で見ると、【知っている】は男性（32.2%）の方が女性（26.1%）より6.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は、男性の18～29歳で38.8%と最も高く、次いで男性の60代（36.0%）となっている。逆に、女性の40代が18.6%で最も低くなっている。

図10-1-2 性別、性・年代別／「協創」の認知



（2）協働・協創の実践

問47で「1 知っている」とお答えの方に

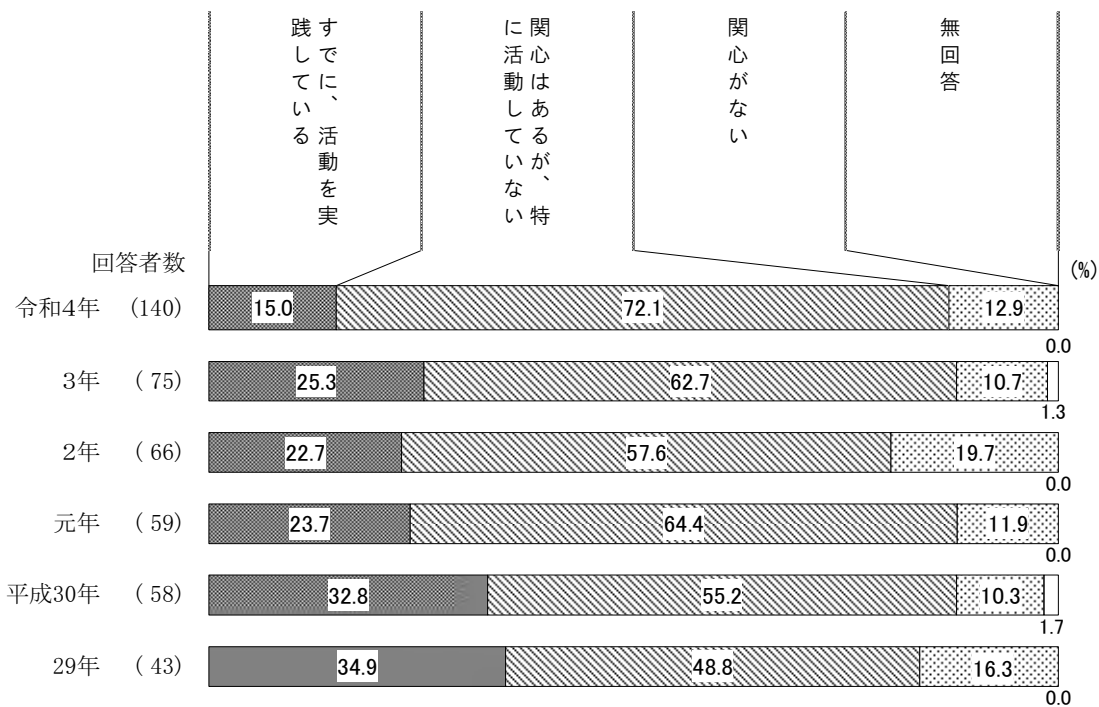
問47-1 あなたは、区役所・区民・団体との協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）を実践していますか（例 ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）（○は1つだけ）。

■「すでに、活動を実践している」が10ポイント減少し、1割台半ば

ア 単純集計・経年比較／協働・協創の実践

- （ア）「協創」を「知っている」という人の実践状況を見ると、「すでに、活動を実践している」が15.0%で、「関心はあるが、特に活動していない」が72.1%で最も高くなっている。
- （イ）「協創」を「知っている」が、「関心がない」は12.9%となっている。
- （ウ）経年でみると、前回調査に比べて、「すでに、活動を実践している」は10.3ポイント減少し、「関心はあるが、特に活動していない」が9.4ポイントの増加となった。

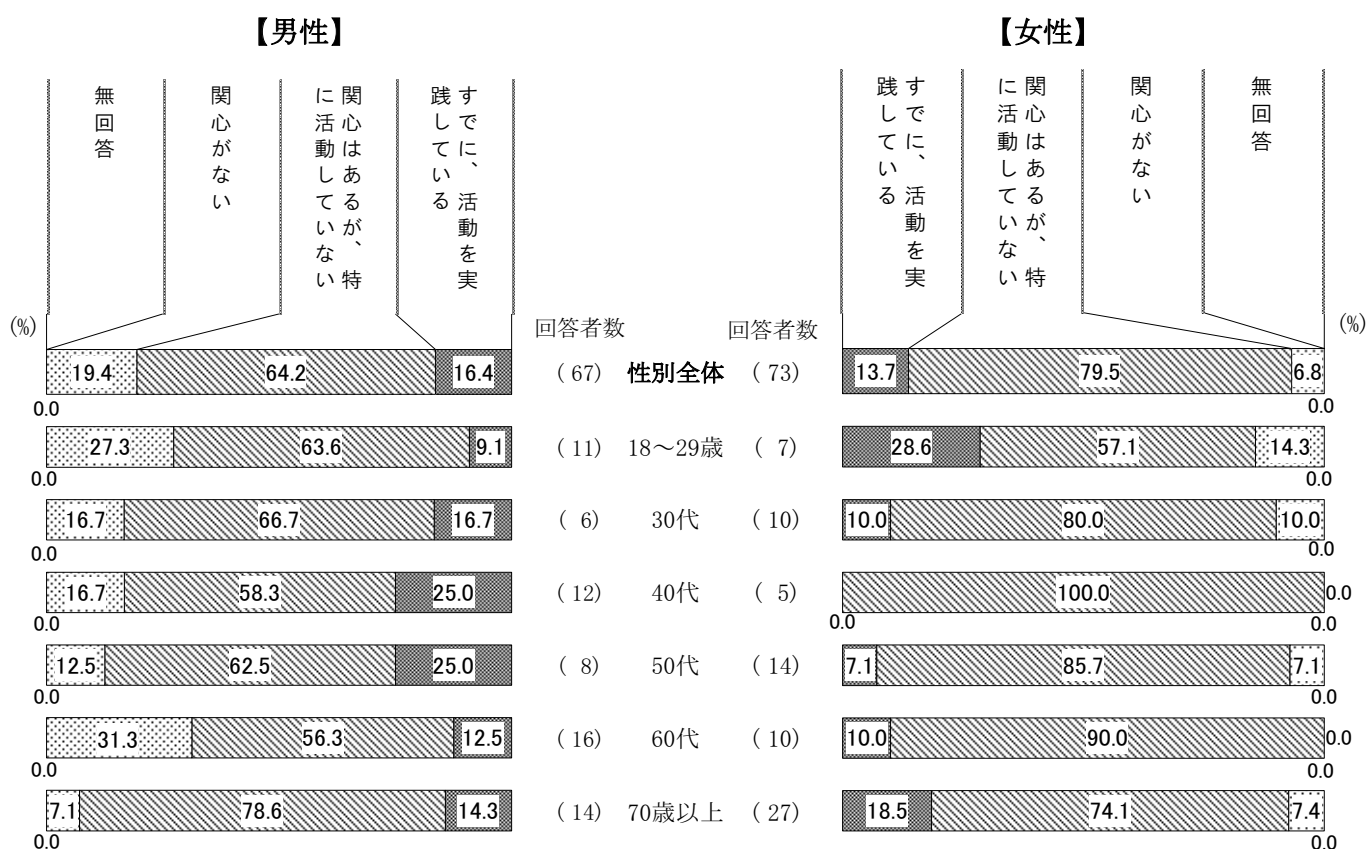
図10-2-1 経年比較／協働・協創の実践



イ クロス集計・性別、性・年代別／協働・協創の実践

- (ア) 性別で見ると、「すでに、活動を実践している」は男性（16.4%）の方が女性（13.7%）より2.7ポイント高いが、「関心がない」でも男性（19.4%）の方が女性（6.8%）より12.6ポイント高くなっている。
- (イ) 「関心はあるが、特に活動していない」を性別で見ると、女性（79.5%）の方が男性（64.2%）より15.3ポイント高くなっている。
- (ウ) 性・年代別では、すべての性・年代層でサンプル数が30未満のため、参考のために図示のみとし、コメントは割愛する。

図10-2-2 性別／協働・協創の実践



（3）区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

問48 あなたは、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）が進んでいると感じていますか（例 ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など）

（○は1つだけ）。

■【そう思う】（2割台半ば）が【そう思わない】を上回っているものの、「わからない」が5割

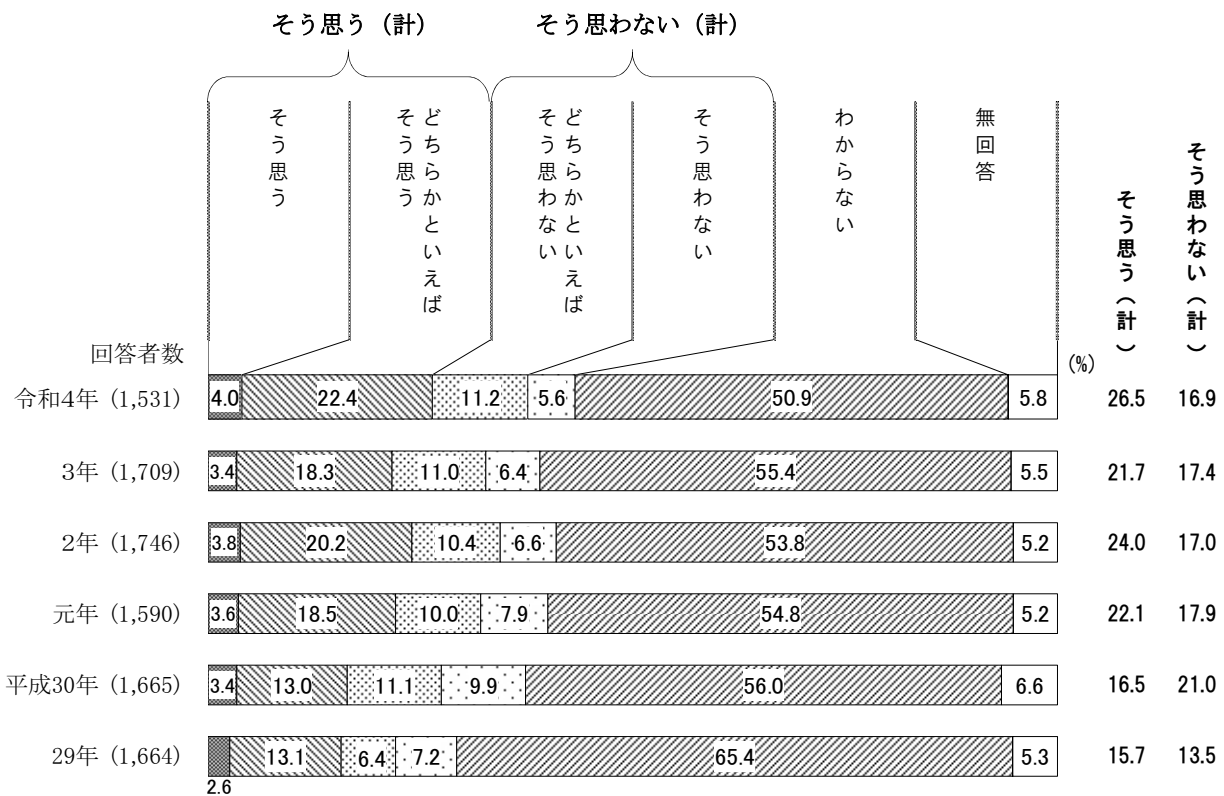
ア 単純集計・経年比較／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

（ア）協働や協創による事業が進んでいると感じるかについては、「そう思う」が4.0%で、これに「どちらかといえばそう思う」（22.4%）を合わせた【そう思う】は2割台半ばとなっている。

（イ）「どちらかといえばそう思わない」（11.2%）と「そう思わない」（5.6%）を合わせた【そう思わない】は1割台半ばとなっている。一方、「わからない」（50.9%）は5割を占めている。

（ウ）前回の令和3年調査と比較すると、【そう思う】は4.8ポイントの増加となっている。

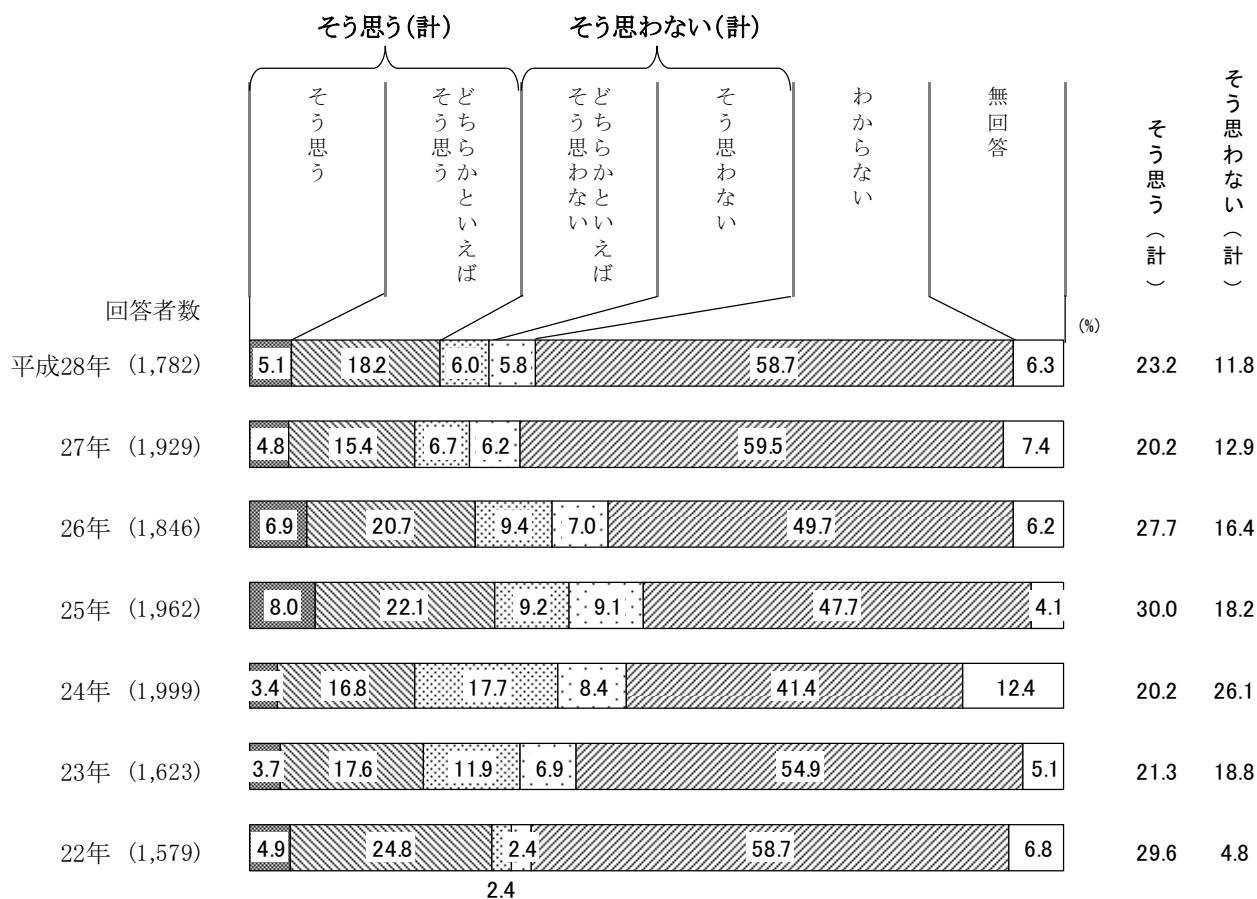
図10-3-1 経年比較／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



※ 平成30年度の設問文は「あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフなど、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）による事業が進んでいると感じていますか。」で、令和元年度には設問文の一部の表現が変わった上に、「子どもの貧困対策」が追加挿入された。令和2年度では、更に設問文の一部が、上記設問のように変更された。

参考／（平成28年以前）区役所・区民・団体との協力・連携（協働）した事業推進の評価

問 あなたは、区役所が孤立ゼロプロジェクトやビューティフル・ウィンドウズ運動など区民・団体と協力・連携（協働）して事業を進めていると感じていますか（○は1つだけ）。



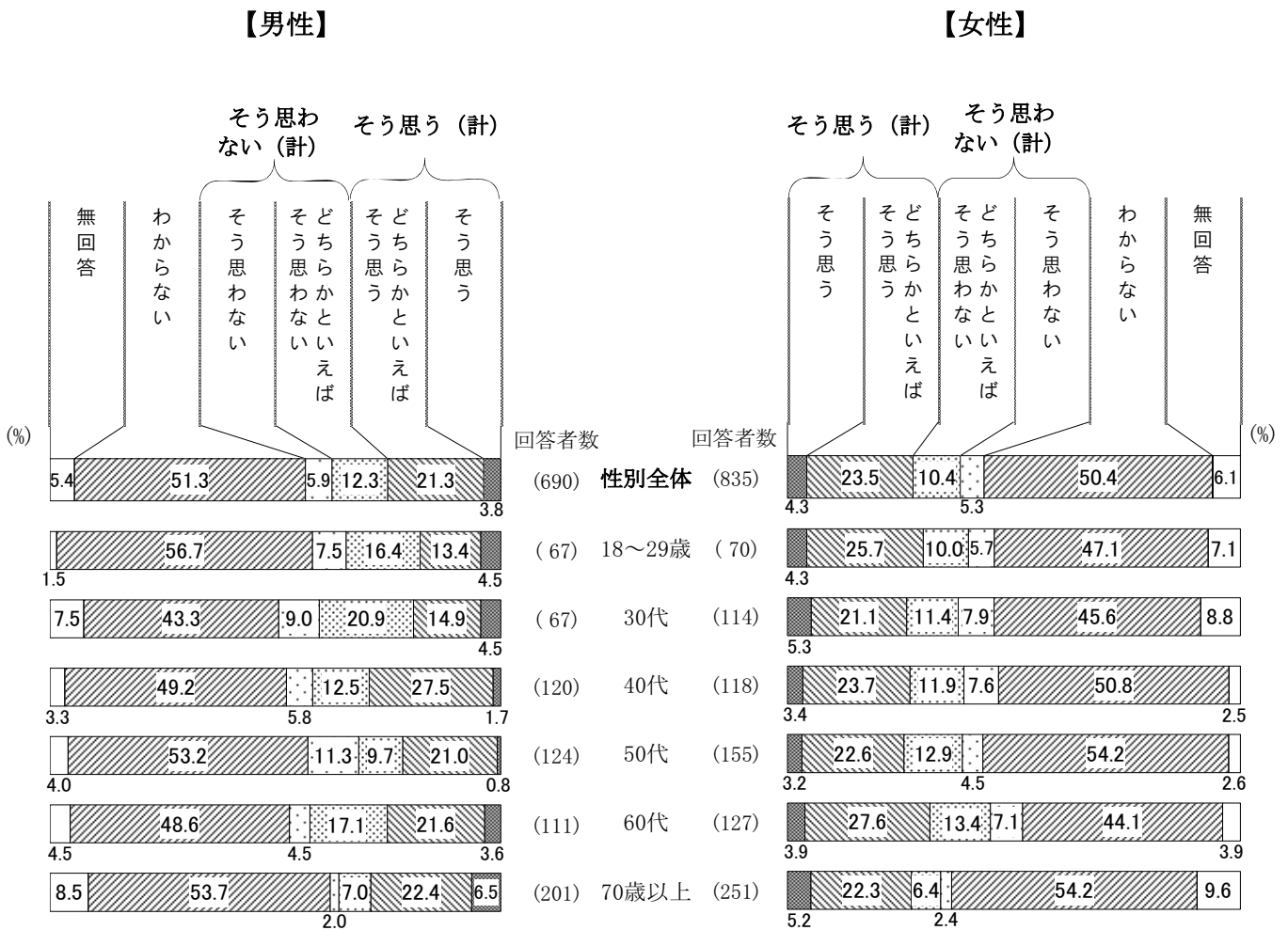
※ 平成28年度までは、「協創」の部分にふれておらず、設問文も違うため、結果を単純に比較することはできない。

イ クロス集計・性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

(ア) 協働や協創による事業が進んでいると感じるかについて性別でみると、【そう思う】と【そう思わない】ともに、特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別でみると、【そう思う】は女性の60代で31.5%と最も高く、次いで、女性の18～29歳が30.0%で続いている。一方、【そう思わない】は男性の30代で29.9%と最も高く、次いで、男性の18～29歳が23.9%で続いている。

図10-3-2 性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



（4）SDGsの認知状況

問49 あなたは、SDGsについて知っていますか（○は1つだけ）。

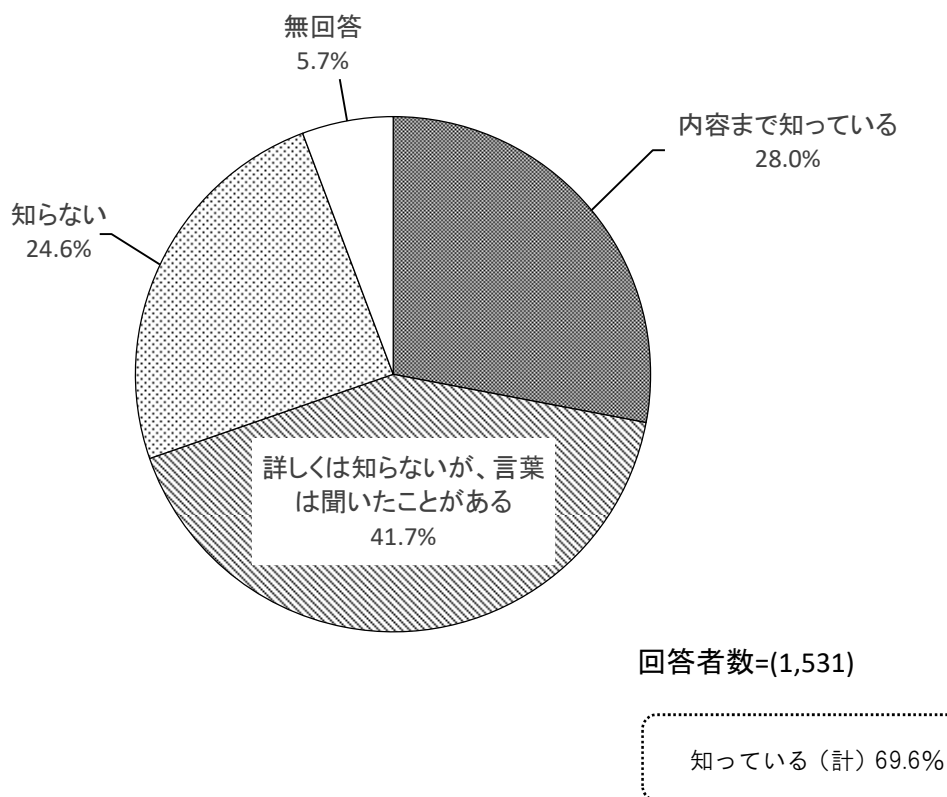
※ 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

■ 「内容まで知っている」が3割弱で、「知らない」が2割台半ば

ア 単純集計／SDGsの認知状況

SDGsの認知については、「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」が41.7%で最も高く、これに「内容まで知っている」（28.0%）を合わせた【知っている】は7割弱となっている。一方、「知らない」が24.6%となっている。

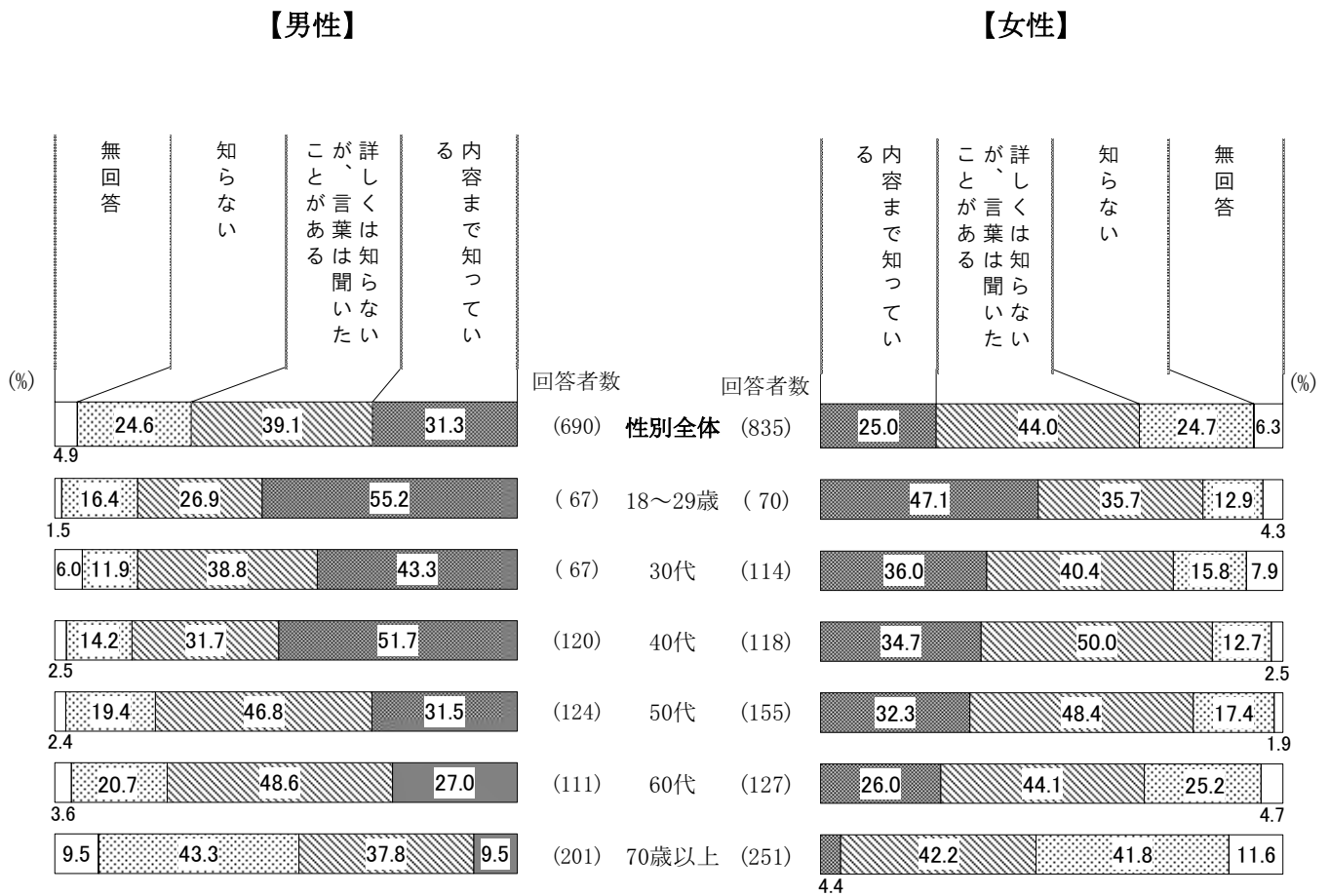
図10-4-1 SDGsの認知状況



イ クロス集計・性別、性・年代別／SDGsの認知状況

- (ア) SDGsの認知について性別で見ると、「内容まで知っている」は、男性（31.3%）の方が女性（25.0%）より6.3ポイント高くなっている。
- (イ) 性・年代別で見ると、「内容まで知っている」は、男性の18～29歳が55.2%で最も高く、次いで、男性の40代で51.7%となっている。一方、「知らない」は男性の70歳以上が43.3%で最も高く、次いで、女性の70歳以上で41.8%となっている。

図10-4-2 性別、性・年代別／SDGsの認知状況



（5）SDGsの関心状況

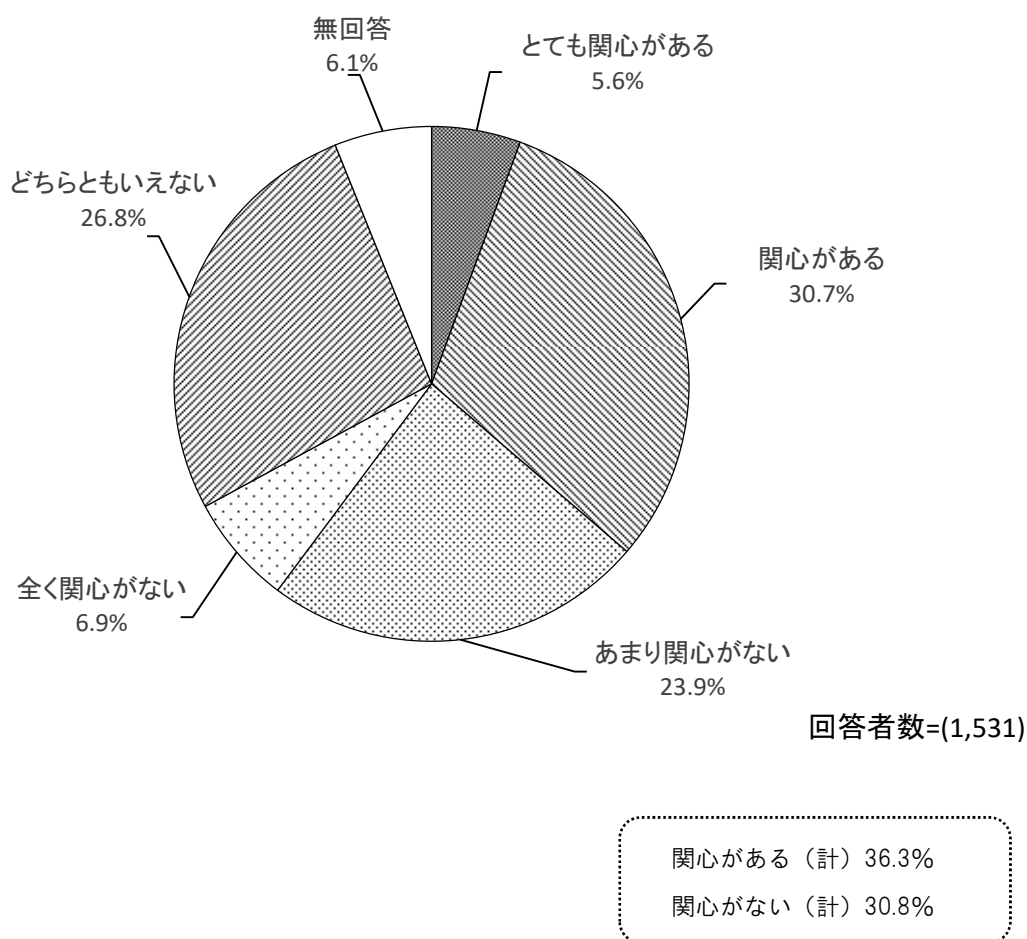
問50 あなたは、SDGsに関心がありますか（○は1つだけ）。

■【関心がある】が3割台半ば、【関心がない】が3割、「どちらともいえない」が2割台半ば

ア 単純集計／SDGsの関心状況

SDGsへの関心状況については、「関心がある」が30.7%で最も高く、これに「とても関心がある」（5.6%）を合わせた【関心がある】は3割台半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」（23.9%）と「全く関心がない」（6.9%）を合わせた【関心がない】は3割となる。また、「どちらともいえない」は26.8%となっている。

図10-5-1 SDGsの関心状況

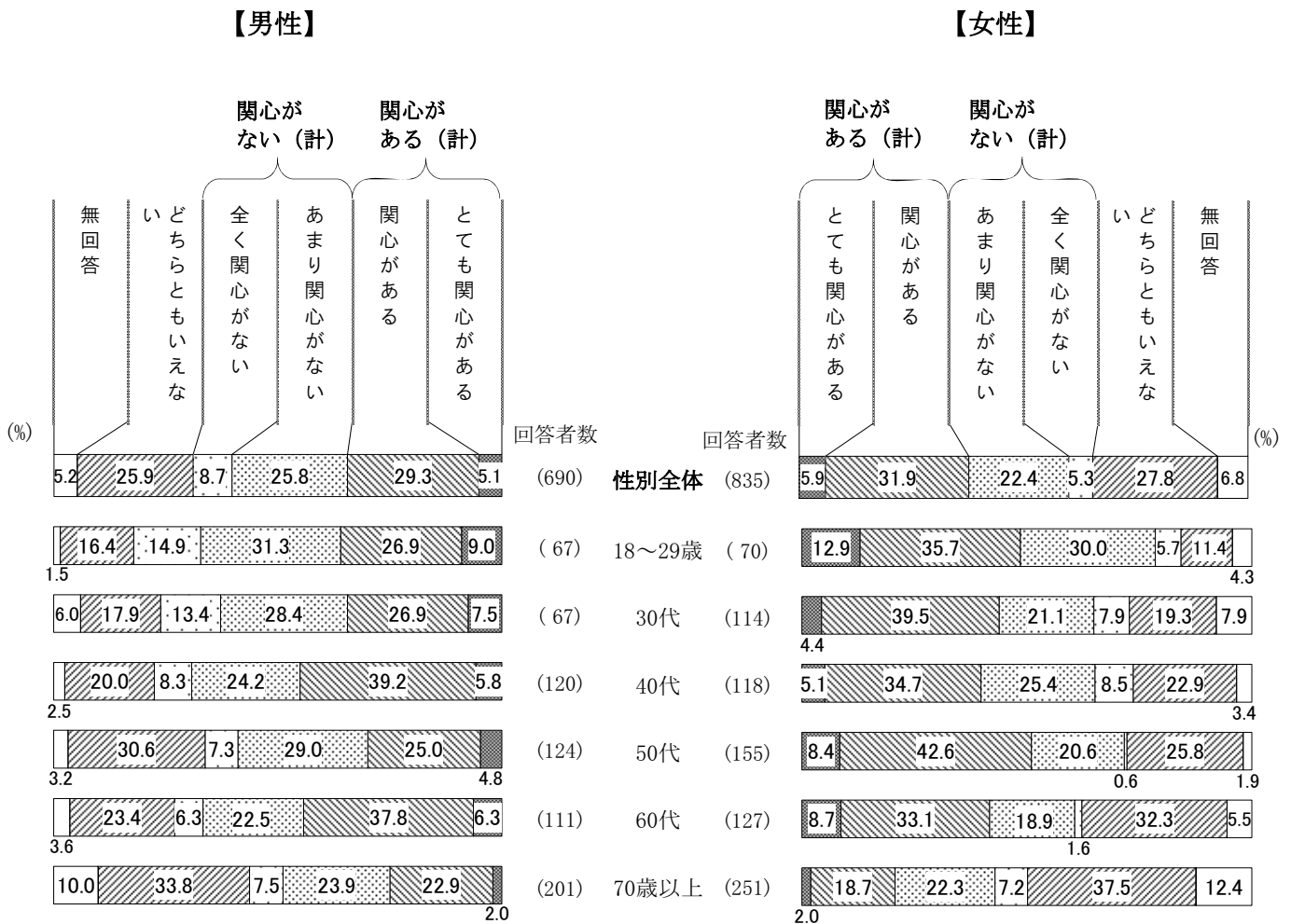


イ クロス集計・性別、性・年代別／SDGsの関心状況

(ア) SDGsの関心状況について性別で見ると、【関心がある】は、女性（37.7%）の方が男性（34.3%）より3.4ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【関心がある】は、女性の50代が51.0%で最も高く、次いで、女性の18～29歳で48.6%となっている。一方、【関心がない】は、男性の18～29歳が46.3%となっている。一方、【関心がない】は、男性の18～29歳が46.3%で最も高く、次いで、男性の30代で41.8%となっている。

図10-5-2 性別、性・年代別／SDGsの関心状況



11 区の取り組み

-
- (1) 区に対する気持ち
 - (2) 区に対する気持ち（愛着、誇り、人に勧めたい）の具体的な内容（自由回答）
 - (3) 区を良いまちにするための行動
 - (4) 満足度と重要度
 - (5) 区政への区民意見の反映度
 - (6) 区政についてのご意見、ご要望（自由回答）
 - (7) 本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度
-

11 区の取り組み

(1) 区に対する気持ち

問51 あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にそれぞれどの程度あてはまりますか（○はそれぞれ1つずつ）。

■「足立区に愛着」と「足立区を良いまちにする活動をする人に共感」がともに7割

ア 単純集計・経年比較／区に対する気持ち

(ア) 区に対する気持ちについて計5項目にわたって聴いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】を高い順にみると、以下のとおりとなっている。

- ① 〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉(70.7%)
- ② 〈足立区に愛着をもっている〉(70.1%)
- ③ 〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉(48.1%)
- ④ 〈足立区に誇りをもっている〉(42.5%)
- ⑤ 〈足立区を人に勧めたい〉(41.7%)

(イ) 前回調査と比較すると、5項目のすべてで【そう思う】と【そう思わない】がともに減少し、「わからない」が増加している。〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉は【そう思う】(-3.6ポイント)が最も大きく減少し、【そう思わない】(-0.9ポイント)の減少が最も小さくなっている。逆に、〈足立区を人に勧めたい〉は【そう思う】(-2.8ポイント)の減少が最も小さく、【そう思わない】(-4.4ポイント)の減少が最も大きくなっている。

図11-1-1-① 経年比較／区に対する気持ち

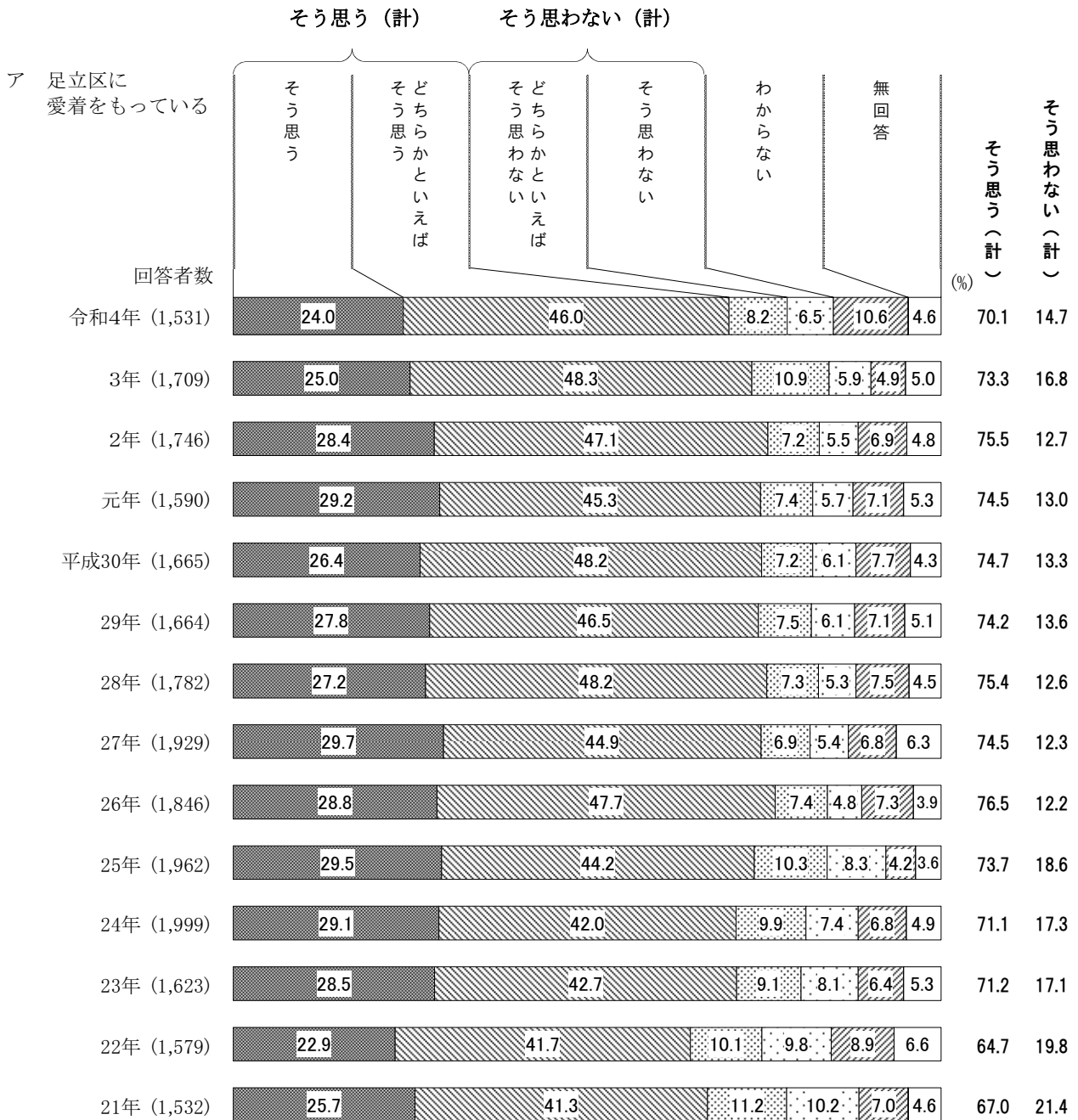


図11-1-1-② 経年比較/区に対する気持ち

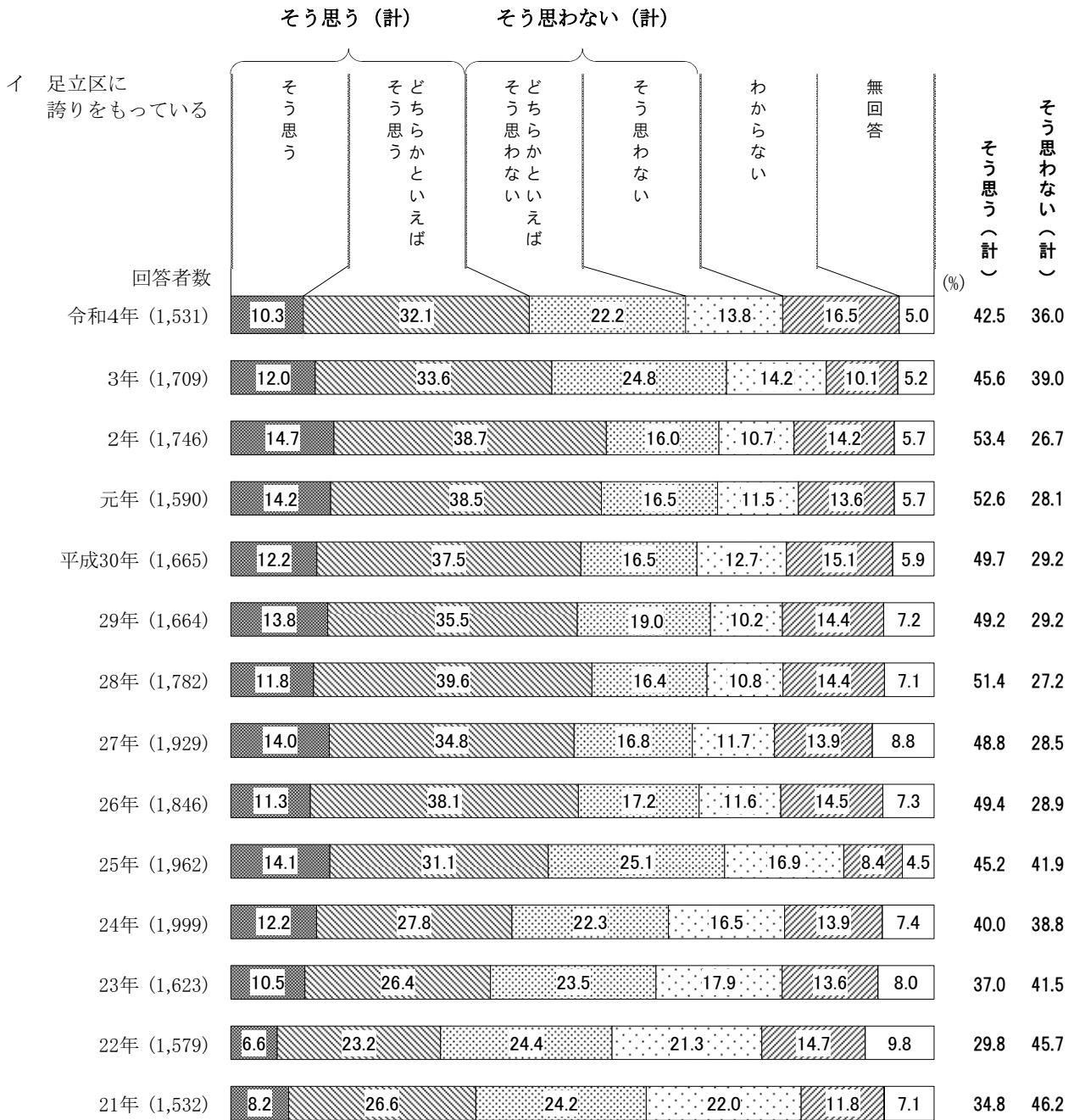


図11-1-1-③ 経年比較／区に対する気持ち

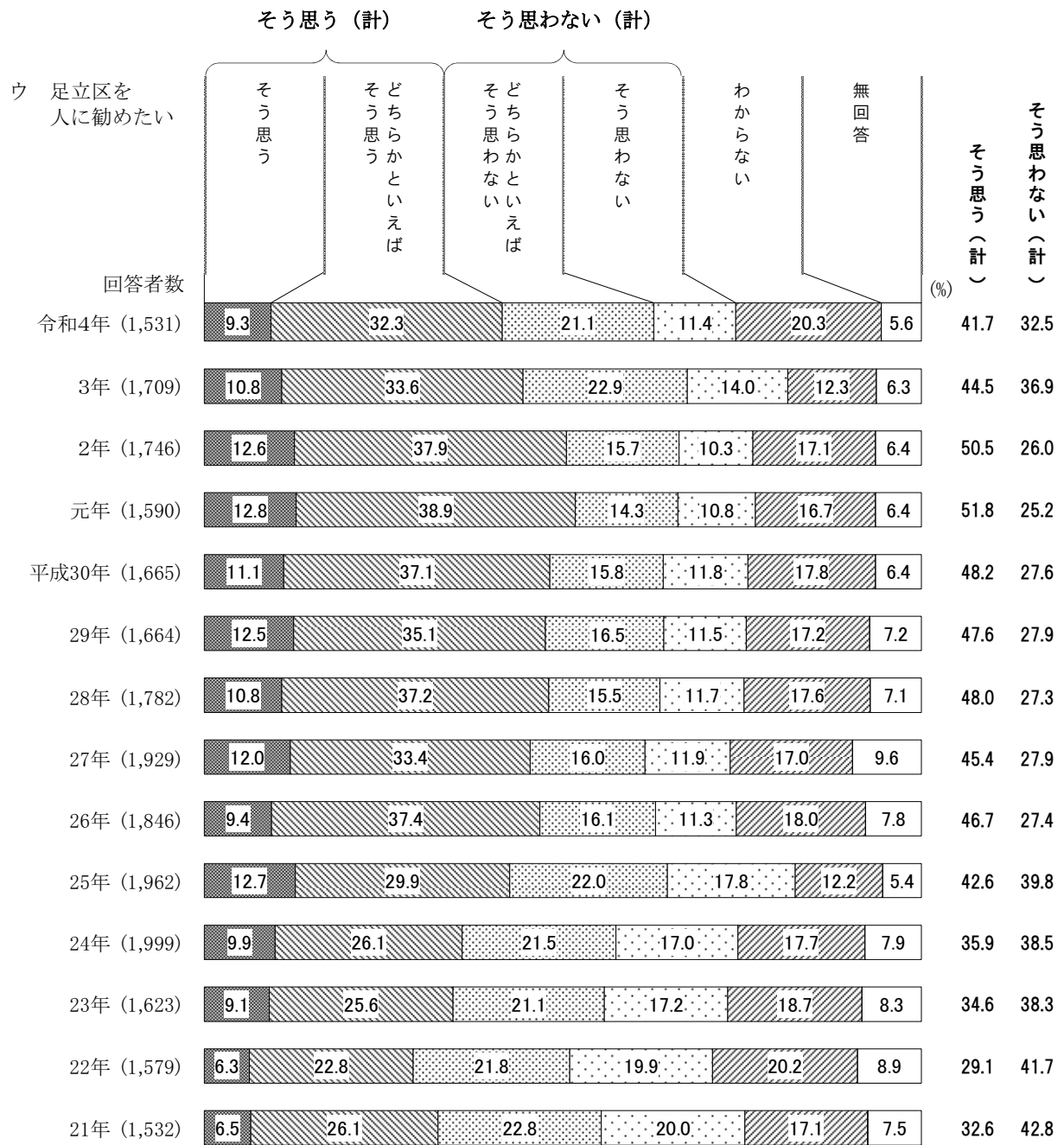


図11-1-1-④ 経年比較/区に対する気持ち

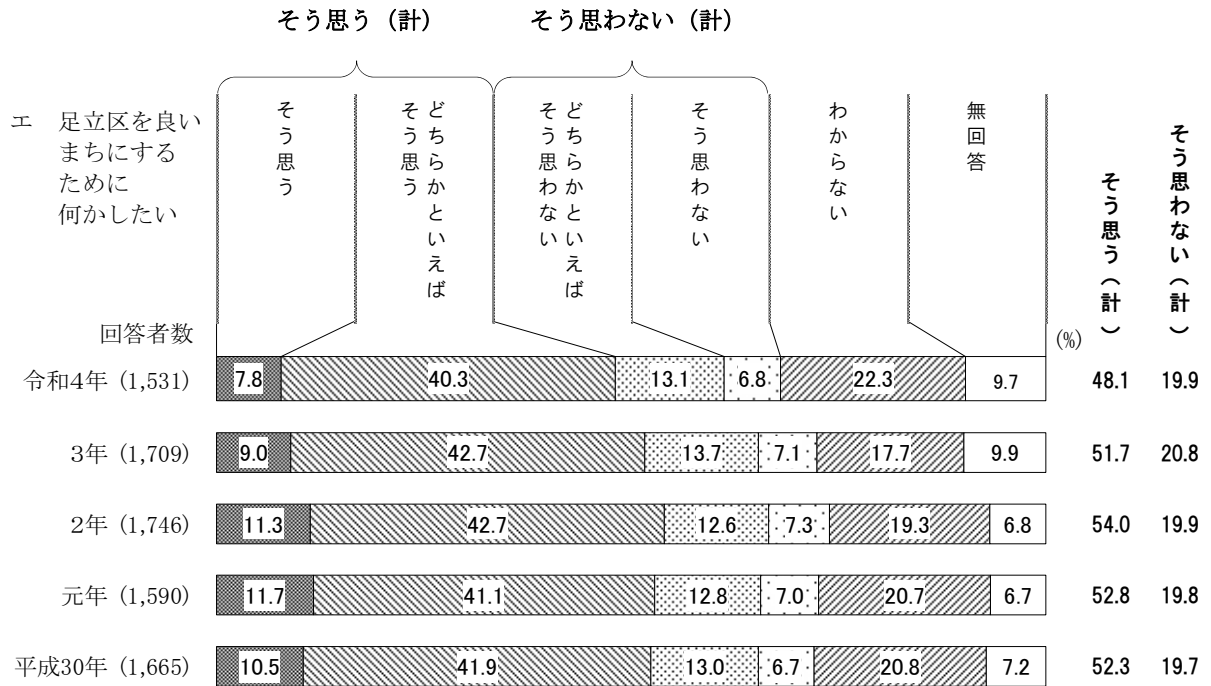
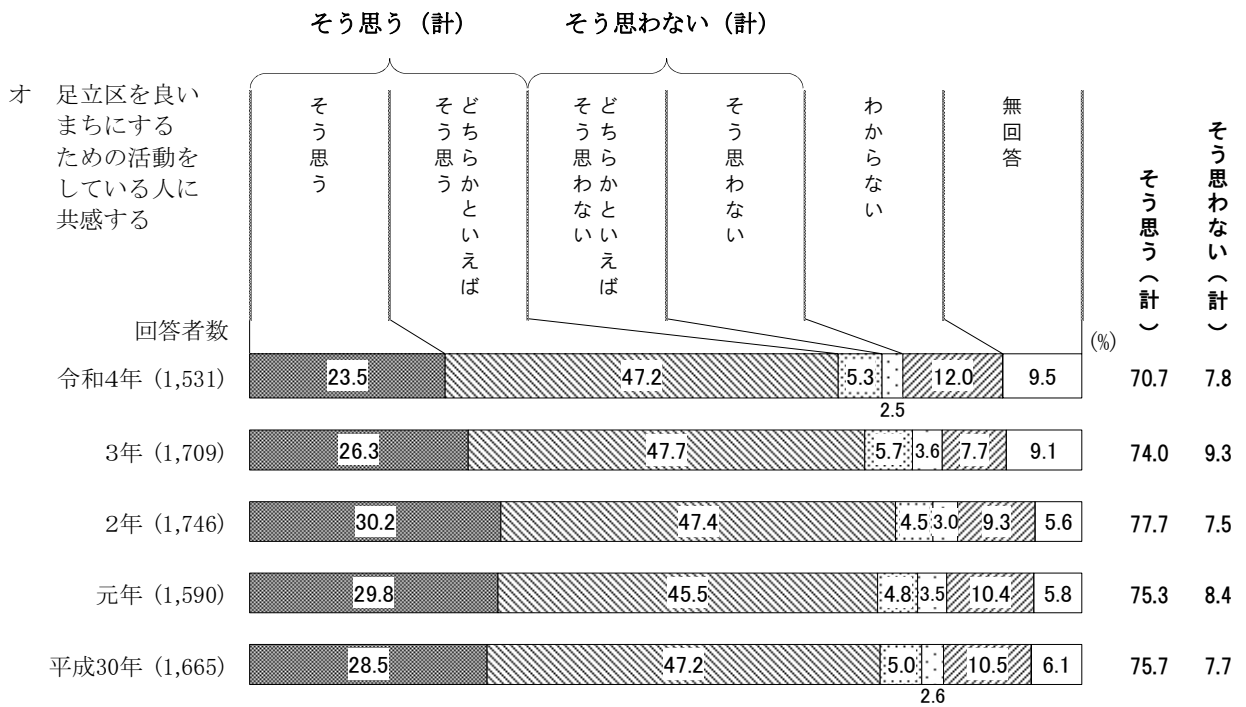


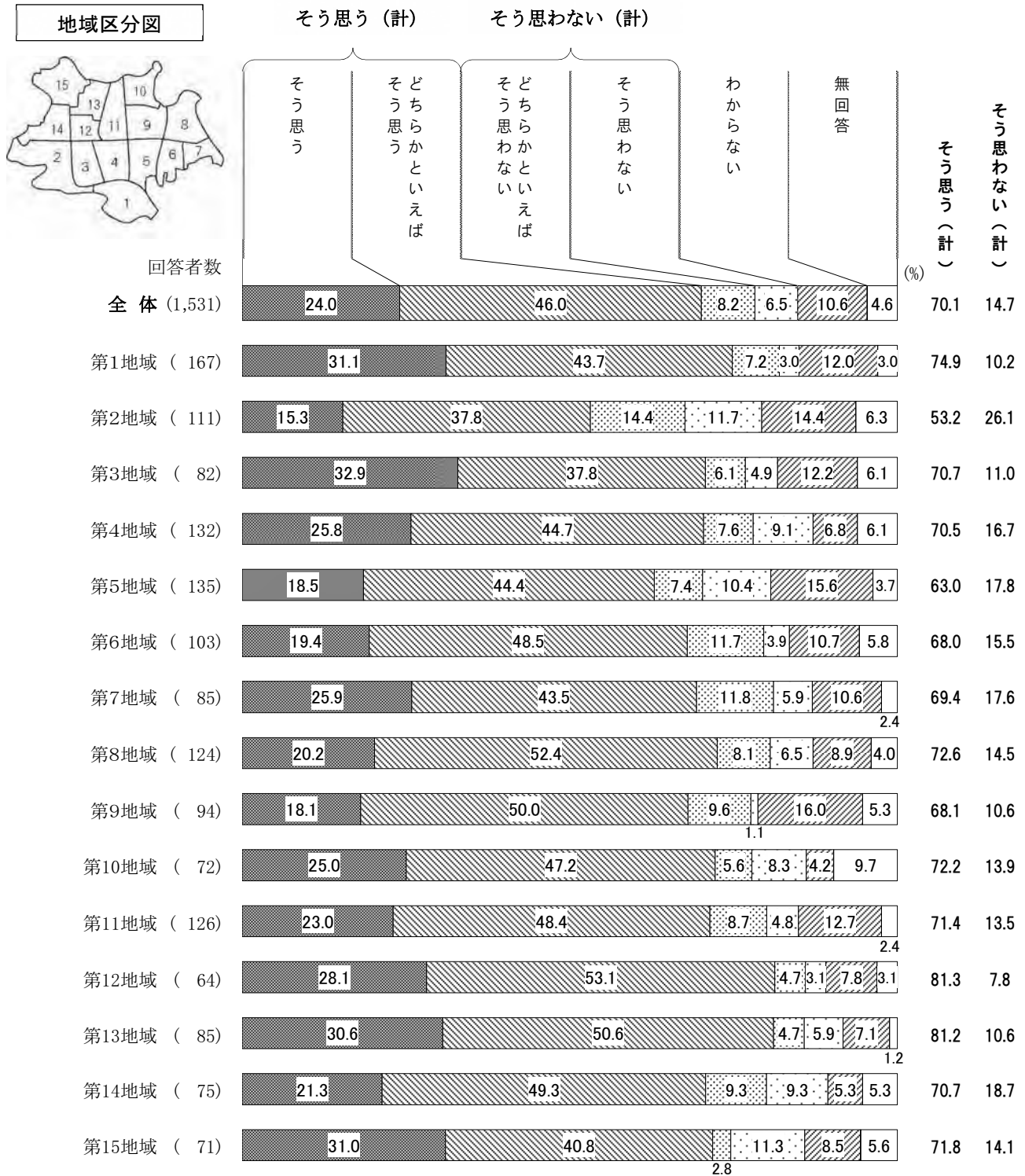
図11-1-1-⑤ 経年比較/区に対する気持ち



イ クロス集計・地域別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

〈足立区に愛着をもっている〉を地域別で見ると、【そう思う】は第12地域が81.3%と最も高く、次いで、第13地域（81.2%）が僅差で続き、第1地域が7割台半ばで続いている。一方、【そう思わない】は、第2地域が26.1%で最も高く、次いで第14地域が2割弱となっている。

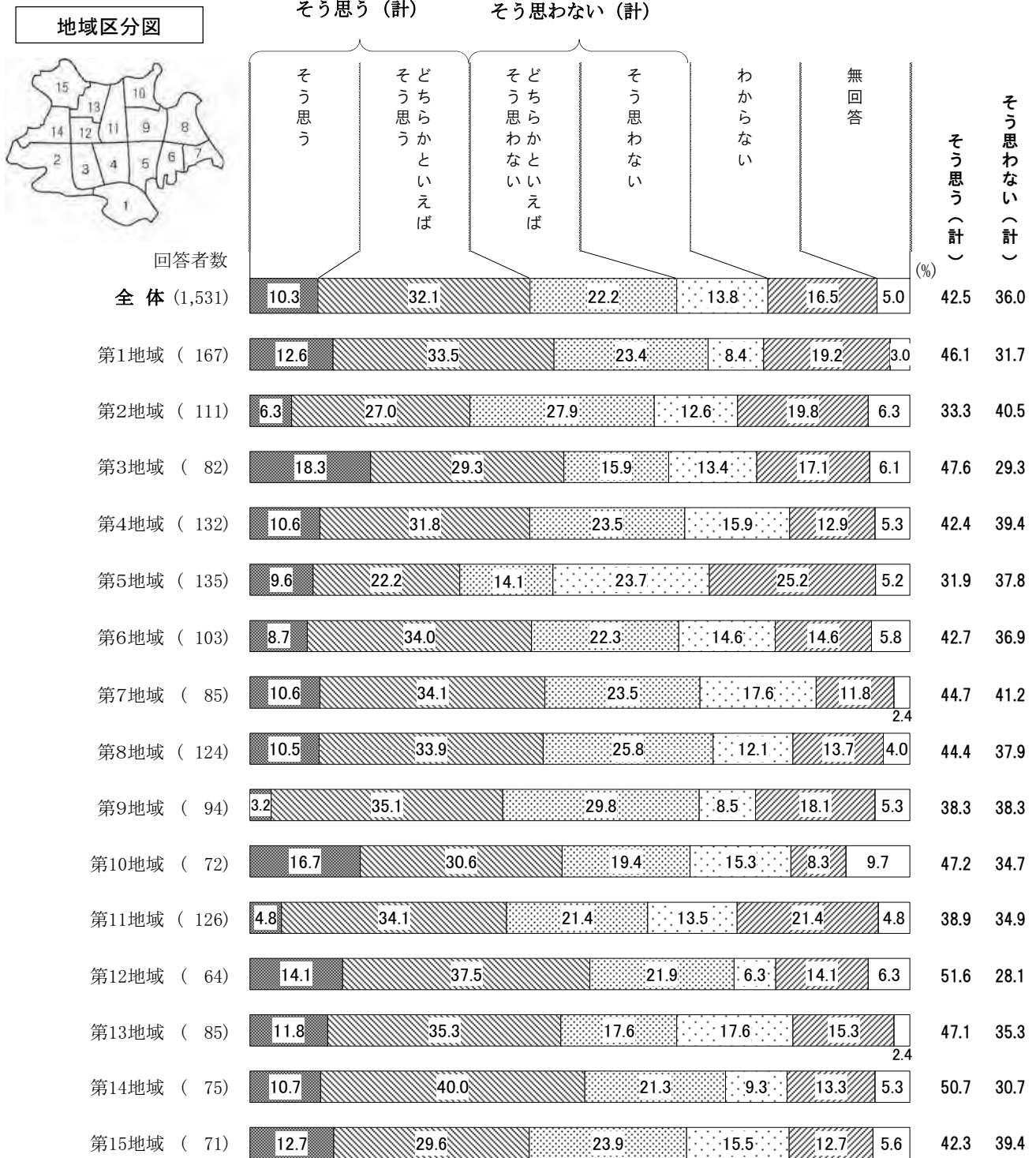
図11-1-2-① 地域別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



ウ クロス集計・地域別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

〈足立区に誇りをもっている〉を地域別で見ると、【そう思う】は第12地域が51.6%で最も高く、次いで第14地域が5割、第3地域、第10地域、第13地域が4割台半ばを超えて続いている。一方、【そう思わない】は、第7地域が41.2%で最も高く、次いで第2地域が4割となっている。

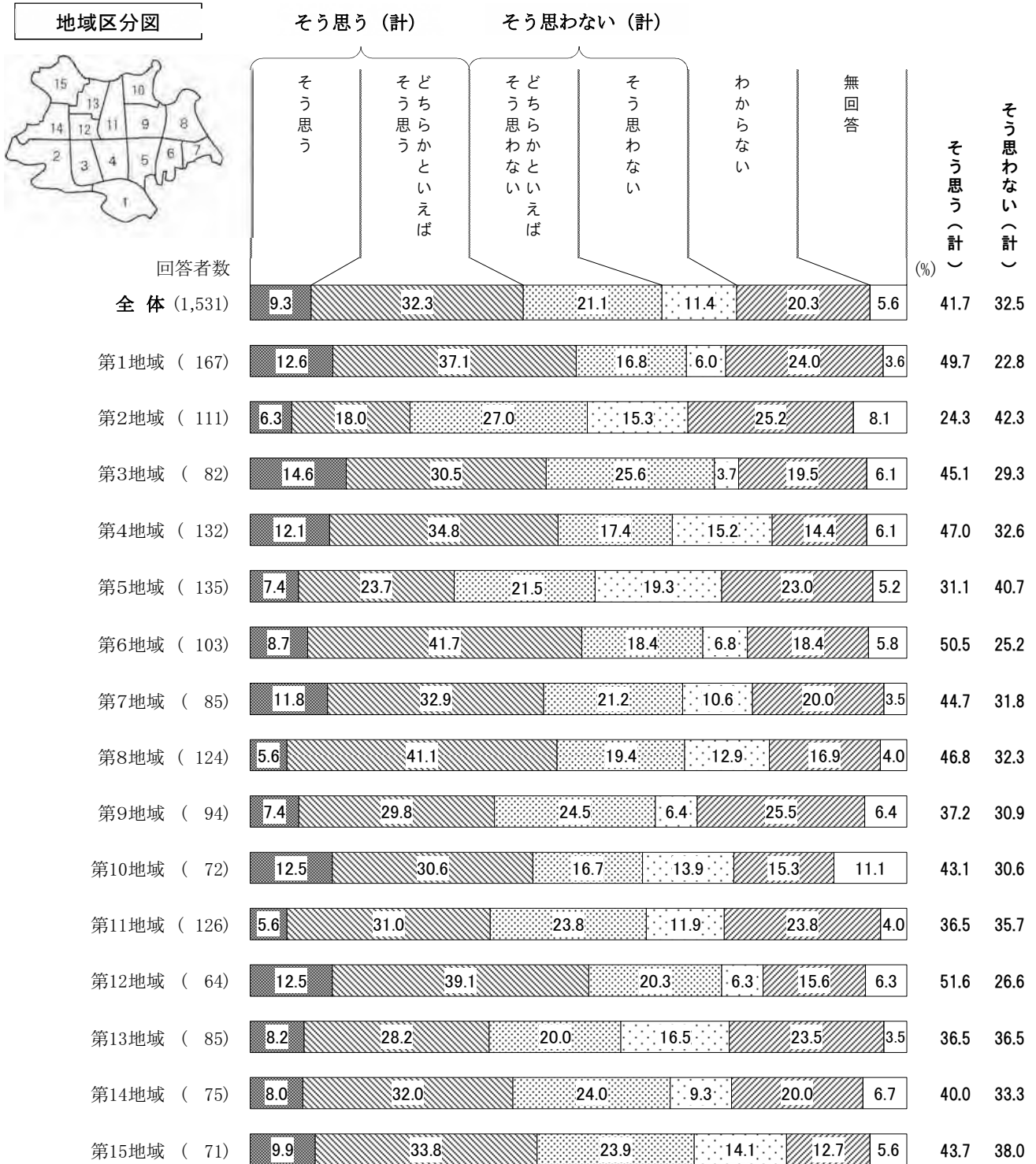
図11-1-2-② 地域別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



エ クロス集計・地域別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

〈足立区を人に勧めたい〉を地域別でみると、【そう思う】は第12地域が51.6%で最も高く、次いで第6地域が5割、第1地域が約5割が続いている。一方、【そう思わない】は第2地域が42.3%で最も高く、次いで第5地域が4割となっている。

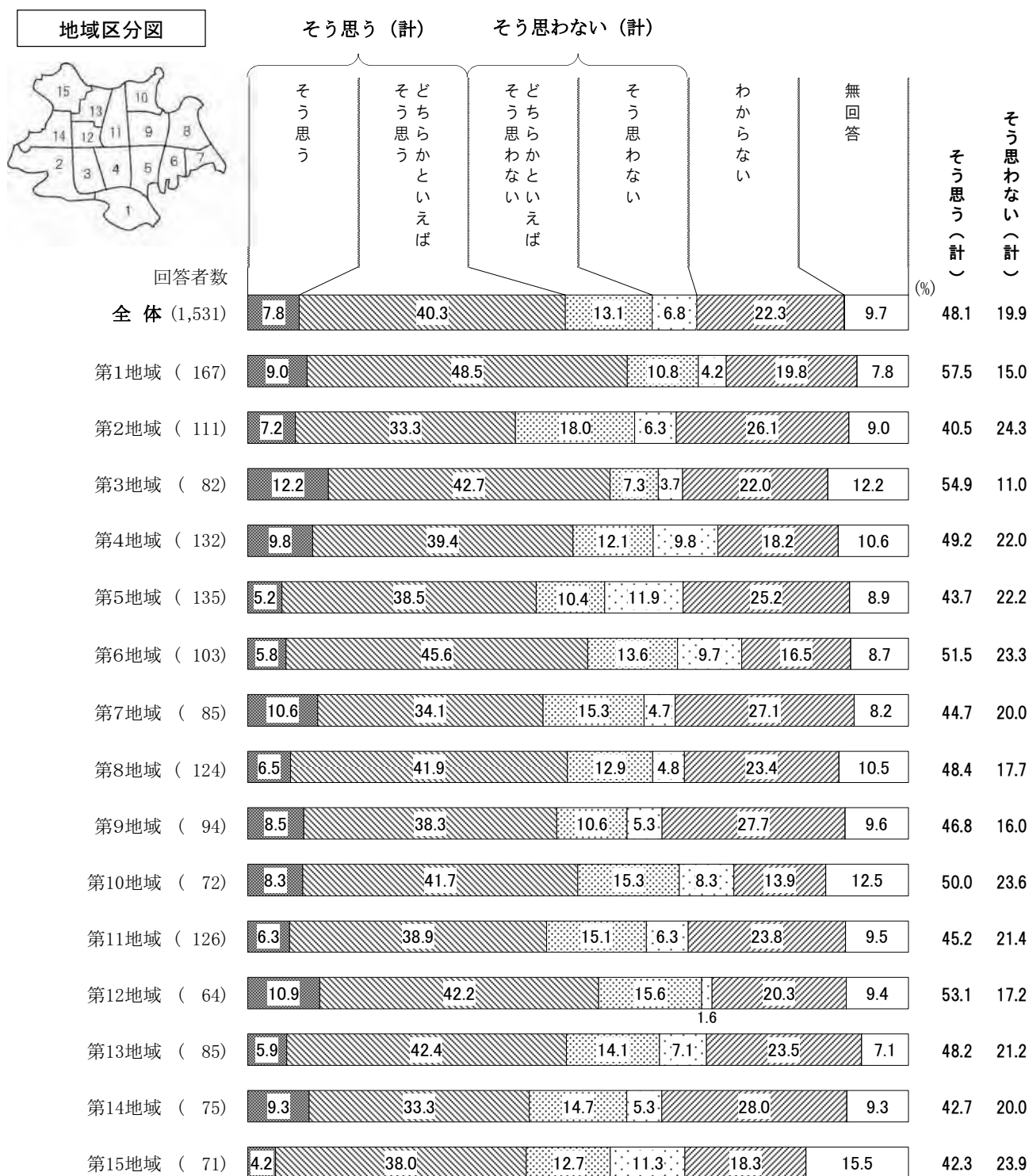
図11-1-2-③ 地域別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



オ クロス集計・地域別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい

〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉を地域別で見ると、【**そう思う**】は第1地域が57.5%で最も高く、次いで第3地域（54.9%）、第12地域（53.1%）が5割台半ばで続いている。一方、【**そう思わない**】は第2地域が24.3%で最も高く、次いで、第15地域、第10地域、第6地域が2割台半ば近くとなっている。

図11-1-2-④ 地域別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



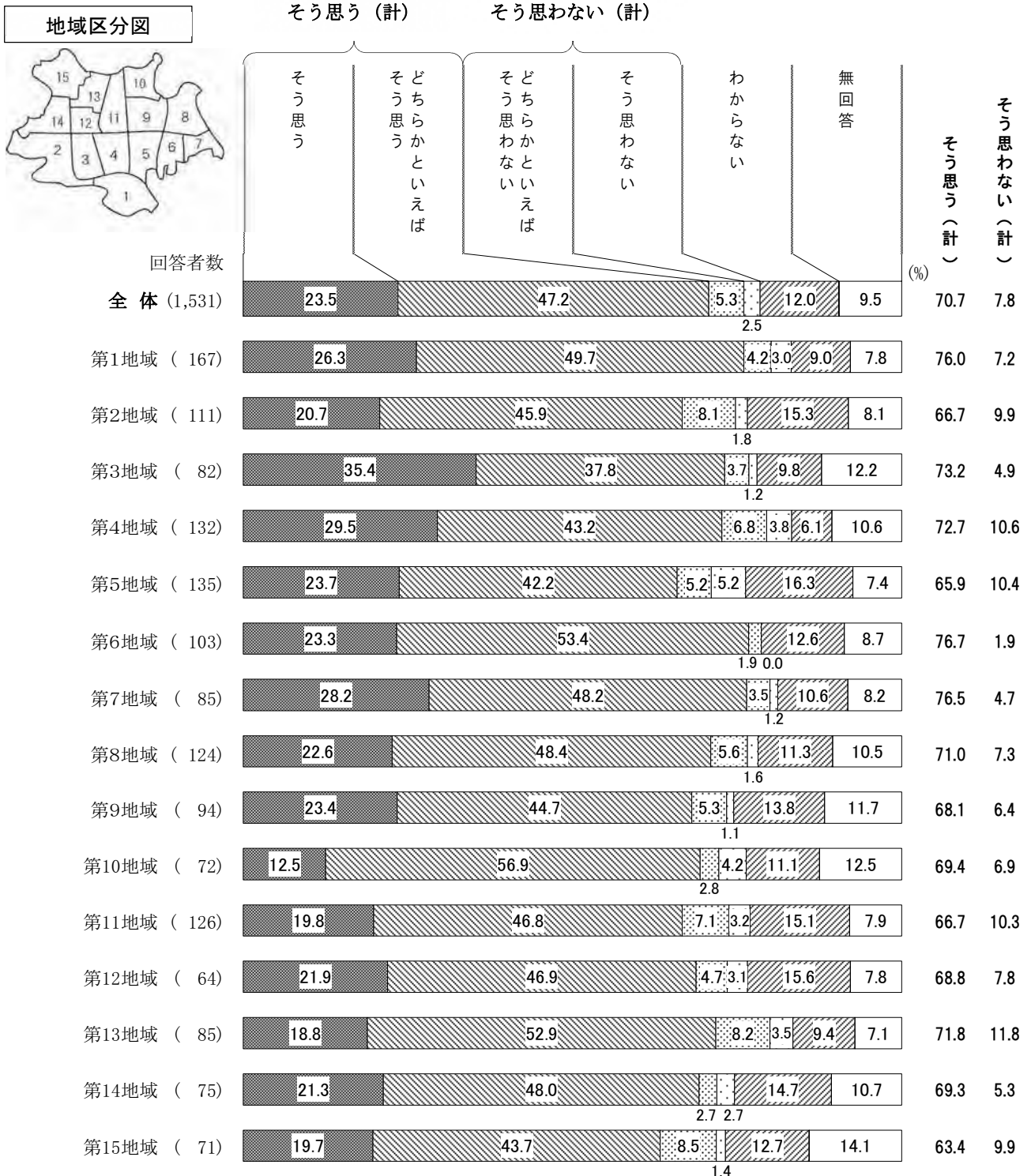
カ クロス集計・地域別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉を地域別でみると、【そう思う】は第6地域が76.7%で最も高く、次いで、第7地域と第1地域が僅差が続いている。一方、【そう思わない】は第13地域が11.8%で最も高く、次いで第4地域、第5地域、第11地域が1割となっている。

図11-1-2-⑤ 地域別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

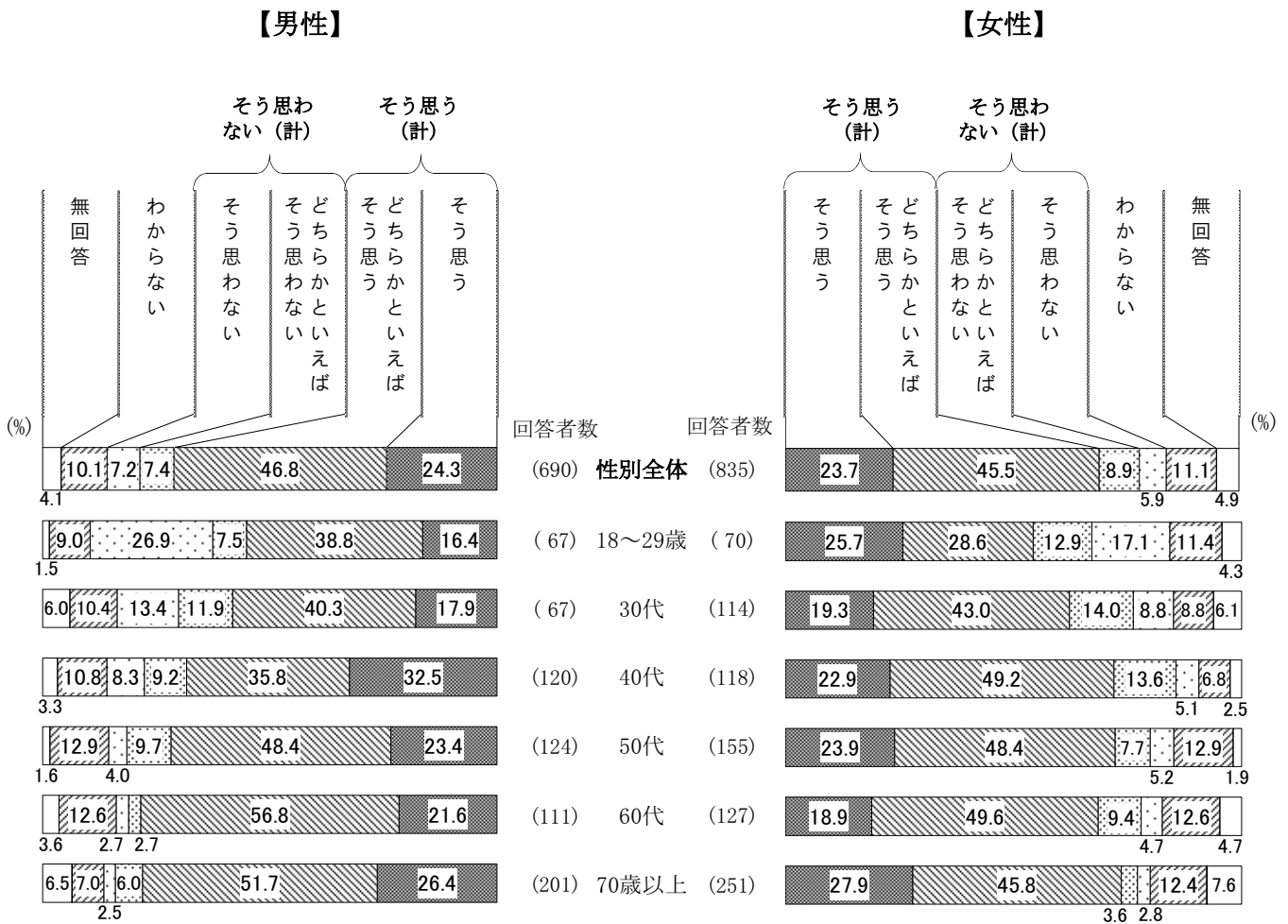


キ クロス集計・性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

(ア) 〈足立区に愛着を持っている〉を性別で見ると、特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、【**そう思う**】は男性の60代（78.4%）と70歳以上（78.1%）で8割弱と高くなっている。一方、【**そう思わない**】は男性の18～29歳が3割台半ばで最も高く、次いで女性の18～29歳が3割となっている。

図11-1-3-① 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

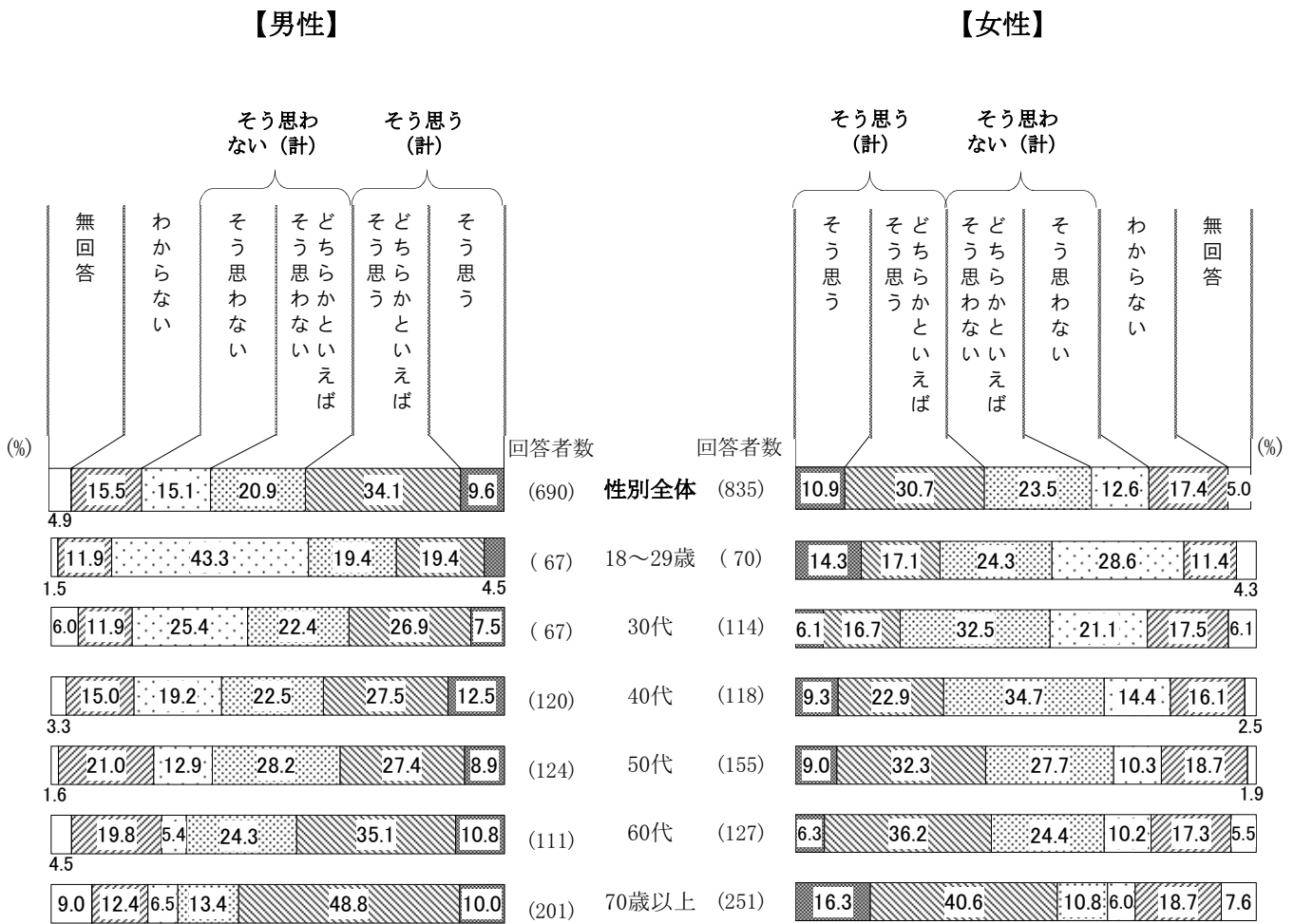


ク クロス集計・性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

(ア) 〈足立区に誇りをもっている〉を性別で見ると、特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、【**そう思う**】は男性の70歳以上で58.7%と最も高く、次いで女性の70歳以上が5割台前半超えで続いている。一方、【**そう思わない**】は男性の18～29歳で62.7%と最も高く、次いで、女性の30代と18～29歳が5割台前半となっている。

図11-1-3-② 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

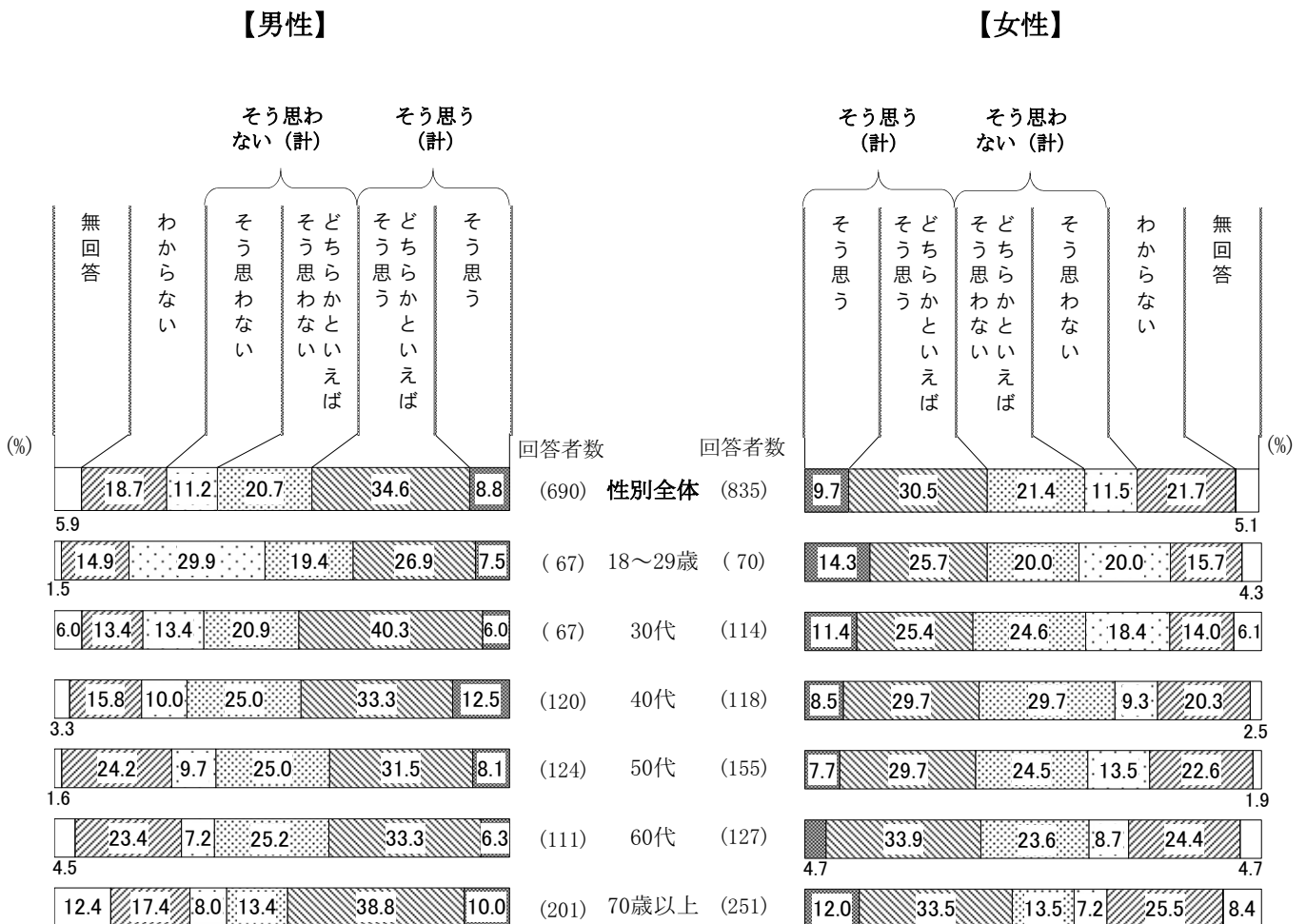


ケ クロス集計・性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

(ア) 〈足立区を人に勧めたい〉を性別で見ると、【**そう思う**】は男性(43.5%)の方が女性(40.2%)より3.3ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【**そう思う**】は男性の70歳以上で48.8%と最も高く、次いで、男性の30代と40代、女性の70歳以上が4割台半ばで続いている。一方、【**そう思わない**】は男性の18～29歳が約5割で最も高くなっている。

図11-1-3-③ 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



コ クロス集計・性別、性・年代別／区に対する気持ち

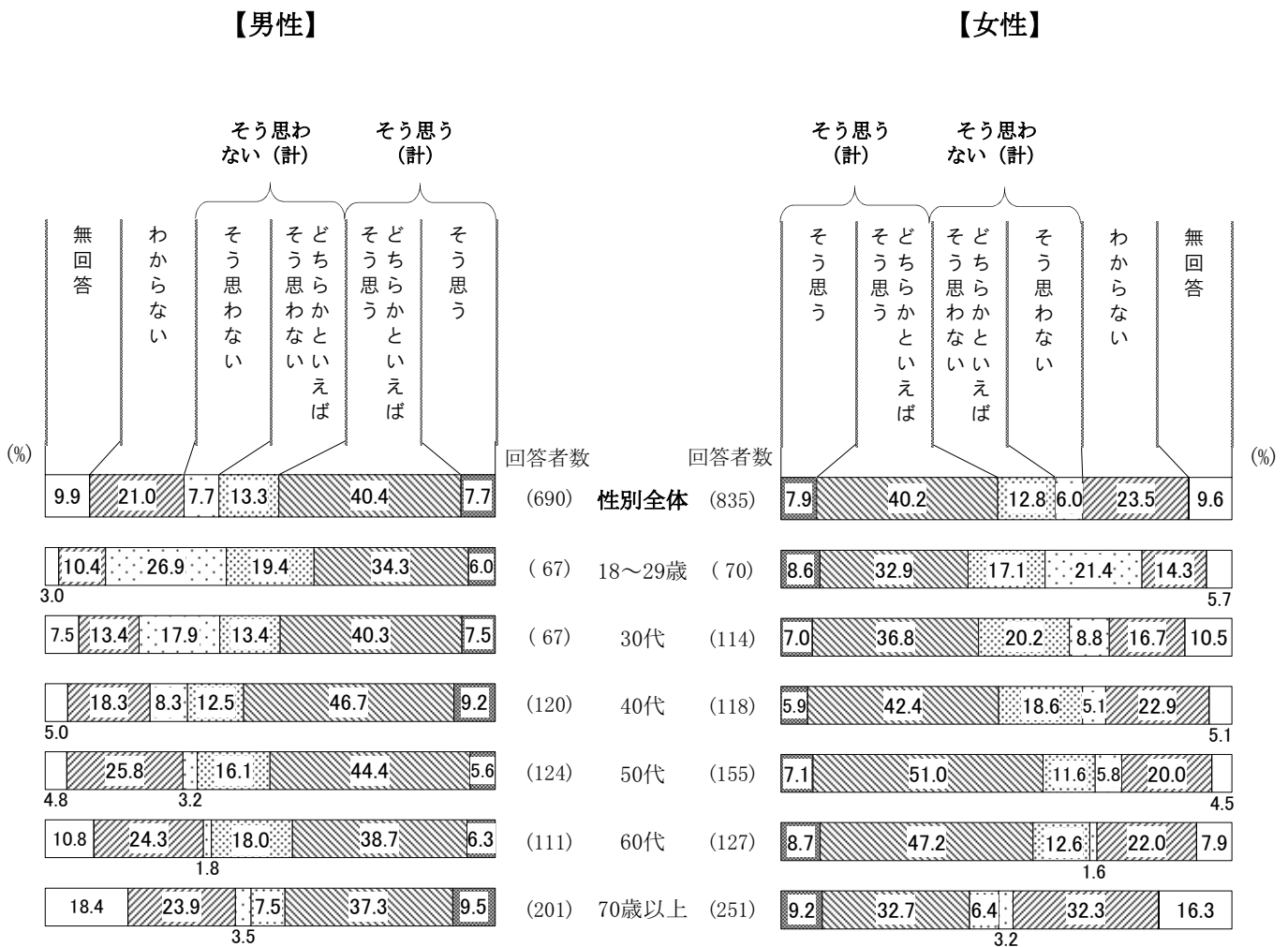
／足立区を良いまちにするために何かしたい

(ア) 〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉を性別で見ると、特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、【**そう思う**】は女性の50代が58.1%で最も高く、次いで、女性の60代と男性の40代が5割台半ばで続いている。一方、【**そう思わない**】は、男女ともに18～29歳（男性46.7%・女性21.4%）で最も高くなっている。

図11-1-3-④ 性別、性・年代別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするために何かしたい



サ クロス集計・性別、性・年代別／区に対する気持ち

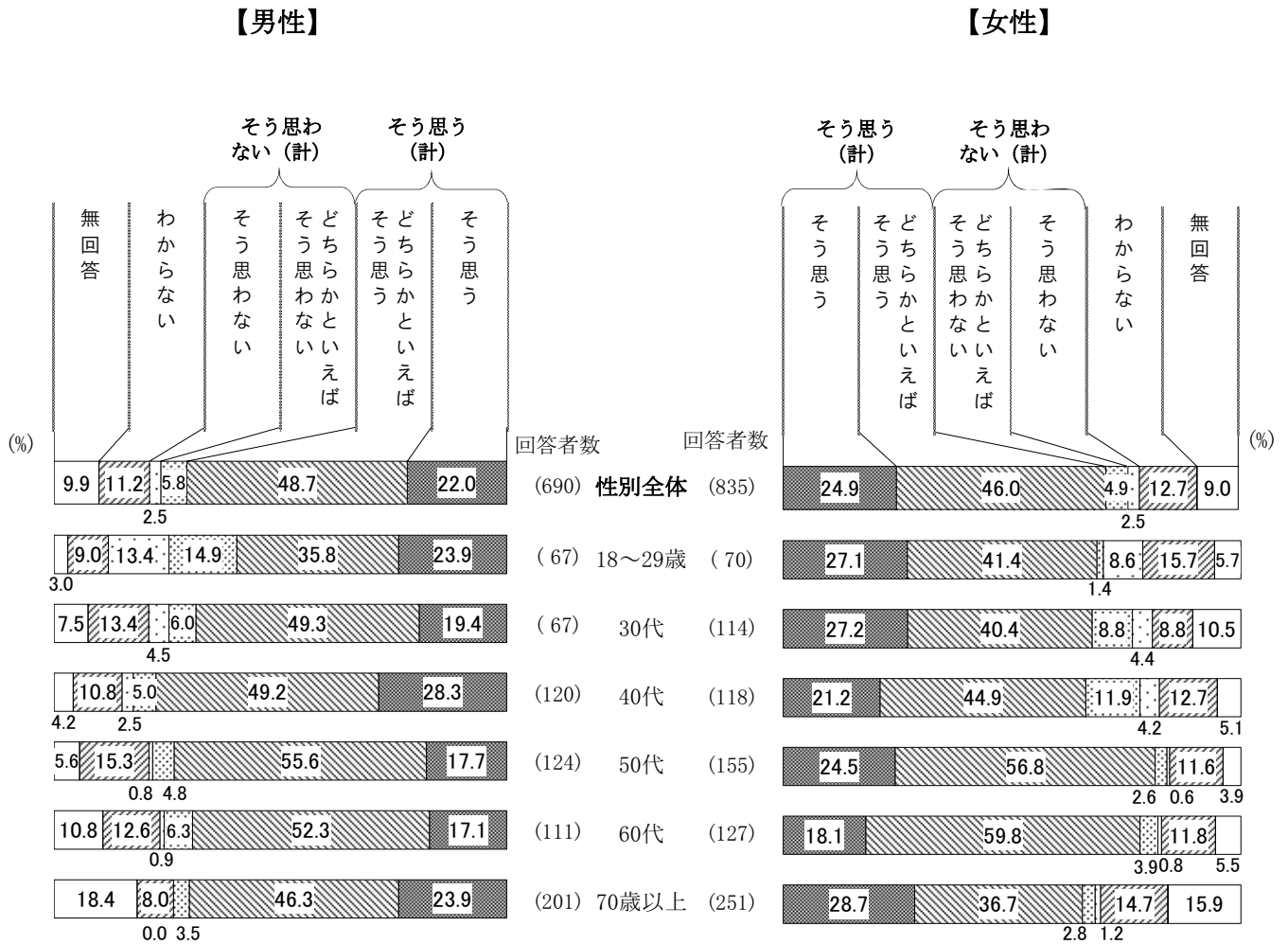
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

(ア) 〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉を性別で見ると、特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、【**そう思う**】は女性の50代で81.3%と最も高く、次いで女性の60代、男性の40代が8割弱から7割台半ばを超えて続いている。一方、【**そう思わない**】は男性の18～29歳が28.4%で他の性・年齢層に比べて特になくなっている。

図11-1-3-⑤ 性別、性・年代別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

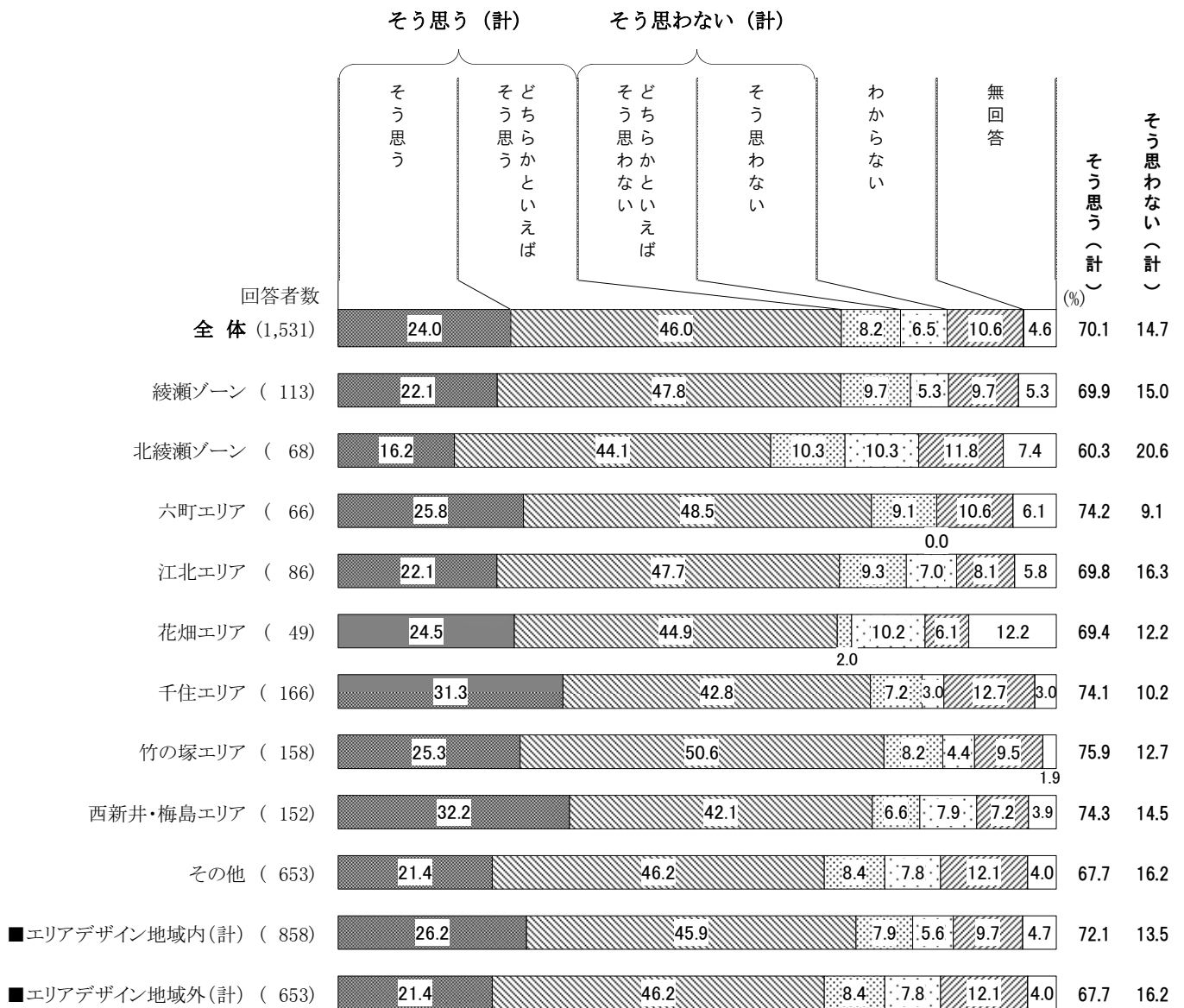


シ クロス集計・エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

〈足立区に愛着をもっている〉をエリアデザイン別で見ると、【そう思う】は、竹の塚エリアが75.9%で最も高く、次いで、西新井・梅島エリア、六町エリア、千住エリアが僅差が続いている。逆に、北綾瀬ゾーンが60.3%で最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外で比較すると、【そう思う】は地域内（72.1%）の方が地域外（67.7%）より4.4ポイント高くなっている。

図11-1-4-① エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

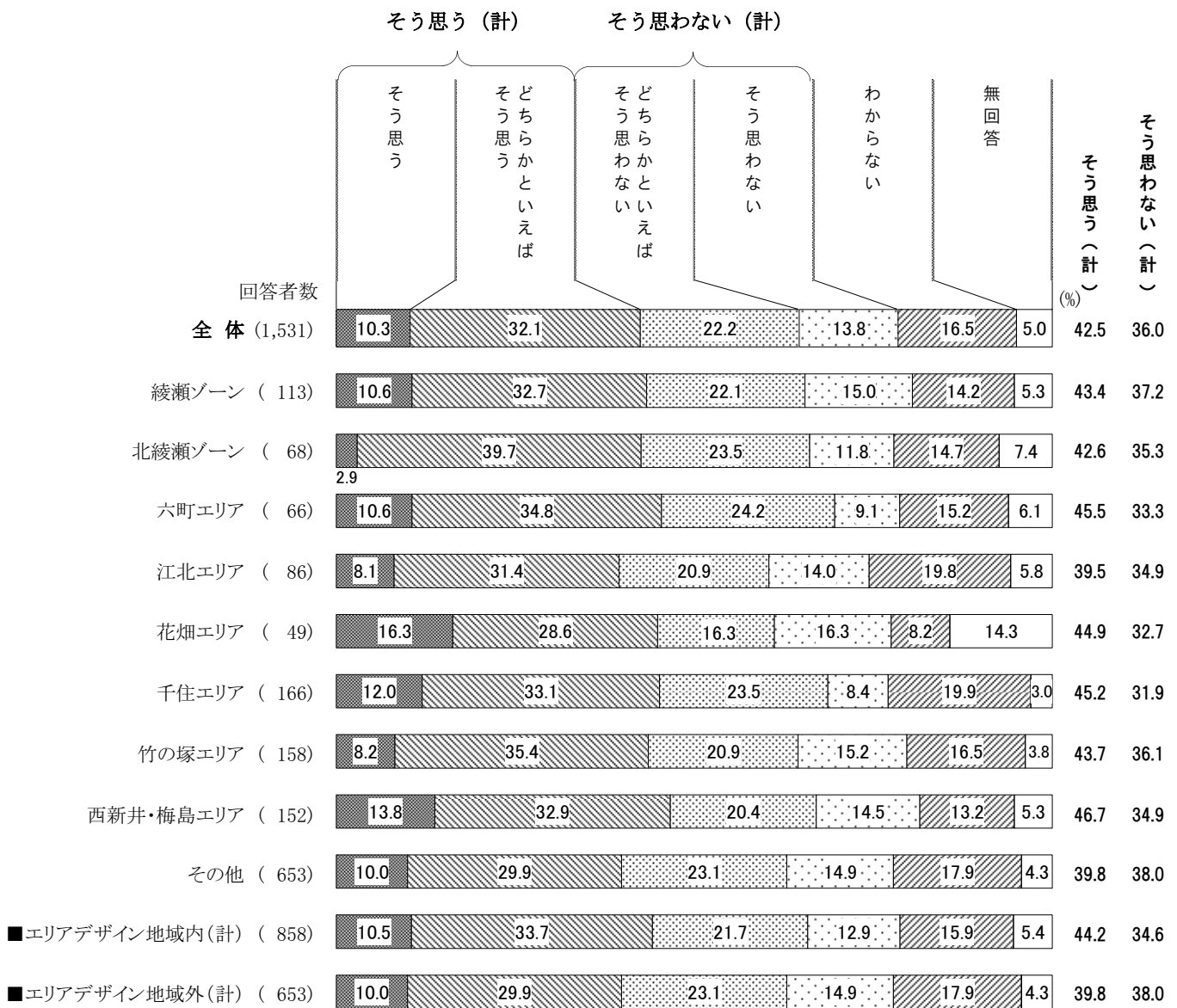


ス クロス集計・エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

〈足立区に誇りをもっている〉をエリアデザイン別で見ると、【そう思う】は、西新井・梅島エリアが46.7%で最も高く、次いで六町エリアと千住エリアが微差が続いている。逆に、江北エリアが39.5%で最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】は地域内（44.2%）の方が地域外(39.8%)より4.4ポイント高くなっている。

図11-1-4-② エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

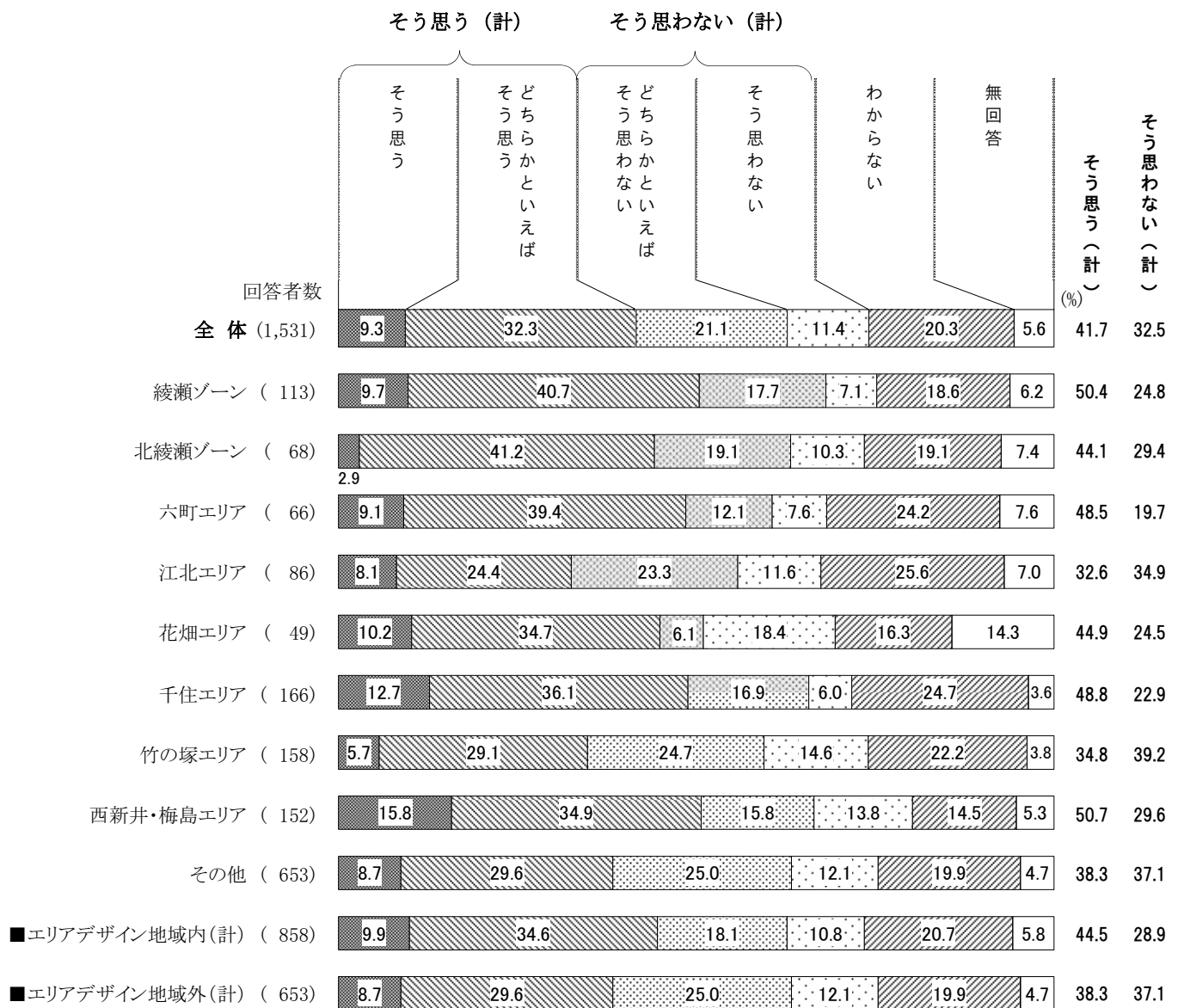


セ クロス集計・エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

〈足立区を人に勧めたい〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、西新井・梅島エリアが50.7%で最も高く、次いで、綾瀬ゾーン（50.4%）が僅差で続いている。逆に、江北エリアが32.6%で最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】は地域内（44.5%）の方が地域外(38.3%)より6.2ポイント高くなっている。

図11-1-4-③ エリアデザイン別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



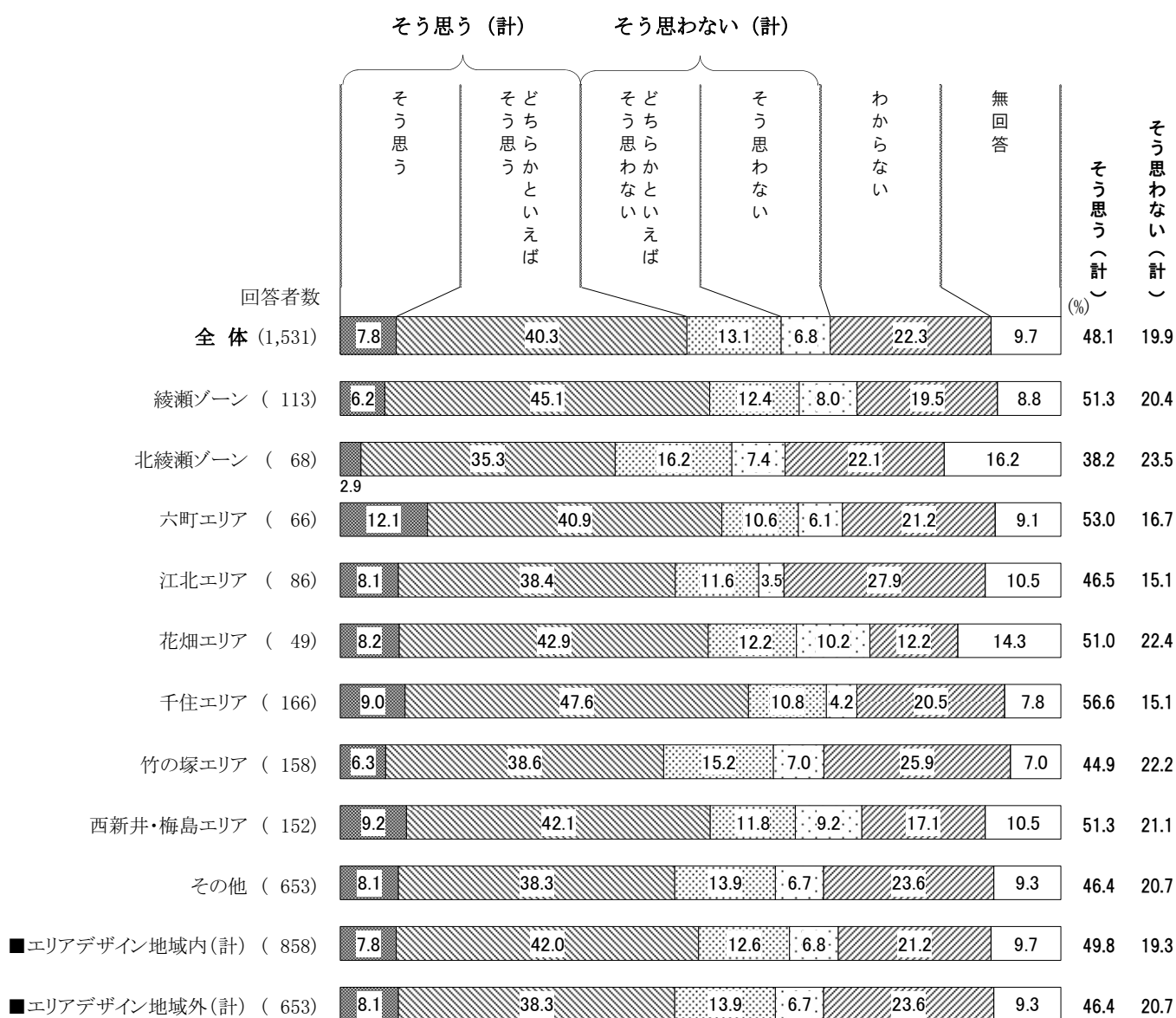
ソ クロス集計・エリアデザイン別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするために何かしたい

〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉をエリアデザイン別でみると、【そう思う】は、千住エリアが56.6%で最も高く、次いで、六町エリアが53.0%で続いている。逆に、北綾瀬ゾーンが38.2%で最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【そう思う】は地域内（49.8%）の方が地域外（46.4%）より3.4ポイント高くなっている。

図11-1-4-④ エリアデザイン別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするために何かしたい



タ クロス集計・エリアデザイン別／区に対する気持ち

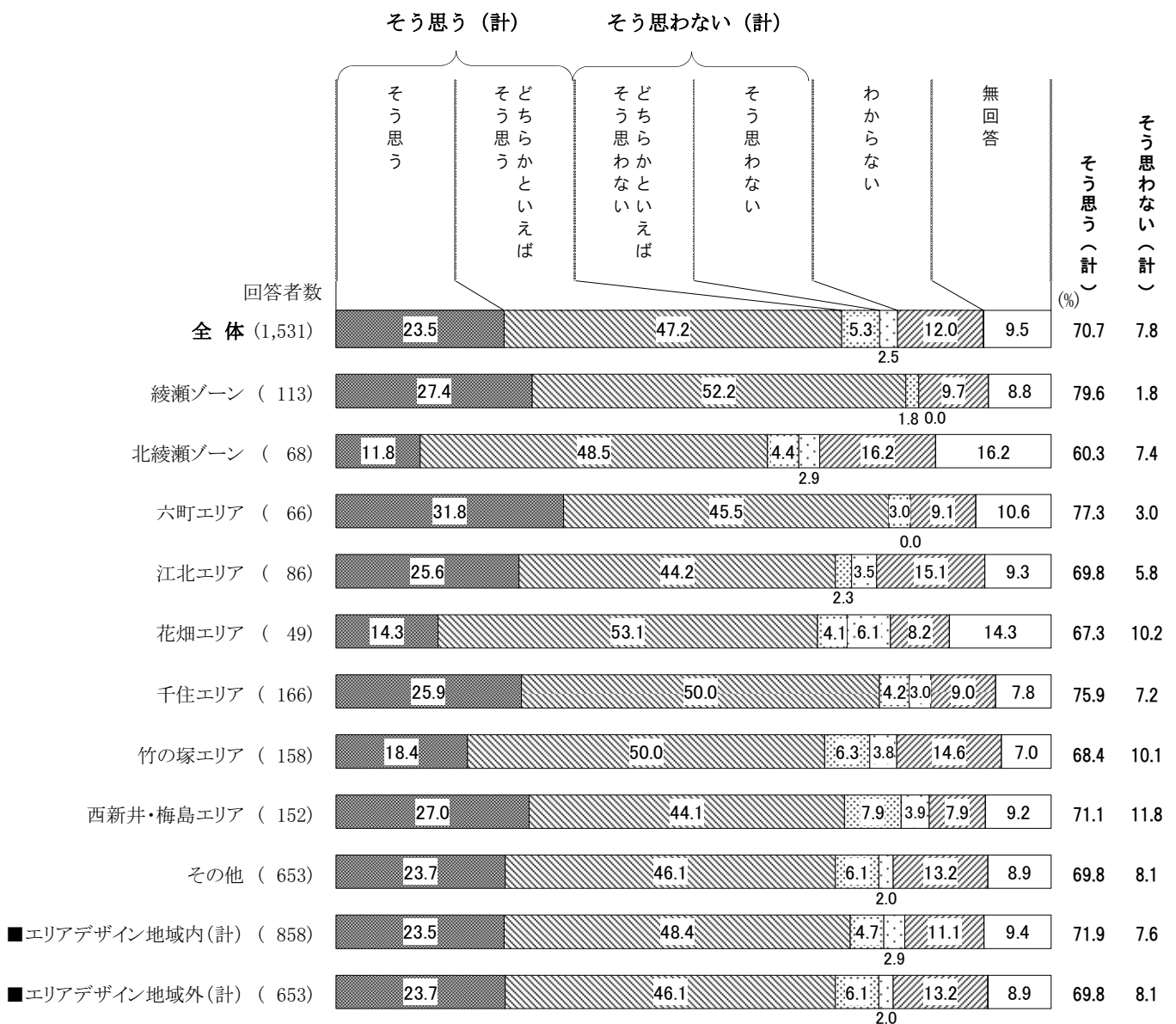
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉をエリアデザイン別で見ると、【**そう思う**】は、綾瀬ゾーンが79.6%で最も高く、次いで、六町エリアが77.3%が続いている。逆に、北綾瀬ゾーンが60.3%で最も低くなっている。

また、エリアデザインの地域内外の比較では、【**そう思う**】【**そう思わない**】の回答割合に大きな違いはみられない。

図11-1-4-⑤ エリアデザイン別／区に対する気持ち

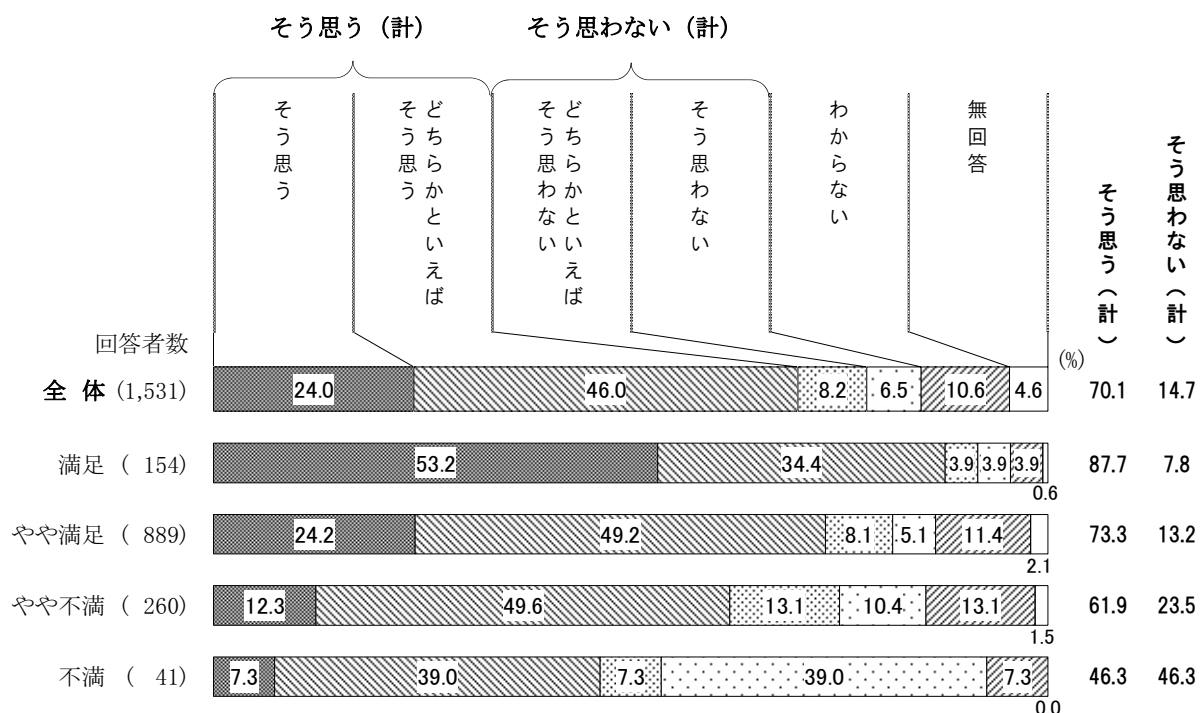
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



チ クロス集計・区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

〈足立区に愛着をもっている〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で87.7%と最も高くなっている。

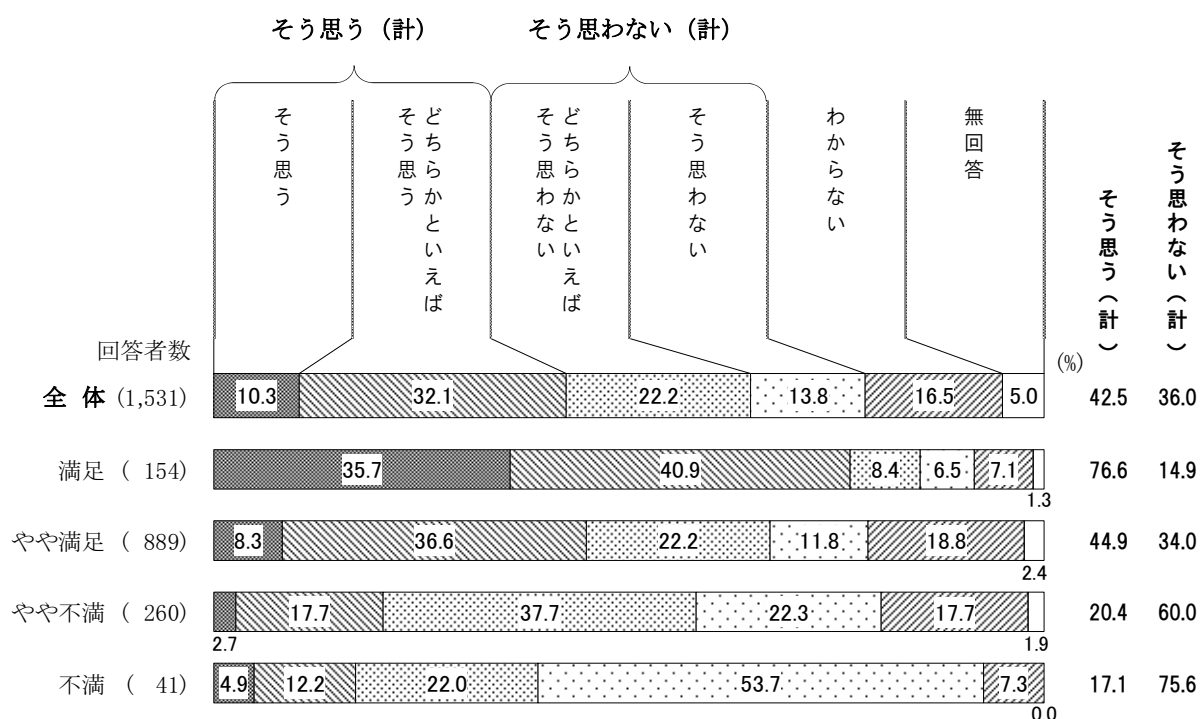
図11-1-5-① 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



ツ クロス集計・区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

〈足立区に誇りをもっている〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で76.6%と最も高くなっている。

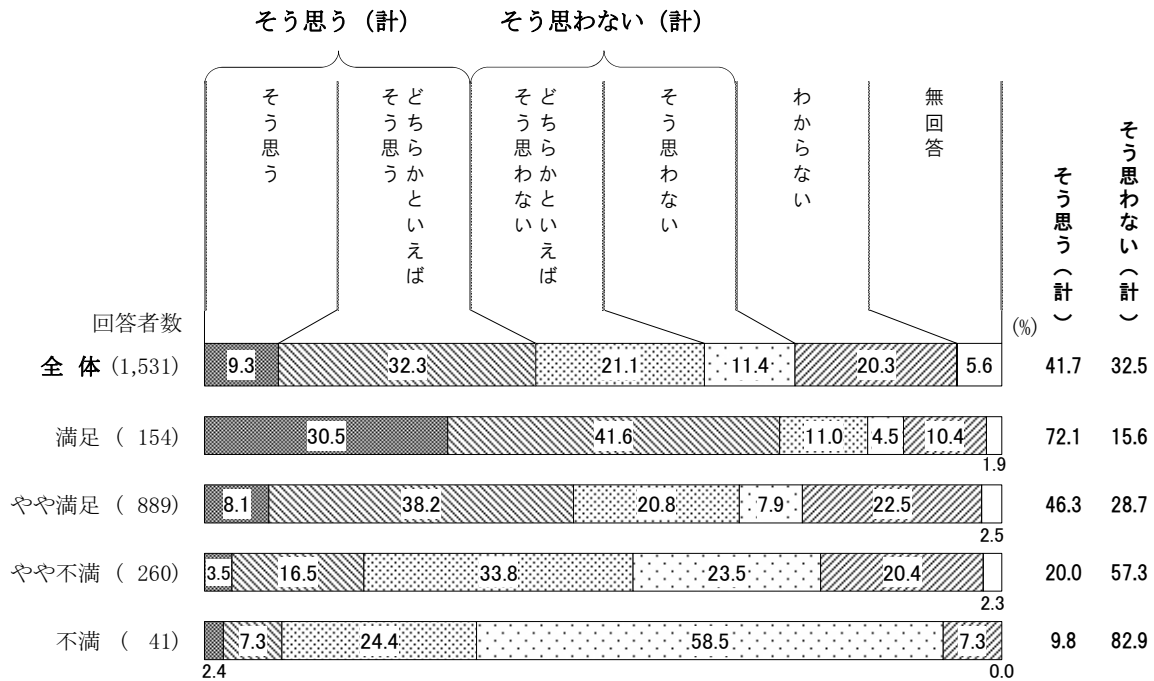
図11-1-5-② 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



テ クロス集計・区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

〈足立区を人に勧めたい〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で72.1%と特に高くなっている。

図11-1-5-③ 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

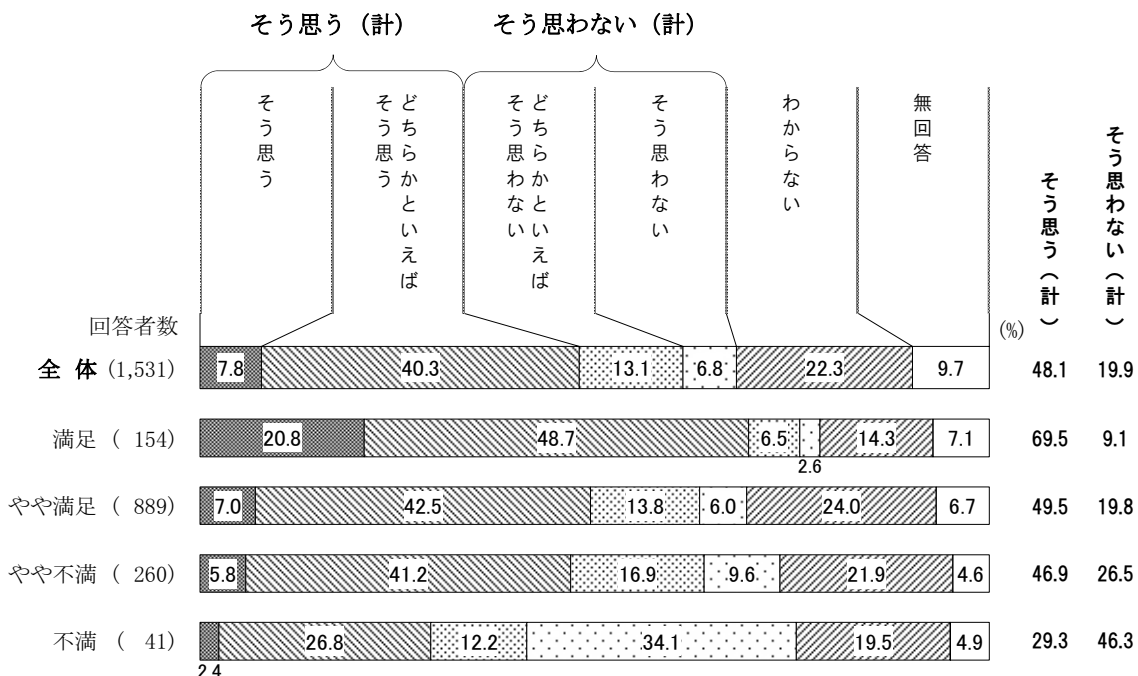


ト クロス集計・区政満足度別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするために何かしたい

〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉について、区政満足度別でみると、【そう思う】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で69.5%と最も高くなっている。

図11-1-5-④ 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



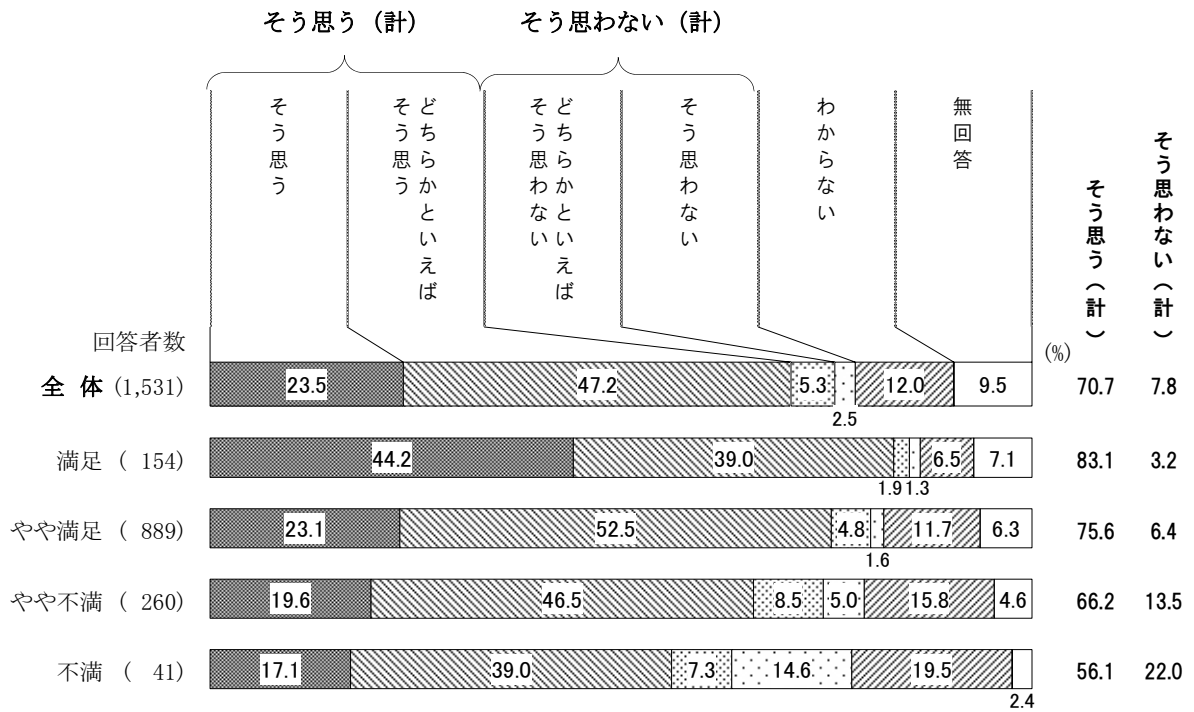
ナ クロス集計・区政満足度別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する

〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉について、区政満足度別で見ると、【**そう思う**】は区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で83.1%と最も高くなっている。

図11-1-5-⑤ 区政満足度別／区に対する気持ち

／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



ニ クロス集計・区政満足度別／区に対する気持ち

／【区政「満足層」・「不満層」】と【気持ち「そう思う」・「そう思わない」】の比較

(ア) 区に対する気持ちの全5項目をそれぞれ区政満足度別にみた結果、全5項目ともに“区政への満足度が高い層ほど、足立区に対する前向きな意識が高まる”という『正の相関関係』がある。

(イ) 各項目における【そう思う】の比率格差（満足層－不満層）を大きい順に挙げると、以下のとおりとなっている。

- ① 〈足立区を人に勧めたい〉(31.5ポイント)
- ② 〈足立区に誇りをもっている〉(29.7ポイント)
- ③ 〈足立区に愛着をもっている〉(15.7ポイント)
- ④ 〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉(11.9ポイント)
- ⑤ 〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉(7.9ポイント)

図11-1-5-⑥ 区政満足度別／区に対する気持ち

／【区政「満足層」・「不満層」】と【気持ち「そう思う」・「そう思わない」】の比較

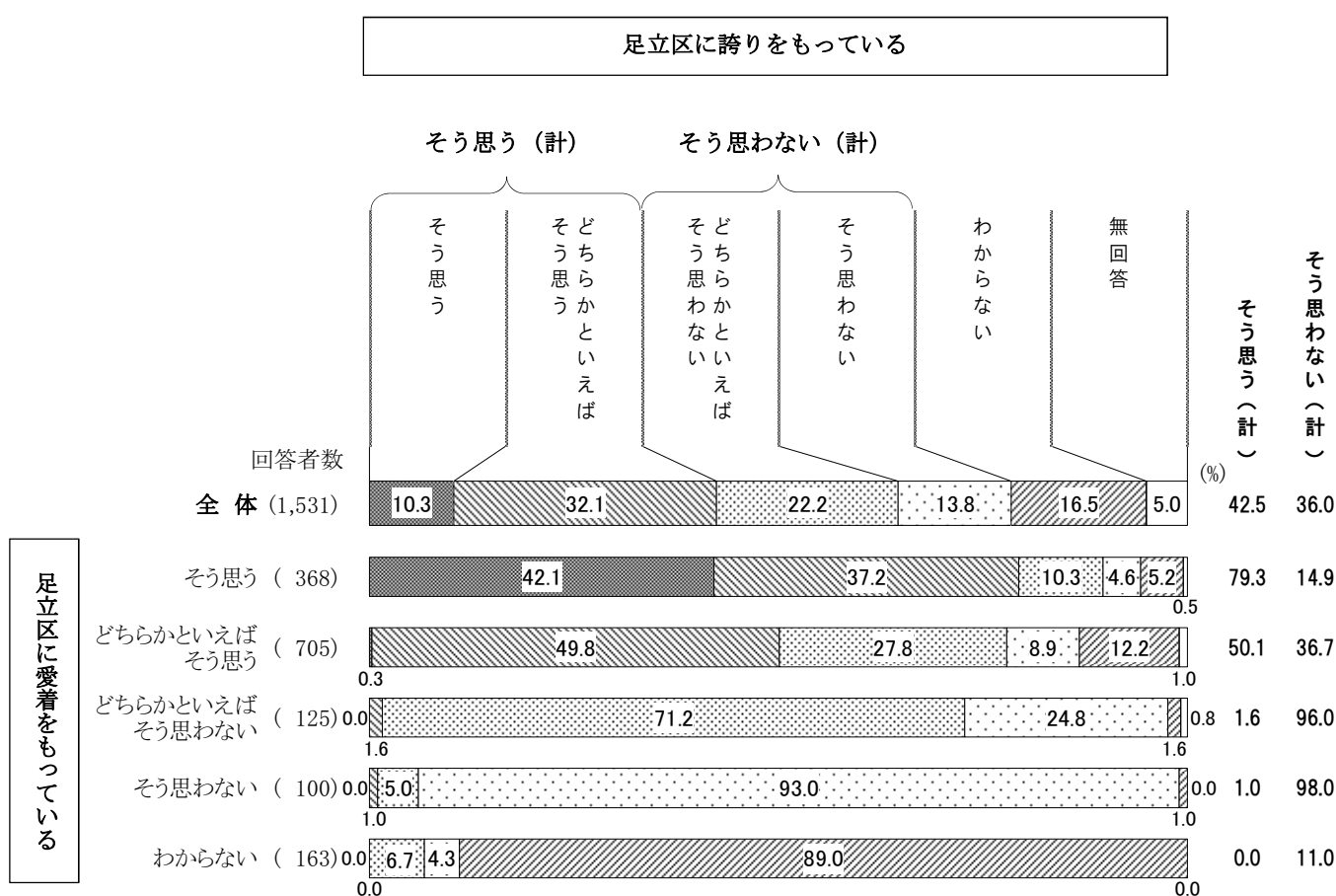
		ア 足立区に愛着をもっている		イ 足立区に誇りをもっている		ウ 足立区を人に勧めたい		エ 足立区を良いまちにするために何かしたい		オ 足立区を良いまちにするために活動をしている人に共感する	
		そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う(計)	そう思わない(計)
区政満足度	全体	70.1	14.7	42.5	36.0	41.7	32.5	48.1	19.9	70.7	7.8
	満足層(計)	75.5	12.4	49.6	31.2	50.1	26.7	52.4	18.2	76.7	5.9
	不満層(計)	59.8	26.6	19.9	62.1	18.6	60.8	44.5	29.2	64.8	14.6
	満足層(計)－不満層(計)	15.7	-14.2	29.7	-30.9	31.5	-34.1	7.9	-11.0	11.9	-8.7

又 クロス集計・区への愛着度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている

(ア) 区への愛着度別に『区に誇りをもっている』をみると、愛着度が強まるにつれて【(『区に誇りをもっている』) そう思う】の割合は増加し、『区に愛着をもっている』で〈そう思う〉と回答した層では79.3%を占めており、【(『区に誇りをもっている』) そう思わない】は14.9%に過ぎない。

(イ) 『区に愛着をもっている』で〈そう思わない〉と回答した層で【(『区に誇りをもっている』) そう思う】と回答した層は僅かに1.0%で、【(『区に誇りをもっている』) そう思わない】(98.0%)がほぼすべてとなっており、『区に愛着をもっている』と『区に誇りをもっている』が強い正の相関関係にあることがわかる。

図11-1-6 区への愛着度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



(2) 区に対する気持ち(愛着、誇り、人に勧めたい)の具体的な内容(自由回答)

問51-1 問51の項目のア. イ. ウで、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた理由をお書きください。

問51-2 問51の項目のア. イ. ウで、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と答えた理由をお書きください。

■ “愛着をもっている”理由は「地縁・居住期間」、 “誇りをもっている”理由は「生活環境・公園・自然」、 “人に勧めたい”理由は「住みやすさ」

前問の3項目(「ア 足立区に愛着をもっている」「イ 足立区に誇りをもっている」「ウ 足立区を人に勧めたい」)において、〈そう思う〉〈どちらかといえばそう思う〉と回答された方には【賛同の理由】を、また、〈どちらかといえばそう思わない〉〈そう思わない〉と回答された方には【反対の理由】をそれぞれ自由記述で聞いたところ、下表のとおり具体的な理由の記述をいただいた。

項目 気持ち	ア 愛着		イ 誇り		ウ お勧め	
	件数	%	件数	%	件数	%
そう思う (理由記述あり)	1,073 (842)	70.1 (55.0)	650 (399)	42.5 (26.1)	638 (447)	41.7 (29.2)
わからない	163	10.6	252	16.5	311	20.3
そう思わない (理由記述あり)	225 (141)	14.7 (9.2)	551 (359)	36.0 (23.4)	497 (317)	32.5 (20.7)

(n=1,531)(割合は対全体)

以下に、記述いただいたそれぞれの理由を分野別に分類し、それぞれの分野で「そう思う＝○」「そう思わない＝●」の中から一部を抜粋して記載する。

愛着

■ 地縁／居住期間 (○503件 ●72件)

- 生まれ育った街だから。祖母の代から3世代足立区です。
- 生まれ育った場所だから安心感がある。
- 50年近く住みました。住めば都。
- 長く住んでいるし、少しでも良くなる足立区を見ていきたい。
- 4才から62才の今までずっと住んでおり、思い出も多い。
- 子どもの頃から住んでおり、子育ても同じ地域でしているので、たくさんの思い出がある。
- 1歳の時に父親の仕事関係で足立区に引っ越してきてから、地元出身の主人と結婚、現在まで居住している為。
- 足立区の今の場所に住んで70年近くになりますが、決して良い所と思った事がない。たまたま住んでしまったので住んでいるだけ。
- 20年ちょっと住んでいるが、今後も住み続けたいという魅力に欠ける。
- 住んでいる地域が、荒川、北区寄りな為足立区に愛着を感じられない。ただ他区より優れているものもわかりやすい。
- 他の区と比較して土地の値段が安いということで一時的に住んでいる。まだ愛着が持てないでいる。

■ **住みやすさ（○135件 ●2件）**

- 子どもの頃から住んでいる。住みやすい町になってきていると思うから。
- 住みやすいと感じながら生活できているから。
- 住みやすく良い区です。便利・子育てしやすい・人がよい。
- 1年しか住んでないけど住みやすいから。
- 住んでみて住みやすい街だと感じているため。
- 住みにくいため。
- 住みやすいと感じないので。

■ **現在住んでいるから（○55件）**

- 住んでいて特に不便なく、長く住めているから。
- 現在住んでいて、幸福を感じているから。
- 旦那と結婚して足立区に移り住み、その後子どもを足立区で出産しているから。

■ **人情味がある・友人がいるから（○55件 ●7件）**

- 他の県から移り住み10年以上経ち、楽しみ方もわかり生活上は不便が感じられないため。知人が増えたため。
- 近所とのお付き合い、親しみあり。
- 地域の人々のつながりがある。
- 庶民的な雰囲気がある。
- 人と人との距離が近いため。
- あまり気取らずに生活出来るところが気に入っている。
- 以前住んでいた町の方に友人が多いから。
- マンション暮らしなので、隣近所との交流がないので。
- 観光地もなく無個性なため。

■ **生活環境・公園・自然（○33件 ●7件）**

- 住みやすい。土手があって景色がキレイ。
- 世間のイメージと違って暮らしやすい。公園や植木が整備されていてありがたい。
- 舎人公園があって、ランニングやバーベキューができる。
- 住めば都。公園が近くにあり緑も多く住みやすい。
- 公園が多く、自然が多いので。
- 環境が悪い。
- 環境への整備が足りない。特に川沿いの雑木雑草の除去はなされていない。
- 自然が少なく空気も汚れていて、マンションばかり建つ街なので
- 自分の住んでいる周辺には、親しみやすい公園が少ない。
- 家の周辺が汚い。

■ **交通網・道路網（○30件 ●3件）**

- 交通の便が良い。
- 日常生活や買物に便利である。
- 自宅周りは新しく建て直された区画でとても住みやすい。交通の便も良い。
- 長年住み続けているからだと思う。TXができて便利になった。
- 広いから公共施設まで遠い。
- 緑が多い所は良いが、23区なのに交通の便が悪い。

■街のイメージ（○18件 ●15件）

- 良い町だと思うから。
- 住んでみると、漠然と抱いていたイメージよりはるかに良かったから。
- 背伸びしないで生きられる街。
- 古くからの街と新しい街が一体になった、独特の文化を持っていると思う。
- 何となく温かい雰囲気を感じる。
- 親しみやすいため。
- 交通の便はいいが、歩行者と自転車の交通ルールのマナーの低さが目に余るので。
- 足立区は平均所得も低く、あまり良いイメージがないから。
- 治安の悪い地域と言われているから。
- 全体的に民度が低く、定住したいと思えない。
- 足立区＝貧困のイメージが付きまとう。
- 素行の悪い人間が少なからずいる。

■買い物等の利便性（○13件）

- 住んでいる地域は、スーパーやドラッグストア等、日常生活が便利。
- 生活に必要なお店がどこにあるか把握できており、近所で網羅できている。
- 住んでいて生活上不便を感じたことがない。都心ではどの店舗も小さく狭いが、足立区は店舗が広くゆっくり買い物が出来る。
- 長く住んでいて、利便性もよく、安心して住めています。

■物価（○12件）

- 下町で付き合いやすい。物価が低く生活しやすい。
- 物価が比較的安い。
- 長く住んでいるし、都内でも物価があまり高くなく生活しやすい。

■治安・防犯（○11件 ●4件）

- 50年以上住んでいるが、危険な思いも感じる事なく生活出来ている。
- 治安が良い。
- 地域の人が良く、治安が良い。最初は悪いイメージだったが住んでみると悪くなかった。
- 大きな事件・事故に巻き込まれることなく、長年住み続けているから。
- 治安が良くない区だと人に言われる。
- 治安が悪い。都営住宅が多い。

■発展性（○5件）

- 今住んでいる所が、人も店も増えて楽しい。
- 北千住は友人にも勧められた地域で、実際にきれいで子育てもしやすいため。
- 面積が広く、学校も多くなり、発展すると思う。
- 転入した時（30年前）より街が明るくきれいになり活気が出てきて、愛着がある。
- 車移動が多く、足立区の端から端まで移動することもあり、その地域の景観は好みがあるが開発が進んで綺麗になりつつあると思う。商業施設を増やしてくれたらなお良い。

■その他（○29件 ●35件）

- ビューティフル・ウィンドウズ運動など積極的に進めている。
- 近藤区長になってから特に、常に制度を充実させようとしている姿勢が分かる。
- コロナ禍で今はあまりないですが、元々イベントが多く好きな街。
- 年齢層が広く、子育てしやすい。

- ここ3年位コロナ対策について詳しい情報がない。この様な区には誇り、愛着も無くなっている。
- 6年程住んでいるが、まだ魅力を感じないから。
- 住むのに便利だと思えることは多いが、好きになれない。
- 足立区に興味がない。
- 特別良いと感じることがない。
- 特に愛着をもつ要素がない。

誇り

■生活環境・公園・自然（○83件 ●11件）

- 地域で花が植えられていて、緑も多い。
- 街並みがきれい。古き良き下街風情がある。
- 町がきれいで、緑や花が多いから。
- 緑が多い。公園が多い。下町らしさも残っている。
- 生活環境が良くなり、公園の整備が進み、住みやすい。
- 公園や緑も多いと思う。自然が感じられる所。
- 環境設備が整っているから。
- 緑が多く町並みがきれい。
- ゴミ捨てが守られていない。
- 民度が低く、街が汚い。
- 町全体が汚い。緑が少なくほこりっぽい。
- 街並みがおしゃれではない。

■地縁・居住期間（○63件 ●51件）

- 生まれた所だから。
- 長年住み続けているから。
- 生まれも仕事も足立区だから。
- 長年住んでいて、どんどん良い方に向かっている。
- 生まれ育った場所で、長く住んでいるから。
- 長年住んでいて、住みやすいから。
- 結婚してから来た土地なので特に思い入れがない。
- 地方出身なので、あまり愛着はわからない。
- 転入して1年未満で、区全体のことがよくわからない。
- 出身地でもなく、いろんな都市に住んだことがあるが魅力的な町ではない。
- 夫の仕事の関係上住んでいるだけなので、誇りも何もない。
- 転居して間もないから。
- 足立区出身ではないので。

■人情味がある・友人がいるから（○49件）

- 下町で人情にあふれていて、明るい街だからです。
- 下町で他人にやさしい人達が多いから。
- 近隣住民に親切な人が多い。
- 23区内では結構色々言われているが、人情があっていい町だと思う。
- 地域の人達が話しやすく助け合える。
- お年寄りが多く、子どもを連れて散歩していると声をかけてもらえる。近代的な利便性などの効用向上を進めつつ、古くから親しまれているものを大事に残しているから。
- よい友達がたくさんいるから。

■治安・防犯（○39件 ●45件）

- 以前に比べて明らかに治安が良くなった。
- 犯罪も減りつつあり、足立区もだんだん良くなっている。
- 転居前は治安の悪い区という印象が強かったが、そうでないと自身が住んで感じているので。
- 少し前まで治安が悪いイメージだったが、大学が増えたり犯罪率が減ったりして、確実に区
の良さが増えているから。
- 防犯や環境対策など区全体として向上心がある。
- 周りが思っているより治安がいい。
- 治安が悪いことで有名だから。
- 治安が良くなりつつあるとは言っても、都内ではまだ悪い方。
- 問題が多い地域であるから。
- 治安が悪く感じるから。
- まだまだ事件・事故が多いように感じる。

■住みやすさ（○37件）

- 割りと緑が多い。静かで生活しやすい。
- 不便な思いをした事もなく、住みやすいと感じるからです。
- 居心地が良いから。
- どんどん住みやすくなっていると感じるから。

■区政（○32件 ●5件）

- 区の施策が確実に実を結んでいると感じる。
- 他の区の友人と話をして、足立区は区民の事を考えてくれている。
- 区の努力でゴミ屋敷など減らしている様子なので良いと思う。
- 大学の誘致や高齢者の集う場所が増えている。区長さん頑張っています。
- 何でもすぐ実行しているように思う。
- ベジタライフや犯罪を減らすための政策が浸透してきており、区民のためのまちづくりが
進んでいるため。
- 全体的に行政サービスが悪く、足立区に住んでいると言うと、治安が悪い、ガラが悪いと決ま
って言われるから。
- 区民に寄り添った区政がされていない。差別発言をする区議もいる。
- いろんな政策に手を出してごちゃごちゃしており、一貫性がない。
- 選挙を見ても保守が強く、革新的な区民の要望がなかなか実現できないから。

■福祉・教育（大学誘致等）（○25件 ●6件）

- 街として利便性が良く、子どもの教育も行き届いており、足立区で良かったです。
- 子どもの教育や成長に力を入れている区だから。
- 大学が増えて若い人が多くなった。
- 大学や病院を誘致されて、ますます良くなる区が誇りです。
- 学園都市になって文化的だ。
- 子育てや福祉が充実している。
- 学校給食が有名。
- こんなに障がい者、外国人、高齢者などに対して懐の広い自治体は他にないと思う。うちの家
族が生活できていることがそのことを現わしていると思う。全国に自慢して回りたいぐらい
です。
- 都内における学力の低さや治安の悪さは多少改善されたが、下位からは抜けられない。
- 他区と比較して教育熱が低く感じ、子育てに安全性を感じにくい。
- 教育、文化的な面においてほかの区に劣ると感じるから。

- 治安の悪さや学校の偏差値等、誇るには値しない。未だに周りから悪いイメージを持たれる。
- 教育レベル、学校の施設、部活動の水準などほかの区に比べて低い。23区で足立区だけ違う教科書を使っていたことがあった。

■買い物等の利便性（○16件 ●4件）

- 買い物など生活が便利である。
- 商業施設が多く楽しめる。
- 買物が便利。
- 栄えている。
- 住んでいる所は公園が沢山あって子育てしやすいが、大きいデパートや都心にアクセス出来る路線、安心してかかれる病院が欲しい。
- 駅周辺が何も無くつまらない。
- 場所によると思うが、不便な所なので誇りに思わない。
- 生活面での不便が多いから。

■交通網・道路網（○13件 ●3件）

- 北千住は交通の便が良いし、駅ビルなどもあって便利だから。
- 交通網の充実。
- 町がかなり整備されてきたので。
- 交通機関が充実している。
- 近年、区間整理で町が素敵になった。
- 交通の便が悪く、町の雰囲気も良くない。
- 治安や交通の便の悪さが、まだまだ改善が必要。

■歴史・観光・施設（○13件 ●3件）

- 歴史があるから。
- 西新井大師、一茶まつり（炎天寺）、千住の宿場、松尾芭蕉など縁の名所、名刹がある。
- 街道、宿場町としての歴史。
- 西新井大師があるから。
- 特に観光する場所がない為。
- 公営の図書館がない。
- 税金を払っているのに利用したい施設が無い。

■現在住んでいるから（○12件）

- 現在住んでいるから。
- 現在住んでいて、幸福を感じているから。
- 自分の住んでいる街だから。

■発展性（○11件）

- 世間のイメージを変えようという努力が伝わってくるし、結果が出てきている。人情味がある。
- ここ数年で街が生きかえり、足立区に魅力がでてきた。
- どんどん進化していると思う。
- 年々、区が良くなっているの。
- 足立区の変化を見て、より良くなってきているのを感じている。

■住民の質や意識（マナー）（○7件 ●40件）

- 区民の誇りを持って生活している。
- 住みやすい。住人がおだやか。
- バスに乗ると高齢者を大切にしている姿が、若者を含めて見受けられる。
- 治安が悪いなどあまりいいイメージがなかった足立区も、区を取り組みや住民の方のおかげで良くなってきたと思うから。
- 駐輪や、特にゴミ捨てのマナーが非常に悪い。資源ゴミの日は特に汚い。分別されていない。
- 歩きタバコやポイ捨てが多く、汚い所が多いから。
- 全体的に民度が低く、定住したいと思えない。
- 治安、マナーが悪いので。
- 歩きたばこをしている年配男性が非常に多い。
- 治安が悪く、ルールやマナーを守らない人が多い。足立区で生まれ育てば、それが普通となってしまうだろうが、初めて生活した時はカルチャーショックだった。このような状況で誇りたいとは考えられない。

■区・街のイメージ（○6件 ●59件）

- 以前に比べてイメージ・印象が良くなっている。
- 住みたい街ランキング上位に入っている。
- 区としてよくやって頂いていると思います。北千住のイメージがアップ！
- イメージアップや、住みやすい町づくりに力を入れている。
- 区外出身者の印象ほど、悪い街ではないから。
- イメージが改善されている。
- “足立区”というと悪いイメージを持っている人が多いから。
- 区外の人からは、生活レベルが低い、ルールを守らない等評判が良くない。
- 仕事の為にここで生活しているだけで老後は別の所で暮らしたい。イメージが悪すぎるから。
- 年収が低い・治安が悪い・学力が低いなどネガティブイメージを持っている人が多いから。
- イメージが良くないので、住んでいる地域を隠している。
- 足立区というと県外や区外の方のイメージとしては治安の悪い印象が強く、誇りをもつ事に抵抗感を覚えるため。
- 今はさほど治安が悪いわけではないのに、20年以上前に起きた殺人事件を当時のマスコミが執拗に報道したせいか、今でも足立区在住と言うと治安が悪いと言われる。その上、テレビで芸人が足立区は治安が悪いと発言したことがあり、一般市民ではもうそのイメージは払拭できない。
- 足立区の犯罪件数が多いイメージ。

■知名度（○6件）

- 有名人を輩出していて、自慢できるため。
- 昔ながらの街も残っており、知名度もあるため。
- スポーツ選手等、有名人が足立区出身ということがあるから。

■物価（○3件）

- 住みやすい、物価が安定。
- 物価が安い。
- 交通の便が良い。物価が安い。住みやすい。

■他区や他の地域の方が優れている（●14件）

- 他区より優れているところがあるとは思わない。
- 他の区と比べて生活水準が低いため。
- 23区ワースト1の項目が多い。
- 他の区と比べ、あらゆることで優秀と思えないため。
- 他の区の方が進んでいると思うから。

■誇りを持つ事柄がない/考えたことがない/足立区のことをあまり知らない（●115件）

- 23区でもレベルの低い街で、誇りを持つ意味が分からない。
- 足立区が主催している事や、名産物、観光名所を知らない。
- 誇れるほど立派なアピールポイントが見つからない。
- 特に誇りに思うことがないから。
- 誇りに思うほど足立区のことを知らない。
- 特に足立区に誇れる特別なものがあるのかわからない。

■その他（○49件 ●25件）

- 昔に比べると色々なことがクリーンになっている気がする。
- 他区に行った時そう思う。
- 足立区が大好きだから。
- 工芸や技能等、素晴らしいと思う。
- 良い所が沢山あるから。
- 生活の水準が低いと感じる。
- 足立区にはお世話になっているが、改善してほしい点が多々ある為。
- 区として便利さは感じるが、誇りまでは感じない。
- 高齢者に対して手厚い支援がこのアンケートで目立っていたため、若者には住みにくい街なのかと印象を持った。今後誇れる街になるには努力がいるのかと思った。
- 文化面、独自性の弱さ。

人に勧めたい

■住みやすさ（○134件 ●3件）

- 暮らしやすいから。
- 落ち着いて生活出来る町だと思います。
- 多くの人のイメージ以上に住みやすい。
- 住んでみて住みやすい街だと感じているため。
- 生活するには静かで、区外へもアクセスしやすい。
- 親しみやすく、暮らしやすいため。
- 場所によって住みにくい地域がある。
- 住みやすさ等の面で勧めたいとは思わない。

■交通網・道路網（○99件 ●21件）

- どの方面にもアクセスが便利。
- 都心へのアクセスがいいから。
- 交通の便が良いので。
- 交通網と、駅前の発展性を含めて北千住駅前とその通勤圏は、23区内でも特筆した快適な居住性を持っていると感じている。
- 都中心部、千葉、埼玉へのアクセスが便利。

第3章 調査結果の分析〈区を取り組み〉

- 場所（地域）によっては駅もなくスーパーも遠い。車がないと不便。
- 交通手段など不便さがある。
- 交通整備が不十分で狭い道路が多い。自動車のマナーも悪い。
- 駅が遠くて不便。
- 駅に近くないと、極端に交通の便が悪い。

■物価（○71件 ●1件）

- 23区内で家賃が安く住みやすいと思うので。
- 物価が安いので他区より生活が楽なのではないかと思う。
- 物価の安さを感じる。
- 家賃や物価が23区の中で比較的安いから。
- 物価が安く住みやすい。
- 新築一戸建てが高値。

■買い物等の利便性（○62件 ●6件）

- ショッピングセンターや交番など、利便性・安全性を兼ね備えているため。
- 買物、学校、病院 e t c、充実している。
- 物価も安く商店も多く、暮らしやすいので。
- スーパーや病院がたくさんあり、生活する上で困ることがない。
- 生活するのに便利。北千住駅周辺に店が充実している。
- 利便性はかなりのメリットだと思います。
- 大型店舗がない。
- 駅周辺、何も無くつまらない。
- 商業施設がある場所が偏っており、無い場所はほとんど何も無い。

■生活環境・公園・自然（○56件 ●8件）

- 自然豊かな所。
- 都心部と違って川や緑地が多く、鉄筋の高層建築物が少なく空気がきれい。及び買物の利便性もよし。
- 公園が近くにあり、町もスッキリしている。
- 店や環境が整っている。
- 区の公道にゴミが落ちてなく、いつも美化されていること。
- 生活環境が良く、高齢となっても住みやすそう。
- 車の排気ガスで空気が悪い。
- 街があまりキレイではない。
- 魅力も感じず汚い所が多い事と、木造密集地域が多く、災害時危ないと思うから。
- 自然が少なくなりつつあること。

■子育て（○28件）

- 子育て支援が充実しているため。
- 交通の便も良く、公園が多いので子育て世代に勧めたい。
- 子育てしやすい。
- 公園がたくさんあるし、子育て世代には生活しやすい環境が整いつつある。
- 子育て世代にやさしいと思うから。
- 足立区は母子家庭が多いと聞くが住みやすいからだと思う。また、子ども医療助成金が有り難い。

■治安・防犯（○26件 ●60件）

- 以前よりは犯罪が少なくなった。
- 私自身、足立区への持っていた印象と実際住んでみての印象が変わり、住みやすくなっていると感じたから。
- 一時、足立は治安が悪いと言われていましたが、今は少しずつ良くなっています。とても暮らしやすい町です。
- 世間で言われるほど治安は悪くないと思うから。
- 治安は言われるほど悪くない。
- 繁華街の近くに住んでいるが、土曜日は朝方までうるさい。
- 今住んでいる地域に関しては勧めたい気持ちはあるが、足立区自体は勧めたいと思わない。都心から離れている、犯罪が多いなど。
- 民度が低く学歴が低く犯罪が多いため、勧められない。
- 人が増えて、治安が不安だから。
- 民度が低く治安が悪いので、危険すぎて絶対に勧められない。
- 夜の足立区は怖いため、勧められないから。
- 治安が悪いとよく言われる。あまり女性の友人には勧められない。

■人情味がある・友人がいるから（○16件）

- 住みやすい。住人がおだやか。
- 地域の人々のつながりが強い。
- 地域の人があたたかい。
- 人々がきさくで話しやすい。
- 大人になっても地元に残っている人が多く、地域の人との繋がりや協力が心強い。

■福祉・病院・教育（大学誘致等）（○16件 ●8件）

- 給食がおいしい。学校・幼稚園・住区センターなど充実している。
- 保育園・小学校・中学校・高校があり、住みやすいのでは。
- 居住場所の近くに病院が数多くあるので。
- 千住地域が学園都市になりつつある。
- 特に子どもの教育環境がよくないと思うため。
- 治安、教育などあまり良くないと聞くので勧められない。
- 病院や医療機関が少ない。介護保険料が高い。産婦人科の病院が少なく、高齢者が受診できる婦人科の病院がほとんどない。

■区政（○14件 ●7件）

- 助成金などが良い。
- 子育て、コロナ対策、住居等の補助が良い。
- 区のサービスが良いので。
- 子育てをしやすいと思う。区役所の対応もとても良いと感じます。コロナに感染してしまった時の保健所の方の対応もとても親切でした。
- 社会保険料が高い。
- 社会サービスの不足。
- 介護保健料が高い。
- 子育ての支援が他の区と比べて少ないと感じたため。

■地縁/居住期間（○13件 ●10件）

- 生まれてからずっと足立区のため。
- 生まれ育った土地だから。
- 長年住んでいる為。
- 引っ越してきたばかりだから。
- 生まれも育ちも足立区なので足立区しか知らない。良いか悪いかの判断が出来ない。出来ることなら足立区以外の場所に住んでみたい。
- 中学生から区外での通学と通勤の為、駅～自宅近辺でしか生活しておらず、正直よくわからない。

■現在住んでいるから（○11件）

- 結婚後も家族で住んでいるので。
- 足立区に一生住みたい。
- 30年以上住んでいて、これからも子育てもしながら住んでいくから。
- 現在、居住しているから。

■発展性（○9件）

- 日々、進化しているので。
- 治安の向上、地価の上昇など、街の価値が勧めるに値すると思うため。
- 北綾瀬駅まわりの整備が進んで、更に便利になると思うので。
- 比較的に道路や建物が綺麗になり、若い家族層が増えているため。

■歴史・観光・施設（○7件 ●件）

- イルミネーションや足立花火がある。公園が多く子育てに良い。
- 保育園、学校、高齢者の施設、放課後デイサービス、とにかく使える施設が多いし、物価も安く生活しやすい。都心に出るのも早いし、西東京に行くぐらいなら足立区に来るべき！と実際に勧めています。
- 千住エリアは電車や車の便利であること。お店も多く買い物にも困らないこと。足立区役所の食堂の美味しさ。若者が増えたことでの街の活気。夏の花火大会と荒川土手の解放感。

■区・街のイメージ（○4件 ●45件）

- テレビ等で言っているほど悪くない。
- 悪いイメージの足立区だけど悪くないから。
- 昔のイメージより良くなっている。街が良い方向に動いている証であるため。
- 昔の悪いイメージが改善されていて、生活しやすいため。
- 他の区と比べて劣るところがあるイメージがあるようで、自らは勧めない。
- 治安の悪い区という印象が強いと思うので、わざわざ勧めるにはハードルが高い。
- 治安が悪い印象が払拭できていない。
- 犯罪検挙率が高いイメージが浸透してしまっているので、勧め辛い。
- テレビ等で足立区はあまり良い伝えられ方をしないので。目黒区に住んでいる友達は足立区に来ただけで「コワイ」と言っていた。
- 足立区のイメージはあまり良くないから。

■勧める点が特にない（●55件）

- ここにしかない魅力的なものがないので。
- 誇れない街を勧められない。
- 自慢出来る所がない。

- 特に勧めるような特徴がない。
- 足立区の何が勧められるのか思い浮かばない。
- 足立区の良い点が思い浮かばないから。

■住民の質や意識（マナー）（●44件）

- 住民や大学生のマナーが悪いと感じる場面が多い。
- 外国人の多さ。
- 治安が悪い。
- 資源ゴミの持ち去りなどが多い。
- 外国人が公園で朝からたむろしている。
- 足立区独特の地域性（生活水準の低さ）を感じるから。
- 柄が悪い人が多いので勧められない。

■他区や他の地域の方が優れている（●19件）

- ここよりもより住みやすい場所があると考えられるため。
- 物価や住居費が安いのは勧められるが、全体的に見れば他区に劣る面が多いから。
- 他の区の方が進んでいると思うから。
- 以前住んでいた所と比べてしまうと、足立区の良さがよくわからないので、お勧めはしないと思う。

■災害・水害に弱い（●8件）

- 地域によるが、土地が低く弱いので水害が怖いから。
- 都内において、地震や洪水などが発生した際、液状化など深刻な被害が他地域より発生しやすいため。
- 土地が低く、水害に弱いから。

■その他（○33件 ●49件）

- 町会などがしっかりしているところ。
- 若い人に勧めたい。
- 総合的に良い町だから。
- イメージは良くないと思うので、住んでみてほしいなあと感じます。
- 足立区に越してから、嫌なことがほぼなかった。
- 人や家が多くなりすぎるとトラブルが起こりやすいので、あんまり増えてほしくない。
- 地元の方に溶け込むのが難しい印象。
- 閉鎖的な思いですが、あまり外の人間に荒らされたくない。
- 勧めるべき人がいない。
- 足立区を勧められて喜ぶ人がいる気がしない。

(3) 区を良いまちにするための行動

問52 あなたはこの1年間に足立区を良いまちにするために行動をしましたか

(○は1つだけ)。

※ 町会・自治会活動、ボランティア活動、防犯活動、地域イベントの手伝いのほか、家の前の清掃をしている、道案内など困っている人を助けた、足立区内の魅力的な情報を伝えた(発信した)などの個人的な行動も含まれます。

■【行動しなかった】が約6割で、【行動した】の2割台半ばを大きく上回る

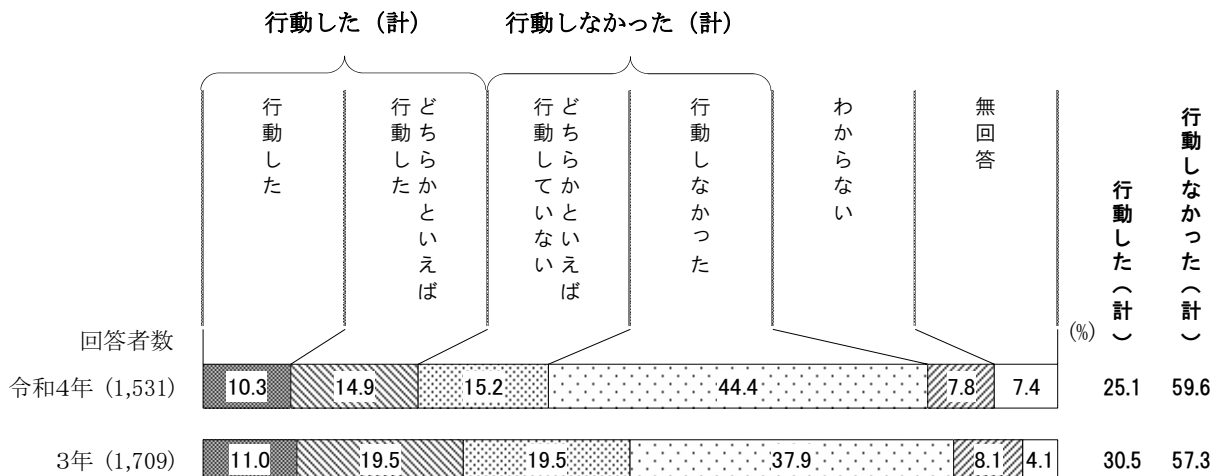
ア 単純集計・前回調査比較/区を良いまちにするための行動

(ア) この1年間に足立区を良いまちにするための行動をしたか聞いたところ、「行動しなかった」が44.4%と最も高く、「どちらかといえば行動していない」(15.2%)を合わせた【行動しなかった】は59.6%となっている。

(イ) 「行動した」は10.3%に留まり、「どちらかといえば行動した」(14.9%)を合わせた【行動した】は25.1%となっている。

(ウ) 本設問を開始した令和3年度調査と比べてみると、【行動した】は(前回30.5%)から5.4ポイントの減少となっている。

図11-3-1 前回調査比較/区を良いまちにするための行動

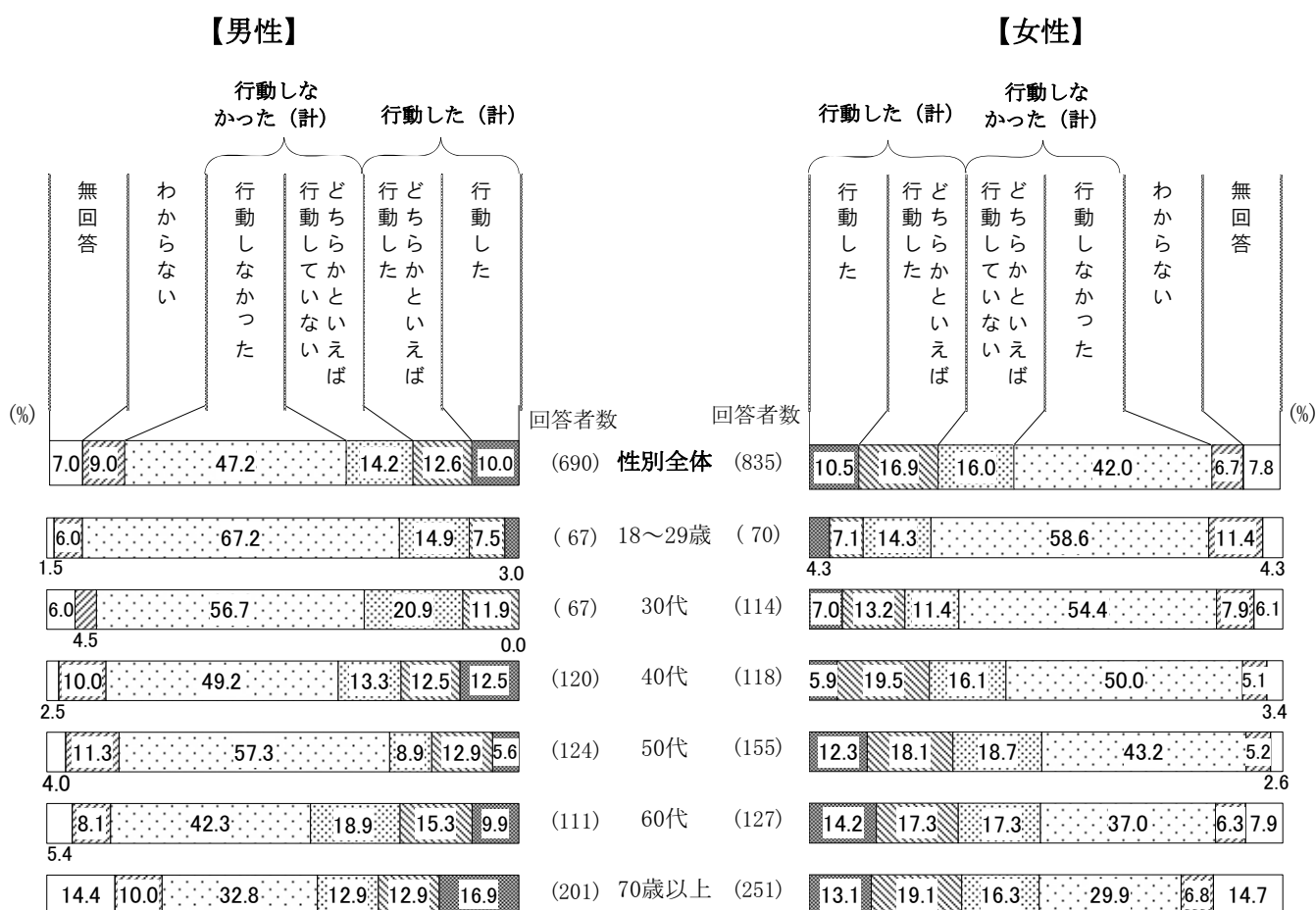


イ クロス集計・性別、性・年代別／区を良いまちにするための行動

(ア) 性別にみると、【行動した】は女性 (27.4%) の方が男性 (22.6%) より4.8ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別にみると、【行動した】は、女性では年代が上がるほど割合も高くなり、女性の70歳以上が32.3%で最も高く、僅差で女性の60代 (31.5%) と女性の50代 (30.3%) が続いている。一方、【行動しなかった】は男性の18～29歳が82.1%と最も高く、次いで、男性の30代 (77.6%) となっている。

図11-3-2 性別、性・年代別／区を良いまちにするための行動

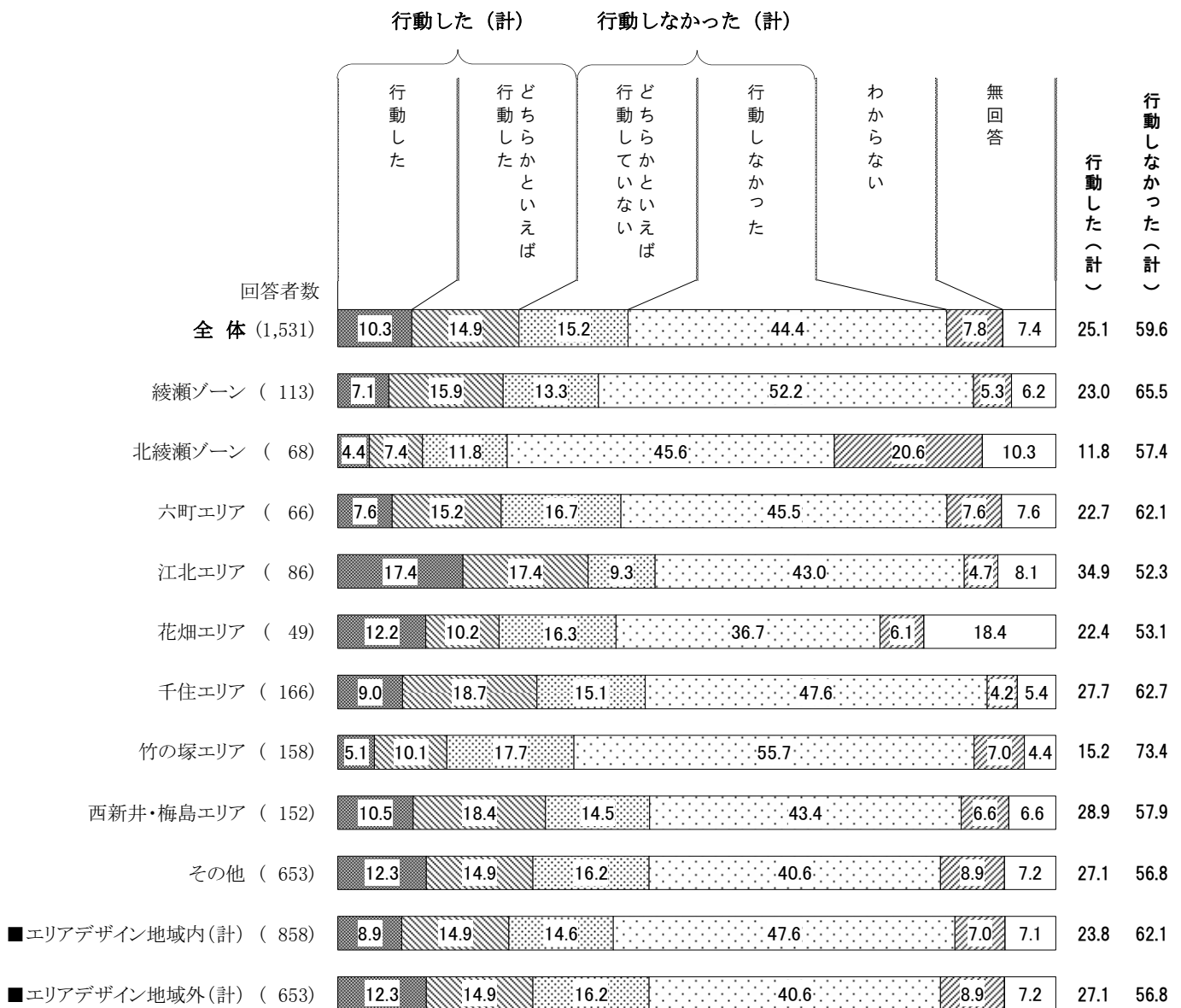


ウ クロス集計・エリアデザイン別／区を良いまちにするための行動

(ア) 『区を良いまちにするための行動』をエリアデザイン別にみると、【行動した】は、江北エリアが34.9%で最も高く、次いで、西新井・梅島エリアが28.9%で続いた。一方、【行動しなかった】は、竹の塚エリアが73.4%で最も高く、次いで綾瀬ゾーン（65.5%）となっている。

(イ) エリアデザインの地域内外で比較すると、【行動しなかった】は、地域内（62.1%）の方が地域外（56.8%）より5.3ポイント高くなっている。

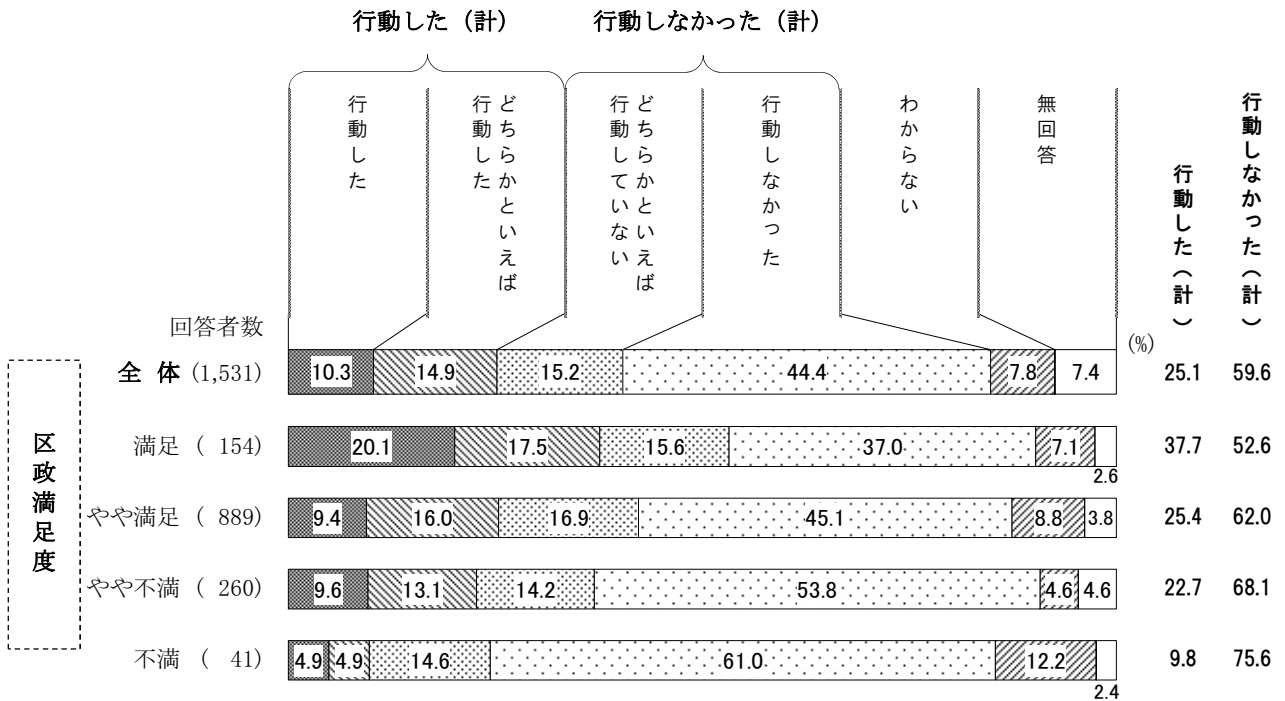
図11-3-3 エリアデザイン別／区を良いまちにするための行動



エ クロス集計・区政満足度別／区を良いまちにするための行動

『区を良いまちにするための行動』を区政満足度別にみると、満足度が高まるにつれて【行動した】の割合は増加し、『区政満足度』で〈不満〉と回答した層では【行動した】は9.8%に留まり、【行動しなかった】は75.6%を占めている。『区政満足度』で〈満足〉と回答した層では【行動した】は37.7%となっている。

図11-3-4 区政満足度別／区を良いまちにするための行動



（4）満足度と重要度

問53 足立区の取り組みについて、あなたの現状評価（満足度）と今後の取り組みの重要度について、ア～ニの項目ごとに、最も近いものを選んでください
（○はいずれも、それぞれ1つずつ）。

■ 満足度は「情報提供」が最上位、重要度は「交通対策」が最上位

【区の取り組み21分野】

区の取り組み	内容
ア 情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
イ 職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など
ウ ICT活用	ICTを活用した業務の効率化や区民サービスの向上など
エ 防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
オ 自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など
カ 資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
キ 治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など
ク 地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
ケ 社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など
コ 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
サ 生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
シ 学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
ス 子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など
セ 高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など
ソ 障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
タ 保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
チ 低所得者対策	生活の援助や自立支援など
ツ 産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
テ 都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど
ト 住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など
ナ 交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など
ニ 区政全体として	

ア 単純集計・経年比較／足立区の取り組みについての現状評価（満足度）

(ア) 区の取り組みについて、各分野に対する現状評価（満足度）を聞いた。【満足】（「満足」＋「やや満足」）を高い順でみると、以下のとおりとなっている。

- ①「情報提供」（78.4%）
- ②「資源環境対策」（78.3%）
- ③「職員の接客態度」（76.4%）
- ④「自然・緑化対策」（73.1%）
- ⑤「保健衛生対策」（71.1%）

(イ) 【不満】（「やや不満」＋「不満」）の高いものとしては、「住環境対策」（33.9%）、「交通対策」（31.8%）、「低所得者対策」（28.5%）、「都市開発」（26.4%）などとなっている。

(ウ) 経年でみると、前回令和3年調査との比較では、【満足】は22項目中16項目で増加しており、3.0ポイント以上増加した項目は、以下のとおりとなっている。また、「区政全体として」は1.5ポイントの増加となっている。

- a 「ICT活用」（+6.5ポイント）
- b 「防災対策」（+6.0ポイント）
- c 「住環境対策」（+4.1ポイント）

(エ) 前回調査と比較して3.0ポイント以上減少した項目は一つもなかったものの、「職員の接客態度」（-2.8ポイント）、「男女共同参画推進」（-2.2ポイント）で2.0ポイント以上の減少となった。

(オ) 平成25年と今回の結果を比較すると、【満足】は比較可能な21項目のすべてで増加しており、10.0ポイント以上増加している項目は、15項目となっている。

- a 「防災対策」（+20.6ポイント）
- b 「治安対策」（+18.7ポイント）
- c 「職員の接客態度」と「高齢者支援」（各+17.0ポイント）

(カ) 平成25年調査と比較して増加ポイントが低い項目としては、以下のとおりとなっている。

- a 「住環境対策」（+4.5ポイント）
- b 「生涯学習振興」（+6.8ポイント）
- c 「男女共同参画推進」（+7.5ポイント）

(キ) 平成25年調査と比較して、「区政全体として」は9.0ポイントの増加となっている。

(ク) 平成25年調査と比較して、【不満】はすべての項目で減少している。

図11-4-1-① 経年比較／現状評価（満足度）

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

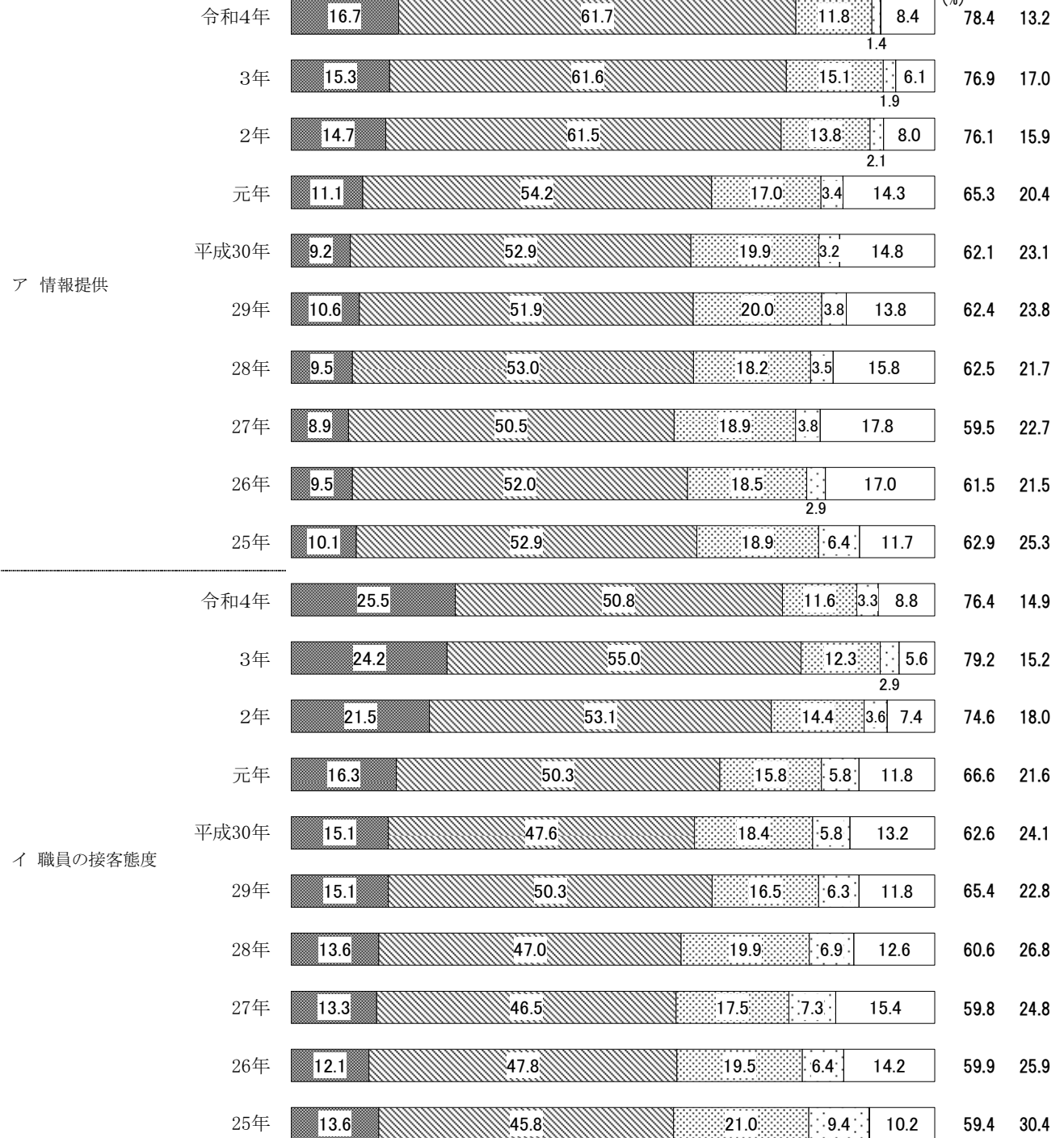
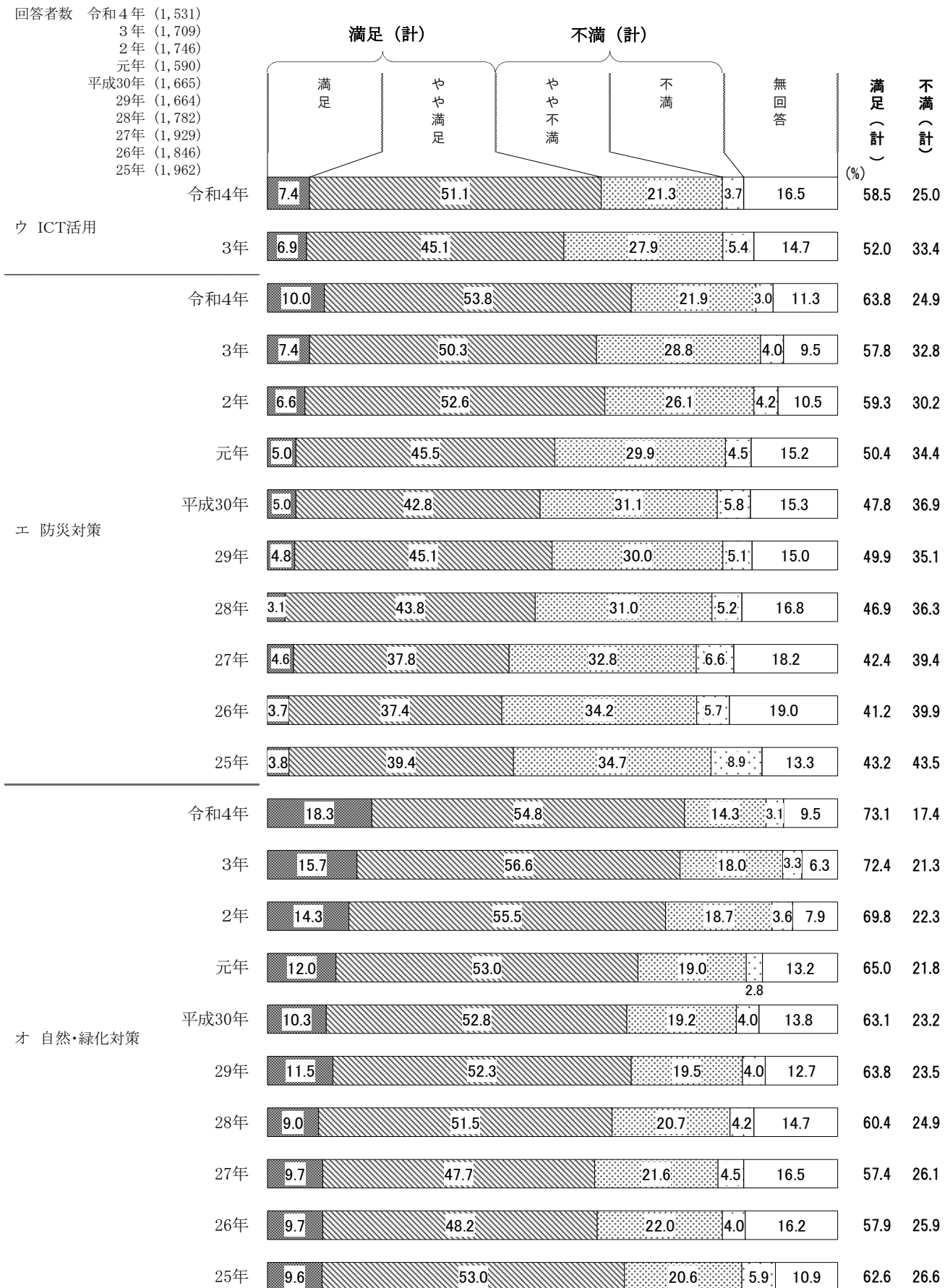


図11-4-1-② 経年比較/現状評価（満足度）



※「ウ ICT活用」は、令和3年新設。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-4-1-③ 経年比較/現状評価(満足度)

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

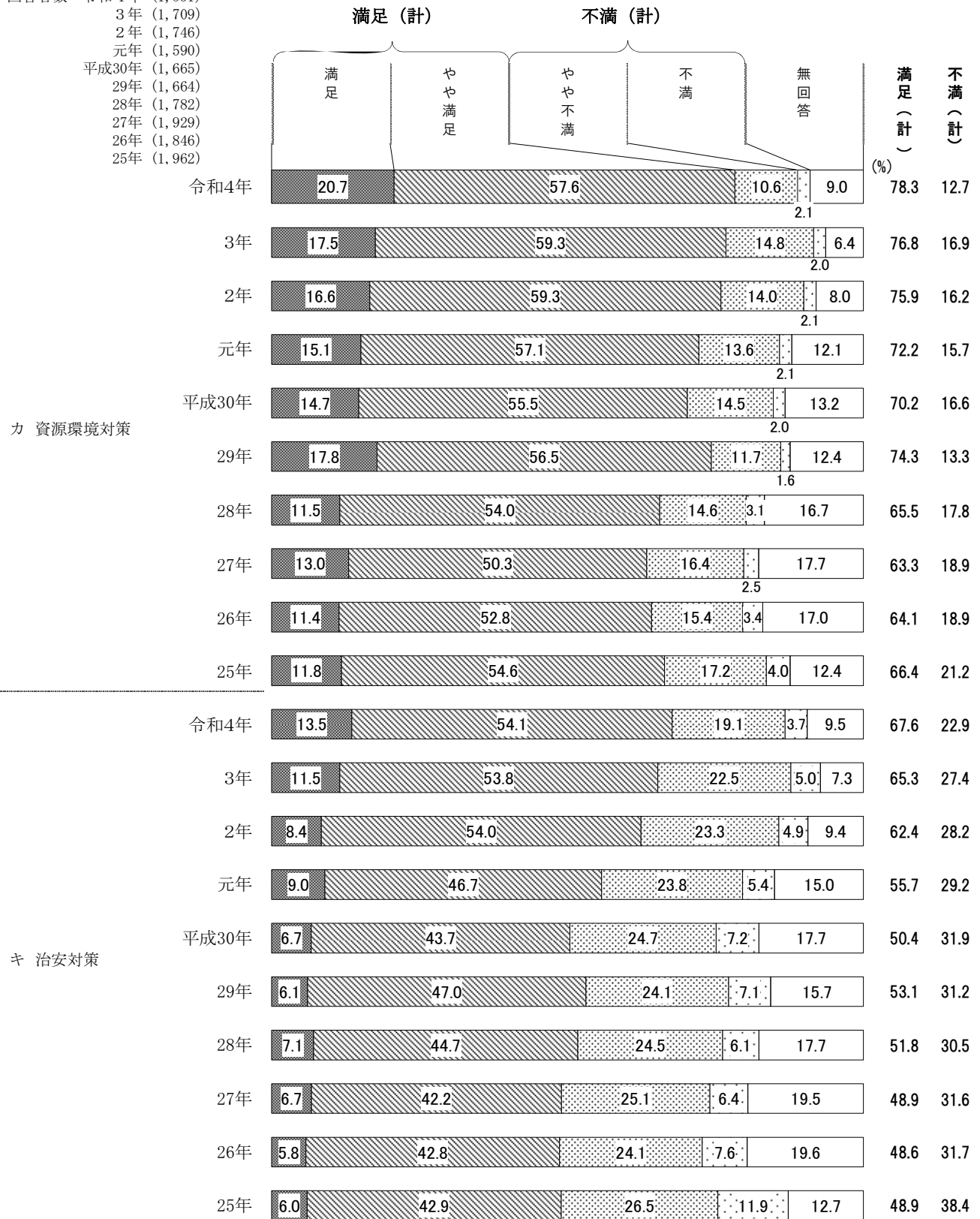
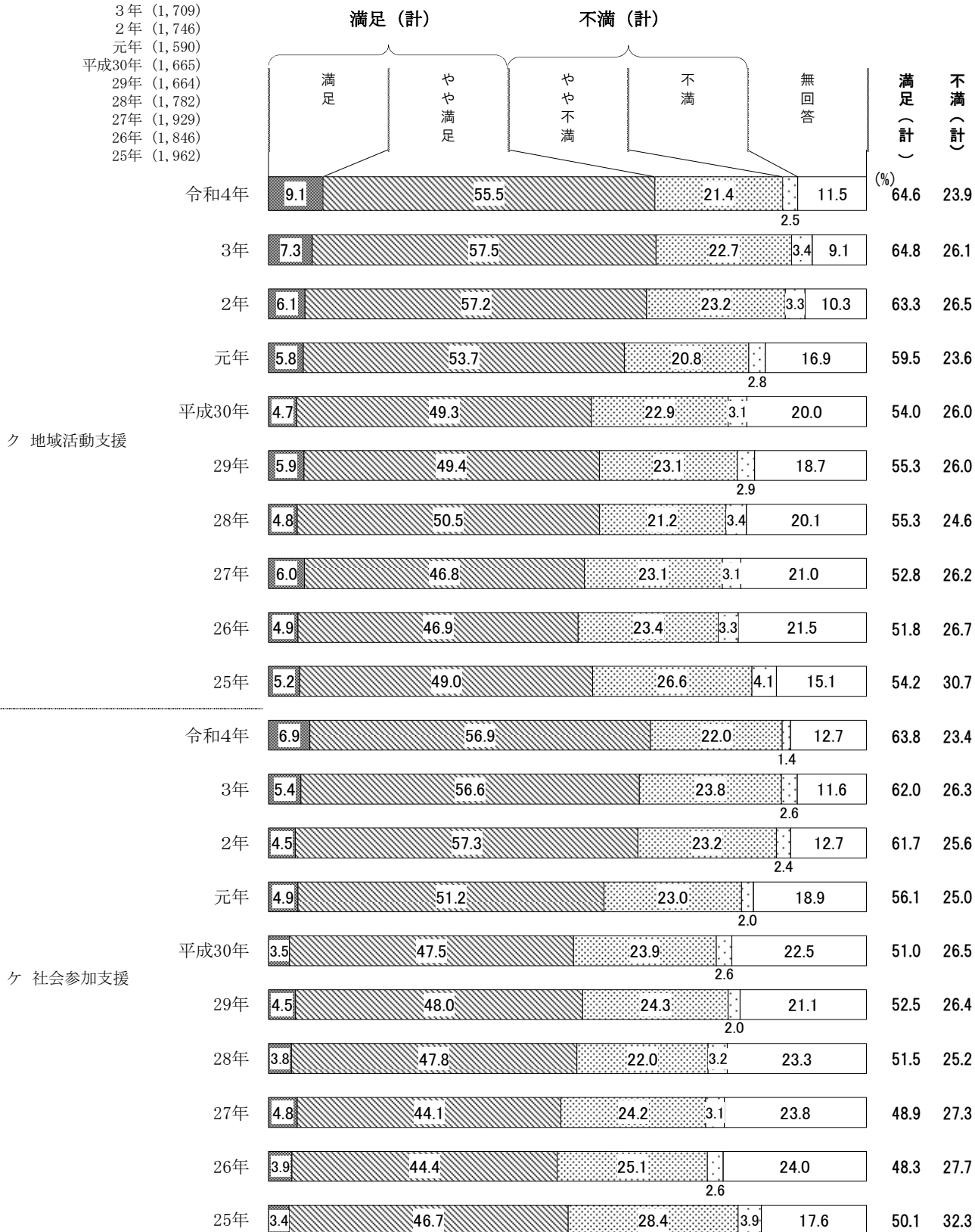


図11-4-1-④ 経年比較/現状評価 (満足度)

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-4-1-⑤ 経年比較/現状評価(満足度)

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

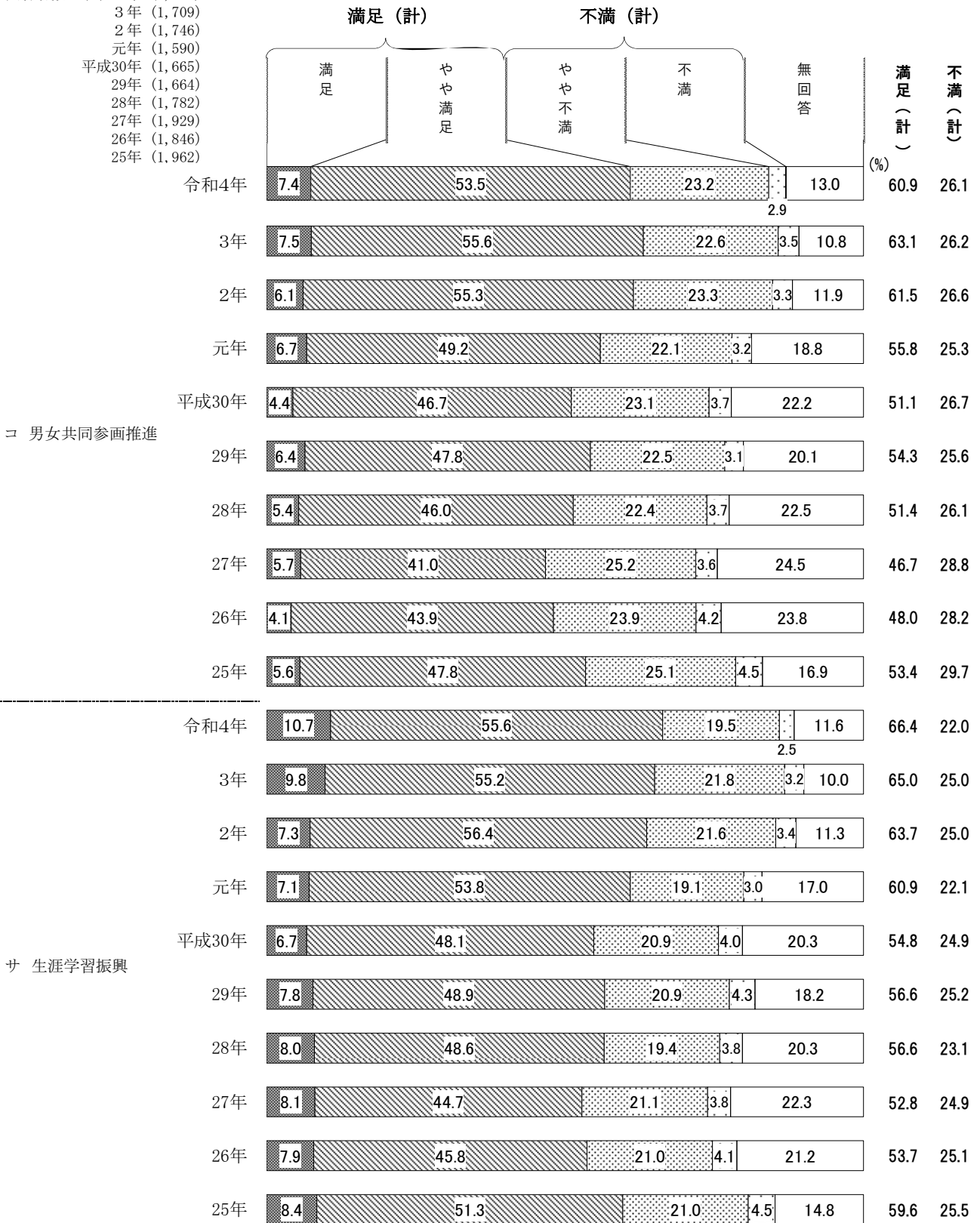
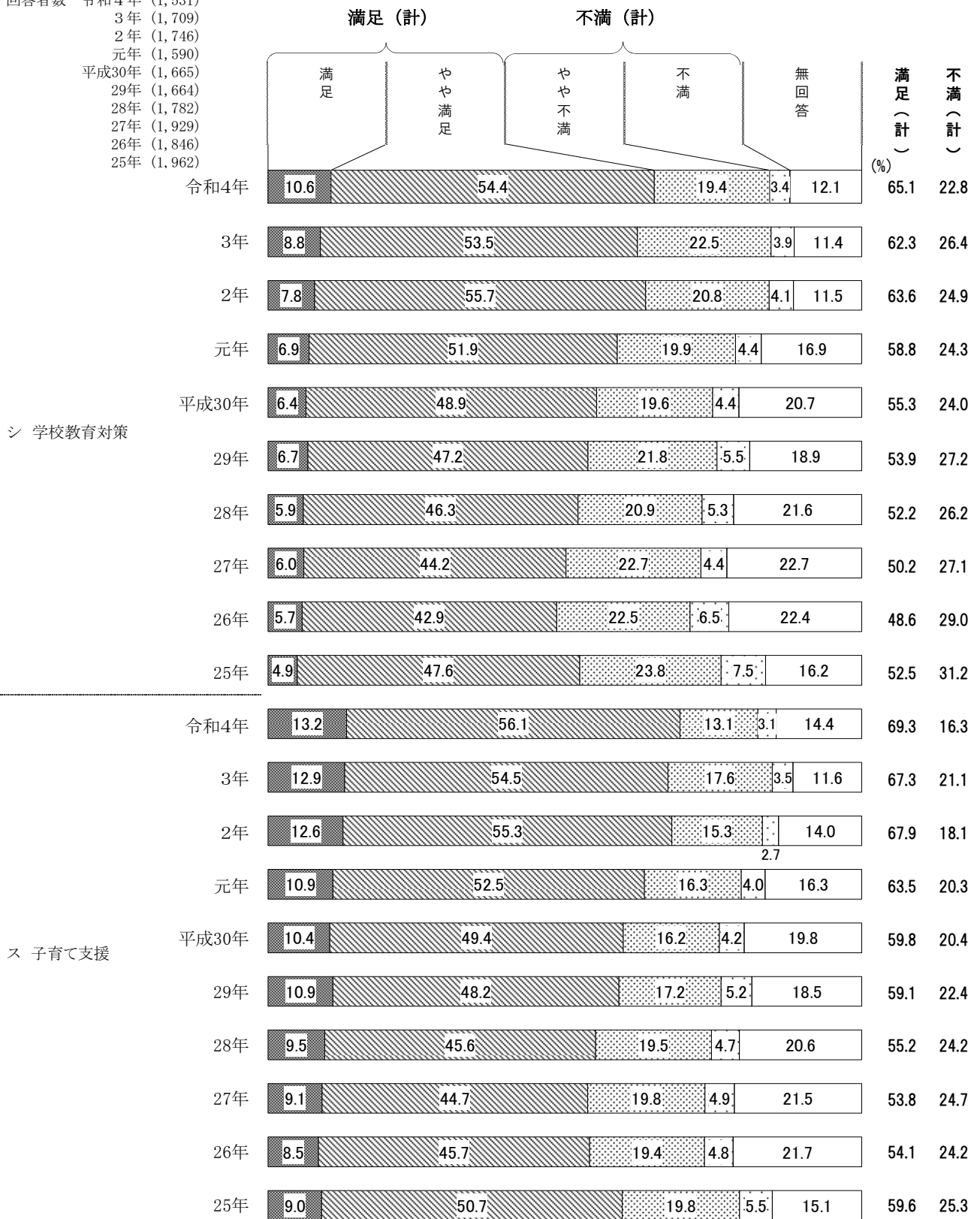


図11-4-1-⑥ 経年比較/現状評価（満足度）

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

図11-4-1-⑦ 経年比較／現状評価（満足度）

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

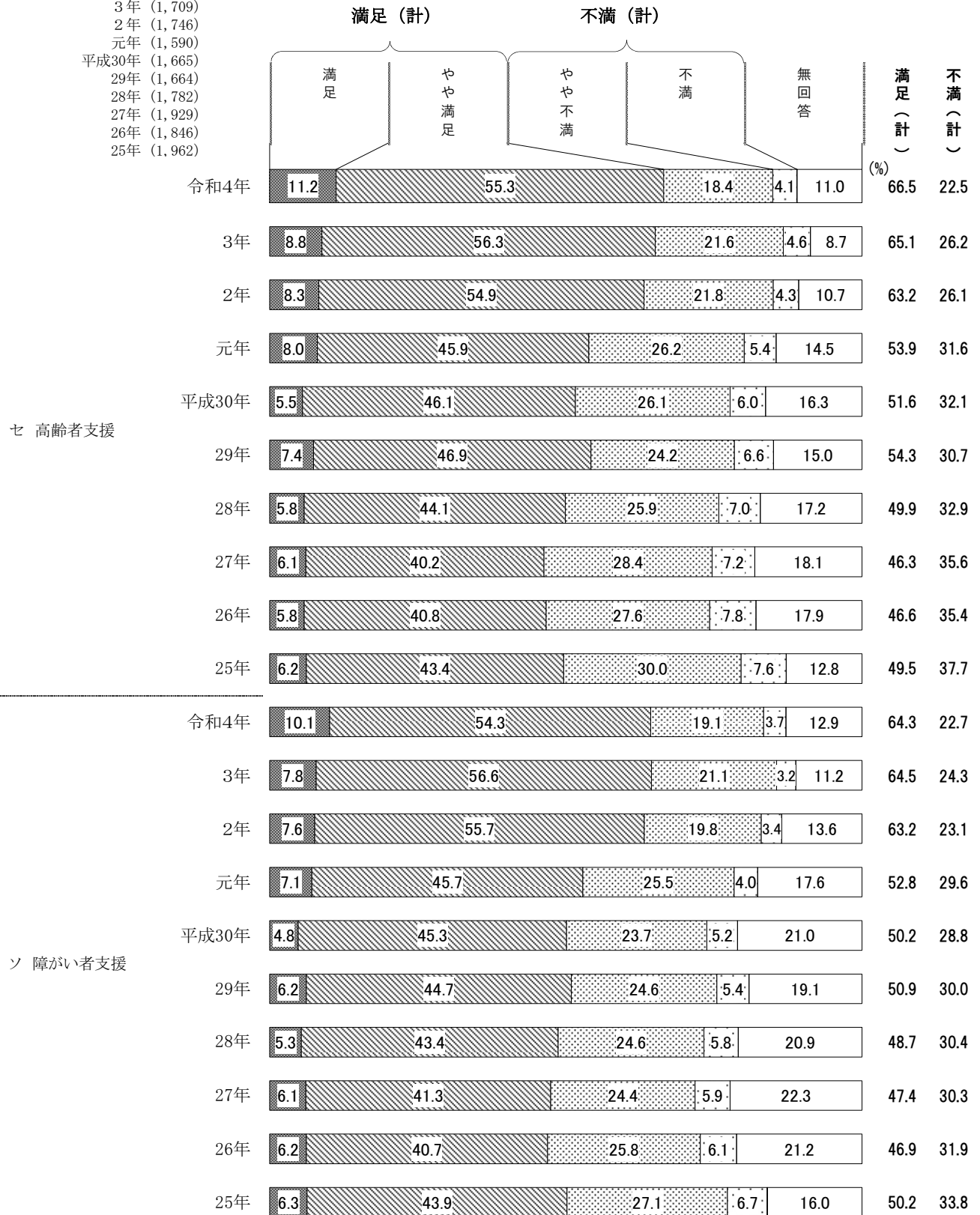
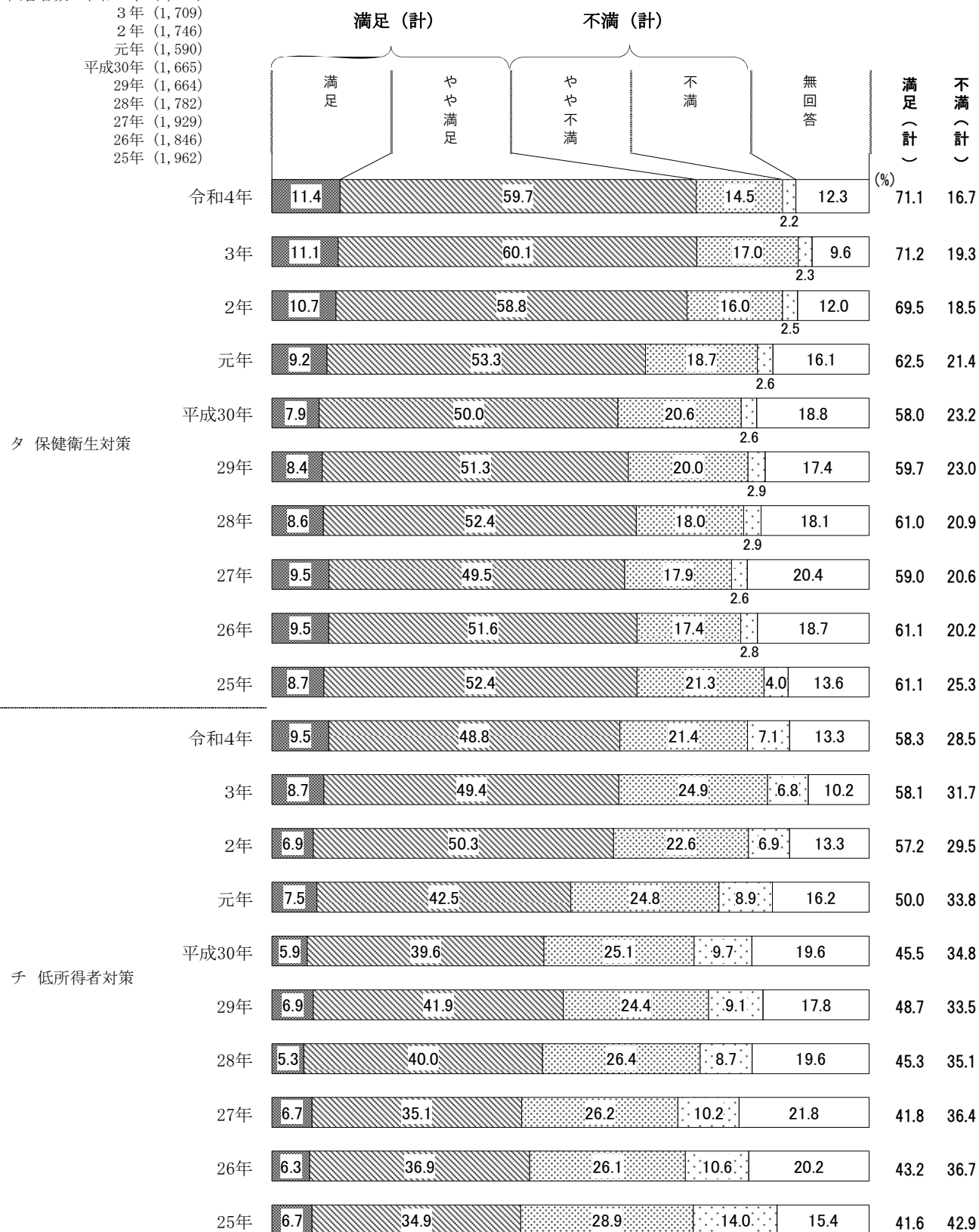


図11-4-1-⑧ 経年比較/現状評価（満足度）

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-4-1-⑨ 経年比較/現状評価(満足度)

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

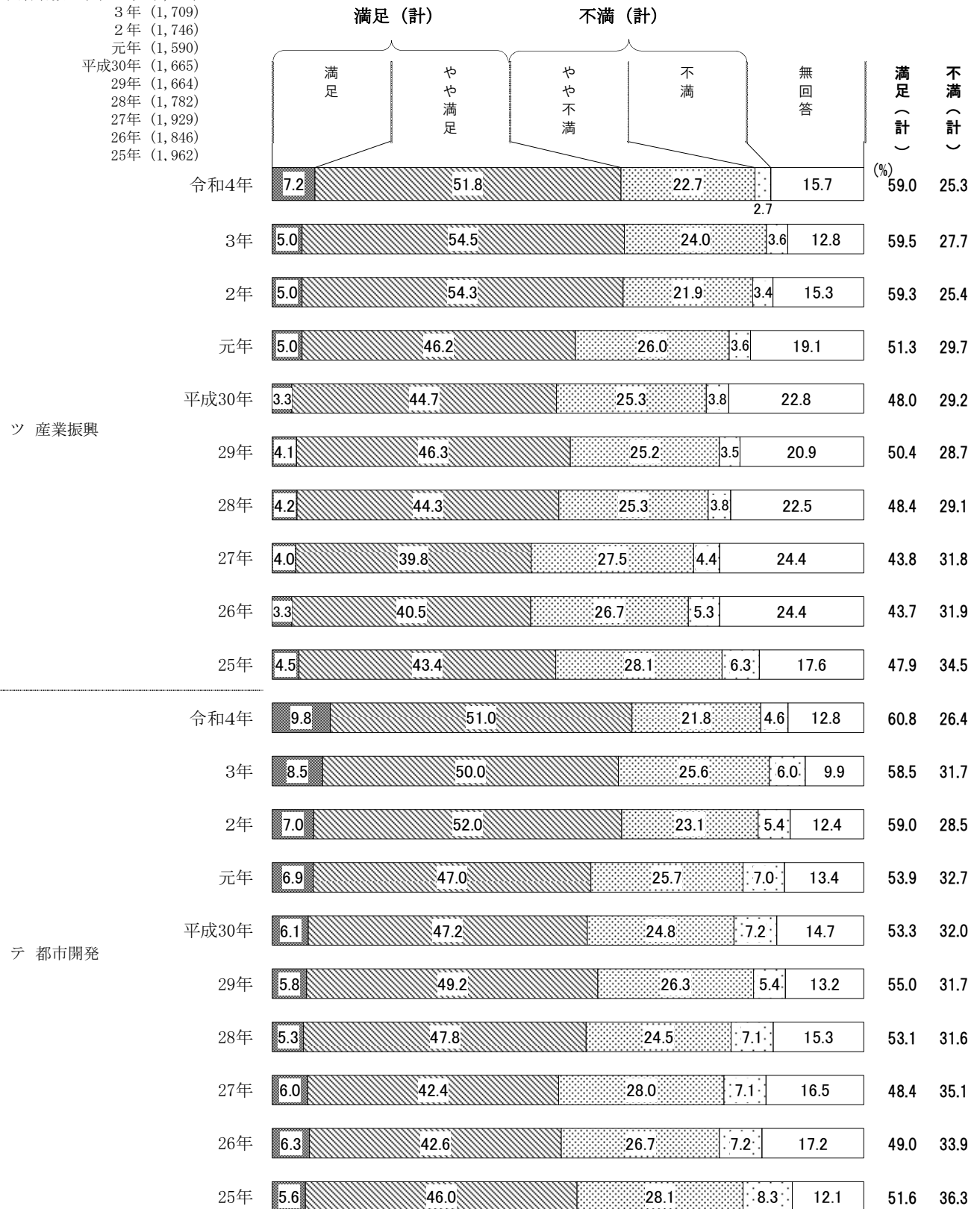
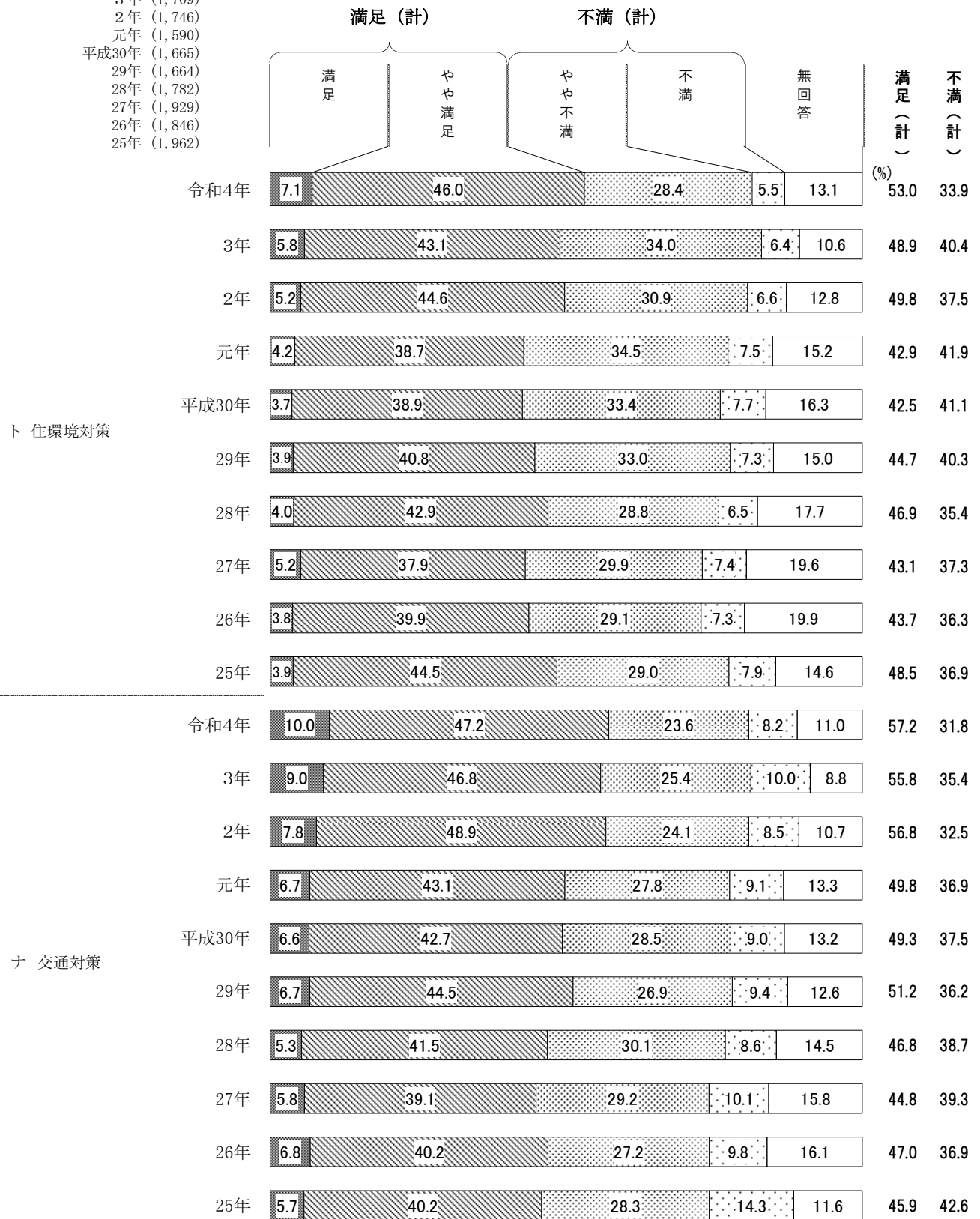


図11-4-1-⑩ 経年比較/現状評価（満足度）

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

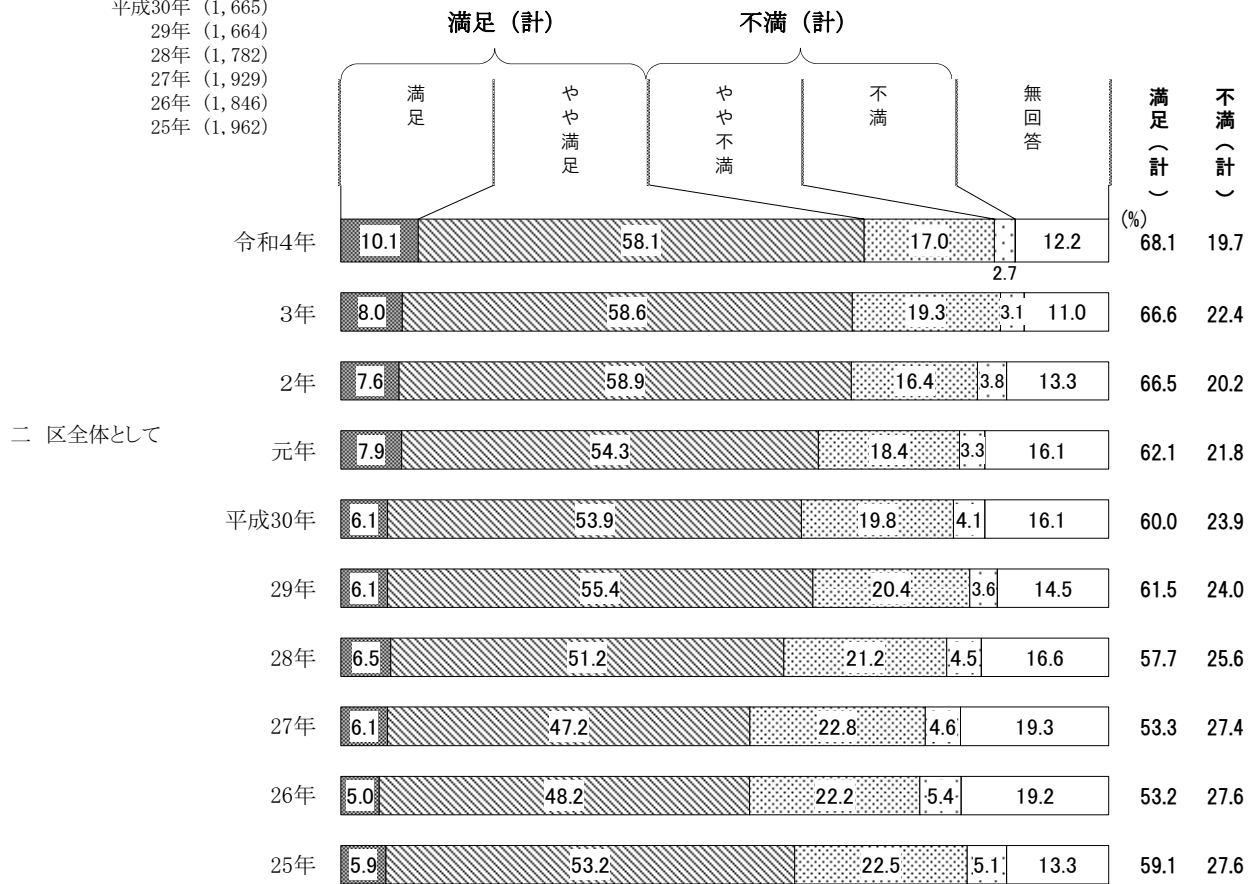


※「ト 住環境対策」は、平成28年までは「住宅対策」。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-4-1-⑪ 経年比較/現状評価（満足度）

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



二 区全体として

イ クロス集計・年代別／足立区の取り組みについての現状評価（満足度）／

【不満】／全世代との乖離が大きいもの6項目

区の取り組みに対する【不満】から今後取り組むべき課題がみえてくると考え、分析を行ったところ、年代別に【不満】をみたときに区政全体に対しては30代（25.3%）が最も高く、次いで50代（23.7%）、60代（21.4%）と続いている。

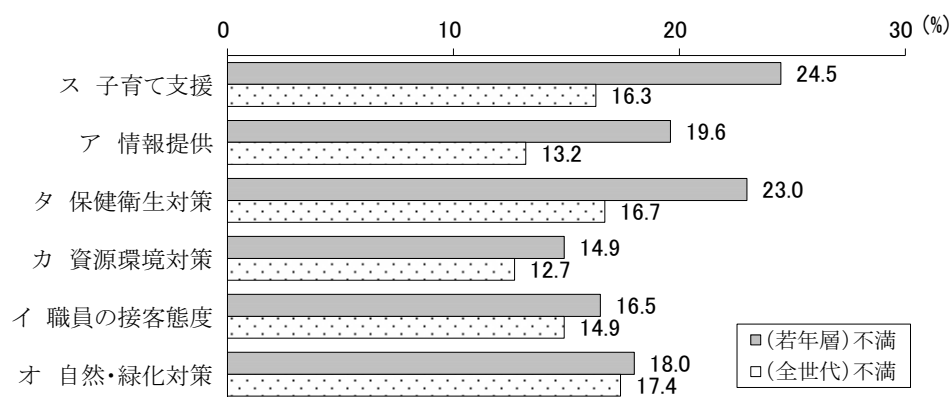
各分野の【不満】を年代別にみると、18歳から39歳までの層と40代、50代の層とで感じている【不満】に、それぞれ全世代との乖離があることがわかった。

（ア）若年層

区政全体に対する【不満】の高かった30代を中心とした若年層（18～39歳）の各分野に対する【不満】についてみたところ、若年層の【不満】が全世代の【不満】よりも5ポイント以上高い項目は、以下の3項目となっている。以下の3項目は、全世代の【満足】上位になっており、全世代の満足度が高い項目でも若年層にとっては【不満】と感じている項目であるといえる。

- a 「子育て支援」（+8.2ポイント）
- b 「情報提供」（+6.3ポイント）
- c 「保健衛生対策」（+6.2ポイント）

図11-4-2 年代別（若年層）／足立区の取り組みについての現状評価（満足度）
／【不満】／全世代との乖離が大きいもの上位6項目



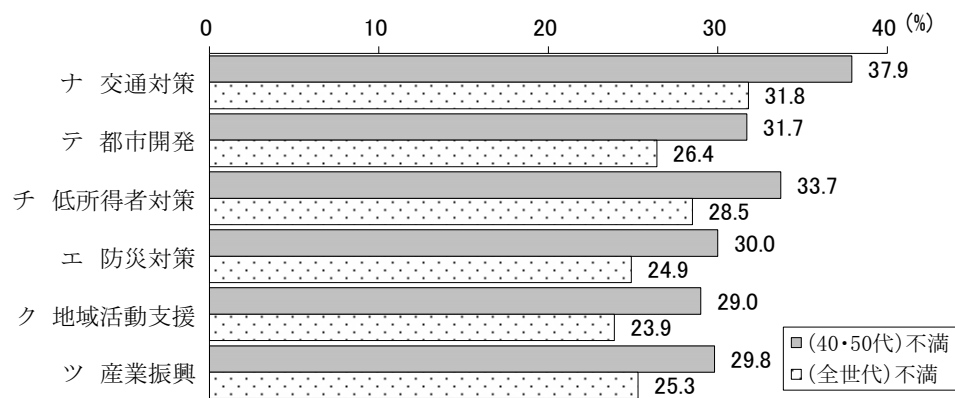
第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

(イ) 40代・50代

40代・50代の各分野に対する【不満】についてみたところ、40代・50代の【不満】が全年代の【不満】よりも5ポイント以上あるものが、以下の5項目となっている。これらの項目は全体の満足度が低い項目であり、40代・50代は満足度が低いものほどより【不満】に感じているといえる。

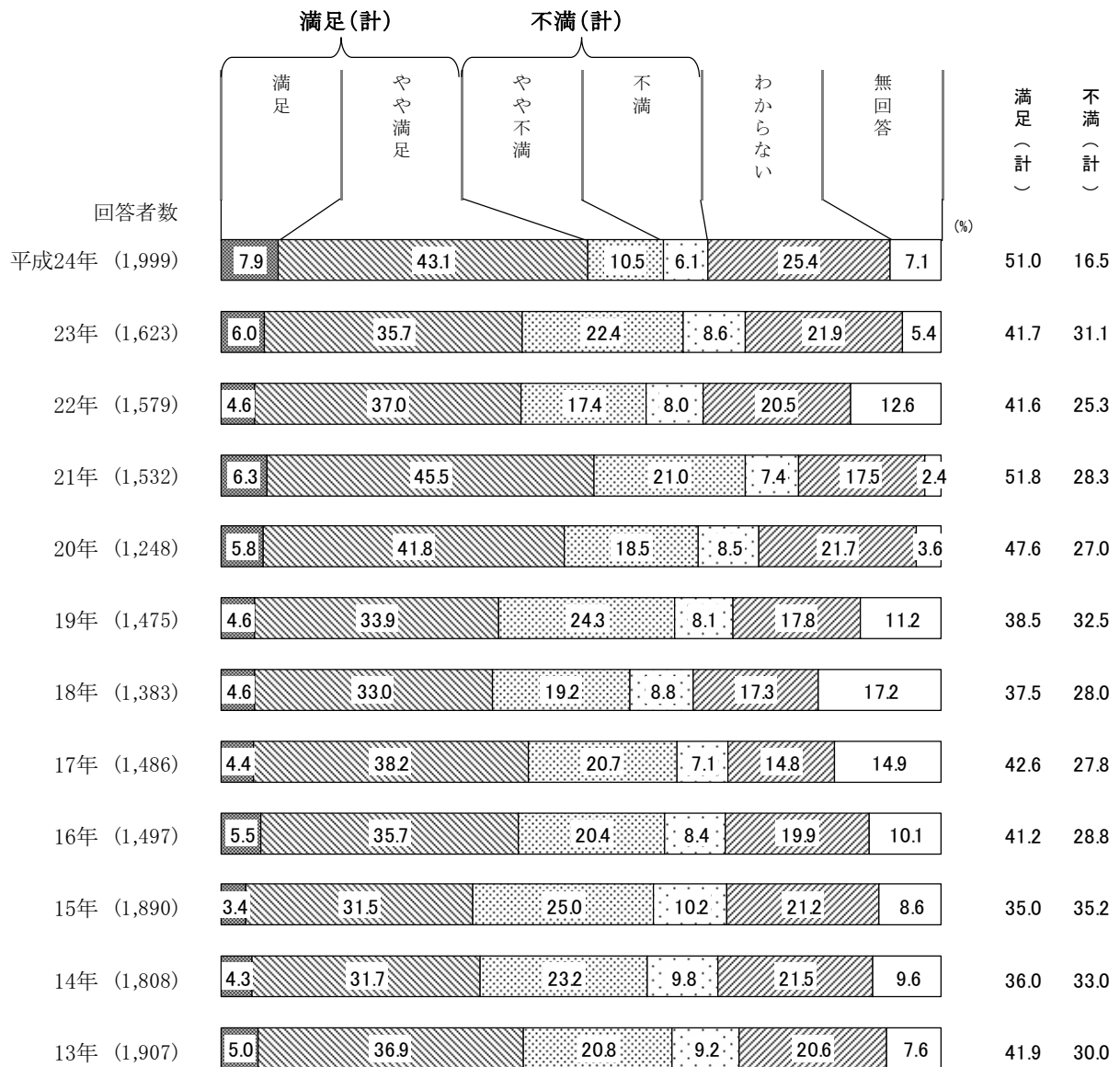
- a 「ナ 交通対策」(+6.1ポイント)
- b 「テ 都市開発」(+5.3ポイント)
- c 「チ 低所得者対策」(+5.2ポイント)
- d 「エ 防災対策」「ク 地域活動支援」(ともに+5.1ポイント)

図11-4-3 年代別(40代・50代)／足立区の取り組みについての現状評価(満足度)／【不満】／全世代との乖離が大きいもの上位6項目



参考／（平成24年度以前）区政に対する満足度

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか（○は1つだけ）。



※ 平成24年までは「わからない」という選択肢があるため、結果を単純に比較することはできない。

ウ 単純集計・経年比較／足立区の今後の取り組みの重要度

(ア) 区の取り組みについて、各分野に対する重要度を聞いた。【重要である】(「重要である」＋「やや重要である」)を高い順でみると、以下のとおりとなっている。

- ①「交通対策」(83.7%)
- ②「治安対策」(83.1%)
- ③「防災対策」(82.8%)
- ④「資源環境対策」(81.8%)
- ⑤「自然・緑化対策」(81.1%)

(イ) 区の取り組みについて【重要ではない】(「あまり重要ではない」＋「重要ではない」)の高いものとしては、「社会参加支援」(16.6%)、「男女共同参画推進」(14.0%)、「地域活動支援」(12.1%)などとなっている。

(ウ) 経年でみると、前回令和3年調査との比較では、【重要である】が増加した項目は、「地域活動支援」(+0.7ポイント)の1項目のみとなっている。減少した20項目のうち、15項目が3.0ポイント以上の減少であり、減少幅の大きい順に、「情報提供」(-6.7ポイント)、「職員の接客態度」(-6.6ポイント)、「高齢者支援」(-6.4ポイント)、「子育て支援」(-5.4ポイント)などとなっている。

(エ) 平成25年と今回の結果を比較すると、【重要である】は比較可能な20項目のうち12項目で増加となった。3.0ポイント以上増加している項目は以下の6項目となっている。

- a 「男女共同参画推進」(+9.0ポイント)
- b 「住環境対策」(+7.6ポイント)
- c 「産業振興」(+5.4ポイント)
- d 「低所得者対策」(+5.3ポイント)
- e 「生涯学習振興」(+4.8ポイント)
- f 「自然・緑化対策」(+3.5ポイント)

(オ) 平成25年調査と比較して3.0ポイント以上減少している項目は、「学校教育対策」(-3.9ポイント)、「高齢者支援」(-3.6ポイント)の2項目となっている。

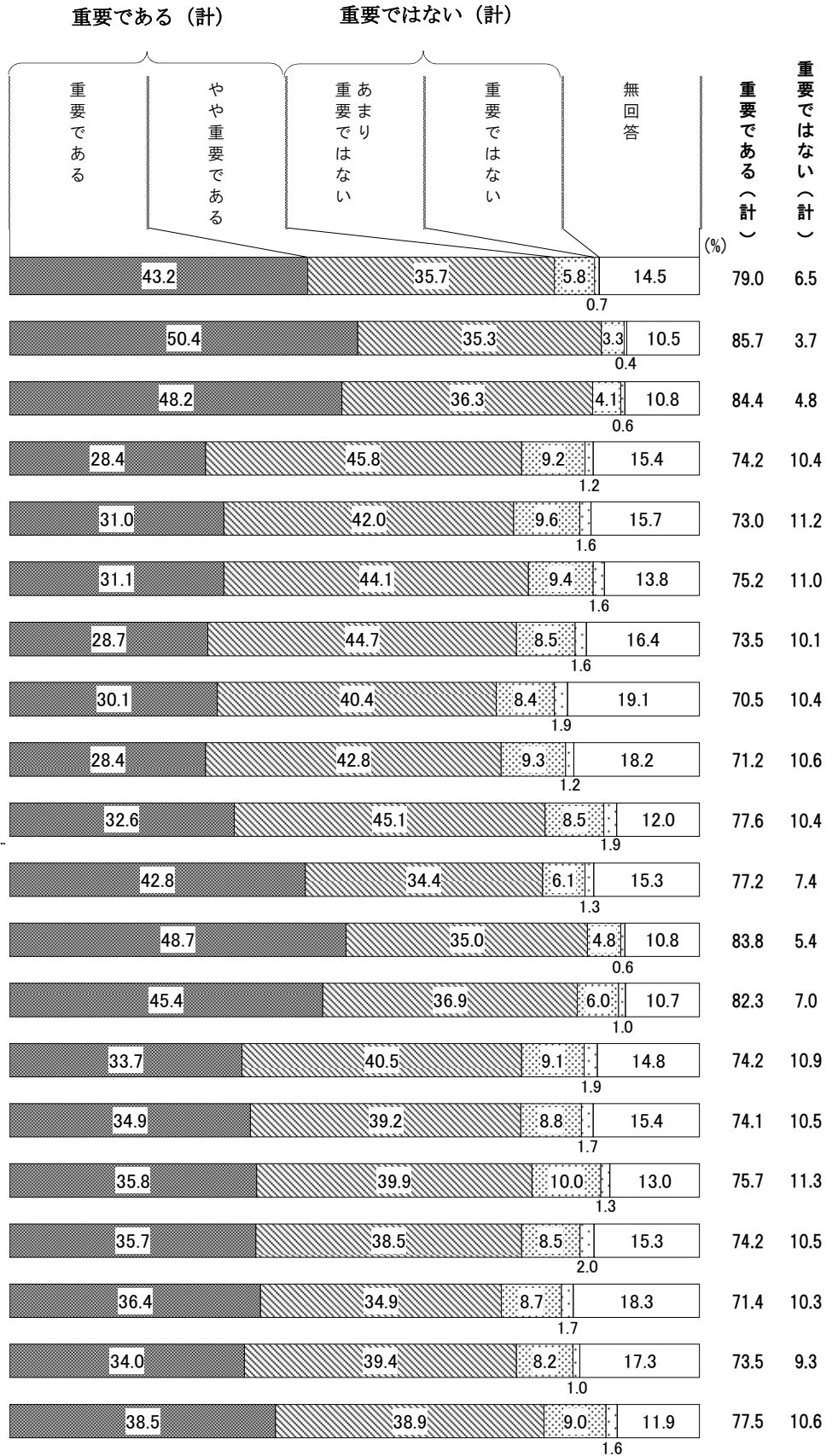
表11-4-1 満足度・重要度の上位5項目

満足度				重要度			
1	↑	情報提供	78.4%	1	↑	交通対策	83.7%
2	⇒	資源環境対策	78.3	2	↓	治安対策	83.1
3	↓	職員の接客態度	76.4	3	↑	防災対策	82.8
4	⇒	自然・緑化対策	73.1	4	↓	資源環境対策	81.8
5	⇒	保健衛生対策	71.1	5	↑	自然・緑化対策	81.1

※ 矢印は前回順位との比較

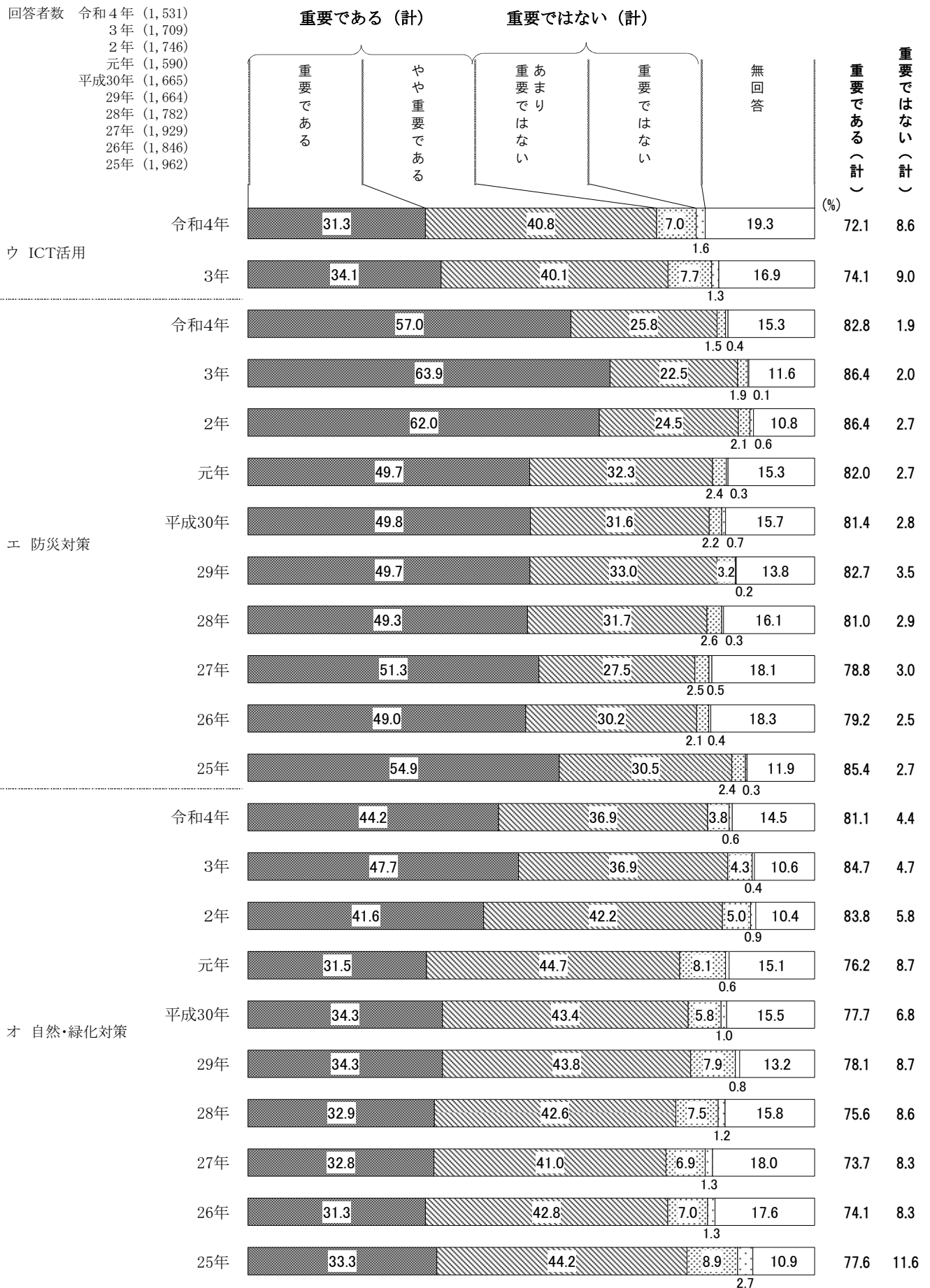
図11-4-4-① 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

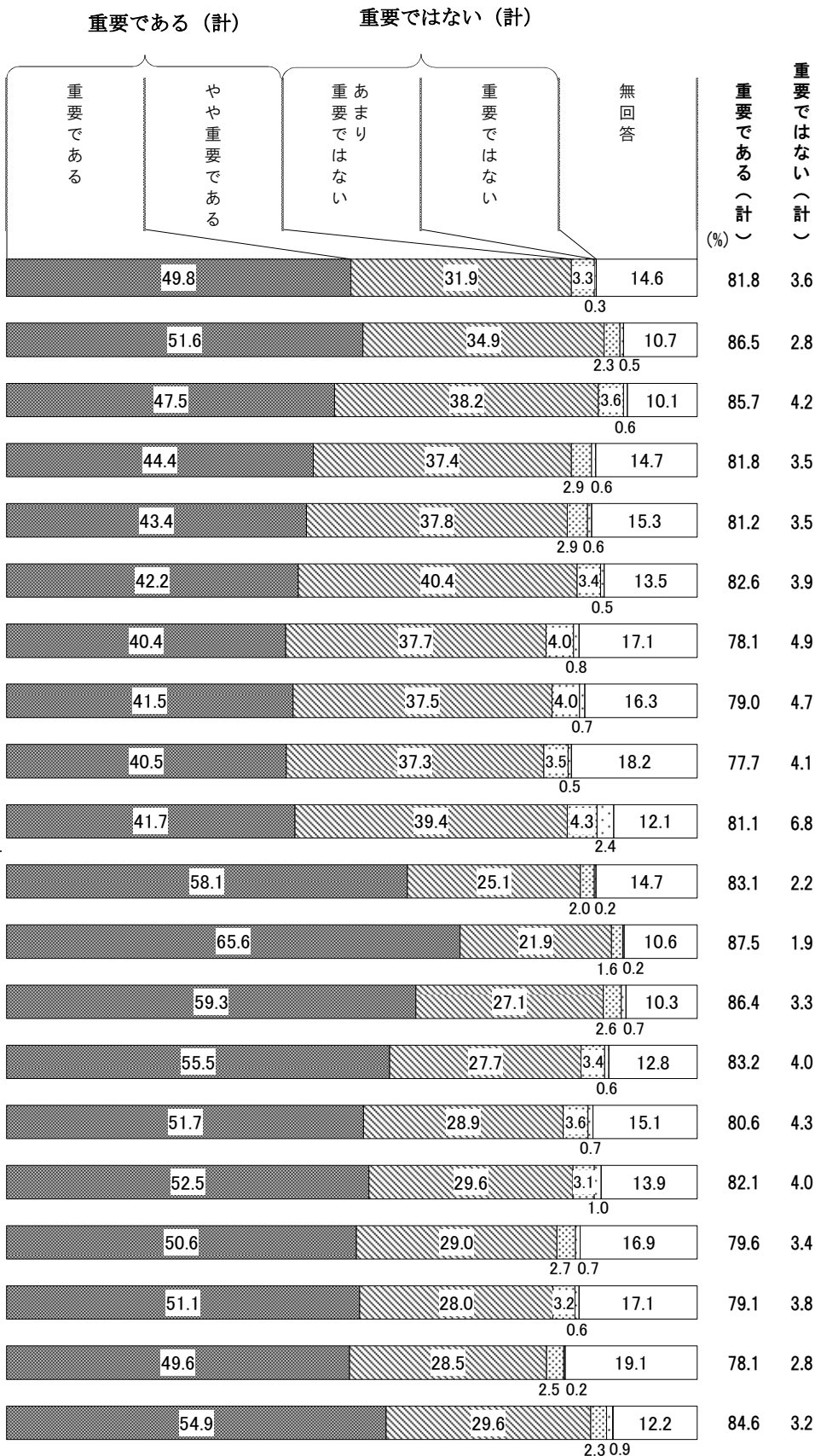
図11-4-4-② 経年比較／重要度



※「ウ ICT活用」は、令和3年新設。

図11-4-4-③ 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



カ 資源環境対策

キ 治安対策

図11-4-4-④ 経年比較／重要度

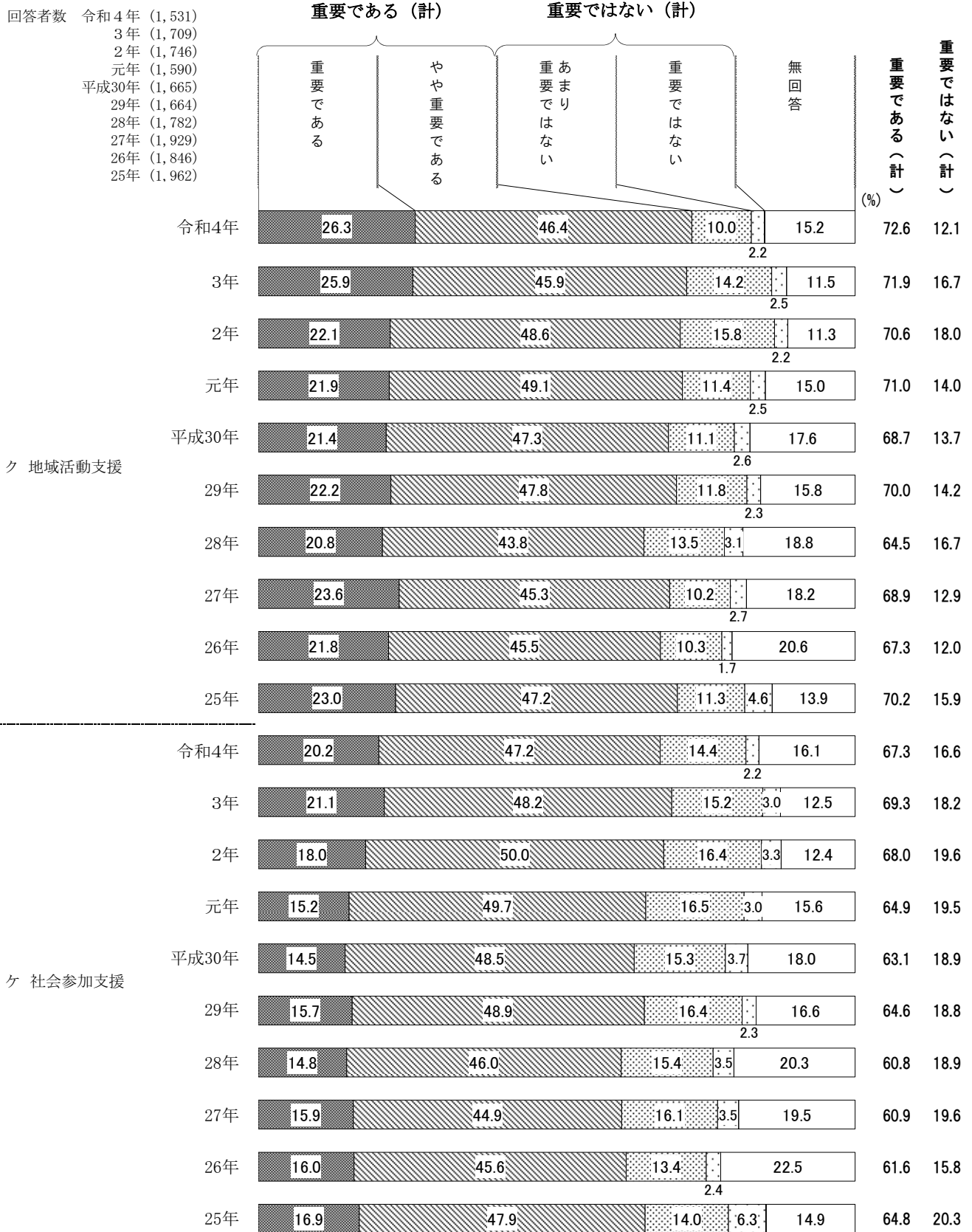


図11-4-4-⑤ 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

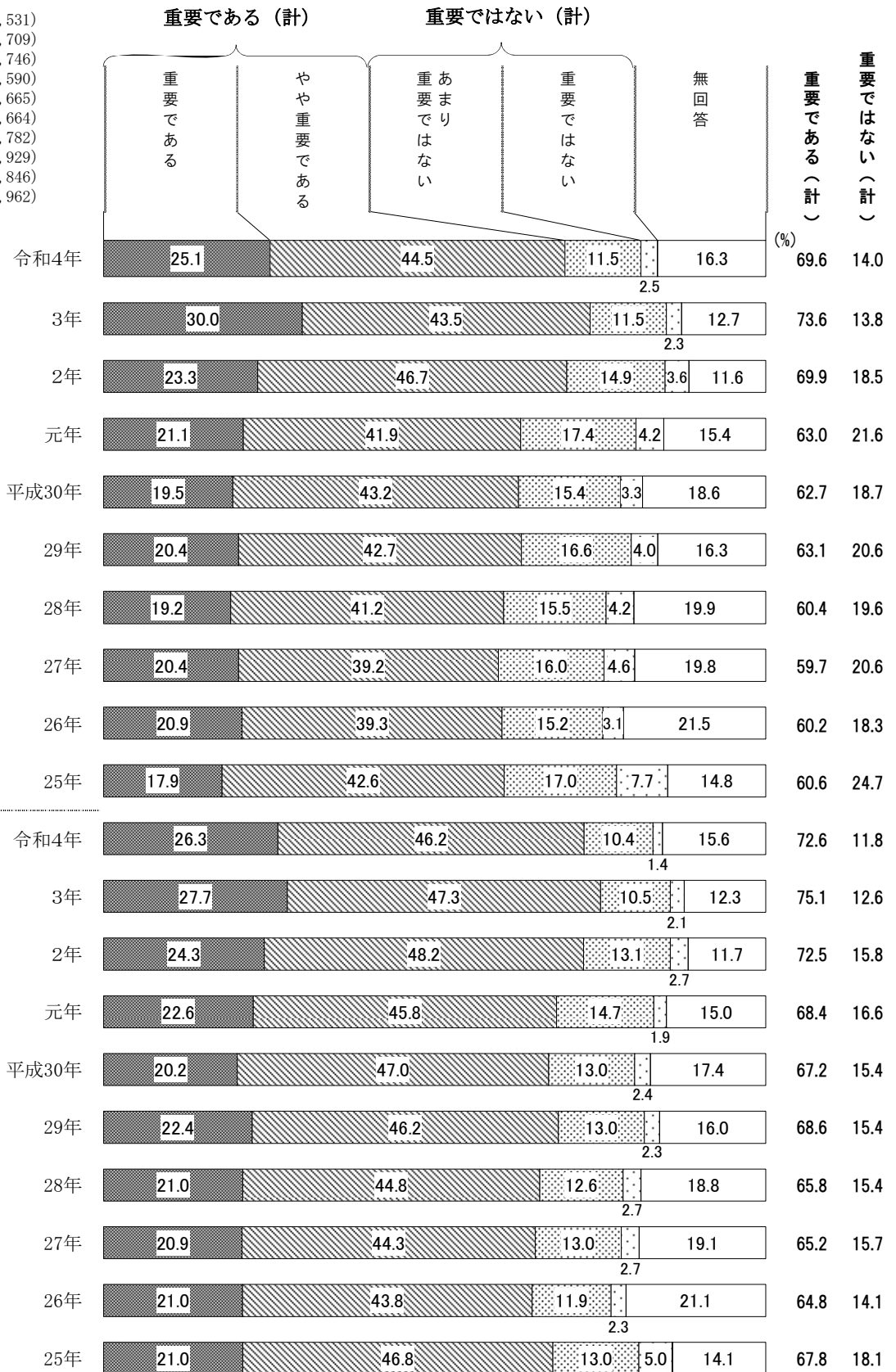


図11-4-4-⑥ 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

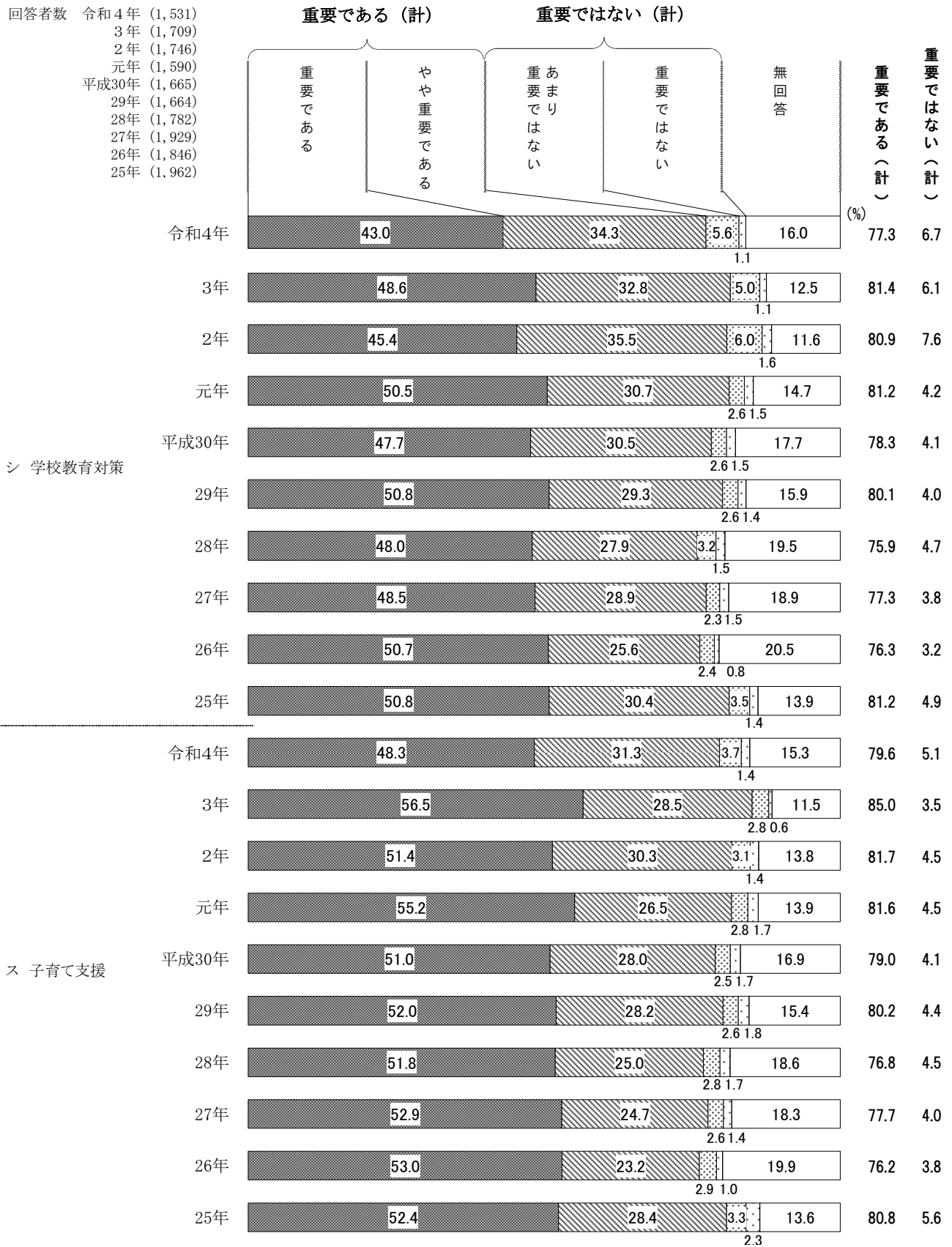
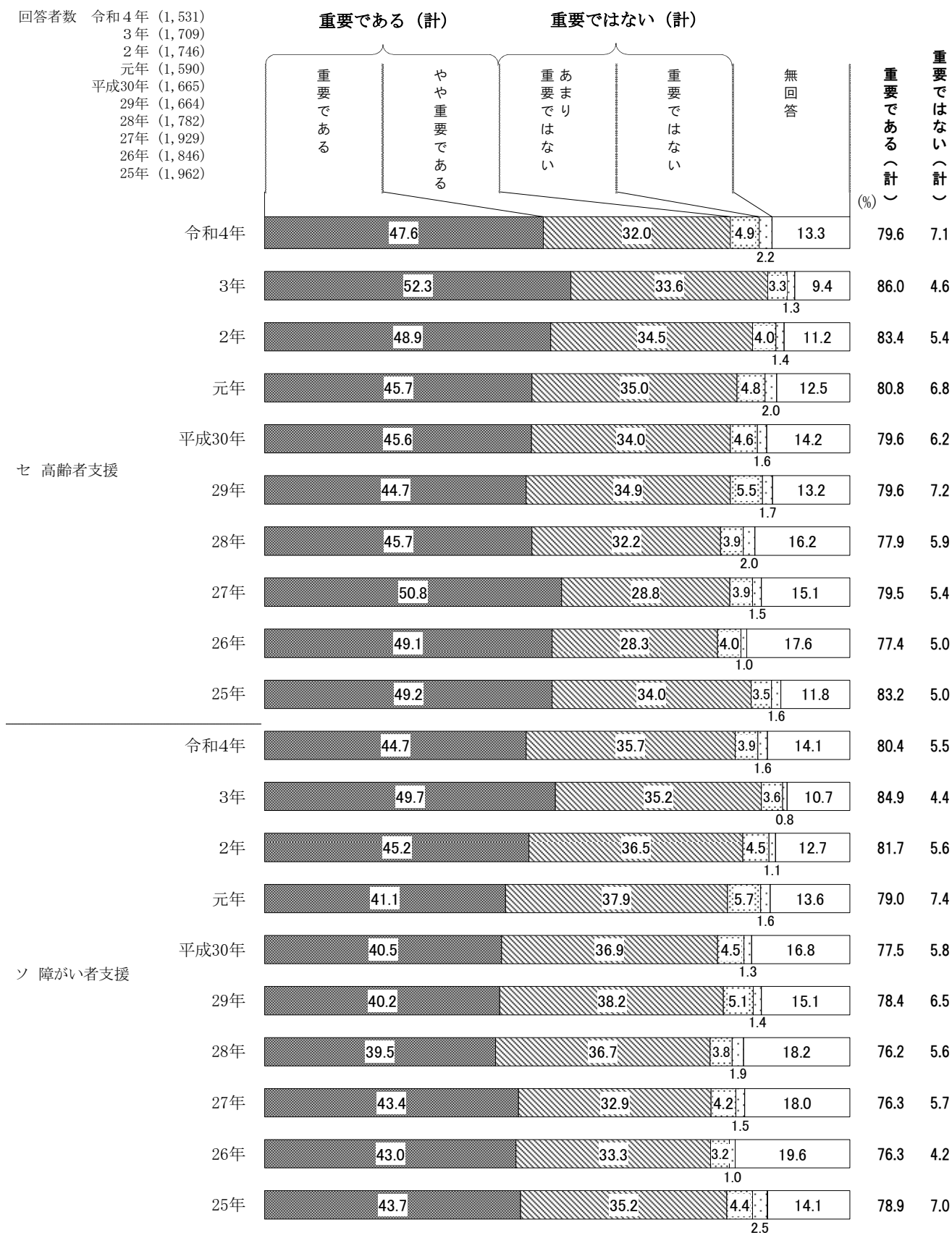


図11-4-4-⑦ 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



第3章 調査結果の分析 〈 区 の 取 り 組 み 〉

図11-4-4-⑧ 経年比較／重要度

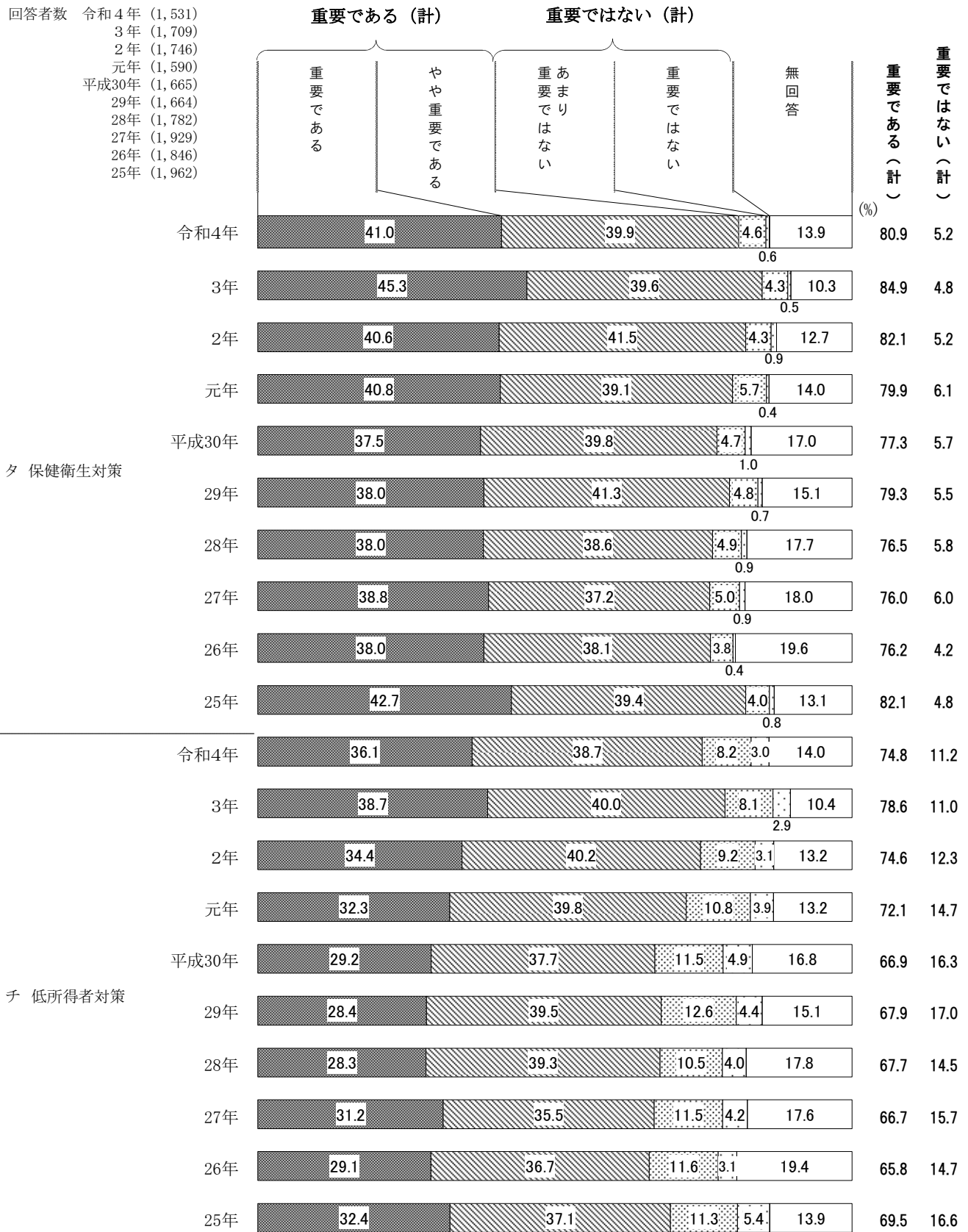


図11-4-4-⑨ 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)

ツ 産業振興

テ 都市開発

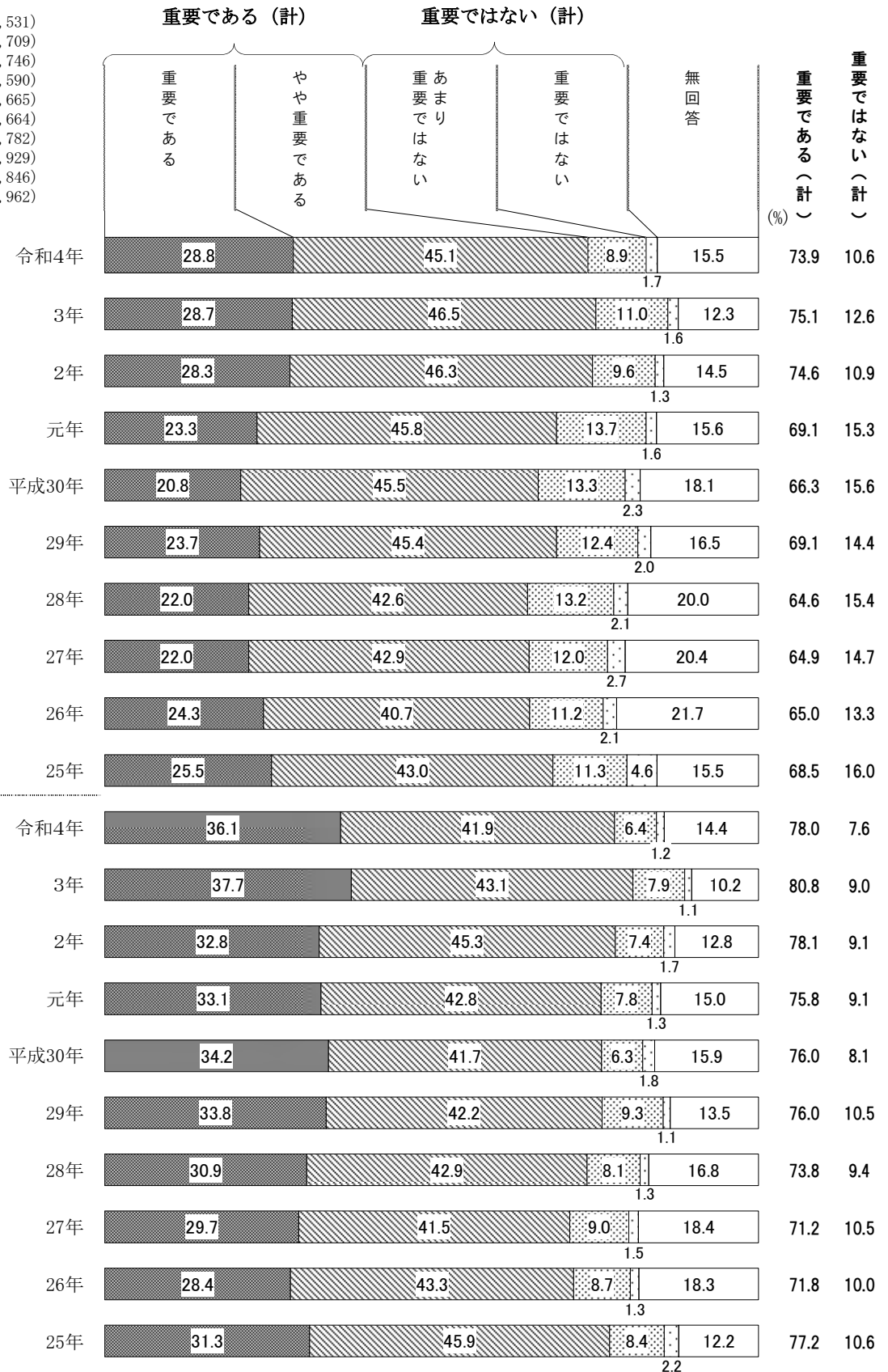
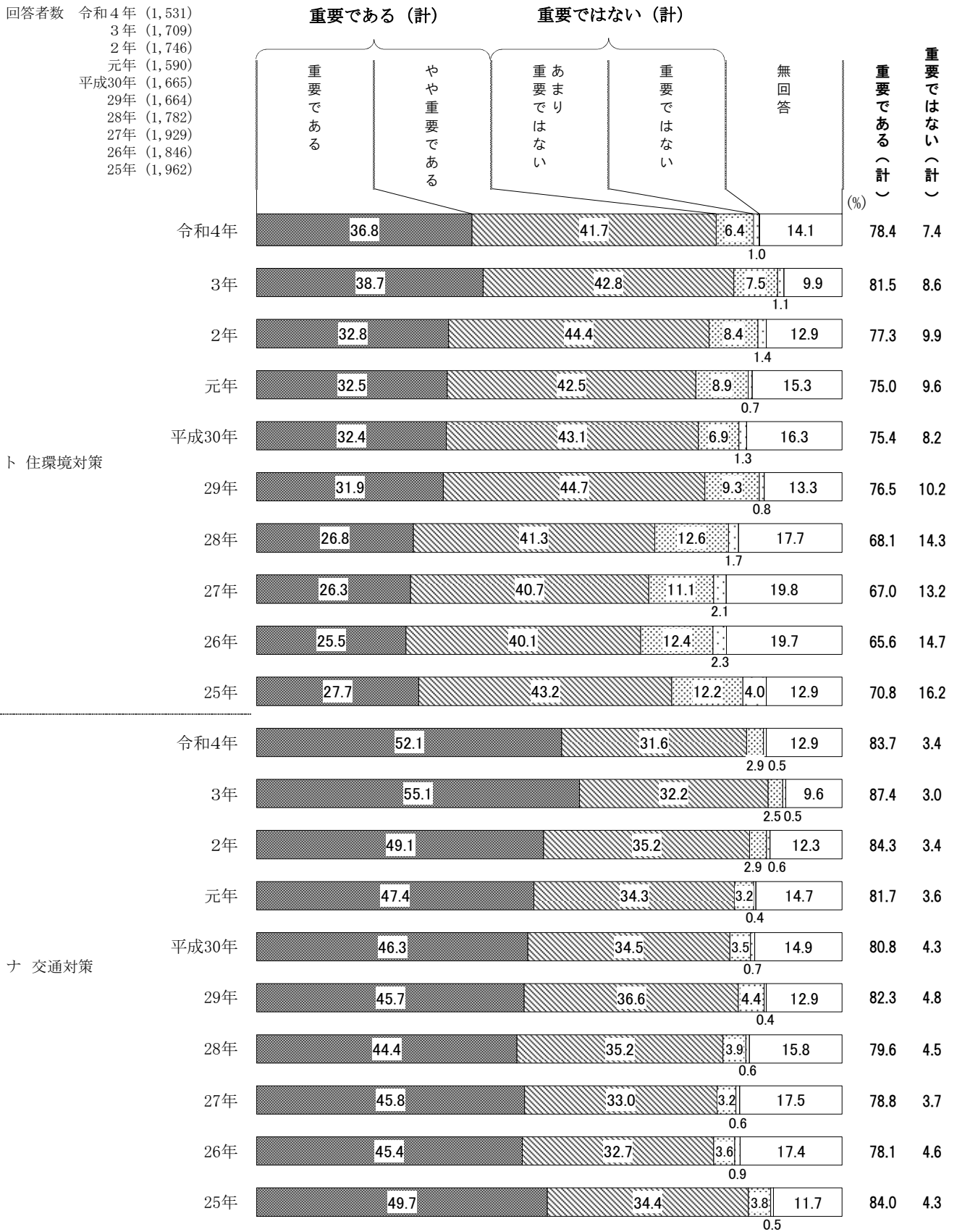


図11-4-4-⑩ 経年比較／重要度

回答者数 令和4年 (1,531)
 3年 (1,709)
 2年 (1,746)
 元年 (1,590)
 平成30年 (1,665)
 29年 (1,664)
 28年 (1,782)
 27年 (1,929)
 26年 (1,846)
 25年 (1,962)



※「ト 住環境対策」は、平成28年までは「住宅対策」。

《 現状評価（満足度）、重要度について 》

(1) 現状評価（満足度）、重要度の評価点について

各分野の取り組みへの現状評価（満足度）と重要度意識の各選択肢に得点をつけ、現状評価（満足度）、重要度の評価点を算出した。これによって、区民の現状評価（満足度）や重要度意識を明確に捉え、分析することができる。

なお、各選択肢への点数の配分は下記の表のとおりである。

〔 得点配分 〕

現状評価（満足度）	重要度	得点
満足	重要である	4
やや満足	やや重要である	2
やや不満	あまり重要ではない	-2
不満	重要ではない	-4

※「無回答」は、母数から除くためポイントをつけない。

〔 計算式 〕

$$\text{現状評価} = \frac{\text{「満足」} \times 4 + \text{「やや満足」} \times 2 + \text{「やや不満」} \times (-2) + \text{「不満」} \times (-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」} \times 4 + \text{「やや重要である」} \times 2 + \text{「あまり重要ではない」} \times (-2) + \text{「重要ではない」} \times (-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

(2) 現状評価（満足度）について

21施策の現状評価（満足度）は、最も高い〈資源環境対策〉の1.85から、最も低い〈住環境対策〉の0.48の間に分布している。

分野別で見ると、〈資源環境対策〉〈職員の接客態度〉〈情報提供〉〈自然・緑化対策〉〈子育て支援〉〈保健衛生対策〉で評価が高く、〈住環境対策〉〈交通対策〉〈低所得者対策〉〈ICT活用〉〈産業振興〉〈都市開発〉〈男女共同参画推進〉で低くなっている。

前回から傾向は大きく変わらないものの、地域によっては平均点が大幅に上がっており、今後を含め注目に値する。

(3) 重要度について

21施策の重要度は、最も高い〈治安対策〉の3.26から、最も低い〈社会参加支援〉の1.64の間に分布している。

分野別で見ると、〈治安対策〉〈防災対策〉〈交通対策〉〈資源環境対策〉〈子育て支援〉〈自然・緑化対策〉で重要度が高く、〈社会参加支援〉〈男女共同参画推進〉〈地域活動支援〉〈生涯学習振興〉で低くなっている。

ア クロス集計・地域別／取り組みの現状評価（満足度）

表11-4-2-① 地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
ア 情報提供	1.76	1.67	1.80	1.54	1.91	1.77	1.73	1.65	1.84
イ 職員の接客態度	1.84	1.69	1.75	1.73	1.83	1.97	1.77	2.03	1.84
ウ ICT活用	0.90	0.43	0.96	0.57	0.77	1.03	1.00	0.76	0.97
エ 防災対策	1.04	0.85	0.90	0.79	0.97	0.92	1.52	0.68	1.30
オ 自然・緑化対策	1.56	1.21	1.74	1.64	1.48	1.32	2.23	1.37	1.60
カ 資源環境対策	1.85	1.75	1.98	1.89	1.83	1.63	1.96	2.05	1.93
キ 治安対策	1.20	1.54	1.02	0.81	1.29	1.21	1.49	1.05	1.20
ク 地域活動支援	1.07	1.21	0.77	0.89	1.17	1.01	1.44	1.51	1.13
ケ 社会参加支援	1.05	0.92	1.23	0.71	1.15	1.08	1.25	1.26	1.12
コ 男女共同参画推進	0.91	0.75	1.31	0.85	0.63	0.75	1.15	0.93	0.97
サ 生涯学習振興	1.19	1.21	1.09	1.35	1.06	1.10	1.14	1.15	1.14
シ 学校教育対策	1.13	1.03	1.14	1.11	1.15	0.92	1.61	1.11	1.20
ス 子育て支援	1.47	1.21	1.33	1.54	1.52	1.30	1.66	1.32	1.46
セ 高齢者支援	1.15	0.74	0.94	1.30	1.37	1.38	1.27	1.37	1.33
ソ 障がい者支援	1.10	0.75	1.10	1.29	1.11	1.15	1.35	1.12	1.41
タ 保健衛生対策	1.45	1.21	1.21	1.78	1.43	1.45	1.54	1.41	1.57
チ 低所得者対策	0.74	0.60	0.69	0.73	1.12	0.65	1.38	0.56	0.81
ツ 産業振興	0.90	0.80	0.84	0.90	0.79	0.89	1.46	0.81	1.12
テ 都市開発	0.91	0.93	1.17	0.42	0.52	0.64	1.30	1.07	0.94
ト 住環境対策	0.48	0.30	0.51	0.60	0.30	0.50	0.70	0.79	0.50
ナ 交通対策	0.61	0.78	0.14	0.79	0.18	0.48	1.12	0.73	0.47
ニ 区全体として	1.27	1.19	1.14	1.43	1.38	1.26	1.38	1.25	1.62

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11-4-2-② 地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第9	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア 情報提供	1.76	1.91	1.77	1.67	1.71	1.73	1.77	2.03
イ 職員の接客態度	1.84	2.12	1.47	1.82	2.19	1.64	1.74	2.13
ウ ICT活用	0.90	1.17	1.02	0.79	1.02	1.08	1.34	1.16
エ 防災対策	1.04	1.33	0.68	0.97	1.21	1.18	0.79	1.57
オ 自然・緑化対策	1.56	1.43	1.33	1.17	1.87	1.83	1.94	1.88
カ 資源環境対策	1.85	2.00	1.60	1.76	1.87	1.95	1.71	2.00
キ 治安対策	1.20	1.64	0.44	1.16	0.94	1.02	1.10	1.59
ク 地域活動支援	1.07	1.23	0.58	0.97	1.05	0.83	0.85	1.11
ケ 社会参加支援	1.05	1.29	0.79	0.95	0.94	0.96	1.08	0.97
コ 男女共同参画推進	0.91	0.98	0.66	0.99	1.16	0.99	0.93	0.70
サ 生涯学習振興	1.19	1.39	1.38	1.26	1.16	1.49	1.10	0.95
シ 学校教育対策	1.13	1.37	1.00	0.75	1.61	1.15	0.93	1.03
ス 子育て支援	1.47	1.63	1.52	1.81	1.59	1.59	1.25	1.59
セ 高齢者支援	1.15	1.22	0.97	0.76	1.41	1.23	1.07	1.21
ソ 障がい者支援	1.10	1.04	0.97	0.79	1.42	1.04	1.30	1.11
タ 保健衛生対策	1.45	1.46	1.62	1.54	1.38	1.60	1.34	1.35
チ 低所得者対策	0.74	0.78	0.23	0.75	0.63	0.68	0.39	0.92
ツ 産業振興	0.90	1.00	0.81	0.45	1.00	1.00	0.97	0.83
テ 都市開発	0.91	1.38	0.90	0.59	0.73	1.28	0.92	1.00
ト 住環境対策	0.48	0.78	0.17	0.02	0.36	0.82	0.43	0.79
ナ 交通対策	0.61	0.93	0.53	0.33	0.68	1.09	0.51	0.57
ニ 区全体として	1.27	1.30	0.81	1.27	1.27	1.25	0.82	1.55

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

イ クロス集計・地域別／取り組みの重要度

表11-4-3-① 地域別／重要度

	区全体	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
ア 情報提供	2.69	2.70	2.96	2.45	2.62	2.71	2.75	2.74	2.67
イ 職員の接客態度	2.63	2.55	2.58	2.91	2.39	2.61	2.51	2.59	2.55
ウ ICT活用	2.31	2.26	2.42	2.00	2.15	2.39	2.49	2.30	2.36
エ 防災対策	3.25	3.37	3.53	3.28	3.13	3.45	3.36	3.49	3.23
オ 自然・緑化対策	2.82	2.89	3.09	3.09	2.31	2.75	2.71	2.67	2.81
カ 資源環境対策	2.99	2.92	3.23	3.16	2.71	3.09	2.92	2.97	3.06
キ 治安対策	3.26	3.30	3.40	3.41	3.20	3.26	3.47	3.17	3.13
ク 地域活動支援	2.00	2.07	2.13	2.11	1.67	1.88	2.04	1.89	1.94
ケ 社会参加支援	1.64	1.23	1.73	1.83	1.36	1.68	1.51	1.39	1.59
コ 男女共同参画推進	1.87	1.79	1.88	1.76	1.80	1.77	1.89	2.29	1.92
サ 生涯学習振興	2.03	2.03	2.13	2.43	1.72	2.09	2.13	1.77	1.75
シ 学校教育対策	2.68	2.42	2.95	2.91	2.42	2.63	2.67	2.93	2.65
ス 子育て支援	2.87	2.55	3.03	3.00	2.62	2.66	3.13	3.00	2.92
セ 高齢者支援	2.72	2.67	2.81	2.79	2.76	2.42	2.69	2.73	2.64
ソ 障がい者支援	2.75	2.53	2.87	3.11	2.77	2.54	2.80	2.83	2.66
タ 保健衛生対策	2.69	2.49	2.85	2.89	2.51	2.90	2.73	2.79	2.61
チ 低所得者対策	2.25	2.10	2.38	2.25	2.05	2.11	1.85	2.25	2.28
ツ 産業振興	2.14	1.97	2.14	2.23	2.09	2.30	2.20	2.17	2.04
テ 都市開発	2.46	2.42	2.61	2.42	2.18	2.52	2.92	2.56	2.24
ト 住環境対策	2.49	2.56	2.57	2.54	2.36	2.37	2.59	2.55	2.30
ナ 交通対策	3.03	2.90	3.14	3.35	2.86	2.80	2.90	3.16	3.02

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11-4-3-② 地域別／重要度

	区全体	第9	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア 情報提供	2.69	3.04	2.60	2.33	2.44	2.78	2.87	2.69
イ 職員の接客態度	2.63	2.85	3.02	2.56	2.40	2.64	2.82	2.81
ウ ICT活用	2.31	2.37	2.19	2.35	2.12	2.35	2.17	2.53
エ 防災対策	3.25	3.08	2.89	3.10	2.91	3.23	3.11	3.27
オ 自然・緑化対策	2.82	2.86	2.81	2.67	2.76	2.79	3.19	3.15
カ 資源環境対策	2.99	3.15	2.97	2.82	2.73	2.93	3.27	3.24
キ 治安対策	3.26	3.42	2.98	3.07	3.35	3.15	3.20	3.29
ク 地域活動支援	2.00	2.20	1.96	1.67	2.07	2.08	2.23	2.33
ケ 社会参加支援	1.64	2.08	1.86	1.62	1.85	1.72	2.10	1.67
コ 男女共同参画推進	1.87	2.31	1.61	1.73	1.44	2.03	2.07	1.67
サ 生涯学習振興	2.03	2.03	2.11	2.04	1.75	2.33	2.16	2.13
シ 学校教育対策	2.68	2.90	2.61	2.51	2.65	2.92	2.59	2.89
ス 子育て支援	2.87	2.91	2.51	2.88	2.85	2.92	3.16	3.19
セ 高齢者支援	2.72	2.73	2.90	2.70	2.57	2.78	2.84	2.94
ソ 障がい者支援	2.75	2.80	2.83	2.53	2.51	2.88	2.76	3.13
タ 保健衛生対策	2.69	2.70	2.53	2.53	2.79	2.87	2.79	2.62
チ 低所得者対策	2.25	2.23	2.48	2.07	2.68	2.56	2.51	2.55
ツ 産業振興	2.14	1.95	1.86	1.98	2.22	2.44	2.56	2.26
テ 都市開発	2.46	2.53	2.21	2.20	2.62	2.75	2.23	2.61
ト 住環境対策	2.49	2.66	2.38	2.34	2.61	2.64	2.61	2.30
ナ 交通対策	3.03	3.21	3.02	3.09	3.19	3.10	3.06	3.05

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

（4）現状評価（満足度）、重要度のプロット図

現状評価（満足度）を横軸に、重要度を縦軸にとって21項目を相対的に評価するため、平均値（満足度平均値1.16、重要度平均値2.55）を境として、4つの領域に分類した。

4つの領域の特性は、以下のとおりである。

A 現状評価（満足度）が平均値より低く、重要度が平均値より高い項目

グラフ左上のAゾーンに位置する項目は、施策の重要性が広く区民に認識され、とくに施策の推進や改善に対する区民のニーズが高い項目と考えられる。従来の取り組みの方向について検討を加え、改善していくことが求められる。

B 現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より高い項目

グラフ右上のBゾーンに位置する項目は、施策の重要性が十分認識されているとともに、現在の取り組みにも満足している区民が多い項目と考えられる。今後も現在の水準を維持し、着実に取り組んでいくことが求められる。

現状評価（満足度）平均値（1.16）

《重要度》	《Aゾーン》 現状評価：平均値より低い 重要度：平均値より高い	《Bゾーン》 現状評価：平均値より高い 重要度：平均値より高い	重要度 平均値 (2.55)
	《Cゾーン》 現状評価：平均値より低い 重要度：平均値より低い	《Dゾーン》 現状評価：平均値より高い 重要度：平均値より低い	

《現状評価（満足度）》

C 現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より低い項目

グラフ左下のCゾーンに位置する項目は、取り組みの推進に対する期待は高いものの、他の施策と比較してその重要性の認識が低い項目と考えられる。施策の重要性に対する認知を高めるとともに、従来の取り組みの方向の改善を検討することが求められる。

D 現状評価（満足度）が平均値より高く、重要度が平均値より低い項目

グラフ右下のDゾーンに位置する項目は、他の施策と比較してその重要性の認識は低いものの、現状の取り組みには満足している項目と考えられる。今後も着実に取り組みの推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高めていくことが求められる。

ア クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《区全体》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「交通対策」は満足度が低くなっている。計5項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「情報提供」でも満足度は高くなっている。「治安対策」は重要度が特に高く、計7項目が該当している。

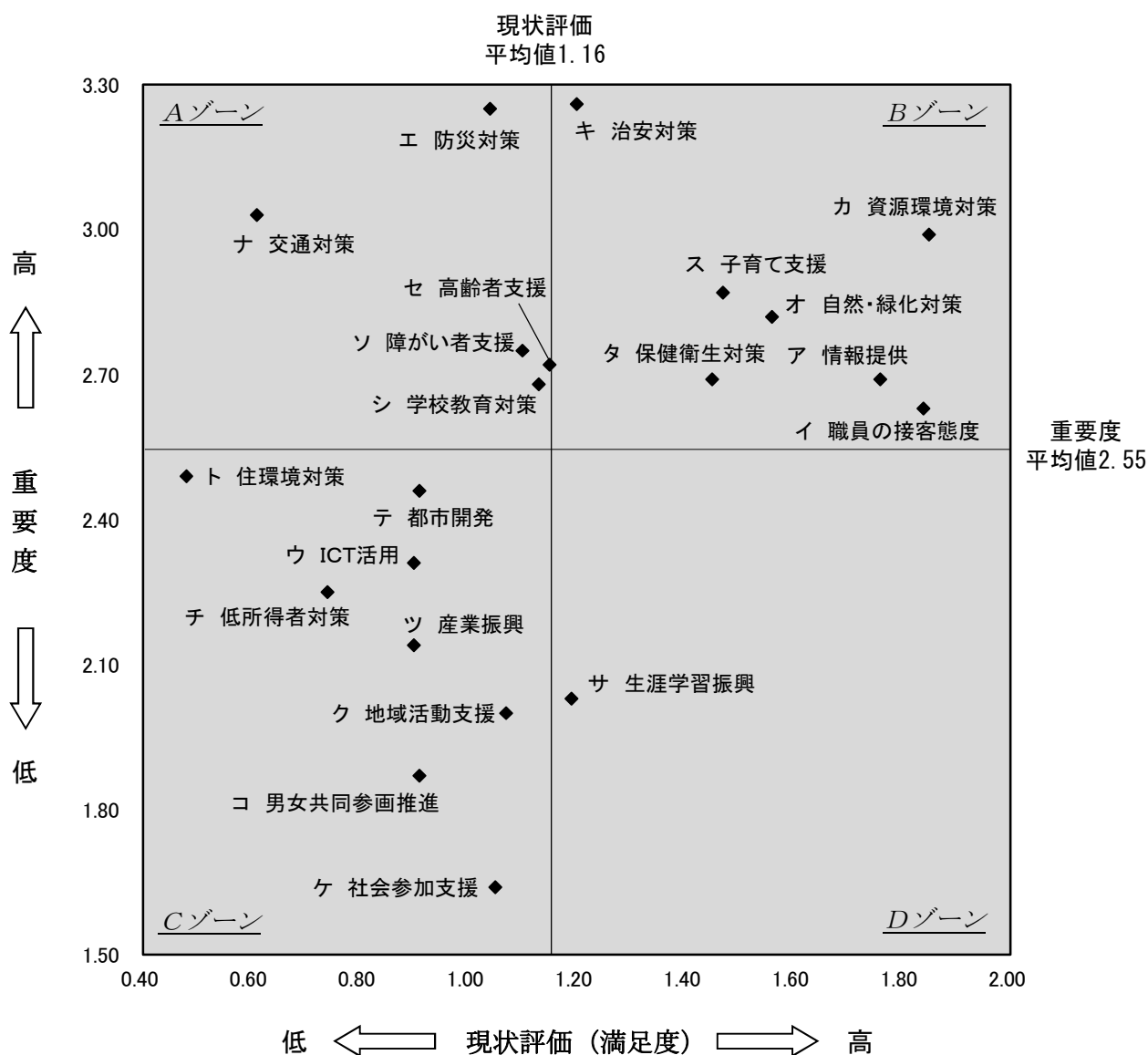
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度、「社会参加支援」は重要度が特に低くなっており、最多の8項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」のみが該当している。

表11-4-4 現状評価（満足度）と重要度の関係



イ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第1地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「住環境対策」は満足度が特に低くなっている。計5項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高くなっている。「職員の接客態度」「情報提供」でも満足度は高く、「治安対策」は重要度が高くなっている。計7項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低く、「ICT活用」は満足度が低くなっている。

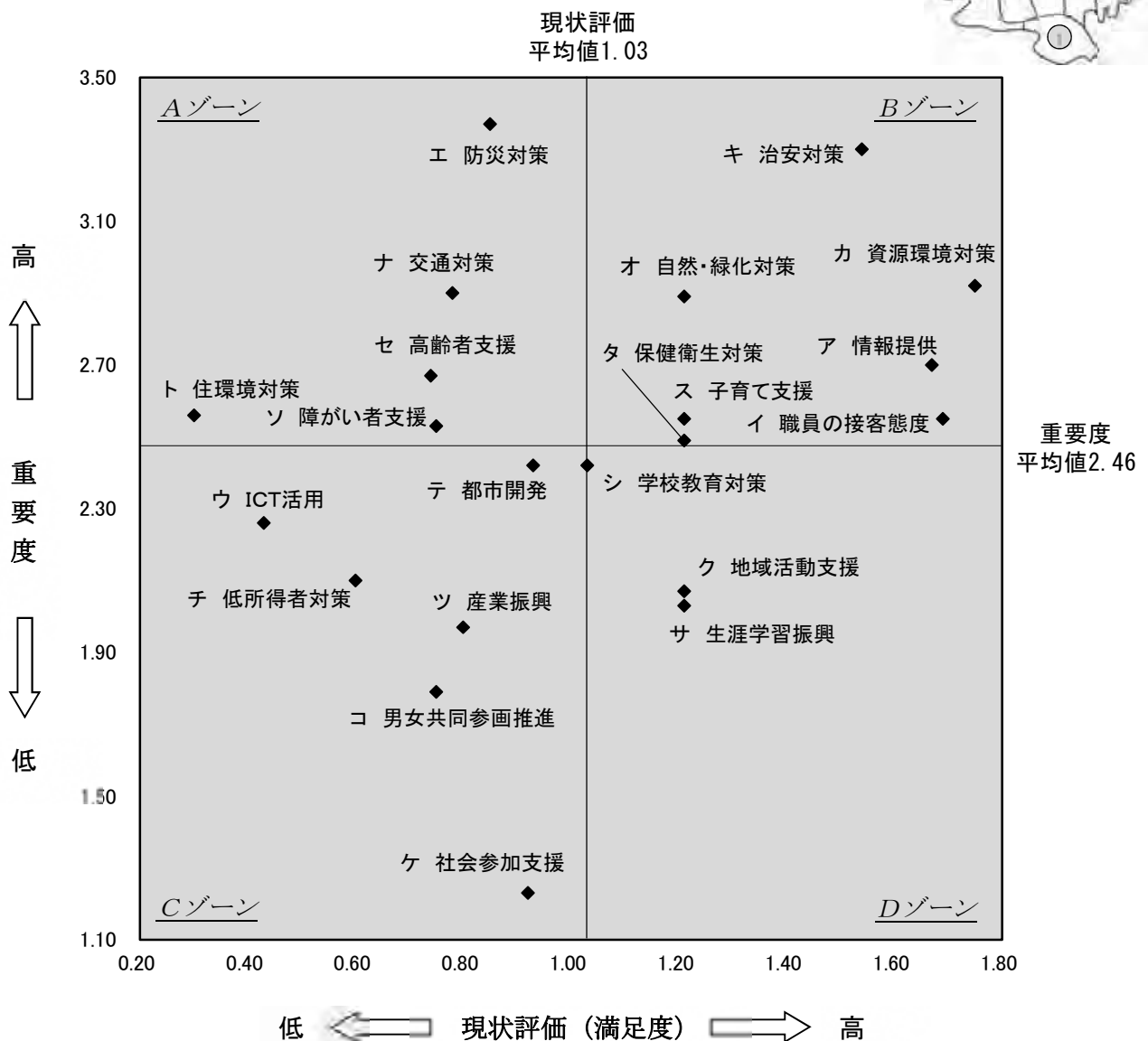
D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「地域活動支援」「生涯学習振興」などが該当している。

地域区分図



表11-4-5-① 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第1地域



ウ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第2地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「治安対策」でも重要度が高くなっている。「交通対策」は満足度が特に低く、計5項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高く、「情報提供」「自然・緑化対策」でも満足度は高くなっている。計6項目が該当している。

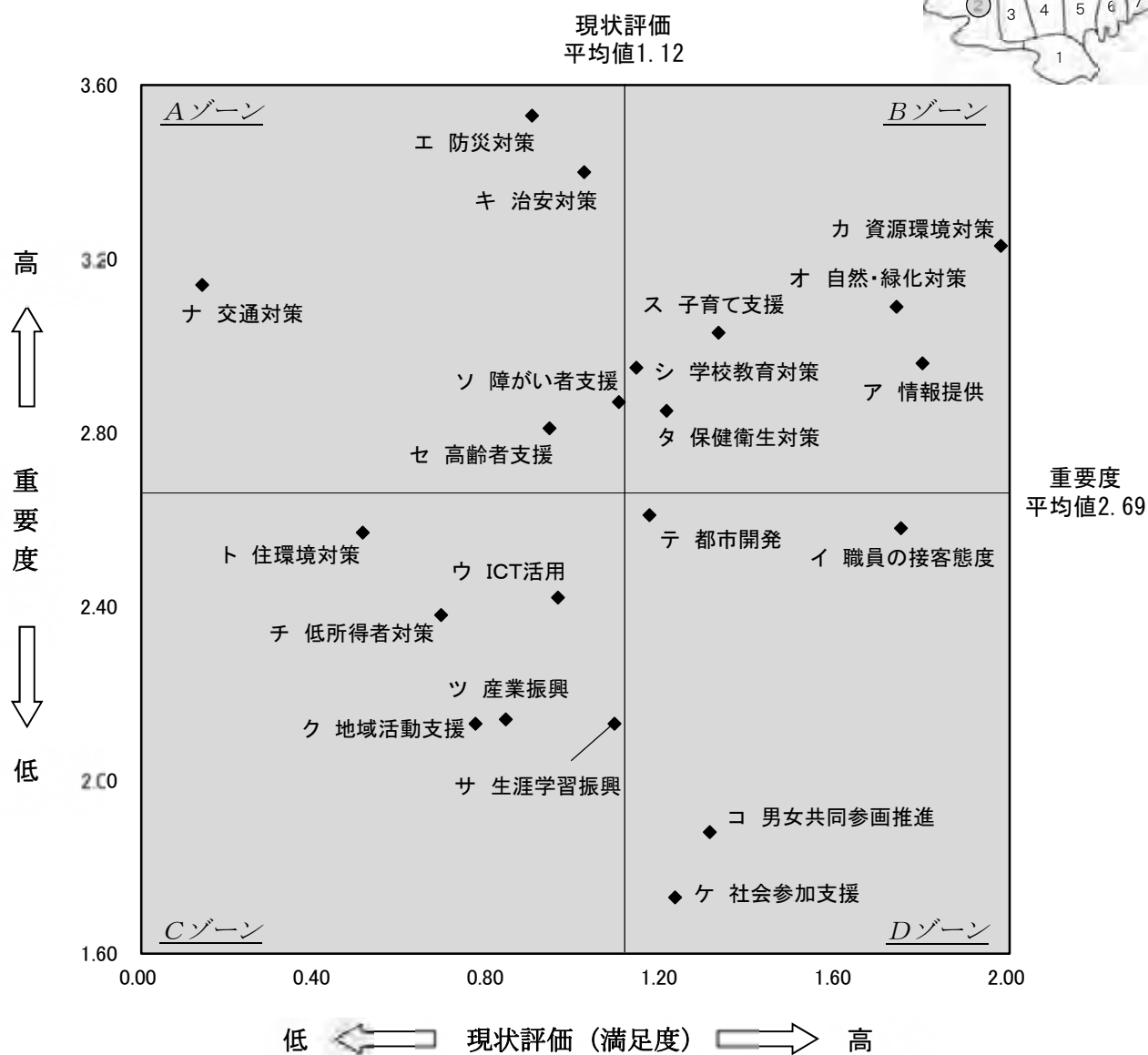
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度が低く、計6項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低く、計4項目が該当している。

表11-4-5-② 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第2地域



エ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第3地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」「交通対策」「防災対策」の重要度が高くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高く、「保健衛生対策」「職員の接客態度」でも満足度は高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

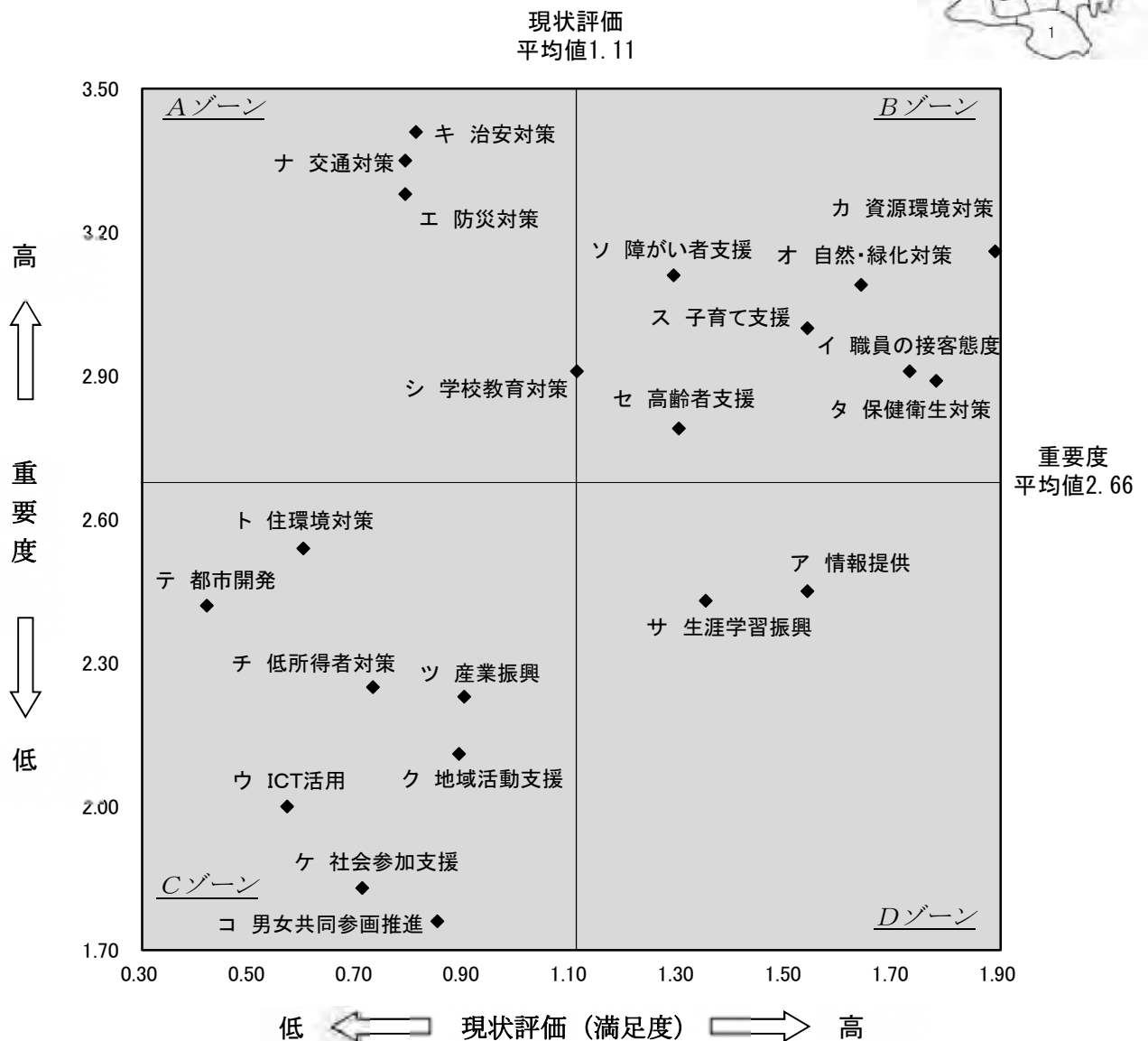
「都市開発」の満足度、「男女共同参画推進」「社会参加支援」の重要度が特に低く、計8項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「生涯学習振興」の2項目が該当している。



表11-4-5-③ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第3地域



オ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第4地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が高く、「交通対策」は満足度が特に低くなっている。計3項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「治安対策」の重要度が特に高く、「情報提供」「職員の接客態度」「資源環境対策」は満足度が高くなっている。最多の8項目が該当している。

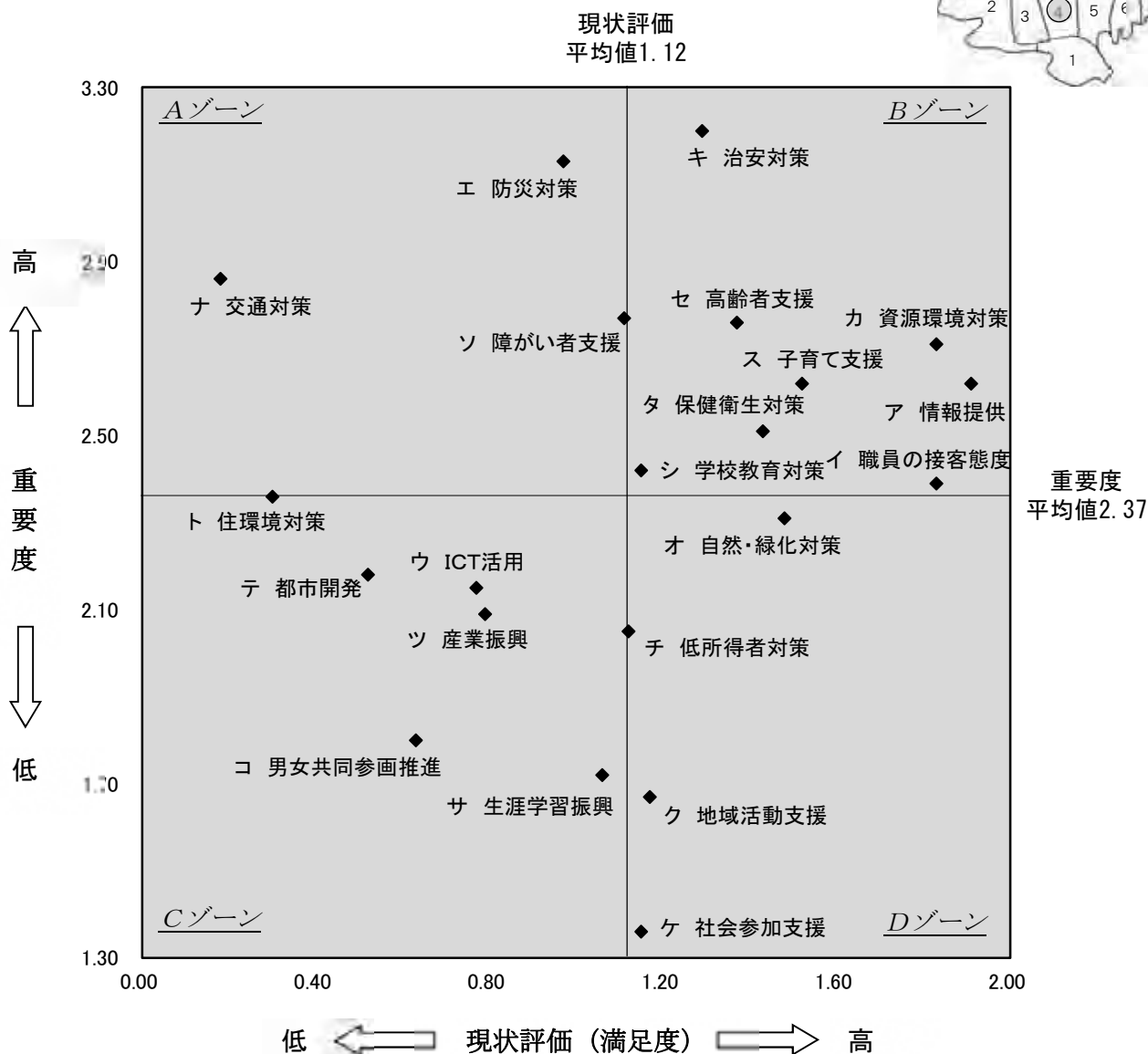
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度、「生涯学習振興」の重要度が低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。

表11-4-5-④ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第4地域



カ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第5地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「交通対策」の満足度が特に低くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「治安対策」は重要度が高くなっている。計8項目が該当している。

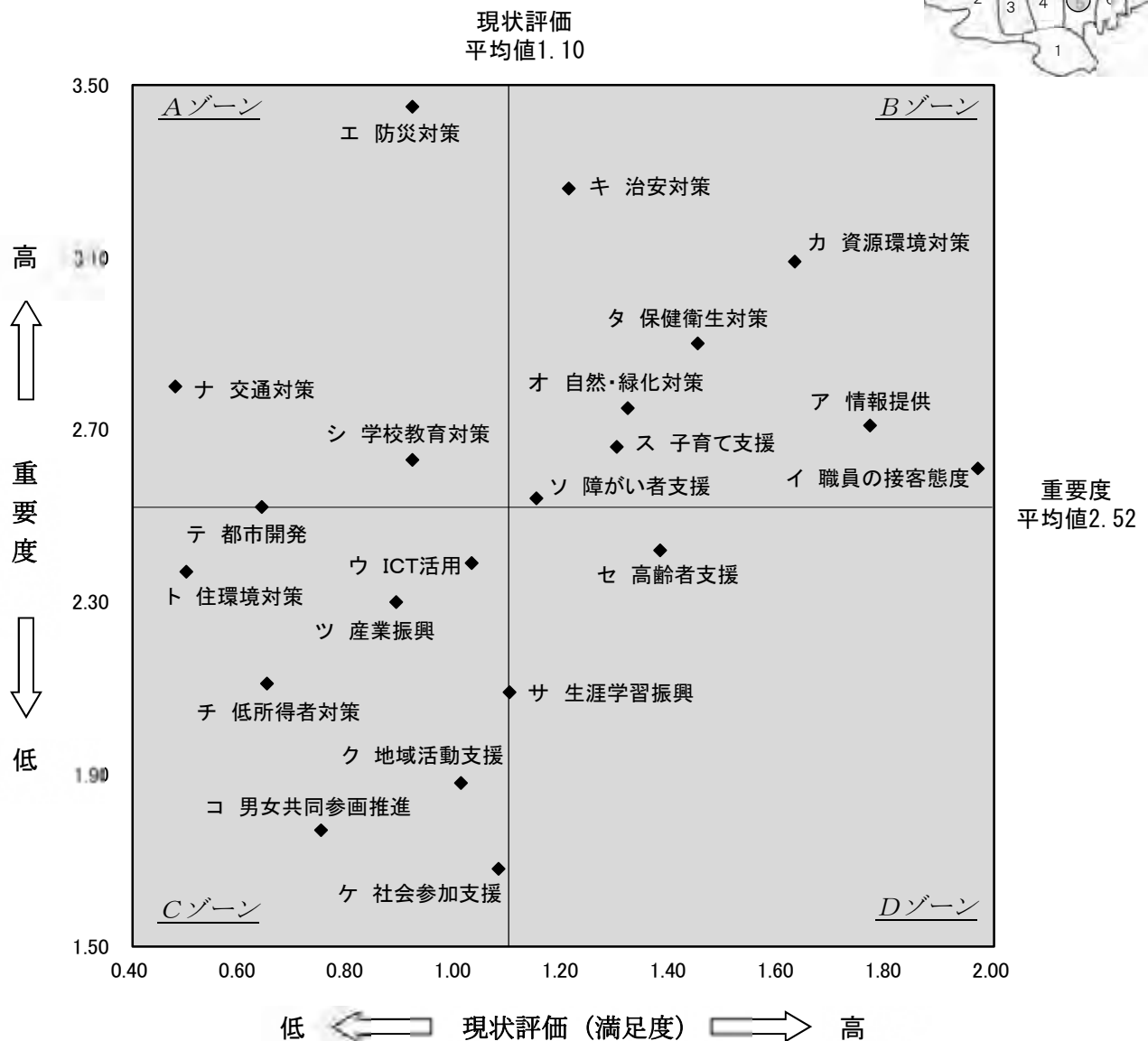
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低く、「住環境対策」は満足度が低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「高齢者支援」が該当している。

表11-4-5-⑤ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第5地域



キ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第6地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「住環境対策」は満足度が特に低く、計5項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「自然・緑化対策」の満足度、「治安対策」は重要度が特に高くなっている。「防災対策」「子育て支援」でも重要度は高く、最多の8項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低く、計5項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」など計3項目が該当している。

地域区分図

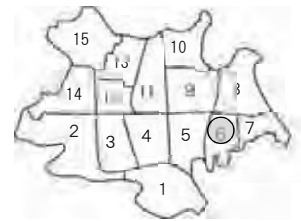
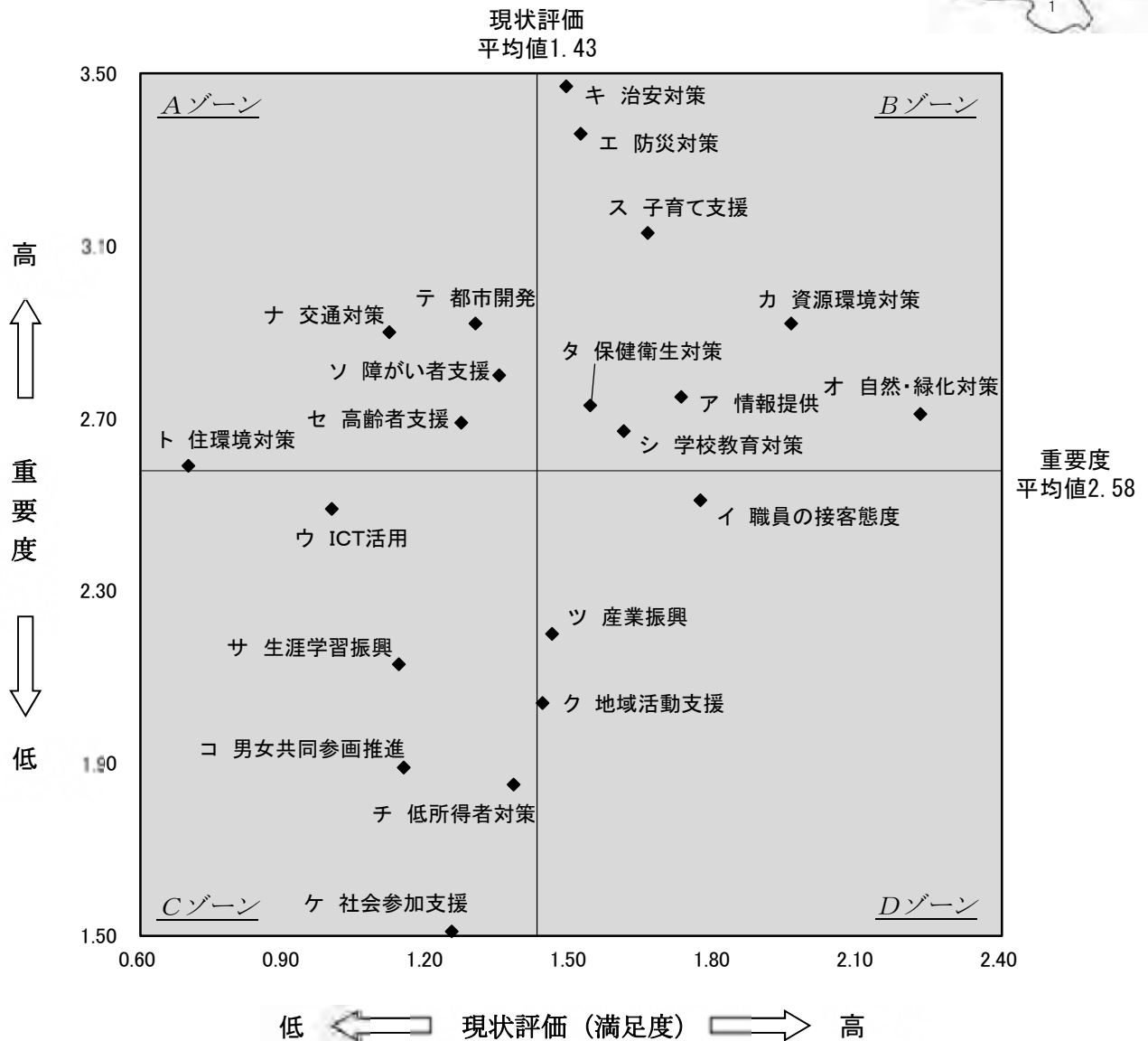


表11-4-5-⑥ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第6地域



ク クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第7地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」は重要度が特に高いものの満足度は低く、「交通対策」でも同様の傾向にある。計5項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」「職員の接客態度」の満足度が特に高く、計7項目が該当している。

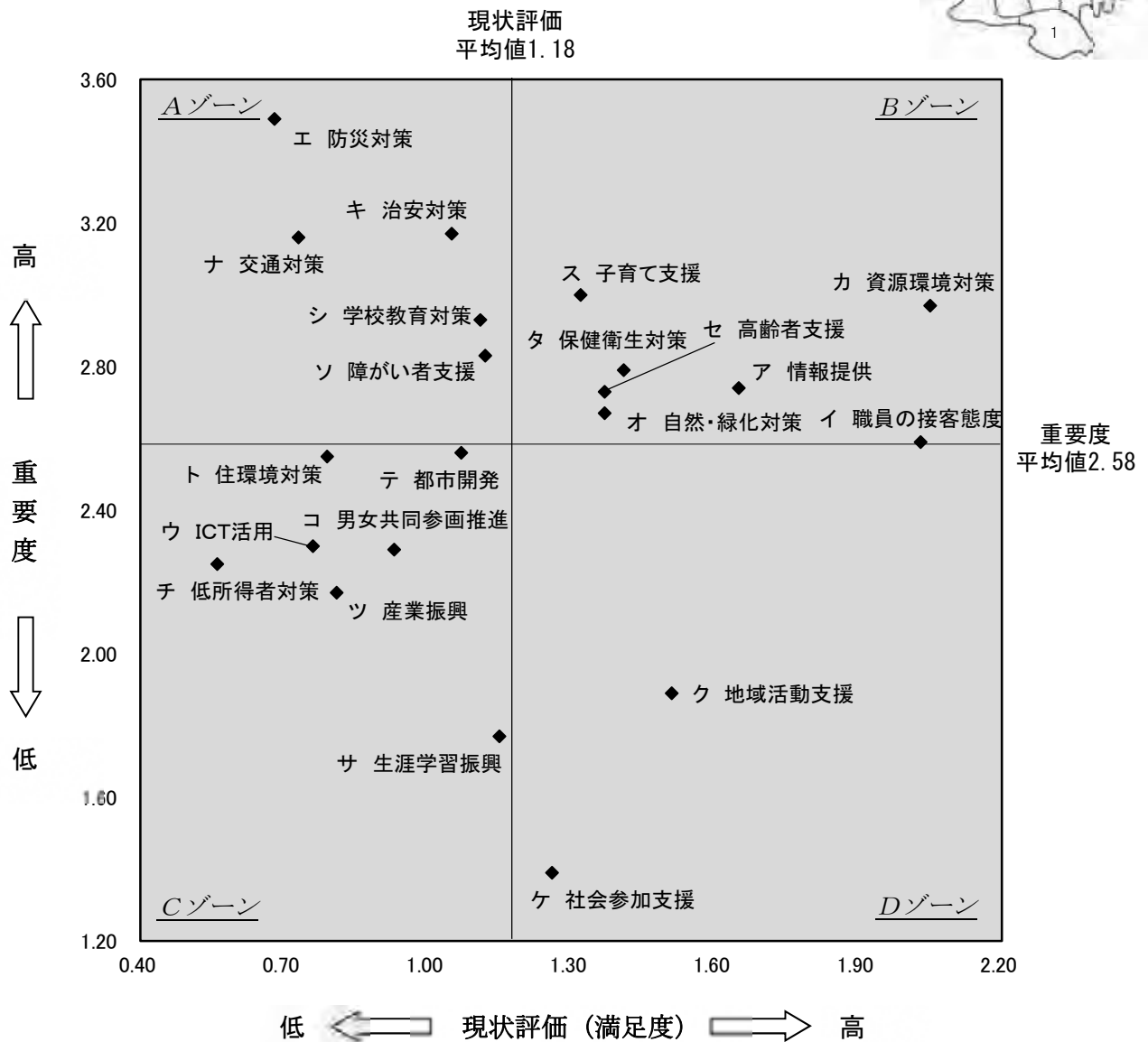
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」の満足度が特に低く、「生涯学習振興」は重要度が低くなっている。計7項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「社会参加支援」の重要度が特に低く、「地域活動支援」との2項目が該当している。

表11-4-5-⑦ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第7地域



ケ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第8地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」「交通対策」の重要度が高いものの、「交通対策」は満足度が特に低くなっている。計3項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「防災対策」の重要度が特に高くなっている。「資源環境対策」では重要度・満足度ともに高くなっている。「情報提供」「職員の接客態度」も満足度は高く、計9項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

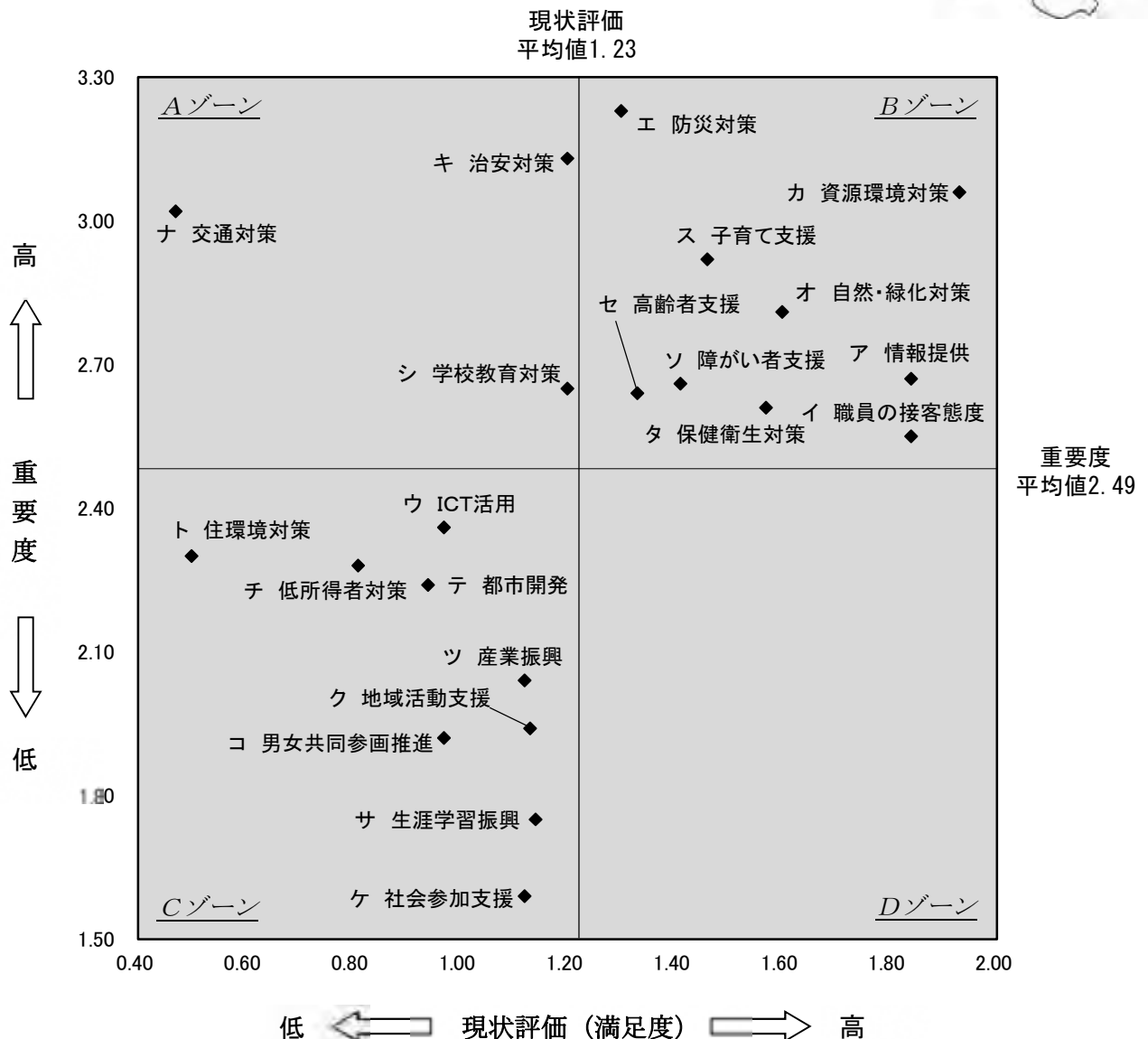
「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。「住環境対策」は満足度が低く、計9項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

該当項目はない。



表11-4-5-⑧ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第8地域



コ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第9地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」は重要度が高く、計4項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度、「治安対策」の重要度が特に高くなっている。最多の8項目が該当している。

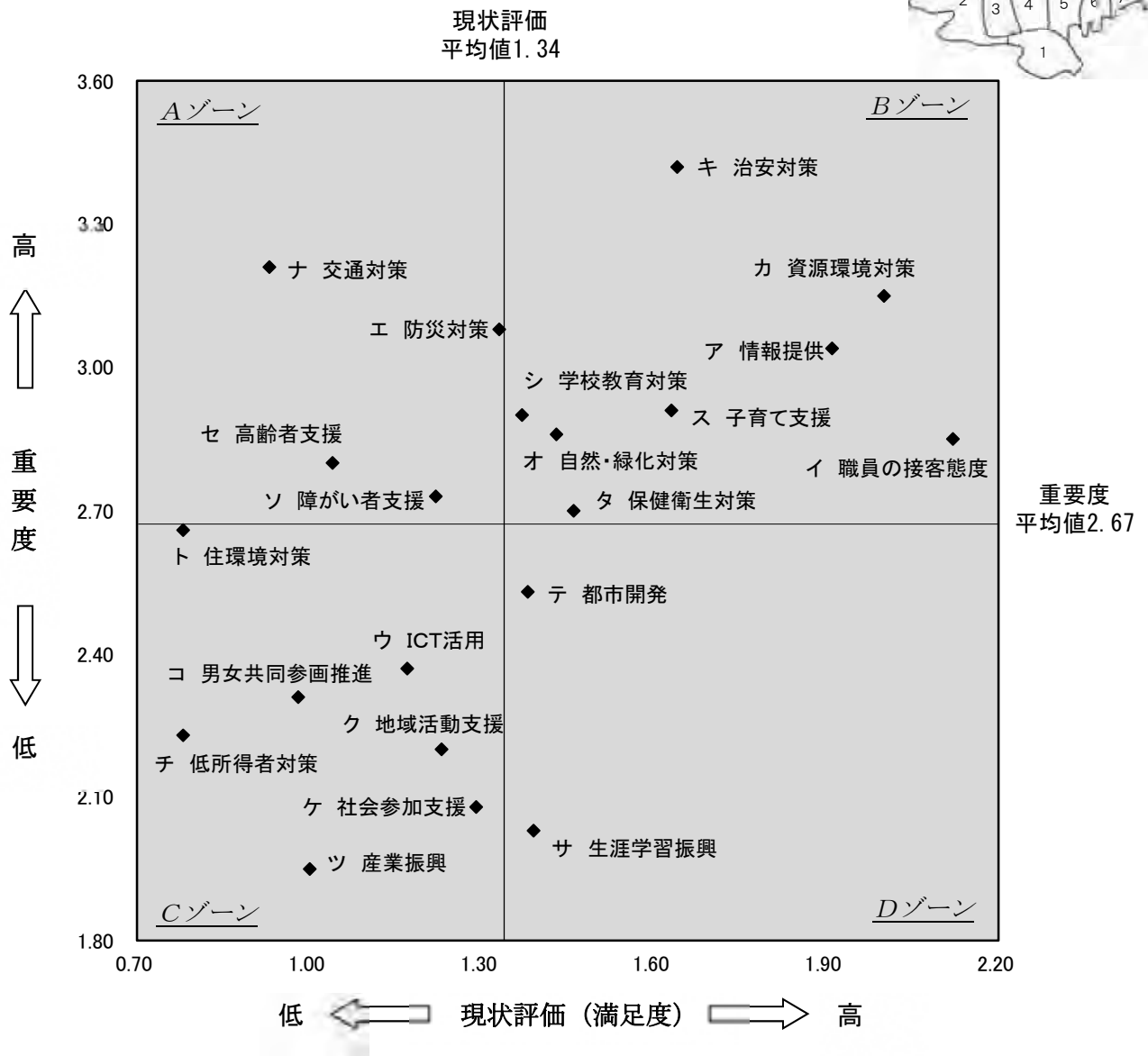
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」「低所得者対策」の満足度、「産業振興」の重要度が特に低くなっている。計7項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」の重要度が低く、「都市開発」との2項目が該当している。

表11-4-5-⑨ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第9地域



サ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第10地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

該当3項目の「交通対策」「治安対策」「防災対策」は、ともに重要度が高くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「情報提供」の満足度、「職員の接客態度」の重要度が特に高くなっている。「資源環境対策」では満足度・重要度ともに高くなっている。

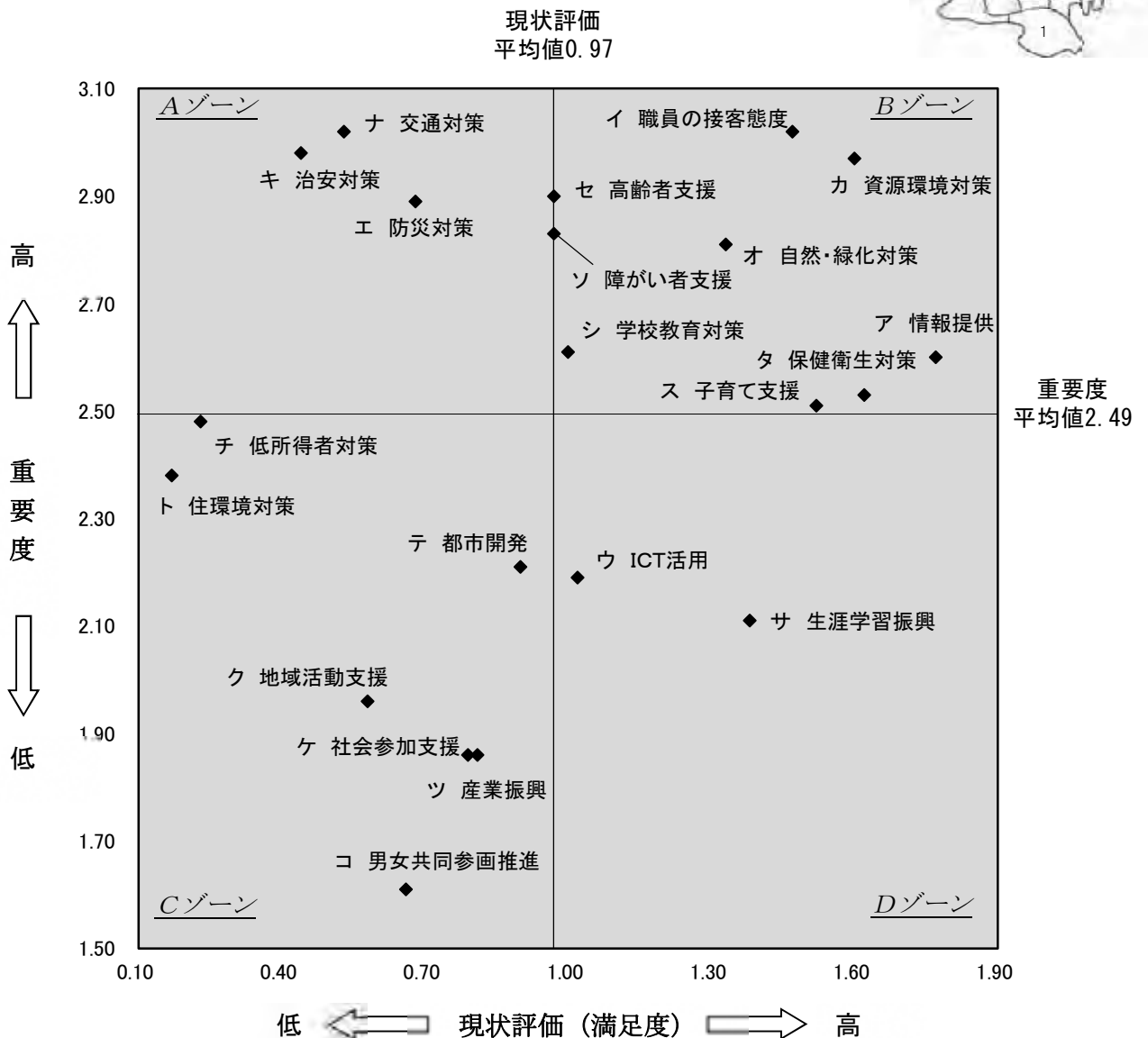
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」「低所得者対策」の満足度が、「男女共同参画推進」の重要度が特に低くなっており、計7項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」「ICT活用」の2項目が該当している。

表11-4-5-⑩ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第10地域



シ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第11地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」と「交通対策」の重要度が特に高くなっているが、「交通対策」の満足度は低くなっている。計5項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」「子育て支援」「資源環境対策」で満足度が高く、「治安対策」で重要度が高くなっている。計6項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」は満足度が特に低くなっており、「社会参加支援」「地域活動支援」「男女共同参画推進」では重要度が低くなっている。最多の8項目が該当している。

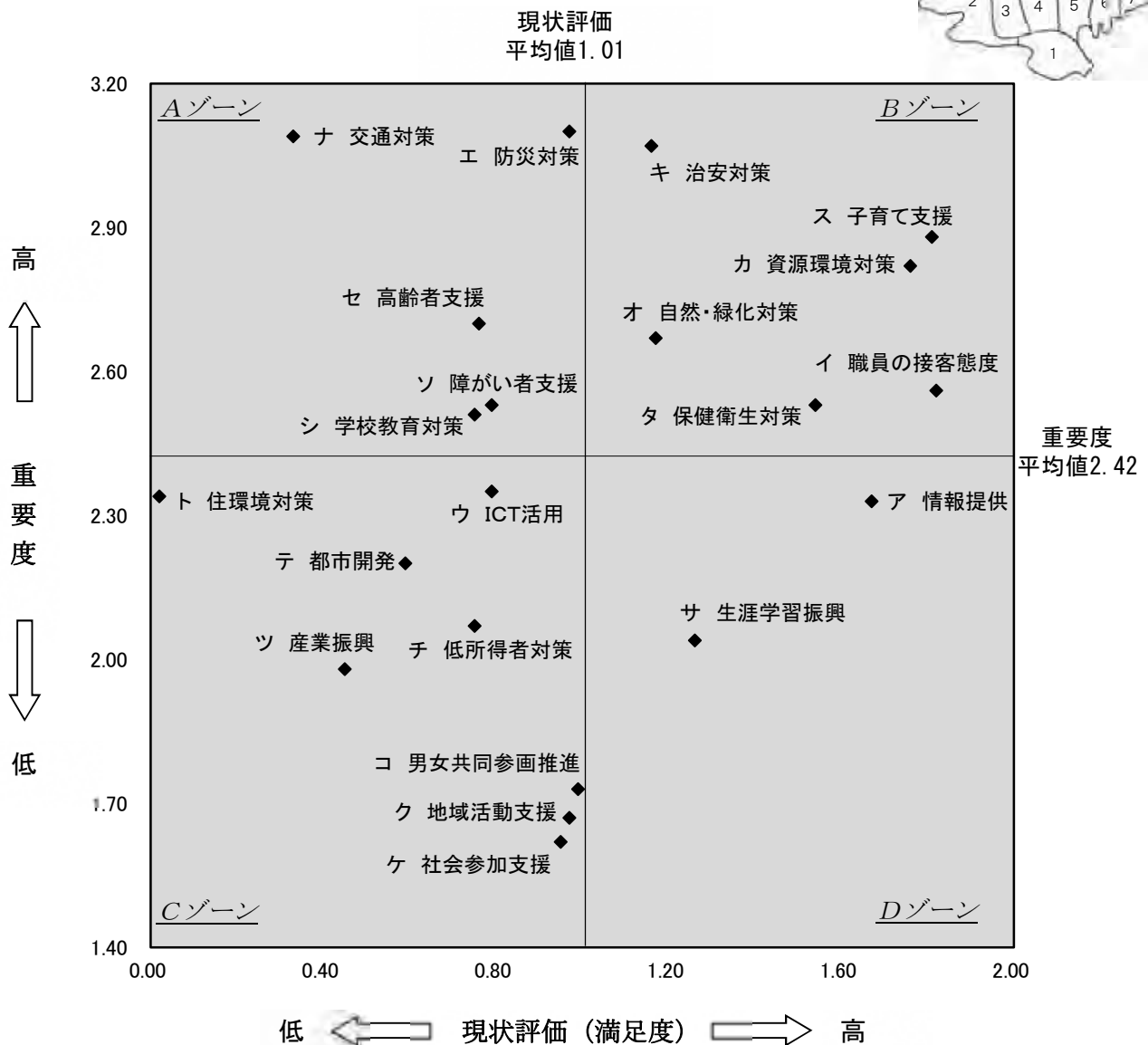
D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」の満足度が高く、「生涯学習振興」との2項目が該当している。

地域区分図



表11-4-5-⑪ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第11地域



ス クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第12地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」「交通対策」の重要度が特に高く、「住環境対策」の満足度が特に低くなっている。計6項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「自然・緑化対策」「資源環境対策」の満足度が高く、最多の7項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

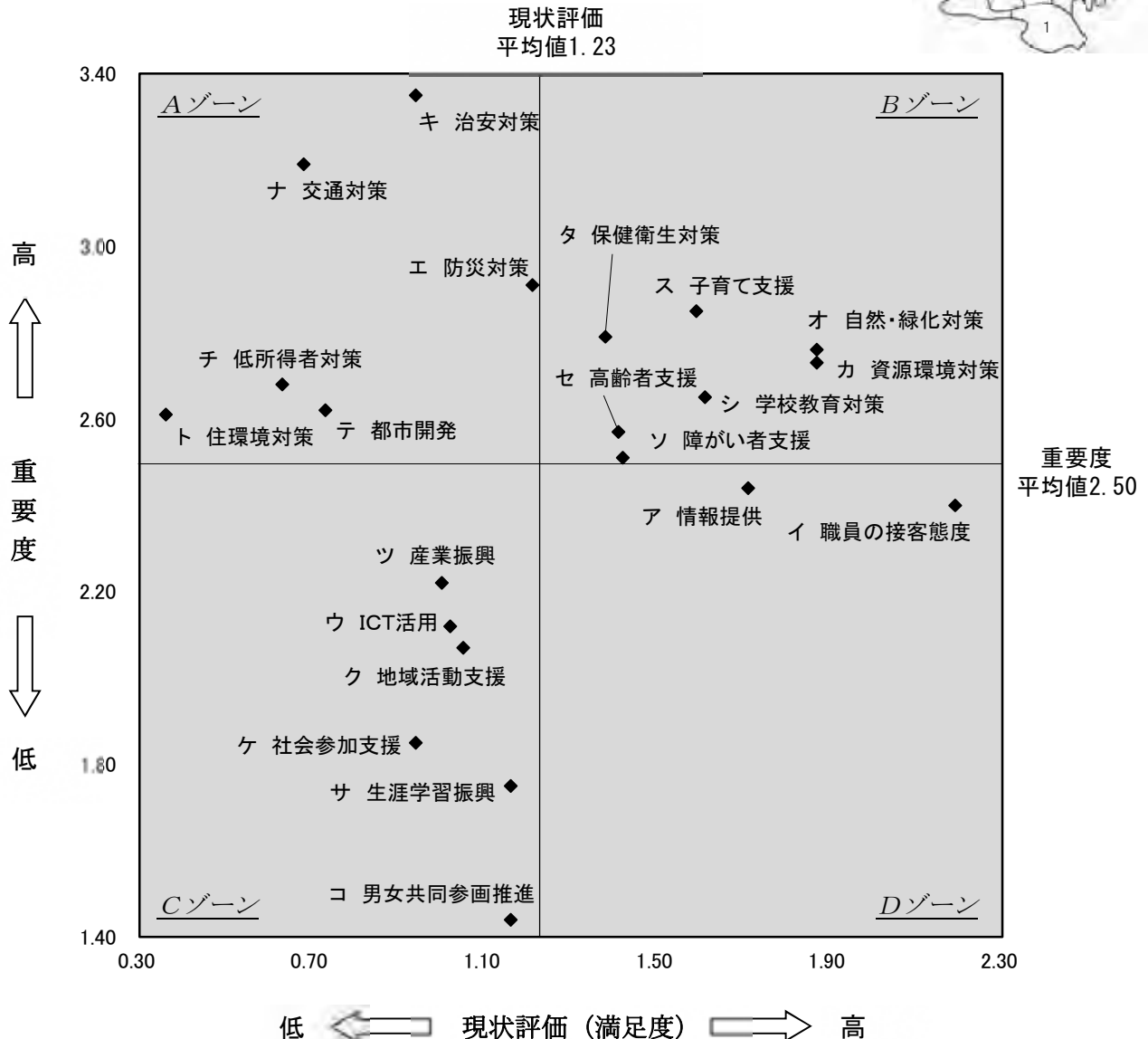
「男女共同参画推進」の重要度が特に低く、計6項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「情報提供」との2項目が該当している。



表11-4-5-⑫ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第12地域



セ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第13地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「治安対策」「交通対策」でも重要度は高くなっている。計6項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高く、計6項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項

「低所得者対策」の満足度、「社会参加支援」の重要度が特に低くなっている。最多の7項目が該当している。

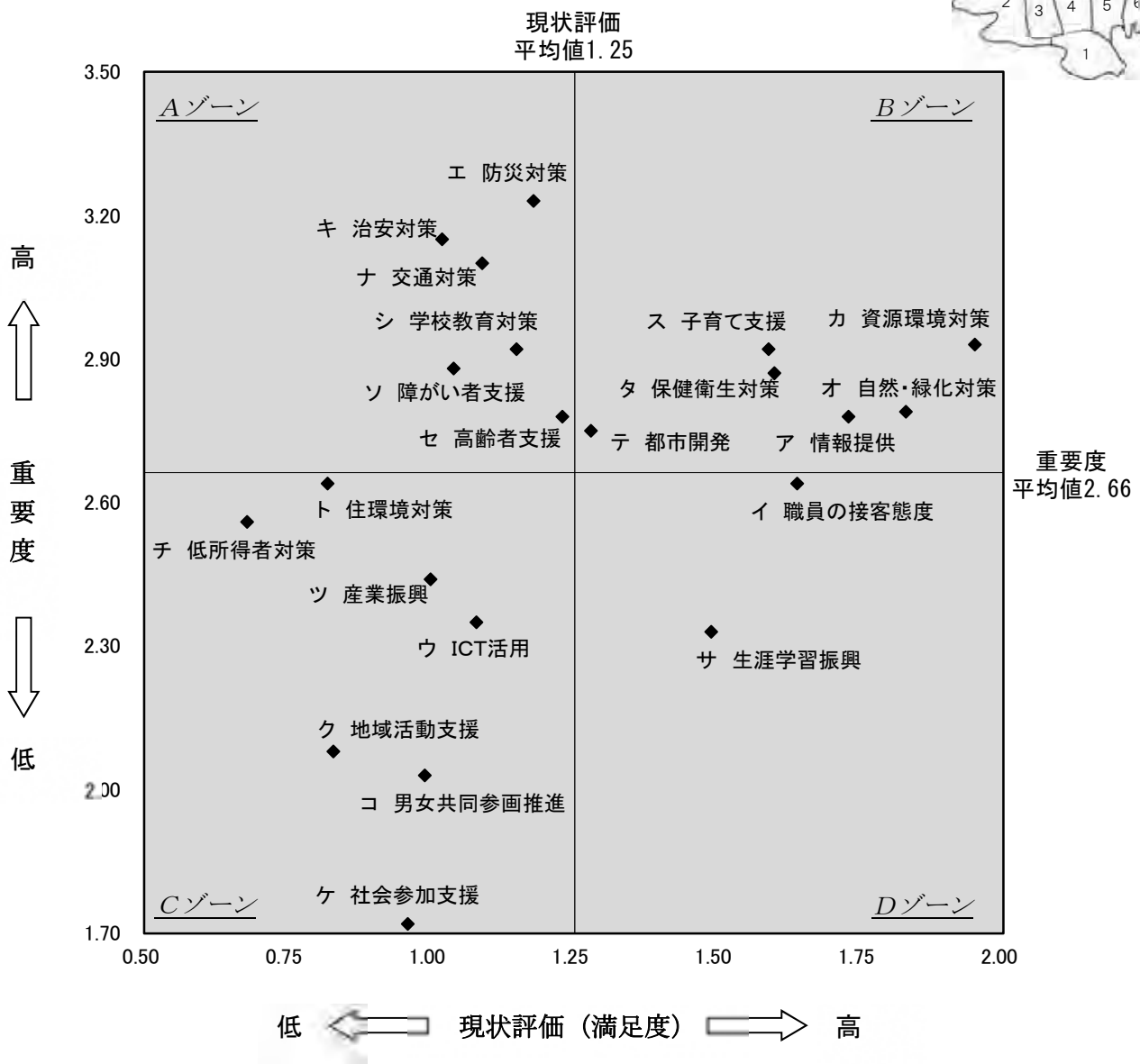
D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「生涯学習振興」の2項目が該当している。

地域区分図



表11-4-5-⑬ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第13地域



ソ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第14地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」の重要度が高く、「交通対策」の満足度が低くなっている。計4項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「自然・緑化対策」の満足度、「資源環境対策」の重要度が特に高くなっている。計7項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」「住環境対策」の満足度、「男女共同参画推進」「社会参加支援」「生涯学習振興」の重要度が低くなっている。最多の9項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「ICT活用」のみ該当し、重要度が低くなっている。

地域区分図

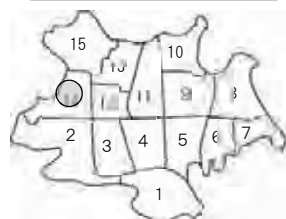
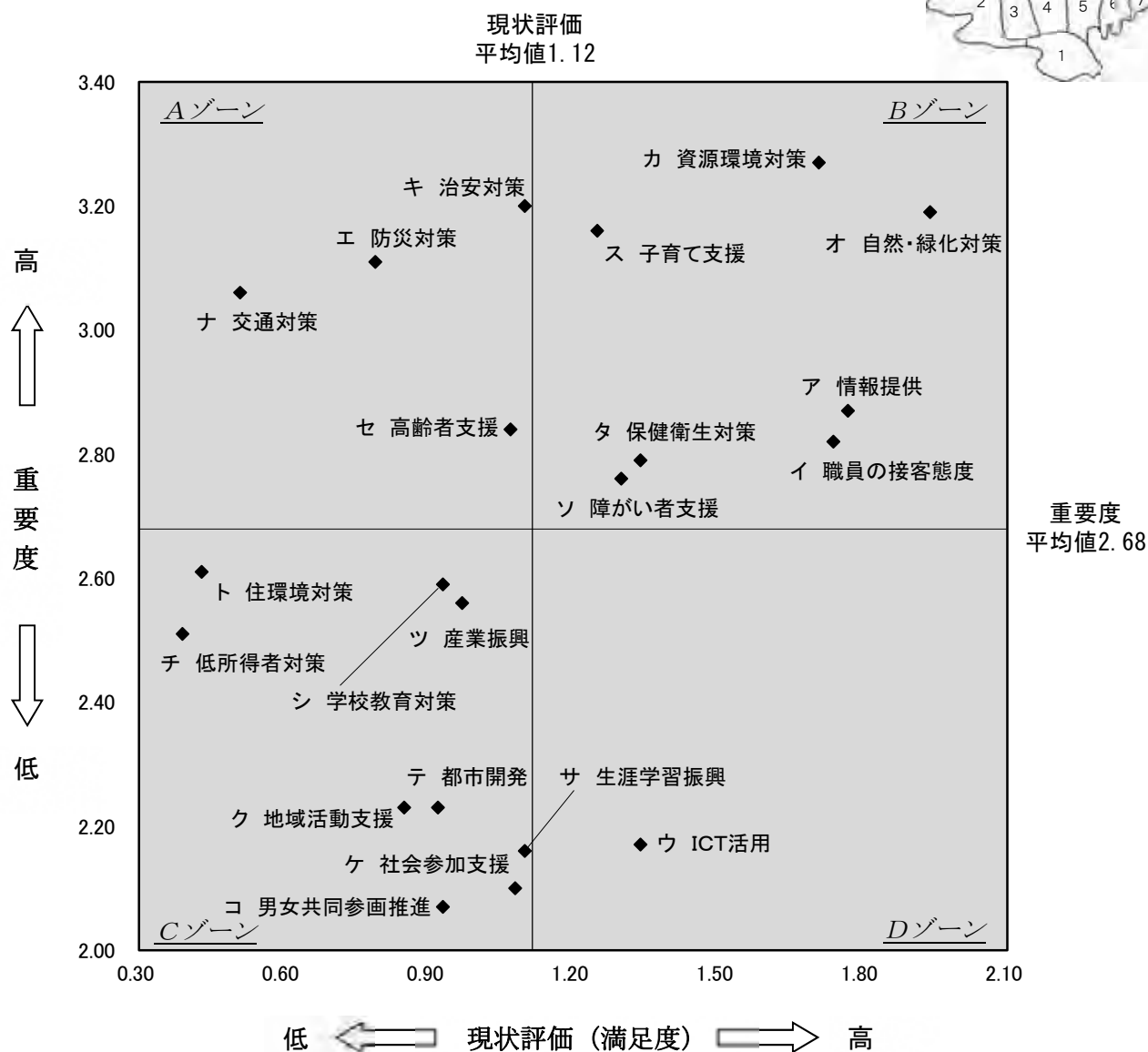


表11-4-5-⑭ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第14地域



タ クロス集計・地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係《第15地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」の満足度が特に低く、計4項目が該当している。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「職員の接客態度」の満足度、「治安対策」「防災対策」の重要度が特に高くなっている。「資源環境対策」では満足度・重要度とも高く、計7項目が該当している。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

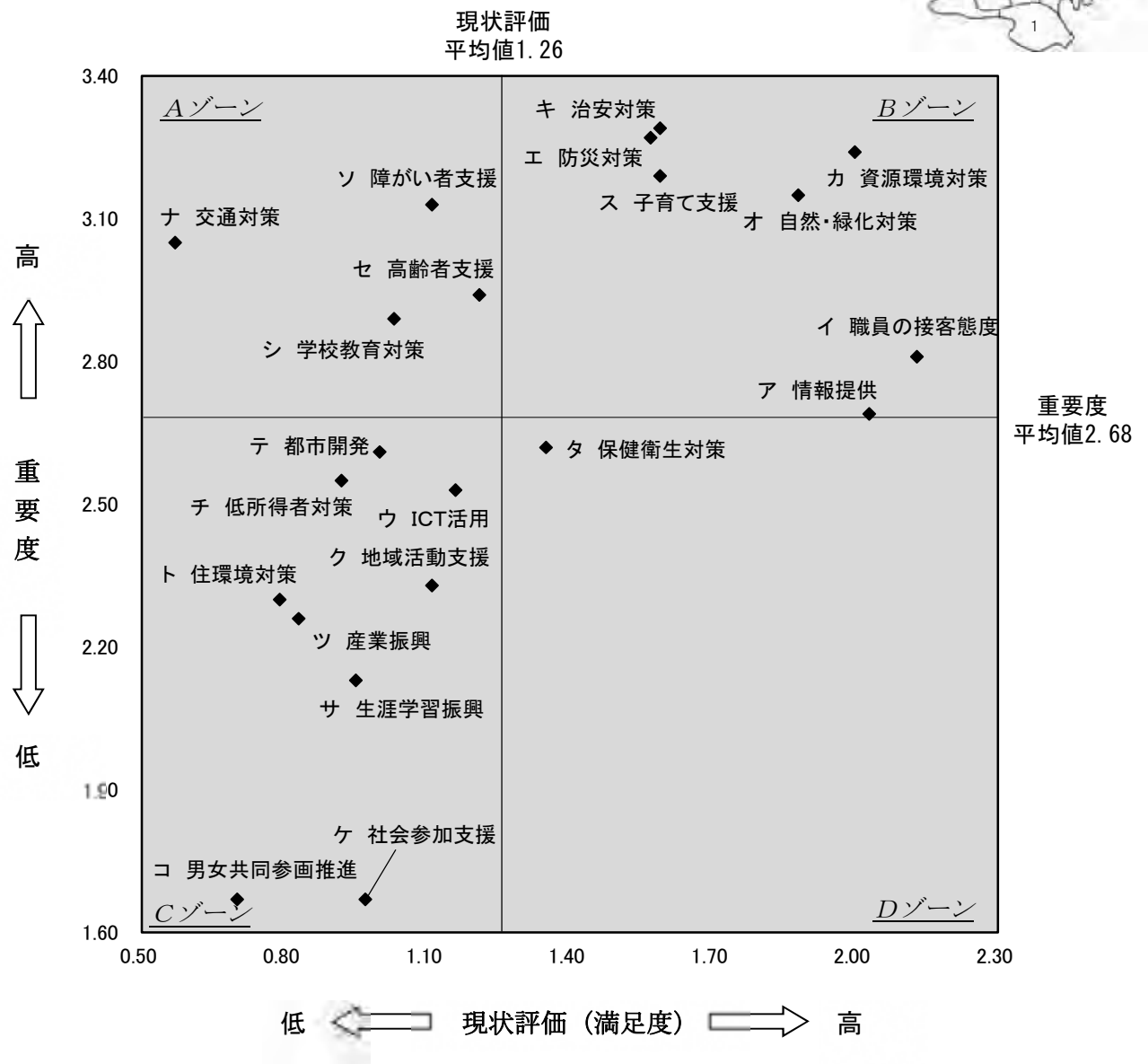
「男女共同参画推進」「社会参加支援」は重要度・満足度ともに低く、特に「男女共同参画推進」では顕著である。最多の9項目が該当している。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「保健衛生対策」のみが該当している。



表11-4-5-⑮ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第15地域



(5) 区政への区民意見の反映度

問54 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか（○は1つだけ）。

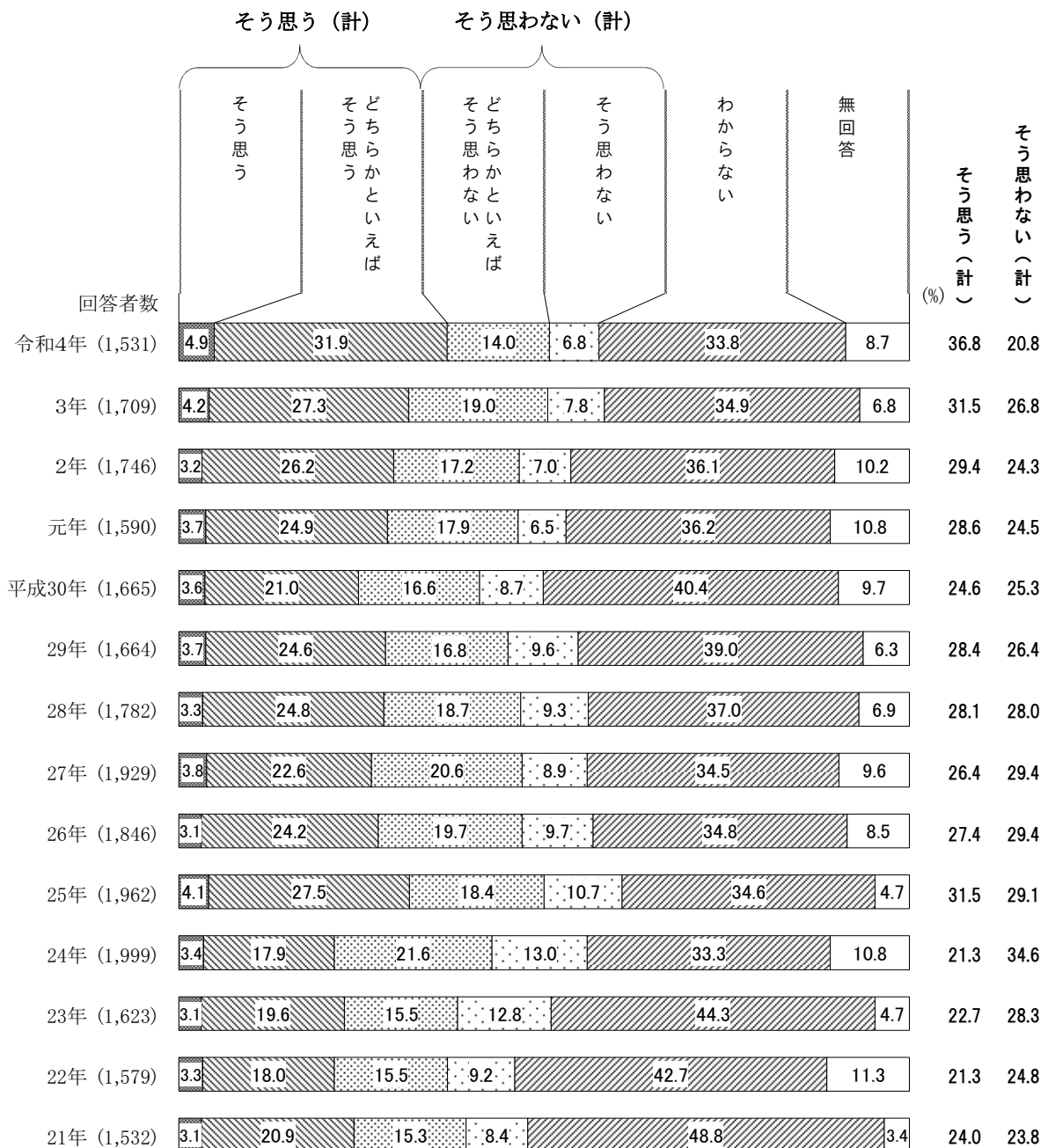
■【そう思う】は前回から大幅に増加し3割台半ばで、【そう思わない】を16ポイント上回っている

ア 単純集計・経年比較／区政への区民意見の反映度

(ア) 区政に区民の意見が反映されていると感じているか聞いたところ、「そう思う」（4.9%）と「どちらかといえばそう思う」（31.9%）を合わせた【そう思う】は36.8%となり、「どちらかといえばそう思わない」（14.0%）と「そう思わない」（6.8%）を合わせた【そう思わない】（20.8%）を16.0ポイント上回っている。

(イ) 経年でみると、【そう思う】は前回調査（31.5%）から5.3ポイント増加している。

図11-5-1 経年比較／区政への区民意見の反映度

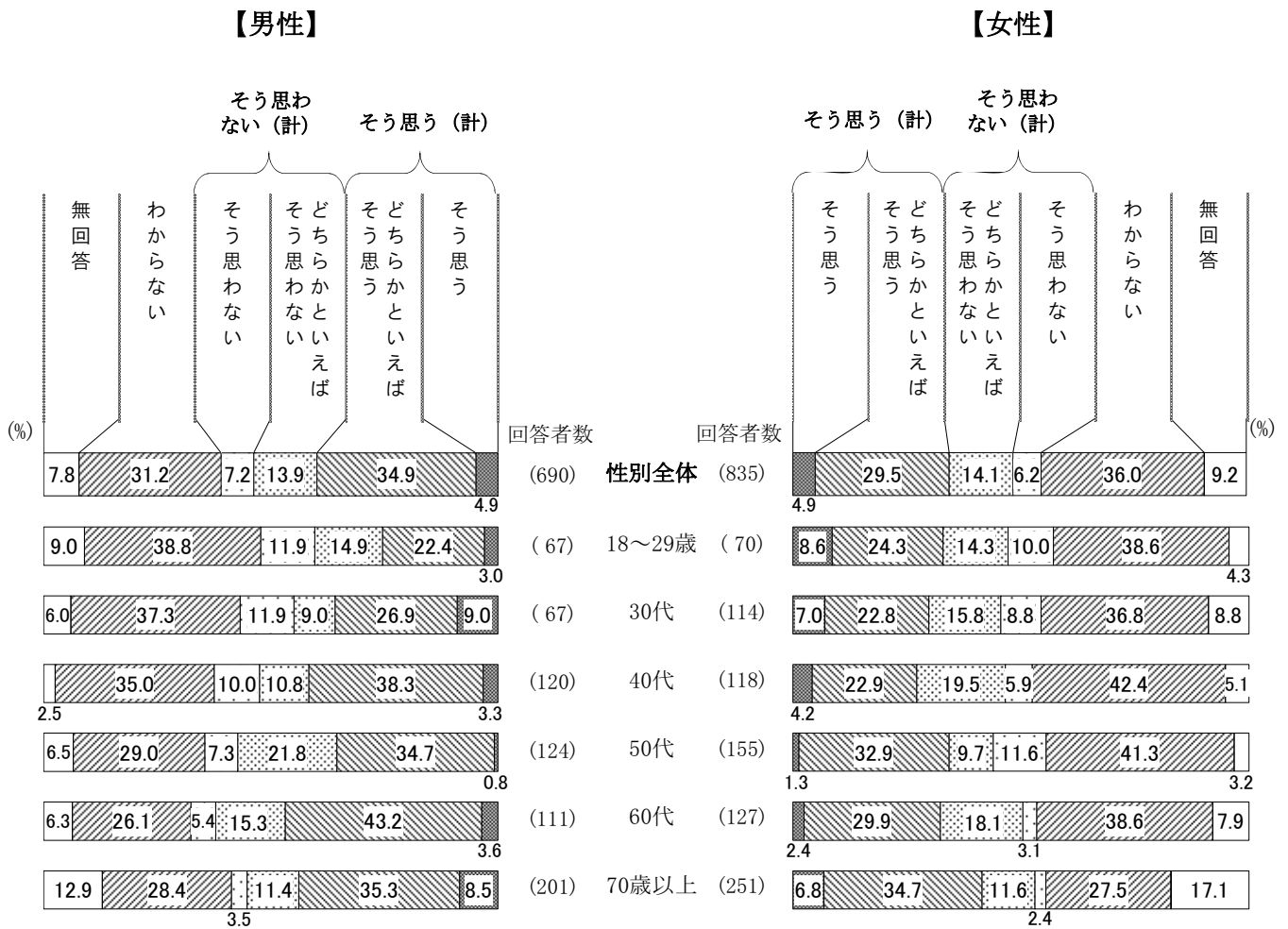


イ クロス集計・性別、性・年代別／区政への区民意見の反映度

(ア) 性別でみると、【そう思う】は男性（39.9%）の方が女性（34.4%）より5.5ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【そう思う】は、男性の60代で46.8%と最も高く、男性の70歳以上、男性の40代、女性の70歳以上で4割台と高くなっている。一方、【そう思わない】は男性の50代で29.0%と最も高くなっている。

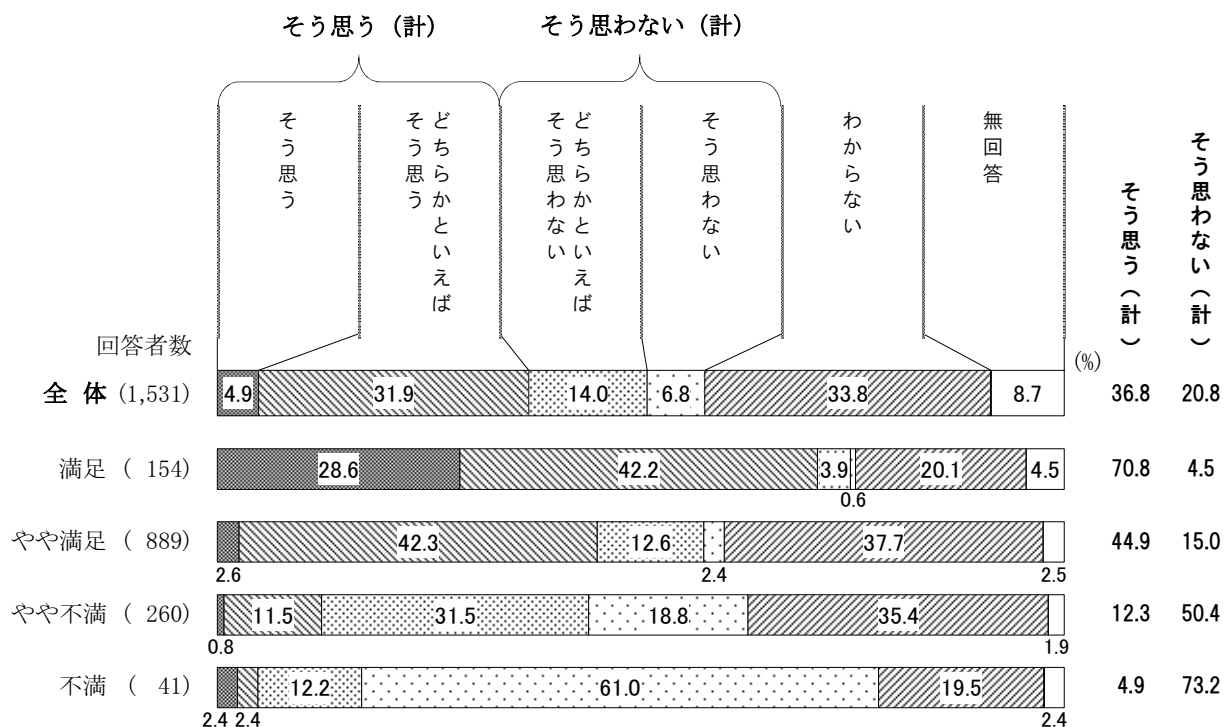
図11-5-2 性別、性・年代別／区政への区民意見の反映度



ウ クロス集計・区政満足度別／区政への区民意見の反映度

区政満足度別で見ると、【そう思う】は、区政への満足度が増すほど割合が高くなり、区政に満足している層で7割と高くなっている。

図11-5-3 区政満足度別／区政への区民意見の反映度



（6）区政についてのご意見、ご要望（自由回答）

問55 区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

区政への意見、要望を自由に記述していただいたところ、442名から延べ508件のご意見やご要望をいただいたので、その一部を抜粋して掲載する。

■本調査について（41件）

- ・今回のアンケートについて、もっと年齢別での質問に分けた方が良かったと思いました。年齢によって取り組み、区分の回答が違うので細かい回答ができない部分もありました。
- ・本調査の問毎の集計結果を「あだち広報」に掲載してもらいたい。分析前の早期掲載（速報として）が大切で、傾向言及も必要ない。
- ・今回の世論調査をさせて頂き、改めて自分の住んでいる地域に関して認識不足であったと痛感致しました。この様な機会を頂けて感謝しております。
- ・夫婦2名、子どもなし、の環境の中で、質問の中に回答ができない項目（学校関連、年配の施設関連等）が複数あり、適当にマークするしかない回答に困りました。これでは、正確な調査にはならないように感じます。

■交通機関・道路の整備（37件）

- ・自転車道と歩道をしっかり区別して欲しい。歩道を歩いていて怖い。自転車道があるにも関わらず、ほとんどの人が歩道の真ん中を走って、怖くて歩けない。ケガをしたこともある。
- ・高齢者であるため、駅や商店、病院等、地域を細かく循環して回る小型バス等を運行して欲しいです。
- ・竹ノ塚駅周辺のロータリー整備が早く進むと嬉しいです。車の送迎がとてもしづらいし（西口）、駐輪場も少ない。高架下などに駐輪場を作ってもらえないでしょうか。
- ・車椅子利用者が街中で活動しやすい道路を作って欲しい。
- ・自転車マークを増やして欲しい。自転車マークがないと車からクラクションを鳴らされたり、幅寄せされたり、危ない事が何回もあります。公道を走れと言うなら、自転車マークをひいてください。
- ・高齢者の車椅子での移動の際に感じた事ですが、道路のデコボコがあまりにも多く、とても大変でした。自転車の通行量の多さ、スピードの出し過ぎなど、歩行をしていて怖くなる事が増えた。難しい事とは思いつつ、歩道の幅がもう少しあればと思うばかりです。
- ・日暮里舎人ライナーの混雑緩和のために、新型車両を少し早めに導入されることを期待しています。
- ・足立区に幼少期から住んで60年以上になりますが、残念ながら不便だなという印象しかありません。交通手段が少なく、コミュニティバスの料金が高いです。他の区では、100円でICカードも使えます。どの運行コースにも利用できる1日乗車券があると、区内の名所旧跡、スポーツ施設利用、区内イベント参加、買い物、医療受診にも便利だと思います。
- ・竹ノ塚駅高架工事など大変な工事だったと思います。竹ノ塚駅は素晴らしいデザイン。西新井駅の再開発とステキな明るい駅に早くして欲しい。

■都市対策・基盤整備（32件）

- ・電車、地下鉄網、駅の増設。西新井西口駅ビル再開発推進。4年以上放置は信じられない。
- ・新しく再開発された区画と、昔からの古い町並みの区画の街の安全に格差があり過ぎる。夜も安心して歩ける様にして欲しい。一番暮らしやすい区とは思えない。他区から移り住みたい区に高めて欲しい。

- ・企業、大学、病院をもっと足立区に。大きな病院が西地区に片寄り過ぎなので、東に大きな総合病院を！足立区立病院ってありますか？
- ・舎人ライナー沿線に商業施設の誘致をお願いします。沿線の施設が賑わえば舎人ライナーにも予算を回せると思うので、混雑解消もお願いしたいです。

■環境対策・公園（32件）

- ・公園に電話ボックスを設置して欲しい。災害時用だけでなく、子ども達がボタン一つで警察に通報できるのは不審者対策にもなるし、ケガをした時も119番できる。子ども達がひと目見てわかる様に、大きな文字や大きな絵も描いて、大きな看板もつけて。
- ・足立区は昔に比べて大分住みやすい街になったと思うし、23区ワースト1位でしたが、犯罪も昔に比べ減ってきました。頑張っていると思います。住んでいて気になる点は、鳥の糞が多いなと思います。特に駅前や電線の下なども汚いです。
- ・羽田空港の飛行ルートが足立区を一周するほど旋回している。在宅勤務時は、2分おきに轟音が響きうるさかった。高度も低く、尾翼のマークまでわかる近さ。騒音と危険を感じる。
- ・花のある街かど事業は、子どもと一緒に公園に花を植えるなどのイベントがあったら参加してみたい。ベルmont公園の様な、職員の方も素敵で、キレイで安心して遊べる公園がもっと多くあったら良いと思う。

■区政全般（31件）

- ・費用はかかるかもしれませんが、IT化できる事はどんどん進め、人にゆとりができ、助けを必要としている方へのサポートなど、付加価値の部分に役所の方々の時間を割き、その結果、区民も便利なサポートを受けられる様になると良いなと思っています。いつの日か住みたい区の上位に入りますように。
- ・アンケートではなく、高齢者や障がい者の状況把握をするためのシステム（定期的な往復照会文書、スマホ照会、往復等）を定期化して、行政対応に活かして欲しい。
- ・区長が女性ですので、男女平等や女性向けの施策を打ち出して頂けることを期待しています。
- ・対応が遅い気がするので 議会で指摘される前に行動してもらいたいです。

■治安対策（27件）

- ・夜に閑静な住宅地に行くと街灯が少なく、危ないイメージがあるので、改善されたらいいなと思いました。
- ・暗い公園、暗い道が治安に関係すると思います。健康のため1駅歩いているが、夜は怖くて歩けません。喫煙コンテナの公園も真っ暗なので、金曜の夜は多くの人が集まって怖い上にタバコを吸っている。青ライトパトロール車はけっこうな速度で走って行くだけだし、無人交番がある。駅前には沢山のおまわりさんが楽しそうにしている。
- ・街中に防犯カメラがあって、常に撮っているよという内容のポスターもいっぱい貼って欲しい。駅から離れる程暗くなり、治安が不安定な気がします。もっとトイレ内の盗撮の危険性、危機感を高めて欲しい。トイレ内の穴等、盗撮の可能性があることを女性に広めて欲しい。もちろん、男性の被害もありますが、特にもっと女性に広まって欲しいし、そういった危機があることを知って欲しいです。公園にも防犯カメラがもっとあっていいと思います。
- ・治安の面ではまだまだ不十分だと感じます。安心できる町を望みます。
- ・治安を良くするために歩道を明るくして、ごみを捨てさせない工夫をして、自転車の逆走をなくし、車の横断歩道での停止義務を守る。歩きタバコをさせない。初歩的な事ができていない様では、絶対良くならない。

■広報・情報公開（26件）

- ・区の取り組みは色々ある様ですので、その経過や結果等、情報弱者にもわかる形で知らせて頂けるともっと身近に感じられるのでは。
- ・美しく品の良いまちづくりを希望します。足立区は公園も多く、緑や花もたくさんありますが、その良さをもっとアピールして欲しいとも思っています。
- ・今回のアンケート内で知らない活動内容があったので、広報などを通してより伝えて欲しいと思いました。
- ・便利で有益な制度、サービスなどの情報をもっと発信して欲しいと思います。LINEやFaceBookがあることを今回初めて知りました。こういう機会がないと、知らなかったことも多く、このアンケートに答えてよかったと思います。ありがとうございました。
- ・ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクトなど、協働、協創、SDGsについて区としての事業支援の内容や活動状況、成果（効果）など実践状況を時折、あだち広報にて紹介して頂くと理解する人が多くなることと思います。

■マナー（23件）

- ・綾瀬にあった交通公園がなくなり、子どもの交通マナーの悪さが目立ってきているように思います。
- ・公園や道路のたばこのポイ捨てが目立つ。自宅でも他人の喫煙の影響を受け、迷惑。区で、たばこ外来の推奨や報奨金、その他考えられる対策の強化を望みます。
- ・喫煙マナーの悪さに困っています。歩きタバコや公園での喫煙に出くわすことが多く、どこかへ通報したいと毎回思いますが、警察に言えばいいのか自治体に言うべきものかわからないし、そもそもどこが喫煙NGエリアなのかもよくわかっていません。その場で通報しないと意味がないと思うので、禁止エリアでの喫煙者を見かけた時の対応フローを街中に貼りだして欲しいです。検挙しやすい環境づくりにも抑制力にもなると思います。
- ・ごみ置き場のネットを全て、立体の蓋付き組立容器に替えて欲しい。犬の糞を放置する人も多いので、犬を飼育している人への教育を徹底して欲しい。犬を散歩させる人は自分の犬の糞でなくても持ち帰るよう指導して欲しい。歩道を通行する自転車で猛スピードを出して歩行者を叱りつける人がいる。タバコのポイ捨てパトロールより、悪質な自転車の指導を強化して欲しい。
- ・歩きタバコをしている人を結構見かけるので、罰金千円ではなく、五千円くらい取るべきでは？臭いし、小さい子の視線は危ないと思う。

■施設全般（20件）

- ・一つ提案ですが、舎人公園の広大さを生かす、例えば芸大の生徒さんや若者が利用できる野外音楽堂の建設、スケールの大きいアート作品展の開催など、文化、芸術の面に力を入れてはいかがでしょうか。
- ・図書館にIT関連、心理学関連、哲学関連の本が少なく、購入希望を出しても、皆が読まないからと断られたことが過去にあり、もっぱら荒川区や北区で借りています。自分の区ではなく、他の区で借りなくてはいけないのは、なんだか寂しいですね。
- ・駅前駐輪場も生活範囲（保育園の立地など）関係なく自宅から駅までの距離で利用が制限されております。制度・設備を整えてくださっているようにお見受けはしますが、フレキシブルな利用ができない制度になっているのが現状かと思えます。見直しをお願いしたいです。また、中央区の浜町体育館のような施設をアクセスしやすい場所に作ってほしいです。
- ・保育園児を育てていますが、区役所や保育施設などの公的機関、ギャラクシティや公園などの施設、アリオなどの商業施設などのいずれも充実しており、子育てにも地域性を感じていて、とても住みやすいです。特に、河川敷や区内の公園では手持ち花火が出来ることに感動しました。お蔭様で娘も人生初めての花火を楽しむことが出来ました。

- ・広い講演会場の施設がなく、懇親会など学校関連の行事開催に苦勞しております。誘致していただけると助かります。綾瀬地区の再開発の影響で、図書館の利用が不便です。綾瀬小学校に、図書の窓ができましたが、子ども同伴など条件が厳しく、結果として利用できませんでした。
- ・図書館のリクエスト図書について申し込みをしても、その本が入荷したのかわからない。他区では、入荷すると連絡が入る仕組み。ご検討ください。地域学習センターで、飲食可能なセンターと不可のセンターがある。どのセンターでも飲食可能エリアを設置してください。

■子育て関連・子育て支援（20件）

- ・足立区は低所得者対策にばかり力を入れていないで、もっと子育て世代に力を入れるべきだと思います。
- ・共働き世帯にもう少し優しい仕組みができるとうれしいです。例えば学童の夏休みのみの利用はできなくなっております。
- ・公立保育園のこれ以上の民営化をやめてください。数少なくなった公立保育園の保育が質・量ともに増え、保育士さんの退職が多いと聞いています。
- ・犯罪件数の減少、近所の街灯の増加などから、以前よりも住み良い街になったと思います。しかし、コロナの影響も加えてとの事と思いますが、子どもの活躍の場が減り、また、見守り制度にも不満があります。子ども親も安心して遊べる（遊ばせられる）環境を希望します。
- ・認可保育園の空き状況の反映が入所希望月と書類の締め切り日とでうまく連動されておらず、必要とする方に適切な情報を提供できていない、仕組み化が出来ていないと感じます。
- ・六木地域で子育てする身として困っていることが3点あります。1点目は、認可保育所が少ないため競争率が高く、働きたくても働けない状況にある人が多いです。無認可だと子どもが3歳になったときにまた保育所探しをしなければならず、困りごとを後回しにすることになっています。2点目は、病院の少なさです。困った時に駆け込める診療所が少ないため、いつも病院は混雑しており、子育て世代としてはかなり大変です。小児科だけでなく、耳鼻科や皮膚科などが保育園帰りに寄れる時間帯までやっていると安心できるなどと思います。どちらも六木の桜木橋より南側は充実していますが、川を越えた北側にはほとんどありません。3点目は、子どもの発達支援施設の予約がなかなか取れず困っています。時代の変化と共に需要が増えている今、供給も増やしてほしいです。足立区で育ち働き結婚し出産育児をしている根っからの足立っ子です。だからこそ子どもたちにとって故郷となる足立区がもっと住みやすい街になってほしいと願っています。

■防災対策（19件）

- ・今後、荒川の氾濫等は特に気を配って欲しい。治安等は昔に比べて良くなっていると思う。
- ・集中的短時間大雨に対する道路、建築物への浸水対策と下水道整備の向上。各種災害時の公設避難場所の避難者への感染症対策と衛生管理の向上。
- ・災害対策について、一次集合場所から、遠い避難場所への移動・行動が難しいかと思います。その対策が必要と考えます。
- ・災害に備え、地元の小・中学校を高層化、4階～5階建てにして、避難準備に計画して欲しい。
- ・防災情報アナウンスは、全ての地域でより聴きやすい音にして流してください。現況は語尾が必要以上に流されて、聴き取ることが困難です。

■議員・職員（18件）

- ・何度か区役所に行きましたが、職員の方々の対応が良く、足立区に対する信頼も増しました。子宮頸がんの検診助成金を利用しました。とても助かりました。
- ・区議の方々の行動、活動の情報をもっと知りたい。
- ・区役所内での担当者の態度等あまり良くない。上から目線で感じが悪い。
- ・区役所へ行くと職員の数に異常に多い気がする。あれだけの人数が必要なのか疑問に思う。一般企業と比べ物にならない。人がいる割に手続きにも時間がかかる。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

- ・時々区役所に行った際などに、区役所職員の接客態度がよいところに好感度が持てますので、ぜひ今後も継続するよう取り組んでもらえると嬉しいです。

■新型コロナ対応・対策（17件）

- ・転居してすぐにコロナワクチンの追加接種がありましたが、書類などもわかりやすく、問い合わせの際の行政関係者も接種時の医療関係者も対応が非常によく感動しました。
- ・うちも5人家族のうち2人が既にコロナになりました。次は誰かと不安でいっぱいです。区内にコロナを専門に診る「コロナ外来」（土・日・祝日も診察可能）を作ってください。区内の発熱外来だけでは対応できていないのではないかと。今のままだと熱があると、どうしたらよいかかわからない状況です（発熱外来はすぐに埋まると聞いています）。区内に数か所、専門外来（プレハブで良いと思います）があって、熱があったり、おかしいと思う時に検査できて、陽性ならすぐに診察してもらえる所があると大変安心です。こういうところにこそ足立区の税金を使ってください。もっと区民の命や暮らしのために使ってください。
- ・コロナワクチン接種は他区よりも対応が早かったこと、予約システムや接種会場の多さなど足立区民でよかったと感じたひとつです。
- ・久しぶりにワクチンの接種に行きました際、職員の方が手際良く皆さんを誘導していただき、スムーズに注射を受けることができたことに感動しました。大変ご苦勞様でした。
- ・税金を払っているのにコロナにかかった時、食料物資が足りないと申請を断られた。家族全員かかっていたので大変だったし、同じ税金なのでもらえる人ともらえない人の差が出るのはおかしいと思った。

■生活保護・低所得者（17件）

- ・低所得者への支援をもう少し厚く希望します。非課税世帯、コロナ禍で本当に困っています。貸付では審査が通りません。どうか定期的な給付を考えて頂きたいです。
- ・低所得者に対して社会保険料等の負担を減らしてください。
- ・低所得者や生活保護受給者がとても多い。働くことが可能な人もそういった支援を利用して働かない人もいます。働ける人はまじめに働くべき。支援金を支給する場合もきちんとした見極めをお願いしたい。

■税金（16件）

- ・税金が高く感じます。子どもがいる世帯を支援する制度はたくさんありますが、子どもがいない世帯も苦しい思いをしている世帯もある事をわかって欲しいと思います。区民の全ての人の意見が活かされるのは難しいと思いますが、より良い足立区になるよう願っています。
- ・不満は特に無いが、税金の無駄遣いが無いように引続き対応願いたい。

■学校・教育（15件）

- ・新田学園の子どもが多く、また施設の不足で、体育やプールが十分できないと聞く。可哀想ではないか。1,500人は多すぎる。新校舎を作るべきだろう。
- ・小学校のIT対応が学校によって違っており差を感じる。
- ・子どもの無料塾を地域学習センター等で開催して欲しい。勉強を習えない環境にいるお子さんを支援して欲しいです。学力の向上する事で子どもの未来も明るくなり、区全体の向上にも繋がると思います。

■高齢者支援・介護（14件）

- ・近所付き合いが薄れ、災害時に孤独になりやすい。障がい者を抱える親が死んだ後の心配がある。養老院で安心して老後に預かってくれる施設がない。有料で心細い。700人待ちとか。安く入れる施設、特養老人ホームの新設を願う。

- ・高齢者の無料の講座を増やして欲しい。体力、脳活、手芸、工作等、高齢者になっても健康寿命を延ばせるように区が手助けして欲しいです。
- ・区民も高齢化していると思います。区内で感じるのは、駅につながる道でも、道にベンチ等休む所がない事です。都営のバスにはバス停に屋根やベンチが設置されていますが、東武バス停にはベンチの設置もない所が多く、高齢者にとって優しいとは感じられません。他区の高齢者の多い場所には、休む場所が多いと感じ、安心して外出ができると思う事があります。
- ・私の住んでいる場所は、高層マンションが多いので、人との繋がりがありません。空き地、空き家にお年寄りが気楽に寄れる、椅子、テーブルだけの家があったらいいなと思います。

■区イメージ (13件)

- ・今もまだ足立区のイメージが良くない。以前よりは民度は改善したかもしれませんが、相変わらずごみは落ちている。もう少し町並みに統一性があるときれいに見えるかも。足立区は特に広いので、全域を良くするのは難しいですが、せめて空き家(廃屋)や空き店舗は何とかした方がよい。
- ・他の区政や地方で行っている「良い事」はどんどん真似して欲しい。真似するにはどうしたら真似できるのか「考える力」と「行動力」が必要。23区の中でイメージが悪いので、もっとマスコミ等を利用し、良い部分を打ち出した方がよい。
- ・足立区のイメージは以前と比べたら、大幅に改善していると思われるが、いまだに23区最下位という感じは拭えない。更なる治安の向上と、働く場所としての足立区として、産業の振興にも力を入れて頂きたい。企業の誘致、イベントの開催など、他の区から人を呼べるものをお願いしたい。
- ・是非、DX推進を契機に足立区が先進区というブランドを立て、23区の中でトップになってください。そうすれば「治安が悪い、貧乏」と言われなくなると思います。

■その他の支援 (9件)

- ・とても平和、安全だと思う地域なので、特に意見することや要望なども思い浮かびません。ただF8(エリアデザインのゾーン・エリア)の「9その他」のように、いつも忘れ去られている、孤立している印象もあります。もし独り暮らしの高齢者の方が困った時、見守りやすぐに対応して下さるシステムがわかりやすい形で既にあると良いなと思います(母子家庭等も)。
- ・子育て世代や高齢者支援は充実してきていると思いますが、30~40代の今働いている世代の事も頭に入れて欲しいです。
- ・若年、老年問わず、独居者の不慮不測の困難な事態に対する日常的な支援や救済制度の整備を希望したい。

■資源環境・ごみ対策 (7件)

- ・道を歩いているとカラスによるごみ荒しや、襲ってくる時もあるので、カラス対策をして欲しい。
- ・ゴミが落ちている、害があるかはわからないが絡んで来る不審者が多いせいで汚く治安が悪く感じることがあるので改善してほしい。もちろん治安自体も向上してほしい。
- ・毎週土曜日に資源回収として空き缶、段ボール、古紙などを区の資源として出しているが、毎回、回収車の来る前に窃盗されており、一生懸命に貯めた努力が報われていない。

■医療・福祉 (7件)

- ・がん検診の無料化。PayPay等を活用しての還元サービス。以前住んでいた区にはがん検診も無料で複数日ありました。もっと手厚くして欲しいです。国民健康保険料が高い。
- ・足立区のはずれに位置するため、足立区に行っているサービスの恩恵を受けることがほとんどない。なので、葛飾区の情報の方が有効となっているが、サービスが限られるため非常に不便。

■障がい者支援（6件）

- ・知的障がい者の就労場所の確保や支援をお願いします。
- ・歩道の視覚障がい者用の黄色の印が冬の雪の降る頃、滑りやすい。本当に雪が降る度に怖い思いを何度もした事があります。

■住宅問題（空き家等）（5件）

- ・空き家の放置が気になっています。道路（特に歩道）のごみが多くて気になります。
- ・空き家が多過ぎて、雑草、木が放置されて、近所の家が害虫や枯葉の掃除で迷惑しています。足立区のルールを作って欲しいです。日本の法ではどうにもできず泣き寝入り。そんな足立区に未来はあるのでしょうか。
- ・住宅の環境整備を希望します。空き家、空き地の乱れた所に不安を感じます。特に通り沿いではない、路地に入った再建築のできない空き家（空き地）に不安を感じます。

■ひとり親世帯支援（4件）

- ・私は母子家庭で育ち、私達姉妹3人を母が苦勞して育ててくれました。そして私も同じ母子家庭で2人の子どもを育ててきました。足立区の子育て援助にどれ程助けて頂いたかわかりません。本当に感謝しています。子どもは宝です。今後も変わらず子どものための支援をお願いします。
- ・母子家庭にも住みやすい環境になればと思います。

■感謝・激励（31件）

- ・学力向上も願うところではありますが、豊かな発想力のある子ども達がたくさんいる足立区になるのも魅力的かとも思います。元気な高齢者と、稼げる中高年層と、楽しい子育て世帯と、アイデアマンの子ども達。もっと魅力のある足立区になることをささやかながら応援したいと思っています。
- ・区職員の皆様におかれましては業務多忙の中、平素より我々区民への丁寧な対応感謝致します。コロナ禍の状況で無理をなさらぬ様ご自愛ください。
- ・若い世代に魅力的なまちづくりと、高齢者も安心して住める愛と調和のまち足立区。そして50～60代も楽しめる、そんな足立区に。以前と比べたらすてきな足立区に変わったと感じています。

■その他（25件）

- ・公共施設のWi-Fiスポットを増やして欲しい。誰もがもっと手軽にインターネットに繋がられて、情報を得られるのが望ましいと思う。また、多くの区政サービスを可能な限りインターネット上で済ませられると便利だと思う。今回のアンケートもインターネットでの回答が出来て便利だった。
- ・自治会、町会や子ども会のあり方を時代に合ったものにして欲しい。少子化や高齢化、働き方の多様化に伴って昔のような活動（土・日や夜に集まるなど）は難しくなっている。
- ・大好きな花火大会が無くて、とても残念です。また、木曜日の開催にして欲しいです。

(7) 本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

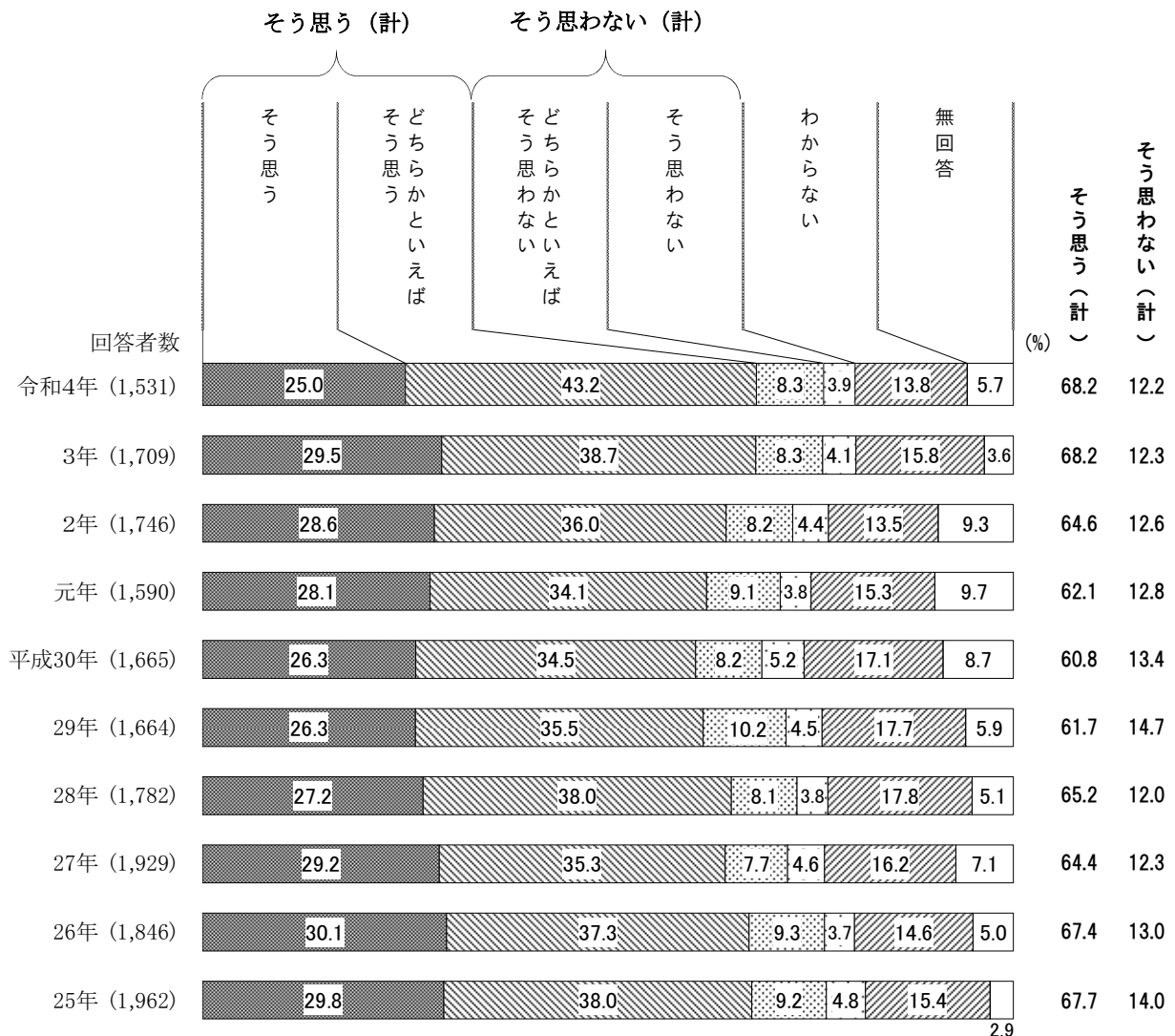
問56 多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後におうかがいします。
 今回の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか
 (〇は1つだけ)。

■【そう思う】は7割弱、【そう思わない】は1割強でも前に前回と変わらず

ア 単純集計・経年比較／本調査内容の区民ニーズ・意見把握に対する有効度

- (ア) 本調査の質問内容が、区民ニーズや意識を把握するうえで有効かを聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が43.2%で最も高く、次いで、「そう思う」が25.0%となっている。これらを合わせた【そう思う】は7割弱となっている。
- (イ) 本調査内容の区民ニーズや意識を把握するうえで有効かどうかについて、「どちらかといえばそう思わない」(8.3%)と「そう思わない」(3.9%)を合わせた【そう思わない】は1割強となっている。
- (ウ) 経年でみると、【そう思う】は前回と大きな違いはみられない。

図11-7-1 経年比較／本調査内容の区民ニーズ・意見把握に対する有効度

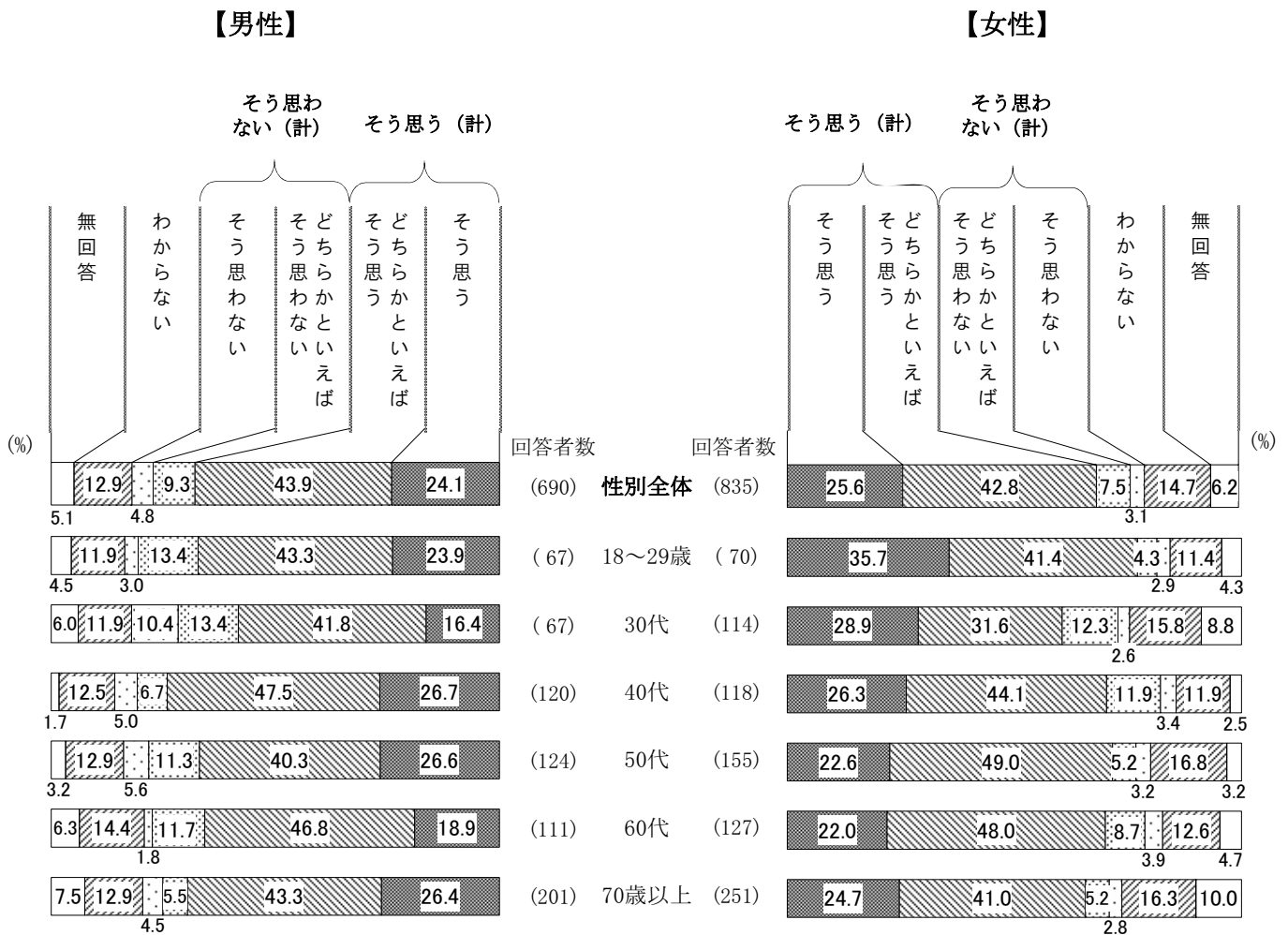


イ クロス集計・性別、性・年代別／本調査内容の区民ニーズ・意見把握に対する有効度

(ア) 性別でみると、【そう思う】では違いはないが、【そう思わない】は男性（14.1%）の方が女性（10.7%）より3.4ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【そう思う】は、女性の18～29歳で77.1%と最も高く、次いで男性の40代が74.5%で続いている。一方、【そう思わない】は男性の30代で23.9%と最も高くなっている。

図11-7-2 性別、性・年代別／本調査内容の区民ニーズ・意見把握に対する有効度



第4章 使用した調査票

令和4年度（第51回）足立区政に関する世論調査

ご回答にあたってのお願い

- 1 調査の回答は、あて名のご本人がご記入くださるようお願いいたします。
- 2 ご本人がひとりで回答することが難しい場合は、ご家族など、身近な方に代理で回答していただいても構いません。その場合は、ご本人の意思を確認しながら、ご回答ください。
- 3 ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



[調査主体] 足立区 政策経営部 区政情報課 区政情報係
足立区中央本町1-17-1

[お問合せ先] お問い合わせコール あだち
03-3880-0039

(受付時間：午前8時～午後8時／1月1日から3日を除く毎日)

[調査受託機関] 株式会社 サーベイ リサーチ センター

この調査は、《インターネットによる回答》と《郵送による回答》の2通りの回答ができます。
どちらかの方法により**令和4年9月8日（木）まで**にご回答ください。

1 インターネットによる回答

①調査回答サイトにアクセスする

下記のURL又はQRコードにより、調査回答サイトにアクセスします。

<https://en.surece.co.jp/2022adachi>



②ログイン・回答する

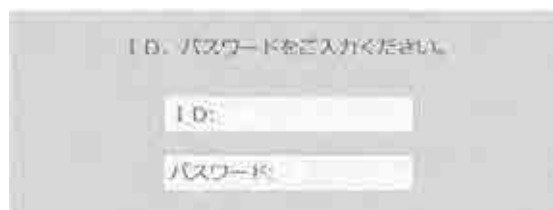
調査回答サイトのログイン画面で、下記の回答用「ID」と「パスワード」を入力し、回答を開始してください。

あなたの回答用

「ID」・「パスワード」

ID : ●●●●

パスワード : _____



回答に関するご注意

- 回答は途中保存が可能です。中断される場合はそのまま画面を閉じてください。最後に「次へ」ボタンを押したページまでの回答が保存されています。再開する場合は回答用ページへ再度アクセスし、ログインしてください。
- 前の設問に戻るには各ページに設置されている「戻る」ボタンを押してください（※回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください）。
- 60分以内に「戻る」ボタン又は「次へ」ボタンを最低1回は押すようにしてください（※時間内にボタンを押さないと、自動的にログアウトされます）。
- JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。
- 回答は1回限りです。回答を送信されるとその後の修正はできませんのでご注意ください。

2 郵送による回答

- ①調査票にご記入の際は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- ②お答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
- ③質問によっては、回答していただく方や○をつける数を指定しておりますので、()内のことわり書きをよくお読みください。
- ④「その他」にあてはまる場合は、()内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- ⑤調査票と返信用封筒には、ご住所・お名前をご記入いただく必要はありませんので、記入なさらないようお願いします。
- ⑥お聞かせいただいたご意見は、すべて個人が特定できないよう統計的に処理します。お名前や個別のご意見の内容などがそのまま公表されることは決してありませんので、ぜひとも率直なご意見をお聞かせください。

ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、ご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

※ 調査票内の集計母数について
特にサンプル数表記のない設問は、全数ベース（回答者数1,531）で集計しており、母数の記載を割愛した。一部の該当設問については、設問ごとに回答者数を表記した。

これからお聞きすることは、お答えいただく内容を統計的に分類するための質問です

F 1 あなたの性別は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

1	男性	45.1%	2	女性	54.5	3	どちらでもない	0.3	無回答	0.1
---	----	-------	---	----	------	---	---------	-----	-----	-----

F 2 あなたは、何歳ですか（○は1つだけ）。

1	20歳未満	1.0%	6	40～44歳	7.4	11	65～69歳	7.5
2	20～24歳	3.1	7	45～49歳	8.2	12	70～79歳	18.9
3	25～29歳	5.0	8	50～54歳	9.5	13	80歳以上	10.7
4	30～34歳	5.6	9	55～59歳	8.7		無回答	0.1
5	35～39歳	6.3	10	60～64歳	8.0			

F 3 あなたは、足立区に住んで何年になりますか（○は1つだけ）。

1	1年未満	3.3%	3	3～5年未満	5.0	5	10～20年未満	13.1
2	1～3年未満	4.9	4	5～10年未満	7.2	6	20年以上	65.9
							無回答	0.6

F 4 あなたのお住まい（住居）は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

1	一戸建て持家	41.4%	6	社宅・公務員住宅・寮	1.0
2	一戸建て借家	1.4	7	間借り・住み込み	0.5
3	分譲マンション	21.8	8	その他	1.0
4	賃貸マンション・アパート	21.4		無回答	0.6
5	都市再生機構（旧公団）・公社 ・都営住宅・区営住宅	11.0			

F 5 あなたの職業は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

1	自営業・事業主	9.3%	5	主に家事に従事（専業主婦など）	11.6
2	自由業 （開業医、弁護士、芸術家など）	0.4	6	学生	2.4
3	会社員・公務員	34.8	7	無職（年金生活を含む）	22.6
4	パート・アルバイト	15.8	8	その他	1.4
				無回答	1.7

(F5で「1」～「4」または「6」か「8」とお答えの方に)

F5-1 あなたの就労場所（就学場所）は、次のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

回答者数982

1 自宅	8.6%	4 23区以外の東京	2.3
2 足立区内	32.0	5 茨城、神奈川、埼玉、千葉	9.3
3 足立区外の東京22区	44.7	6 その他	1.6
		無回答	1.5

F6 現在、あなたと一緒に暮らしている方はどなたですか（○はあてはまるものすべて）。

1 ひとり暮らし	18.9%	4 祖父・祖母	1.1	7 兄弟・姉妹	6.0
2 配偶者	56.2	5 子ども	38.9	8 その他	2.7
3 父・母	15.0	6 孫	2.7	無回答	2.0

F7 あなたご自身は、次の1から12のどれにあたりますか（○は1つだけ）。

※「子ども」は同居・別居を問いません。

◎ 独身で子どもがいない	1	25.1%
◎ 離別・死別などにより配偶者はいないが子どもがいる		
一番上の子どもが小学校入学前	2	0.1
一番上の子どもが小学生	3	0.3
一番上の子どもが中学生	4	0.4
一番上の子どもが高校・大学生	5	1.4
一番上の子どもが学校卒業	6	8.1
◎ 配偶者がいて子どもがいない	7	13.0
◎ 配偶者がいて子どもがいる		
一番上の子どもが小学校入学前	8	4.8
一番上の子どもが小学生	9	4.6
一番上の子どもが中学生	10	2.2
一番上の子どもが高校・大学生	11	4.4
一番上の子どもが学校卒業	12	24.8
無回答		10.8

F8 足立区では、「綾瀬」「北綾瀬」「六町」「江北」「花畑」「千住」「竹の塚」「西新井・梅島」のゾーン・エリアにおいて、新しいまちづくりを進めています。あなたのお住まいは、下段枠内の1～9の選択肢のうち、どの範囲に入っていますか（〇は1つだけ）。

1	綾瀬ゾーン（綾瀬1～7、東和1・3、東綾瀬1～3）	7.4%
2	北綾瀬ゾーン（加平1～3、谷中1～4、大谷田4、東和5）	4.4
3	六町エリア（西加平1～2、一ツ家2～4、六町1～4、保塚町、南花畑1～3、北加平町、神明南1）	4.3
4	江北エリア（江北1～7、椿1～2、堀之内1～2、西新井7、西新井本町2、扇3）	5.6
5	花畑エリア（花畑1～7、保木間4～5）	3.2
6	千住エリア（千住関屋町、千住曙町、千住東1～2、千住旭町、柳原1～2、日ノ出町、千住橋戸町、千住河原町、千住仲町、千住緑町1～3、千住宮元町、千住中居町、千住龍田町、千住桜木1～2、千住1～5、千住大川町、千住寿町、千住元町、千住柳町）	10.8
7	竹の塚エリア（竹の塚1～7、西竹の塚1～2、六月1～3、栗原2・4、西保木間1～4、伊興1～5、伊興本町1～2、東伊興1～4）	10.3
8	西新井・梅島エリア（梅島1～3、梅田5～8、西新井栄町1～2、関原3、島根3、栗原1・3）	9.9
9	その他（お住まいの町丁が1～8のゾーン・エリア以外の場合）	42.7
	無回答	1.3
※ 町丁名の後の数字は丁目を表しています。		

お住まいの地域について、おうかがいします

問1 あなたは、お住まいの地域について、どのように感じていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思 わない	わか らない	無回答
ア 自転車利用者の交通ルール、 走行マナーが良いと感じる	7.2%	25.9	27.0	32.7	3.1	4.0
イ 快適で安全なまちである	10.7	52.4	21.5	9.9	2.2	3.3
ウ 景観・街並みが良好である	9.4	44.0	25.0	14.7	3.0	4.0
エ まちなかの花や緑が多い	16.5	44.4	22.3	11.2	2.3	3.3
オ ごみがなく地域がきれいになったと 感じる	12.5	47.4	20.4	12.3	4.2	3.2
カ 不法投棄が減少したと感じる	12.7	40.6	18.7	11.6	13.1	3.3
キ 落書きが減少したと感じる	23.6	46.0	9.1	2.8	15.3	3.2
ク 普段の買い物が便利である	39.9	39.3	10.8	6.7	0.6	2.8
ケ 通勤や通学などの交通の便が良い	32.2	39.0	13.7	9.1	2.7	3.4
コ よく行く、または行きたい公園がある	20.8	30.4	19.1	16.9	9.3	3.5
サ 子育て環境（保育所、学童クラブな ど）が整っている	12.5	34.8	11.5	3.6	33.2	4.3
シ 子どもたちが文化芸術を楽しめるま ちである	4.2	22.2	24.8	11.4	33.4	4.0
ス 地域の施設（建物や道路など）は、高 齢者や障がいのある方なども利用し やすいよう配慮されている	6.6	32.1	24.2	11.8	21.9	3.5
セ 地域の人々が、日常生活で高齢者や 障がいのある方などに配慮している	5.8	29.1	26.4	10.3	25.1	3.3
ソ 男女が対等な立場で意思表示や活動 ができ、また責任も分かちあっている	4.0	25.9	20.8	9.6	35.8	4.0
タ 国籍、文化などが異なる人々がとも に暮らしやすいまちである	5.7	34.5	18.0	7.9	30.1	3.7
チ 文化芸術に親しめるまちである	3.7	19.3	27.0	16.7	29.5	3.9
ツ 人権課題である「障がい者」「子ど も」「女性」「インターネットによる 人権侵害」について、偏見や差別がな い	5.3	23.2	18.6	10.1	39.3	3.5

問2 問1を踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じていますか（〇は1つだけ）。

1 暮らしやすい	29.0%	3 どちらかといえば暮らしにくい	10.8
2 どちらかといえば暮らしやすい	55.3	4 暮らしにくい	1.4
		無回答	3.5

（問2で「3 どちらかといえば暮らしにくい」または「4 暮らしにくい」とお答えの方に）

問2-1 特に暮らしにくいと感じることは何ですか（〇は3つまで）。 回答者数187

1 住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと	47.6%
2 地域の間人間関係が希薄なこと	22.5
3 治安が良くないこと	26.2
4 自然が少ないこと	11.8
5 災害対策が不十分なこと	15.5
6 交通の便が悪いこと	41.2
7 職場や学校から遠いこと	6.4
8 買い物がしにくいこと	33.2
9 子育て環境が悪いこと	2.7
10 教育環境が整っていないこと	5.3
11 家の広さなどの居住環境が悪いこと	10.2
12 公共施設や介護・医療施設が不十分なこと	24.6
13 行政のサービスが良くないこと	11.2
14 その他	6.4
無回答	0.0

問3 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか（〇は1つだけ）。

1 ずっと住み続けたい	35.1%	3 区外に転出したい	5.5
2 当分は住み続けたい	45.2	4 わからない	11.7
		無回答	2.5

大震災などの災害に備えていることについて、おうかがいします

問4 あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料などの備蓄や防災用具などの用意をしていますか（○は1つだけ）。

1 災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している	24.1%
2 特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある	47.9
3 特に用意していない ⇒次ページの間4-2へお進みください	24.2
無回答	3.8

（問4で「1 災害に備えて～」または「2 特に災害対策としてでは～」とお答えの方に）

問4-1 備蓄や防災用具、買い置きなどの内容を教えてください

（○はあてはまるものすべて）。回答者数1,103

1 水	91.4%	10 消火器	22.1
2 食料（缶詰、アルファーマイ、インスタント食品など）	90.0	11 ペット対策用品（ケージ、エサなど）	12.3
3 あかり（ろうそく、懐中電灯など）	79.9	12 水の確保用品（ポリタンク、水袋など）	29.1
4 情報収集手段（携帯ラジオなど）	50.5	13 救助用工具（バール、ハンマーなど）	12.7
5 医薬品（常備薬を含む）	50.4	14 ヘルメット	18.4
6 衣類	31.7	15 救急セット	27.6
7 生理用品	24.2	16 避難ロープ	6.5
8 簡易トイレ	33.8	17 防災袋（非常用持出袋）	33.5
9 電池・予備バッテリー	55.5	18 その他	2.6
		無回答	0.8

（問4-1で「1 水」または「2 食料」とお答えの方に）

問4-1-1 あなたのご家庭では、「水」と「食料」の備蓄の量はどれくらいありますか。「水」「食料」いずれかの備蓄がない場合は、その項目についての回答は不要です（○はそれぞれ1つずつ）。

※ 水は大人1人1日3リットルで計算。水、食料は日常の買い置きなどを含みます。

ア 水 回答者数1,008 / イ 食料 回答者数993

	1週間分以上	3日以上 1週間分未満	1日以上 3日分未満	1日分程度	1日分未満	無回答
ア 水	15.1%	30.7	39.5	10.1	4.0	0.7
イ 食料	9.5	36.0	43.9	8.1	1.8	0.8

(問4で「3 特に用意していない」とお答えの方に)

問4-2 災害が発生した場合、水や食料をどのようにして確保するつもりですか

(〇は1つだけ)。回答者数370

1 知人、親戚からもらう	3.5%	4 通常どおりスーパーなどで購入する	28.1
2 区役所からもらう	2.4	5 その他	7.6
3 避難所でもらう	24.1	6 考えていない	33.0
		無回答	1.4

ここから再び、すべての方におうかがいします

問5 あなたのご家庭では、つっぱり棒や壁止め金具などにより家具類(※)の転倒・落下・移動防止対策を行っていますか(〇は1つだけ)。

※ 家具類とは、タンス、食器棚、冷蔵庫、電子レンジ、ピアノ、本棚、テレビ、パソコン機器などを指します。

1 すべての家具類に対策を行っている	4.9%	3 対策をしている家具類は少ない	34.9
2 対策をしている家具類が多い	24.0	4 対策を行っていない	31.1
		無回答	5.1

(問5で「3 対策をしている家具類は少ない」または「4 対策を行っていない」とお答えの方に)

問5-1 どのような理由からですか(〇はあてはまるものすべて)。

回答者数1,011

1 方法がわからない	11.1%
2 金具などが高価である	8.3
3 家具にキズをつけたくない	9.0
4 建物の壁にキズをつけたくない	23.4
5 建物に取り付ける場所がない	13.6
6 室内に危険性のある家具類がないため不要である	28.0
7 面倒である	28.9
8 手が届かないなど、手助けがないと取り付けができない	12.1
9 地震で家具が倒れたり移動するとは思わない	4.5
10 (賃貸のため)勝手に取り付けられない	19.5
11 その他	6.1
無回答	2.0

第4章 使用した調査票

問6 大震災などで大規模な災害が発生した場合に、危険から身を守る、以下のア～ウのあなたの地域の避難場所とその意味を知っていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

		知っている	なんとなく見当がつく	知らない	無回答
ア 一時集合場所	意味	29.1%	32.2	22.1	16.6
	あなたの地域の場所	33.1	32.6	22.5	11.9
イ 避難場所	意味	32.6	32.7	17.0	17.6
	あなたの地域の場所	36.7	33.4	18.6	11.3
ウ 第一次避難所	意味	21.0	29.0	31.2	18.8
	あなたの地域の場所	23.1	29.1	34.3	13.6

（問6のいずれかで「1 知っている」とお答えの方に）

問6-1 それぞれの避難場所をどのように知りましたか（〇はあてはまるものすべて）。

回答者数741

1	あだち広報	30.5%
2	インターネット（区のホームページ、A-メール、ツイッター、フェイスブック）	11.6
3	足立区防災アプリ	21.2
4	あだち防災マップ&ガイド	51.8
5	公園などに設置している表示板・標識	27.3
6	ポスター、チラシ	3.4
7	区が配布した資料	25.9
8	町会・自治会の掲示板・回覧板	19.7
9	新聞（区内紙）	2.0
10	J:COM足立（ケーブルテレビ）	1.2
11	防災訓練	10.1
12	人から聞いた	9.2
13	その他	2.3
14	覚えていない	4.0
	無回答	1.3

問7 大規模な災害が発生し家屋の倒壊などにより自宅で生活できない場合、どこで生活しようと考えていますか（〇は1つだけ）。

1	避難所	48.6%	4	車や公園など	7.0
2	別居している家族や親戚の家	26.1	5	その他	2.6
3	友人・知人などの家	2.8	6	覚えていない	9.9
				無回答	2.9

問8 あなたが、大地震の際の防災対策として、足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか（〇は5つまで）。

※ 災害時における要配慮者とは、高齢者、障がい者、外国人、難病患者、乳幼児、妊産婦など、災害発生時に避難行動を取る際や、避難所における生活などにおいて、特に配慮を要する方々を指します。

1	町会・自治会などへの地域の防災力向上に係る支援	21.6%
2	子どもへの防災教育の充実	9.5
3	講演会などによる普及啓発や区主催の訓練	2.7
4	耐震診断・耐震改修事業などの促進	15.3
5	木造密集地域など災害危険箇所の解消	12.3
6	ライフラインやエネルギーの確保	59.0
7	関係機関・他自治体などとの応援体制の充実	9.9
8	災害に関する情報提供体制の充実	22.3
9	災害時医療体制の充実	40.1
10	帰宅困難者対策	17.2
11	避難所の管理運営体制の充実	20.2
12	避難所施設の設備などの充実	38.7
13	災害時における要配慮者（※）対策の充実	11.0
14	女性の視点に立った防災対策	14.9
15	災害時のペット対策	14.0
16	水・食料の備蓄の充実	56.4
17	非常用トイレの確保など衛生対策の充実	58.9
18	その他	1.0
19	特になし	1.6
	無回答	2.8

洪水対策について、おうかがいします

足立区は低地で平らな土地であるため、台風などの大雨により河川がはん濫すると、最大で5mの浸水被害が起こる可能性があります。

問9 あなたは、足立区が発行（区のホームページにも掲載）している「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」を見たことがありますか（〇は1つだけ）。

1	見て、自宅の浸水深を確認した	33.3%	4	そのような地図は見たことがない	7.1
2	見て、内容は確認した	23.9		無回答	2.7
3	見たが、内容までは覚えていない	32.9			

第4章 使用した調査票

問10 あなたは、河川がはん濫する恐れがある場合、避難する場所を事前に決めていますか
(〇は1つだけ)。

1 決めている (自宅にとどまる場合も含む) 71.7%	2 決めていない 24.4%	⇒ 下段の問10-2へ お進みください
	無回答 3.9	

(問10で「1 決めている (自宅にとどまる場合も含む)」とお答えの方に)

問10-1 あなたが、避難する場所はどこですか (〇は1つだけ)。回答者数1,098

1 自宅にとどまる (自宅内の高い階への移動を含む) 64.2%	5 車や公共交通機関で浸水 しない地域へ行く 1.5
2 区内の親戚や知人の家 3.7	6 近くにある高い建物 5.9
3 区外の親戚や知人の家 3.6	7 その他 0.6
4 近隣の小・中学校など区が 開設する水害時の避難所 20.1	無回答 0.3

(問10で「2 決めていない」とお答えの方に)

問10-2 避難する場所を決めていない理由はなんですか (〇は1つだけ)。回答者数374

1 避難する場所がわからないから 45.5%	4 河川のはん濫は起こらない と思っているから 16.3
2 近くに避難できる場所がないから 18.2	5 その他 12.3
3 自分や家族だけで避難することが できないから 6.7	無回答 1.1

ここから再び、すべての方におうかがいします

問 11 河川がはん濫して、浸水被害になるような大洪水が迫っている場合、以下のア~カまでの
情報を知ったとき、あなたは避難しますか (自宅内の高い場所への移動も含む)

(〇はそれぞれ1つずつ)。

	避難する	避難しない	わからない	無回答
ア 数時間後に暴風雨で外出できなくなると 見込まれたとき	24.8%	52.6	13.5	9.1
イ 近所の人が避難をしているのを見たとき	38.3	28.1	23.2	10.5
ウ 足立区に大雨・洪水警報が出たとき	22.7	51.1	16.3	9.8
エ 区から高齢者等避難が発令されたとき	31.7	44.3	15.2	8.8
オ 区から避難指示が発令されたとき	65.1	14.3	11.7	8.9
カ 自宅付近が浸水したとき	60.7	17.4	11.9	9.9

区の情報発信のあり方について、おうかがいします

足立区では、あだち広報やホームページ、メール配信システム(A-メール)のほか、公式LINEやツイッター、フェイスブックなど、様々な方法で区の情報を発信しています。

問12 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか

(〇はあてはまるものすべて)。

1	あだち広報	67.1%	10	区民事務所などの窓口	5.2
2	トキメキ	29.4	11	町会・自治会の掲示板・回覧板	25.1
3	区のホームページ	25.7	12	新聞(区内紙、一般紙)	11.0
4	A-メール	16.4	13	テレビ、ラジオ	20.2
5	ツイッター	5.0	14	J:COM足立(ケーブルテレビ)	5.9
6	フェイスブック	1.6	15	人から聞く	11.4
7	足立区LINE公式アカウント	7.4	16	防災無線	12.3
8	ポスター、チラシ	12.2	17	その他	1.1
9	行政サービス案内	5.5	18	特に入手していない	8.9
				無回答	3.4

問13 あなたは、区が発信するどのような情報が重要だと考えていますか

(〇はあてはまるものすべて)。

1	財政状況や予算などに関する情報	23.8%
2	国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報	52.5
3	健診や生活支援など健康や福祉に関する情報	60.2
4	出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報	21.1
5	イベントやスポーツ施設、図書館など生涯学習や余暇活動に関する情報	22.6
6	災害や気象に関する情報	58.6
7	光化学スモッグや大気測定などの測定値情報	15.5
8	ごみ・リサイクルなど環境に関する情報	46.2
9	その他	1.6
10	特になし	6.1
	無回答	4.6

問14 あなたは、必要なときに必要とする区の情報を得られていますか（〇は1つだけ）。

1 十分に得られている	5.9%	5 必要と思ったことがない	5.8
2 ある程度得られている	69.2	6 区の情報に関心がない	3.5
3 得られないことが多い	9.4	無回答	4.7
4 まったく得られない	1.4		

↓
問14-1、2へお進みください

※ 問14で、選択肢の「1」「2」「5」「6」のいずれかに〇のついた方は、
次ページの「健康について」にお進みください。

（問14で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に）
問14-1 主にどのような理由からですか（〇は1つだけ）。 回答者数166

1 情報が探しにくい	36.7%	4 情報の内容がわかりにくい	17.5
2 情報の探し方がわからない	23.5	5 情報量が少ない	7.8
3 情報伝達が遅い	5.4	6 その他	4.2
		無回答	4.8

（同様に、問14で「3 得られないことが多い」または「4 まったく得られない」とお答えの方に）

問14-2 問14-1の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

あだち広報	
区ホームページ	
その他	

健康について、おうかがいします

足立区では、患者数が多く、重症になると生活の質が低下してしまう糖尿病対策に、重点的に取り組んでいます。

問15 あなたは、「あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～（※）」を知っていますか（○は1つだけ）。

※ 糖尿病予防や糖尿病の悪化防止のために「野菜から食べる」「野菜をよくかんで食べる」ことを推進する足立区のキャッチフレーズです。



1 内容まで知っている	12.3%	3 知らない（初めて聞いた）	54.9
2 詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある	29.3	無回答	3.5

問16 初期の糖尿病には自覚症状がありませんが、糖尿病が進行するとあらわれる病気や障がいの中で、あなたが知っているものはどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1 神経障がい （手足のしびれ）	29.1%	5 脳梗塞 ^{こうそく}	26.6	10 足の壊疽 ^{えそ}	58.2
2 網膜症	25.2	6 心筋梗塞 ^{こうそく}	26.7	11 その他	0.8
3 白内障	23.8	7 口の渇き	45.5	12 ひとつも知らない	8.0
4 腎不全	34.7	8 人工透析	46.2	無回答	3.9
		9 失明	60.2		

問17 野菜から食べることは、糖尿病予防に効果がありますが、あなたは、野菜から食べていますか（○は1つだけ）。

※ 糖尿病が進行して起こる様々な合併症は、食後に血糖値が急上昇し、血管を傷つけることが原因で起こります。このような血糖値の急上昇を抑えるためには、食事の最初に野菜をよくかんで食べるのが効果的です。

1 食べている	67.1%	3 わからない	7.3
2 食べていない	22.7	無回答	2.9

問18 1日の野菜摂取量の目標は350g以上（調理前の生の状態）です。あなたは、毎日350g以上の野菜が摂取できていますか（○は1つだけ）。

※ 野菜350gとは、1例をあげると、レタス1枚、きゅうり1本、プチトマト2個、にんじん1/2本、たまねぎ1/2個の合計に相当する量です。

1 できている	9.9%	3 あまりできていない	34.9	5 わからない	4.2
2 だいたいできている	33.0	4 できていない	15.0	無回答	2.9

第4章 使用した調査票

問19 あなたの体調や習慣、身近な医療機関についてお答えください（〇はそれぞれ1つずつ）。

	あてはまる	あてはまらない	無回答
ア 疲れているのに寝付けない、途中で目が覚める、朝早く起きてしまうことが2週間以上続くことがある	26.4%	67.8	5.8
イ 習慣的にタバコを吸っている	17.6	75.4	6.9
ウ 安心して受診できる医療機関が身近にある	66.3	29.8	3.9

問20 あなた自身が健康維持のために実行している、または心がけているものをお答えください（〇はあてはまるものすべて）。

1 毎年健康診断を受けている	63.7%
2 がん検診を定期的を受けている	19.7
3 毎日朝ごはんを食べている	63.7
4 毎食、野菜料理（サラダ、お浸し、野菜の煮物、野菜炒め、具たくさん味噌汁など）を食べるようにしている	43.5
5 主食、主菜、副菜をそろえて食べるようにしている	39.5
6 食品の表示（栄養成分表示など）を見て購入している	19.1
7 日ごろ、健康のために適度に運動（スポーツを含む）をするか身体を動かしている	38.7
8 その他	1.9
9 特にない	7.1
無回答	2.1

問21 あなたは普段、ご自分のことを健康だと感じていますか（〇は1つだけ）。

1 非常に健康だと思う	4.3%	3 あまり健康ではない	25.2
2 健康な方だと思う	62.7	4 健康ではない	5.6
		無回答	2.2

問22 あなたは、この一年間で、何らかのがん検診を受けましたか（〇は1つだけ）。

1 受けた	37.0%	3 その他	0.4	無回答	2.9
2 受けていない	58.5	4 わからない	1.1		

→（問22で「1 受けた」とお答えの方に）

回答者数567

問22-1 あなたが受けたがん検診は以下のどれですか（〇はあてはまるものすべて）。

1 胃がん検診	37.6%	5 乳がん検診	36.3
2 肺がん検診	19.4	6 前立腺がん検診	9.2
3 大腸がん検診	49.0	7 その他	4.2
4 子宮頸がん検診	32.6	無回答	0.4

問23 あなたは、かかりつけ歯科医院を決めていますか（〇は1つだけ）。

1 決めている	64.5%	2 決めていない	32.5	無回答	3.1
---------	-------	----------	------	-----	-----

→（問23で「1 決めている」とお答えの方に）

問23-1 その歯科医院では、むし歯・歯周病の治療や入れ歯の作製・修理などのほかに受けているものはありますか（〇はあてはまるものすべて）。

回答者数987

1 定期健診（年1回以上）	47.5%	4 その他	2.4
2 歯石除去・歯面清掃	63.3	5 特になし	22.3
3 歯みがき指導	18.9	無回答	1.5

問24 あなたは、帰宅時に感染症予防として手洗いを実践していますか（〇は1つだけ）。

1 毎日（毎回）行っている	85.2%	3 あまり行っていない	3.1
2 ときどき行っている	8.2	4 行っていない	1.4
		無回答	2.1

問25 あなたは、「ゲートキーパー（※）」という言葉を知っていますか（〇は1つだけ）。

※「ゲートキーパー」とは、自殺のサインに気づき、適切な相談機関へつなぐ「いのちの門番」のことです。

1 内容まで知っている	2.6%	3 知らない （初めて聞いた）	80.1
2 詳しくは知らないが、 言葉は聞いたことがある	15.0	無回答	2.3

スポーツ・読書について おうかがいします

問26 あなたは日常的に、どの程度運動・スポーツを行っていますか（〇は1つだけ）。

※ ルールにもとづいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングや気分転換に行う軽い体操、自然に親しむハイキング、介護予防のためのトレーニングなど、目的をもった身体活動の全てを含みます。

1	30分以上の運動を週2回以上	20.3%	6	運動・スポーツはしていない	39.1
2	週2回以上（時間は問わない）	13.4	⇒ 問26-3へお進みください		
3	週1回程度（時間は問わない）	11.4	無回答		3.9
4	月1回～3回程度（時間は問わない）	7.5			
5	年に数回（時間は問わない）	4.4			

（問26で1～5のいずれかをお答えの方に）

問26-1 あなたが最近、継続的に行っている運動・スポーツは何ですか
（〇はあてはまるものすべて）。回答者数873

1	野球・ソフトボール	2.9%	14	健康体操（エアロビクス・リズム体操・ストレッチなど）	21.2
2	サッカー・フットサル	1.9	15	ラジオ体操	11.0
3	バスケットボール	0.3	16	武道（柔道・剣道・空手など）	1.3
4	バレーボール	1.3	17	ダンス	3.0
5	ビーチボールバレー	0.7	18	水泳・水中運動（ウォーキングなど）	5.0
6	テニス	1.9	19	登山・ハイキング	4.1
7	ファミリーテニス	0.6	20	陸上競技	0.1
8	バドミントン	1.3	21	ウォーキング	45.7
9	卓球	1.4	22	ジョギング・マラソン	6.8
10	ゴルフ	7.7	23	サイクリング	9.4
11	ゲートボール・ グラウンドゴルフ	0.7	24	太極拳、ヨーガ	4.2
12	ボウリング	1.3	25	パラスポーツ	—
13	筋力トレーニング	21.3	(パラリンピック種目に限らない)		
			26	その他	5.8
				無回答	0.7

（同様に、問26で1～5のいずれかをお答えの方に）

回答者数873

問26-2 あなたは、どこで運動・スポーツを行うことが最も多いですか（〇は1つだけ）。

1	自宅	18.7%	4	職場及び職場周辺（区外）	3.9
2	自宅周辺	43.5	5	その他の場所（区内）	10.7
3	職場及び職場周辺（区内）	2.9	6	その他の場所（区外）	10.3
				無回答	10.1

(問26で「6 運動・スポーツはしていない」とお答えの方に)

問26-3 あなたは、どのようなきっかけがあれば、運動・スポーツを行いたいと思いますか
(○はあてはまるものすべて)。回答者数599

1	手頃な価格で施設を利用できる	28.9%
2	身近な場所で運動・スポーツができる	36.2
3	早朝や夜間にも施設が利用できる	13.0
4	一緒に運動・スポーツできる仲間と出会える	18.2
5	レベルを気にせず参加できる機会がある	22.7
6	運動・スポーツの楽しみ方・やり方を教えてもらえる	9.2
7	運動・スポーツできる場所や機会についての情報が得やすい	10.4
8	プロの試合や国際大会を観戦する機会がある	1.8
9	トップアスリートと交流する機会がある	0.8
10	託児サービスなど子どもの面倒を見てもらえる	3.7
11	その他	9.5
12	どのようなきっかけがあっても運動・スポーツを行う気はない	13.2
13	わからない	21.9
	無回答	2.8

ここから再び、すべての方におうかがいします

問27 次の活動のうち、過去1年間にあなたが関わった運動・スポーツを支える活動はありますか (○はあてはまるものすべて)。

1	運動・スポーツの指導	2.7%
2	スポーツの審判	0.8
3	教室・大会・イベントの運営や世話	1.8
4	自身やあなたのお子さんが所属するクラブ・団体の運営や世話	2.0
5	大会やイベント会場での選手やチームの応援	2.8
6	クラブ・団体や大会・イベントへの寄附	0.5
7	スポーツの指導や審判などに関わる講習会・研修会への参加	0.8
8	パラスポーツ競技者のサポート (移動介助を含む)	—
9	その他	0.6
10	活動したかったが、する機会がなかった	7.1
11	活動しなかった	76.6
	無回答	8.2

次ページの間27-1へお進みください

第4章 使用した調査票

(問27で「10 活動したかったが～」または「11 活動しなかった」とお答えの方に)

問27-1 あなたが運動・スポーツを支える活動をしなかった理由は何ですか

(〇はあてはまるものすべて)。回答者数1,282

1	新型コロナウイルスの影響	30.3%	9	技術や資格がないとできないと 思うから	6.9
2	仲間や一緒に参加する人がいないから	15.1	10	運動・スポーツが嫌いだから	6.1
3	一人でも活動できる場がないから	7.6	11	有償の活動が少ないから	0.4
4	子どもに手がかかるから	5.2	12	面倒くさいから	17.8
5	病気やけがをしているから	6.9	13	運動・スポーツ以上に大切なことが あるから	6.6
6	年をとったから	18.0	14	その他	7.3
7	興味のある競技がないから	7.3	15	特に理由はない	25.0
8	お金に余裕がないから	12.8		無回答	1.4

問28 足立区の温水プールは65歳以上、その他のスポーツ施設は70歳以上の区民（高齢者）は無料で使用できます。

この高齢者免除制度について、あなたの考えに最も近いものはどれですか（〇は1つだけ）。

1	高齢者も施設使用料は全額負担するべき	4.9%	5	現行のまま継続するべき	43.3
2	高齢者も施設使用料は半額など一部を 負担するべき	13.9	6	その他	1.9
3	適用される年齢を引き上げるべき	2.2	7	わからない	17.8
4	所得制限を設定するべき	10.0		無回答	6.0

問29 あなたは、最近1か月間において、次のことをしたことはありますか。あなたの行動にあてはまるものを選んでください（〇はあてはまるものすべて）。

※ ここでいう「本」「漫画（アニメ）」「雑誌」には、スマートフォンやパソコンなどで読む電子書籍も含まれます。いずれも最後まで読み切っていなくてもかまいません。

※ 「新聞」には、電子版、オンライン上の新聞記事を読むことも含まれます。

※ ただし、学校の課題図書、授業で読んだ本や教科書は含まれません。

1	本を読む	45.1%		
2	漫画（アニメ）を読む	31.3		
3	雑誌を読む	37.0		
4	新聞を読む	43.2		
5	図書館に行く	12.5		
6	書店・古書店に行く	29.1		
7	本などの通販サイトをみる	17.7		
8	1～7のことをしたかったが、できなかった	1.3	⇒	理由を問29-1でお答えください
9	1～7のことはいずれもしなかった	11.6	⇒	理由を問29-1でお答えください
	無回答	4.8		

(問29で「8 1～7のことをしなかったが、できなかった」または「9 1～7のことはいずれもしなかった」とお答えの方に)

問29-1 あなたが「できなかった」または「しなかった」理由はなんですか

(○はあてはまるものすべて)。回答者数198

1	子どもに手がかかるから	5.6%
2	忙しいから	22.2
3	加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから	25.3
4	加齢に伴い読む気力がなくなったから	15.2
5	場所や施設がないから	1.5
6	本などをすすめてくれる人がいないから	1.5
7	どんな本を読めばいいかわからないから	3.5
8	お金に余裕がないから	6.6
9	本などを読むことが嫌いだから	11.6
10	面倒くさいから	18.2
11	その他	6.6
12	特に理由はない	31.3
	無回答	1.0

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、すべての方におうかがいします

問30 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動(※)」という取り組みを知っていますか(○は1つだけ)。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。



イメージキャラクター「ビュー坊」

1	知っている、活動を実践している	4.9%
2	知っているが、特に何も行ってない	18.5
3	名前は聞いたことはあるが、内容はわからない	17.8
4	知らない(初めて聞いた)	55.0
	無回答	3.8

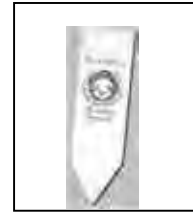
問31 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか(○はあてはまるものすべて)。

1	防犯パトロール運動	7.2%	4	公園、児童遊園、プチテラスなどの管理活動	4.9
2	花の育成活動	10.9	5	違反広告物除却活動	2.2
3	まちの清掃活動	13.1	6	参加していない(今後も参加しない)	66.4
				無回答	7.8

第4章 使用した調査票

問32 あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』を見たことがありますか（〇は1つだけ）。

※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』をさして、事業をアピールしています。



プレート

1	すでに使用している	2.7%
2	見たことがあります、名称なども知っている	6.0
3	見たことはあるが、名称などは知らなかった	18.0
4	名称などは知っているが、見たことはない	4.3
5	見たことはない（初めて知った）	64.8
	無回答	4.2

問33 あなたは、現在の足立区内の刑法犯認知件数（※）が、ピークであった平成13年と比較して1万件以上、減少していることを知っていますか（〇は1つだけ）。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

1	知っている	42.9%	2	知らない（初めて聞いた）	53.1	無回答	4.0
---	-------	-------	---	--------------	------	-----	-----

問34 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか（〇は1つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

1	良い	11.0%	3	どちらかといえば悪い	17.4	5	わからない	11.1
2	どちらかといえば良い	53.4	4	悪い	2.4		無回答	4.6

↓ 次ページの問34-2へ

（問34で「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とお答えの方に）

問34-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。 回答者数987

1	防犯カメラが増えたことで、安心感があるから	32.6%
2	テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生のニュースが少ないから	19.1
3	犯罪の発生件数が減っているということを聞いたから	22.1
4	自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから	46.6
5	安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから	23.3
6	道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから	24.8
7	防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから	4.4
8	その他	2.3
	無回答	0.1

(問34で「3 どちらかといえば悪い」または「4 悪い」とお答えの方に)

問34-2 どのような点で治安が悪いと感じますか (〇は2つまで)。

回答者数303

1 殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから	9.9%
2 自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから	43.6
3 子どもに対する「不審な声かけ事案など」の発生が多いと聞いたことがあるから	30.0
4 街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから	22.4
5 深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから	27.1
6 隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから	20.8
7 その他	17.8
無回答	1.0

ここから再び、すべての方におうかがいします

問35 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか (〇は2つまで)。

1 犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供	18.4%
2 街頭キャンペーンやイベントの実施	3.3
3 防犯講習会の開催	1.3
4 地域住民による防犯パトロール活動への支援 (防犯用品の貸与など)	8.7
5 防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援	51.9
6 安全・安心パトロールカー (青パト車) による防犯パトロール	38.4
7 安全に配慮した道路、公園の整備	39.2
8 その他	2.4
9 特にない	5.3
無回答	4.4

問36 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか

(〇はそれぞれ1つずつ)。

	いつも鍵をかけている	鍵をかけることが多い	短時間のときは鍵をかけないことがある	鍵をかけることは少ない	鍵はかけていない (鍵がついていないを含む)	自転車を持っていない、使っていない	無回答
ア 外出先で駐車するとき	68.2%	3.3	2.0	0.8	0.6	17.4	7.6
イ 自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき	58.3	2.7	1.4	4.6	7.2	17.1	8.6

環境・地域活動について、おうかがいします

問37 あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

1	ごみと資源の分別を実行している	84.7%
2	節電や節水など省エネルギーを心がけている	54.5
3	くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている	42.1
4	マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている	77.1
5	環境に配慮した製品を選んで使っている	11.2
6	家庭で使用しなくなった衣類や家具などについて、リサイクルショップなどで 売り買いしたことがある	25.0
7	雑紙（※）を燃やすごみではなく、資源として出している	56.3
8	自然環境を大切にすることを心がけている	25.8
9	外食時に食べられる分だけ注文する	51.0
10	買い物前に冷蔵庫の在庫をチェックする	39.7
11	買い物前に必要なものをメモに書き、買いすぎないように注意している	41.5
12	買い物の際、棚の手前に陳列された食品から取る	17.5
13	その他	1.0
14	特になし	1.5
	無回答	3.7

※ 雑紙（ざつがみ）…家庭から排出される古紙のうち、新聞、雑誌、段ボール、紙パックのいずれの区分にも入らないもの（パンフレット、コピー用紙、お菓子の包装紙など）

問38 あなたは、日頃から環境への影響を考えて具体的に行動（※）していますか
（〇は1つだけ）。

※ 問37（1から8）で示された内容のことです。

1	行動している	36.8%
2	行動することが時々ある	41.3
3	環境への影響を考えるが、行動していない	12.6
4	環境への影響を考えたことはないし、行動もしていない	3.3
	無回答	6.0

問39 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（〇はいずれも、あてはまるものすべて）。

内 容	この1年間に参加された活動	引き続き、または今後参加したいと思う活動
1 自宅の庭や玄関先、または公共の場で、プランターや植木鉢に草花を植えるなど、緑を増やしたり、育てる取り組み	18.0%	21.8
2 区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）	15.1	29.7
2-1 区内の文化施設や催しで親しむ機会	3.5	14.9
3 講演会や講座、サークル活動など	5.0	15.0
4 特に参加していない・特にない	51.0	37.8
無回答	20.4	21.8

「孤立ゼロプロジェクト」などについて、おうかがいします

問40 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか（〇は1つだけ）。

※「孤立ゼロプロジェクト」とは、地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぎ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

1 知っていて、内容も概ね理解している	7.4%
2 聞いたことはあるが、内容はわからない	17.7
3 知らない（初めて聞いた）	69.3
無回答	5.6

問41 あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（〇は1つだけ）。

※「地域包括支援センター」は、足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の健康や介護に関する様々なご相談に応じています。

1 知っていて、業務内容も概ね理解している	27.6%
2 聞いたことはあるが、詳しくはわからない	32.4
3 知らない（初めて聞いた）	35.0
無回答	5.0

第4章 使用した調査票

問42 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（〇は1つだけ）。

1 積極的に協力したい	1.6%	無回答	7.7
2 負担にならない範囲で協力してもよい	17.3		
3 協力したいが、時間などに余裕がない	34.3		
4 興味がない、協力したくない	12.0		
5 わからない	27.1		

（問42で「1 積極的に協力～」または「2 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に）
問42-1 どのような活動に協力したいですか（〇はあてはまるものすべて）。回答者数290

1 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動	40.0%
2 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動	51.0
3 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動	30.3
4 活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助	11.7
5 その他	3.4
無回答	2.8

問43 あなたは、高齢期におこりやすい、筋力や心身の機能などが低下し、衰弱した状態「フレイル」にならないために、「運動」「口の健康・栄養」「社会参加」のそれぞれが大切なことを知っていますか（〇は1つだけ）。

1 知っていて、活動を実践している	16.0%	3 知らない（初めて聞いた）	41.1
2 知っているが、特に何もしていない	37.8	無回答	5.2

問44 あなたは、たんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品の1種類以上）をどれくらいの頻度で食べていますか（〇は1つだけ）。

※「フレイル」になる要因の一つとして、たんぱく質の不足があげられます。

1 毎食（1日3回）食べている	20.6%	4 週に数回食べている	9.6
2 1日2回位食べている	28.9	5 ほとんど食べない	1.1
3 1日1回位食べている	35.9	無回答	4.0

問45 あなたは、仕事と仕事以外の生活の調和が取れていると思いますか（〇は1つだけ）。

1 取れている	41.7%	3 わからない	27.4
2 取れていない	23.6	無回答	7.3

問46 あなたは、下記のア～ウについて知っていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

	内容まで知っている	聞いたことはあるが、内容はわからない	知らない	無回答
ア 高齢者などの権利を守るしくみである「 <small>せいねんこうけんせいど</small> 成年後見制度」について	24.3%	33.9	36.2	5.6
イ 身体的暴力以外のDV(精神的・経済的・社会的・性的)について	48.9	32.9	12.3	5.9
ウ「LGBT」という言葉について	47.1	20.5	26.4	6.0

「きょうどう協働・きょうそう協創」・「SDGs」について、おうかがいします

問47 「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・NPO・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。
あなたは、この「協創」を知っていますか（〇は1つだけ）。

1 知っている	9.1%	3 知らない(初めて聞いた)	66.8
2 聞いたことはある	19.6	無回答	4.5

(問47で「1 知っている」とお答えの方に)

問47-1 あなたは、区役所・区民・団体との協力・連携(協働)や自主的な取り組み・活動(協創)を実践していますか(例 ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など)
(〇は1つだけ)。回答者数140

1 すでに、活動を実践している	15.0%	3 関心がない	12.9
2 関心はあるが、特に活動していない	72.1	無回答	0.0

問48 あなたは、区役所・区民・団体の協力・連携(協働)や自主的な取り組み・活動(協創)が進んでいると感じていますか(例 ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフ、子どもの貧困対策など)(〇は1つだけ)。

1 そう思う	4.0%	4 そう思わない	5.6
2 どちらかといえばそう思う	22.4	5 わからない	50.9
3 どちらかといえばそう思わない	11.2	無回答	5.8

第4章 使用した調査票

問49 あなたは、SDGsについて知っていますか（〇は1つだけ）。

※ 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

1 内容まで知っている	28.0%
2 詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある	41.7
3 知らない（初めて聞いた）	24.6
無回答	5.7

問50 あなたは、SDGsに関心がありますか（〇は1つだけ）。

1 とても関心がある	5.6%	4 全く関心がない	6.9
2 関心がある	30.7	5 どちらともいえない	26.8
3 あまり関心がない	23.9	無回答	6.1

足立区の取り組みについて、おうかがいします

問51 あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にそれぞれどの程度あてはまりますか
(〇はそれぞれ1つずつ)。

	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い	無回答
ア 足立区に愛着をもっている	24.0%	46.0	8.2	6.5	10.6	4.6
イ 足立区に誇りをもっている	10.3	32.1	22.2	13.8	16.5	5.0
ウ 足立区を人に勧めたい	9.3	32.3	21.1	11.4	20.3	5.6
エ 足立区を良いまちにするために何かしたい	7.8	40.3	13.1	6.8	22.3	9.7
オ 足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する	23.5	47.2	5.3	2.5	12.0	9.5

問51-1 問51の項目のア、イ、ウで、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた理由をお書きください。

(ア 愛着)
(イ 誇り)
(ウ 勧めたい)

問51-2 問51の項目のア、イ、ウで、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わ
ない」と答えた理由をお書きください。

(ア 愛着)
(イ 誇り)
(ウ 勧めたい)

問52 あなたはこの1年間に足立区を良いまちにするために行動をしましたか (〇は1つだけ)。

※ 町会・自治会活動、ボランティア活動、防犯活動、地域イベントの手伝いのほか、家の前の清掃をしている、道案内など困っている人を助けた、足立区内の魅力的な情報を伝えた(発信した)などの個人的な行動も含まれます。

1 行動した	10.3%	4 行動しなかった	44.4
2 どちらかといえば行動した	14.9	5 わからない	7.8
3 どちらかといえば行動していない	15.2	無回答	7.4

第4章 使用した調査票

問53 足立区の取り組みについて、あなたの現状評価（満足度）と今後の取り組みの重要度について、ア～シの項目ごとに、最も近いものを選んでください

（〇はいずれも、それぞれ1つずつ）。

区の取り組み	内 容	現状評価 (満足度)				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
ア 情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	16.7%	61.7	11.8	1.4	8.4
イ 職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など	25.5	50.8	11.6	3.3	8.8
ウ ICT活用	ICTを活用した業務の効率化や区民サービスの向上など	7.4	51.1	21.3	3.7	16.5
エ 防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	10.0	53.8	21.9	3.0	11.3
オ 自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	18.3	54.8	14.3	3.1	9.5
カ 資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	20.7	57.6	10.6	2.1	9.0
キ 治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など	13.5	54.1	19.1	3.7	9.5
ク 地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など	9.1	55.5	21.4	2.5	11.5
ケ 社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など	6.9	56.9	22.0	1.4	12.7
コ 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど	7.4	53.5	23.2	2.9	13.0
サ 生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など	10.7	55.6	19.5	2.5	11.6
シ 学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など	10.6	54.4	19.4	3.4	12.1

次ページへ続く

(前ページからの続き)

区の取り組み	内 容	現状評価 (満足度)				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
ス 子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	13.2	56.1	13.1	3.1	14.4
セ 高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	11.2	55.3	18.4	4.1	11.0
ソ 障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	10.1	54.3	19.1	3.7	12.9
タ 保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	11.4	59.7	14.5	2.2	12.3
チ 低所得者対策	生活の援助や自立支援など	9.5	48.8	21.4	7.1	13.3
ツ 産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など	7.2	51.8	22.7	2.7	15.7
テ 都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	9.8	51.0	21.8	4.6	12.8
ト 住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など	7.1	46.0	28.4	5.5	13.1
ナ 交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	10.0	47.2	23.6	8.2	11.0
ニ 区政全体として		10.1	58.1	17.0	2.7	12.2

区の取り組み	内 容	重要度				
		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
ア 情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	43.2	35.7	5.8	0.7	14.5
イ 職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など	42.8	34.4	6.1	1.3	15.3
ウ ICT活用	ICTを活用した業務の効率化や区民サービスの向上など	31.3	40.8	7.0	1.6	19.3
エ 防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	57.0	25.8	1.5	0.4	15.3
オ 自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	44.2	36.9	3.8	0.6	14.5
カ 資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	49.8	31.9	3.3	0.3	14.6
キ 治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など	58.1	25.1	2.0	0.2	14.7
ク 地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など	26.3	46.4	10.0	2.2	15.2
ケ 社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など	20.2	47.2	14.4	2.2	16.1
コ 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど	25.1	44.5	11.5	2.5	16.3
サ 生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など	26.3	46.2	10.4	1.4	15.6
シ 学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など	43.0	34.3	5.6	1.1	16.0

次ページへ続く

(前ページからの続き)

区の取り組み	内 容	重要度				
		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
ス 子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など	48.3	31.3	3.7	1.4	15.3
セ 高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	47.6	32.0	4.9	2.2	13.3
ソ 障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	44.7	35.7	3.9	1.6	14.1
タ 保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	41.0	39.9	4.6	0.6	13.9
チ 低所得者対策	生活の援助や自立支援など	36.1	38.7	8.2	3.0	14.0
ツ 産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など	28.8	45.1	8.9	1.7	15.5
テ 都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	36.1	41.9	6.4	1.2	14.4
ト 住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など	36.8	41.7	6.4	1.0	14.1
ナ 交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	52.1	31.6	2.9	0.5	12.9

問54 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか（〇は1つだけ）。

1 そう思う	4.9%	4 そう思わない	6.8
2 どちらかといえばそう思う	31.9	5 わからない	33.8
3 どちらかといえばそう思わない	14.0	無回答	8.7

第4章 使用した調査票

問55 区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問56 多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後におうかがいします。今回の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか
(〇は1つだけ)。

1 そう思う	25.0%	4 そう思わない	3.9
2 どちらかといえばそう思う	43.2	5 わからない	13.8
3 どちらかといえばそう思わない	8.3	無回答	5.7

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入がお済みになりましたら、まことにお手数ですが、
返信用封筒に入れて **9月8日(木)**までにご投函ください。





世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス <https://www.city.adachi.tokyo.jp> 足立区 政策経営部 区政情報課